



静岡大学 (静岡県)



語学教育(日本語教育)課程、一般教育(日本文化一般)課程、自由研究、見学実習からなる総合プログラム

■大学紹介

①大学の特色および概要

(1) 静岡大学の歴史

静岡大学は、1949年5月31日に旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校の5校を包括して、新制度の静岡大学として発足しました。その後、県立静岡農科大学の移管、キャンパスの統合、学部の改組・拡充がなされて現在に至っています。静岡大学は、次の6つの学部から構成されています。(静岡キャンパス) 人文社会科学部、教育学部 農学部、理学部 (浜松キャンパス) 工学部、情報学部

(2) 学生数等 (2016年5月1日現在)
教員数: 868名 職員数: 318名
学生数: 学部生8,607名
大学院生1,615名

②国際交流の実績 (2016年5月1日現在)

(1) 大学間交流協定数 47
(2) 部局間交流協定数 37

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年: 留学生数363人、日本語・日本文化研修留学生3人
2015年: 留学生数327人、日本語・日本文化研修留学生6人
2014年: 留学生数307人、日本語・日本文化研修留学生7人

④地域の特徴 (富士山が近くにある!)

静岡県は本州の中央部で東京と大阪のほぼ中央に位置し、古くから東海道の要衝として発展してきました。南には太平洋に面した伊豆半島から駿河湾・遠州灘と続く海岸線を持ち、北には我が国最高峰富士山をはじめ3,000mを越える南アルプスの峰々がそびえています。気候は一年中を通して温暖で過ごしやすく、丘陵地は特産のお茶とみかんにおおわれています。富士箱根伊豆国立公園と南アルプス国立公園を有し、伊豆半島を中心に温泉が点在し、数多くの観光客が訪れます。

富士山世界文化遺産

静岡大学は富士山に近く、毎日富士山を見ながら勉強できます!!



■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情、日本文化に関する研修を行います。



② コースの特色

日本語授業を中心に、留学生の専門に関連した日本文化を学び、将来、日本と留学生の母国との架け橋になるような人材を育成します。留学期間を後期(10月~3月)と前期(4月~9月)に分け、後期は語学教育(日本語教育)中心の授業を組み、様々な日本人との交流活動にも参加します。前期において、留学生の専門を中心に、自由研究、見学実習などのプログラムを設定します。なお、留学生のプログラムについては、指導教員との話し合いで決定します。



③ 受入定員

8名 (大使館推薦6名、大学推薦2名)

受入学部	研 修 分 野		人 数
	日本語	日 本 文 化	
人文社会科学部 (静岡)	中級 ~ 上級	社会学、人間学、心理学、文化人類学、歴史学、比較文化、日本語文化、比較文学文化、言語学、法学、政治学、経済学、経営学、異文化コミュニケーション、近代・現代文学、国語学、哲学、日中関係史	8
教育学部 (静岡)			
情報学部 (浜松)			

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、以下の条件を満たすこと。

- (1)外国の大学学部在学し、日本語・日本文化に関する分野を専攻する者
- (2)一定の日本語能力を有する者（日本語能力試験N3程度以上）
- (3)2017年10月2日から3日までの間に渡日できる者

⑤ 達成目標

◆日本語：

留学生のレベルに合わせて、中級から上級までのクラスを受講できます。最終目標は上級レベル（レベル5）であり、上級のレベルに達した学生は、全学教育科目の授業を中心に、さらに高度な日本語力を身につけます。

◆日本文化：

伝統文化や歴史、文学、法学、現代社会などに関する様々な講義が用意されています。学生は、自らの関心に応じて関連する講義を受講し、専門分野に関する基礎的な知識を身につけます。また、フィールドワークや各種イベントへの参加を通じて、日本文化への理解を深めます。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日
修了式は9月中旬を予定しています。

⑦ 研修科目の概要

1) 必須科目

日本語レベル3の学生：日本語3（読解文法、聴解語彙、作文・話し方）は必修、日本語4（読解文法、聴解語彙、作文・話し方）は選択
レベル4の学生：日本語4（読解文法、聴解語彙、作文・話し方）は必修、日本語5（日本語総合）は選択
レベル5の学生：日本語5（日本語総合）は必修、全学教育科目（日本語Ⅰ～日本語Ⅵ、日本事情）は、選択。

日本語以外の必修科目については、指導教員との相談の上、研修希望分野を学ぶために必要な基礎科目を履修します。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

国際交流センターでは、「日本語・日本文化研修科目」を開講し、地域や日本人学生との交流を行っています。また、「日本の生活」という授業で静岡市内各所を訪問します。さらに、人文社会科学部、教育学部、情報学部において、それぞれの分野に関係する実習科目を開講しています。

3) その他の講義、選択科目等

留学生の専門、興味によって自由に好きな科目を選択できます。

【授業科目及び授業時間数】

◆日本語科目（日本語・日本文化研修科目）

日本語・日本文化研修科目では、すべてのレベルの日本語授業を開講しています。各レベルの詳細は以下の通りです。

日本語3（中級前半）：やや高度な文法・漢字・語彙を習得し、大学生活におけるコミュニケーションができ、一般的なことから、会話ができ、読み書きができる日本語能力を身につけます。

日本語4（中級後半）：かなり高度な文法・漢字・語彙を習得し、大学の授業についていく日本語能力、専門に近い内容の文章を書いたり、読んだりできる日本語能力を身につけます。

日本語5（上級）：社会生活、特に大学における学習・研究に役立つような総合的な日本語力を身につけます。

日本語・日本文化 研修科目		時間数		
		後期	前期	計
日本語 3	読解・文法	30	30	60
	聴解・語彙	30	30	60
	作文・話し方	30	30	60
日本語 4	読解・文法	30	30	60
	聴解・語彙	30	30	60
	作文・話し方	30	30	60
日本語 5	日本語総合A	30	30	60
	日本語総合B	30	30	60

*ただし、浜松キャンパスでは日本語4・5は開講されません。

◆日本語科目（留学生科目）

学部留学生のための日本語科目で、レベルは上級です。

「日本語Ⅰ～Ⅵ」は、大学における学習・研究や日常生活に役立つ総合的な日本語能力を身につけます。「日本事情」は、日本文化や異文化理解についての基礎的な知識を養います。

全学教育科目		時間数		
		後期	前期	計
日本語Ⅰ	聞く・書く		30	30
日本語Ⅱ	読む・話す		30	30
日本語Ⅲ	発表		30	30
日本語Ⅳ	聞く・書く	30		30
日本語Ⅴ	読む・話す	30		30
日本語Ⅵ	実用日本語	30		30
日本事情	異文化理解	30		30

◆文化科目

日本文化の科目例です。それぞれの科目の時間数は30時間です。これら以外にも、多くの科目が開講されています。なお、これらの科目を受講する日本語レベルは上級が望ましいです。

学部	日本文化の科目例
人文社会科学部	人間学概論、社会学概論、心理学概論、文化人類学概論、歴史学概論、日本・アジア言語文化基礎論、日本文学概論、日本語学概論、憲法総論・統治機構、法学入門、日本経済史
教育学部	日本文化に関連する科目
情報学部	異文化コミュニケーション論、情報社会概論、グローバリゼーションと文化

⑧年間行事

10月	プレースメントテスト、オリエンテーション、後期授業スタート、受入式、日本人学生との交流会
11月	静大祭
12月	留学生と日本人の交流イベント
12月末～1月初め	冬休み
2月初め	後期試験期間
2月中旬	研修旅行（スキー）、後期授業終了
2月中旬～3月末	春休み
4月初め	プレースメントテスト、オリエンテーション、前期授業スタート
5月	春のビッグフェスティバル（静岡）マラソン大会（浜松）
8月初め	前期試験期間、授業終了
8月中旬～9月末	夏休み
9月中旬	修了式

⑨ 指導体制

指導教員：

受入れ留学生の日本での専攻希望分野に関係する教員が、学習面、生活面において指導します。（留学生1人に対して教員1名）

協力教員：

国際交流センター教員 4名、カウンセラー1名、留学生専門教育教員1名（人文社会科学部・教育学部）、国際交流センター運営委員各1名（各学部）

事務責任者：

国際交流課長

⑩ コースの修了要件修了証書：

必修科目を含む各期7科目以上の授業（年間で14科目以上）を履修、単位を取得し、専門の研究を修了したと認められる者に修了証を授与します。

■ 宿 舎

留学生に宿舎を提供すると共に、国際交流の場を提供することを目的としています。入居の許可期間は原則として1年間です。なお、室数が限られているので入居を希望しても必ずしも入居できるとは限りません。

- ① 静岡国際交流会館
- ② 浜松国際交流会館 1号館
- ③ 浜松国際交流会館 2号館
- ④ あけぼの寮



	室数	面積 (㎡)	宿舍料/月額
①	95室	居室：7㎡ 共有：43㎡	20,000円
②	35室	12.42㎡	5,900円
③	95室	居室：7㎡ 共有：43㎡	20,000円
④	45室	15㎡	15,000円

■ 修了生へのフォローアップ

【修了生の声】

ジェシー・クラインさん(アメリカ)

帰国後、大学に戻り、学位を取得。その後、再渡日。日本人女性と結婚し、現在、通訳、翻訳、英語教育などの仕事をしている。留学中は、たくさんの日本人の友人ができ、日本語能力が向上し、日本人との国際交流を楽しめました。日研生として採用された恩返しをしたいと思っています。現在ALTとして静岡市内の学校で英語を教えています。



スイス



インド



インドネシア



アメリカ



ブラジル



修了式

■ 問い合わせ先

(担当部署)

静岡大学国際交流センター

住所：〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836

TEL：+81-54-238-4260（直通）

FAX：+81-54-238-5041

MAIL：ryugaku@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学国際交流センターホームページ

<http://www.icsu.shizuoka.ac.jp/>

静岡大学ホームページ

<http://www.shizuoka.ac.jp>

(コース担当教員)

日本語：原沢伊都夫 kiharas@ipc.shizuoka.ac.jp

人文社会科学部(未定)

教育学部：国際交流委員会 edgakumu@adb.shizuoka.ac.jp

情報学部：国際交流委員会 kokusai@ml.inf.shizuoka.ac.jp



Shizuoka University



Japanese Studies Program consisting of Japanese Language Studies, Japanese Culture Studies, Individual Research and Extracurricular Activities.

■ Introduction to Shizuoka University

① Characteristics and Outline

(1) History of Shizuoka University

Shizuoka University, incorporated Shizuoka High School, Shizuoka Teacher–Training Institutes I and II, a Young Teacher–Training Institute and Hamamatsu College of Technology was founded on May 31, 1949. Since then, Shizuoka Prefectural Agricultural College has been integrated, the number of faculties and departments has increased, and there have been many other reforms such as the unification of campuses in the Shizuoka Area. Shizuoka University consists of six faculties: Humanities and Social Sciences, Education, Science, Engineering, Agriculture, and Informatics.

(2) Number of students, etc. (As of May 1, 2016)

Teaching Staff: 868, Office Staff: 318

Undergraduate Students: 8,607

Graduate Students: 1,615

② International Exchange (As of May 1, 2016)

(1) Partner Universities 47

(2) Partner Faculties 37

③ Number of “International Students” and “Japanese Language and Culture Program Students”

*(As of May 1, each year)	2016	2015	2014
International Students	363	327	307
Japanese Studies Students	3	6	7

Mt. Fuji was registered as a world Heritage site in 2013. You can see a beautiful Mt. Fuji every day from our campus.



④ Shizuoka Prefecture

Shizuoka Prefecture is situated in the center of the main island of the Japanese archipelago, between Tokyo and Osaka. It prospered as a strategic political and trading point along the Pacific Route.

It is graced with a coastline that extends from the Izu Peninsula to Suruga Bay and the Sea of Enshu along the Pacific Ocean in the south, and is bordered in the north by the Southern Alps, with peaks that often rise more than 3,000 meters above sea level. Mt. Fuji is located between Shizuoka and Yamanashi prefectures.

The climate is mild throughout the year, and you can see many hillsides covered with groves of mandarin oranges and green tea plantations, which are Shizuoka’s principal agricultural products.

The prefecture is home to Hakone Fuji Izu National Park and Southern Alps National Park. There are many hot springs, especially on the Izu Peninsula, which attract tourists.

■ Outline of the Course

① Purpose of the Course

The course mainly conducts Japanese Language Training, with the assistance of Japanese culture studies.



② Characteristics of the Course

The course provides students an opportunity to learn Japanese language and culture and cultivate internationally minded people who can build bridges between Japan and their home countries.

The program consists of two terms (Fall term from October to February and Spring term from April to August). The Fall term concentrates more on Japanese language and cultural activities. Students will gain a basic knowledge of Japanese language and culture. The next semester will encourage students to have their own study and free research project. The program will be conducted with their academic advisor.

③ Number of Students to be accepted: 8

- Students with embassy recommendation: 6
- Students with university recommendation: 2



◆ Study Areas

Department	Japanese	Japanese Culture	No. of Students
Humanities and Social Sciences (Shizuoka)	Intermediate ~ Advanced	Sociology, Philosophical, Human Being Study, Psychology, Comparative Culture, Comparative Literature, Linguistics, Cross Cultural Communication,	8
Education (Shizuoka)		Anthropology, History, Law, Politics, Economy, Management, Modern and Recent Literature,	
Informatics (Hamamatsu)		Japanese Linguistics, Philosophy, Japan–China Relation	

④ Qualifications and Conditions of Applicants

- (1) Applicants must be undergraduate students from outside Japan with a major related to Japanese and culture.
- (2) Japanese ability : Applicants must have a certain degree of knowledge of Japanese language and be able to communicate in Japanese. The level may be N3 ~ N1 of the Japanese Language Proficiency Test.
- (3) Applicants must be able to come to Japan between the 2nd and 3rd of October, 2016.

⑤ Purpose of the Achievement

1) Japanese: Students will be allocated into different classes in accordance with their level of Japanese. The final goal is to reach to the advanced level. If students reach this level, they can select the subjects in General Education which are the highest classes of Japanese Language study.

2) Japanese Culture: A wide range of lectures are available. Students will take lectures to suit their interests and will achieve the target in their own project. (See the chart “Study Areas”).

⑥ Period of the Course

From October 1st 2017 to September 30th 2018. A closing ceremony will be held in the middle of September.

⑦ Outline of Classes

1) Japanese Classes (Required)

Japanese Language Program (Level 3-5) is conducted by the International Center. The details of each level are as follows.

Japanese 3 (Lower-intermediate): Mastering grammar, Kanji and vocabulary at a relatively high level, becoming able to communicate in a campus life and developing the ability to converse, read, and write about matters of a general nature.

Japanese 4 (Upper-intermediate): Mastering grammar, Kanji and vocabulary at a high level, have developing integrated language ability sufficient for university classes, becoming able to write and read material.

Japanese 5 (Advanced): Developing an integrated command of the language appropriate for studying in the University.

◆ Student of Level 3: Japanese 3 (reading & grammar, listening & vocabulary, writing & speaking) is compulsory; Japanese 4 (reading & grammar, listening & vocabulary, writing & speaking) is an elective.

◆ Student of Level 4: Japanese 4 (reading & grammar, listening & vocabulary, writing & speaking) is compulsory; Japanese 5 (Integrated Japanese A, Integrated Japanese B) is an elective.

◆ Student of Level 5: Japanese 5 (Integrated Japanese A, Integrated Japanese B) is compulsory. Japanese I through Japanese VI and Japanese Culture in General Education are elective.

2) Japanese Culture Classes (Selective)

If your Japanese level is enough to take regular classes with Japanese students, you can take any subject related to Japanese culture. You may consult your academic supervisor about specialized subjects, and will be assigned subjects necessary for you to knowledge in your desired fields of study.

3) Others

The International Center opens “Study & Exchange Program in Japan”, promoting study of Japanese cultures and exchange activities with local people. In “Orientation to Japan”, you will visit various locations in Shizuoka City. There are many subjects related to Japanese culture conducted in English. With Japanese Language classes, you may learn your interested fields in English, too. In addition to these classes, the International Center holds interaction forums upon request from local elementary and middle schools for visits by foreign students.

【Number of Class Hours】

Each subject (2 hours × 15 weeks = 30 contact hours)

Japanese Language Program (Intermediate ~ Advanced)		Number of hours		
		Fall Term	Spring Term	Total
JP 3	Reading & Grammar	30	30	60
	Listening & Vocabulary	30	30	60
	Writing & Speaking	30	30	60
JP 4	Reading & Grammar	30	30	60
	Listening & Vocabulary	30	30	60
	Writing & Speaking	30	30	60
JP 5	Integrated Japanese A	30	30	60
	Integrated Japanese B	30	30	60

*Placement tests will be given in order to judge the level of the students.
*JP4 & JP5 are not offered in the Hamamatsu campus.

Japanese in General Education (Advanced)		Number of hours		
		Fall Term	Spring Term	Total
JP I	Listening & Writing		30	30
JP II	Reading & Speaking		30	30
JP III	Presentation		30	30
JP IV	Listening & Writing	30		30
JP V	Reading & Speaking	30		30
JP VI	Practical Japanese	30		30
Japanese Culture		30		30



Toro ruins in Shizuoka



Ski (Snowboarding) trip to Nagano



Museum of Traditional Art



Japanese calligraphy class

Example of Cultural Subjects

Humanities and Social Sciences (Shizuoka Campus)	Introduction to Human Being Study, Sociology, Psychology, Philosophical Anthropology, History, Japanese and Asian Languages and Culture, Japanese Literature, Japanese Linguistics, Japanese Law·Juristic Study, History of Japanese Economy Cultural Anthropology, History and Culture, Introduction to Philosophy, Introduction to Japanese History, Introduction to Japanese Literature, Basic of Japanese Linguistics Cross-cultural Communication, Introduction to Socio-Information Studies, Globalization and Culture
Education (Shizuoka Campus)	
Informatics (Hamamatsu Campus)	

*An advanced level of Japanese ability is recommended to take the above subjects.

⑦ANNUAL CALENDER

Early October	Fall term starts Placement Test, Orientation, Welcome Ceremony, Exchange activity with Japanese
November	University Festival
Late December to Early January	Winter Break
Early February	Examination Week, Second Semester ends
Mid-February	Field Trip
Mid-February to late March	Spring Break
Early April	Spring term starts Placement Test, Orientation, Spring Festival(Shizuoka)
Mid May	Marathon Event(Hamamatsu)
Early August	Examination Week, First Semester ends
Mid August to late September	Summer Break
Mid September	Completion Ceremony

⑧Guidance System

Responsible academic staff: A professor who has the same major field with an applicant will guide him/her for his/her study. (One academic advisor for each student)

Supporting academic staff: 4 Japanese teachers of the International Center, a counselor and a foreign student advisor of the Faculty of Humanities and Social Sciences, and Education.

Responsible office staff: Manager of International Affairs Section

⑨Requirements for Completion: You need to take and pass at least 14 subjects including compulsory subjects in the Japanese & Culture study. Students are also requested to attend more than 80% of Japanese classes and to pass the final examination. A certificate of Completion will be conferred to students who have successfully completed the program.

Shizuoka Campus with Mt. Fuji



■Housing

The University provides housing for overseas students, and promotes international exchange among many nationalities. The maximum period of residence is one year.

Due to capacity restrictions, not all applicants can be accepted.

- ①Shizuoka International Residence
- ②Hamamatsu International Residence 1
- ③Hamamatsu International Residence 2
- ④Akebono-ryō

International Residence

Type	Rooms	Area (m ²)	Rent/month
①	95	Room:7m ² Shared Space:43m ²	¥ 20,000
②	35	12.42m ²	¥ 5,900
③	95	Room:7m ² Shared Space:43m ²	¥ 20,000
④	45	15m ²	¥ 15,000

■In the words of 6 participants



The very helpful teachers, friendly students and the beautiful scenery on campus. (Christine, USA)



Beautiful Mt. Fuji and friendly people here! (Catlea & Muthia, Indonesia)



I'm so happy joining many circles such as skate board, snow board and so on. (Akemi, Brazil)



I'm happy I was able to join Japanese Drumming Circle. I'm taking pictures of Mt. Fuji. (Annina, Switzerland)



I'm glad to have met Shizuoka University in my life. (Sharmilee, India)

■ Contact

International Center

Address: 836 Ohya, Suruga-ku, Shizuoka-shi, 422-8529 JAPAN

TEL: +81-54-238-4260 FAX: +81-54-238-5041
ryugaku@adb.shizuoka.ac.jp

Shizuoka University Website:

<http://www.shizuoka.ac.jp>
<http://www.icsu.shizuoka.ac.jp>

Course Coordinator

◇Japanese Coordinator

Professor Harasawa Itsuo
kiharas@ipc.shizuoka.ac.jp

◆ Faculty of Humanities and Social Sciences (Undecided)

◆ Faculty of Education

International Communication

Committee
edgakumu@adb.shizuoka.ac.jp

Informatics

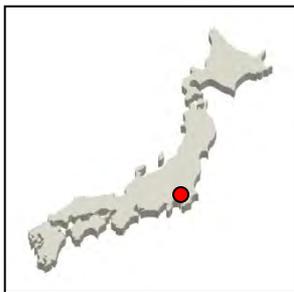
International Communication Committee
kokusai@ml.inf.shizuoka.ac.jp



Beaches in Shizuoka



Faculty of Informatics



名古屋大学 (愛知県)



実践的な日本語力の向上と大学院につながる研究方法の習得

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

名古屋大学は日本の高等教育研究機関として、主要な国立大学の一つです。本学は、中部地方の政治・産業・文化の中心である名古屋市にあります。本学の歴史は医学部と病院が発足した1871年にさかのぼります。長年の変遷を経て、1949年には新制大学になり、現在9学部・14大学院研究科・3附置研究所・図書館・19共同教育研究施設等が設置されています。また、外国人留学生の宿舎として留学生会館、インターナショナルレジデンス及び国際嚶鳴館が設置されています。

2) 教員・学生数等 (平成28年5月1日現在)

学部： 文学部、教育学部、法学部、経済学部、情報文化学部、理学部、医学部、工学部、農学部

大学院： 文学研究科、教育発達科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科、工学研究科、生命農学研究科、国際開発研究科、多元数理科学研究科、国際言語文化研究科、環境学研究科、情報科学研究科、創薬科学研究科

教職員数： 3,857名

学生数： 学部 10,144名 大学院 6,269名
計 16,413名

② 国際交流の実績

- 1) 留学生在籍数： 2,137名 (95カ国)
(平成27年度)
- 2) 研究者受入数： 1,247名 (56カ国)
(平成27年度)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績 (各年度 5月1日現在)

2016年：留学生数1,672人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2015年：留学生数1,613人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2014年：留学生数1,668人、日本語・日本文化研修留学生 19人

④ 地域の特徴

名古屋市は東京と大阪の間に位置する、中部地方の政治・経済・文化の中核です。日本の中心に在るため国外や日本各地への交通の便に恵まれて、地下鉄などの市内交通は英語等での案内も充実しています。歴史や伝統と日本を代表する近代産業やポップ・カルチャーが共存し、約230万人の人口を擁する日本の3大都市の一つでありながら、物価は比較的安く静かな街並みで、留学生生活を送るのに暮らしやすい地域です。

■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行う。

② コースの特色

日研生専用の体系的な学習プログラムを提供する。

1. 日本語の学習

・日研生専用のクラス・プログラム（上級日本語特別プログラム）によって、効果的な日本語学習を行う。

・教室内・外での学習を通して、実践的な日本語力を身に付けることができる。

2. 日本文化の学習

・日本文化の最善の学習方法として、日本に関する何らかのテーマに取り組み、レポートを作成する。具体的には以下のとおりである。

・レポートの書き方の基礎を体系的に学んだうえで、各自が研究テーマを決め、十分な個人指導を受けながら、レポートを作成する。研究発表の方法も身に付けることができる。なお、毎年、『日本語・日本文化研修生・レポート集』を発行している。

3. 研究者志向の留学生への対応

・入門講義（「言語学」「日本語学」「日本文化論」「日本文学」「国際関係論」など）の授業をとおして、各分野の基礎知識・研究方法が学べる。

③ 受入定員

20名（大使館推薦16名、大学推薦4名）

④ 受講希望者の資格、条件等

1. 中級レベル以上の日本語力を有する者。
(最低限「日本語能力試験」N2(旧2級)程度の能力のある者)。
2. 日本語・日本語学・日本語教育学・日本文学・日本文学(日本研究)を主専攻とする者。
3. 勤勉で学習熱心な者。

⑤ 達成目標

1. 上級レベルの日本語力(N1レベル)の習得(四技能のすべてにわたって)。
2. 日本、日本文化、日本事情に対する確かな理解。
3. 各自の専門分野の基礎的な研究方法の習得と実践。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年9月30日
修了式は9月を予定(2016年は9月)



⑦ 研修科目の概要

1) 必須科目

1. 中・上級日本語(上級日本語特別プログラム): 日研生のみのクラス/年間490時間
2. レポート作成/年間72時間

2) 見学、地域交流等の参加型科目

プロジェクトワーク(上級日本語特別プログラム): 日研生のみのクラス/年間80時間

愛知県の特産物などについての見学・調査。

成果は、『日本語・日本文化研修生・レポート集』に掲載。

3) その他の講義、選択科目等

入門講義

1. 言語学Ⅰ(前期/年間28時間)
言語学Ⅱ(後期/28時間)
2. 日本語学・日本語教育学Ⅰ(前期/28時間)
日本語学・日本語教育学Ⅱ(後期/28時間)
3. 日本文化論Ⅰ(前期/28時間)
日本文化論Ⅱ(後期/28時間)
4. 国際関係論Ⅰ(前期/28時間)
国際関係論Ⅱ(後期/28時間)
5. 日本文学Ⅰ(前期/28時間)
日本文学Ⅱ(後期/28時間)

教養科目

留学生と日本(前期30時間)



⑧ 年間行事

- 10月 バス旅行(京都・奈良など)
- 11月 秋季新入留学生歓迎懇談会
- 11月 和食講習会
- 2月 梅見の会
- 3月 一日研修旅行
- 5月 春季新入留学生歓迎懇談会
- 随時 ホームステイ・ホームビジット

⑨ 指導体制

専任教員二人が学業面の指導教員として、

また、別の専任教員一人が生活面の指導教員として、きめ細かな指導・助言を行っている。

⑩ コースの修了要件

プログラムの必須科目をすべて受講すること。



■宿 舎

1. 留学生会館（地下鉄で35分）

所在地：名古屋市昭和区陶生町2丁目23番地の1
(Tel: +81-(0)52-853-2901)

施設：鉄筋コンクリート3階建、単身室
(12.5㎡)49室、夫婦室(35㎡)5室、家族室(50㎡)2室、
図書館、娯楽室、補食室、洗濯室、和室、事務室
等があり、各室にはベッド、洋服ダンス、机、
椅子、本棚、エアコン、冷蔵庫、靴箱等が備え
付けられています。

2. インターナショナルレジデンス東山（大学構内）

所在地：名古屋市千種区不老町1番地
(Tel: +81-(0)52-789-2197)

施設：鉄筋コンクリート居住棟6・7・8階建、
管理棟2階建

留学生用…単身室(16㎡)95室、夫婦室(34㎡)25室
研究者用…夫婦室(34㎡)15室、家族室(51㎡)2室
談話室、図書室、会議室、和室、洗濯室、多目的
室、事務室等があり、各室には、台所、バス、
トイレ、ベッド、洋服ダンス、収納庫、机、椅子、
エアコン、冷蔵庫、靴箱等が備え付けられています。

3. インターナショナルレジデンス山手ノース

(徒歩10分)

所在地：名古屋市昭和区高峯町165

(Tel: +81-(0)52-835-5575)

施設：鉄筋コンクリート3階建

留学生用…単身室(15㎡)106室
多目的ルーム、コインランドリー等があり、
各室には台所、バス、トイレ、ベッド、カーテン、
オープン、クローゼット、収納棚、机、椅子
卓上電気スタンド、エアコン、冷蔵庫、網戸
電子レンジ等が備え付けられています。

4. インターナショナルレジデンス山手サウス（徒歩10分）

所在地：名古屋市昭和区高峯町165

(Tel: +81-(0)52-835-5575)

施設：鉄筋コンクリート7階建

留学生用…単身室(7㎡)112室
台所(オープンリビング)、冷蔵庫、電子レンジ、
バス、トイレ、コインランドリー等があり、
各室には、ベッド、オープンクローゼット、
収納棚、机、椅子、卓上電気スタンド、網戸、
エアコン、カーテン等が備え付けられています。

5. 国際嚶鳴館（徒歩10分）

所在地：名古屋市昭和区高峯町165

(Tel: +81-(0)52-832-2736)

施設：鉄筋コンクリート9階建

留学生用…単身室(13㎡)60室
ロビー、多目的ホール、洗濯機、キッチン、
リビング等があり、各室には机、椅子、
ベッド、ワードローブ、下足箱、戸棚、
多機能台、網戸、カーテン、ユニットバス・
トイレ、エアコン等が備え付けられています。

6. 石田記念インターナショナルレジデンス妙見

(徒歩10分)

所在地：名古屋市昭和区妙見町40

(Tel: +81-(0)52-835-3332)

施設：鉄筋コンクリート5階建

留学生用…単身室(15㎡)93室
台所、バス、トイレ、ベッド、
カーテン、机、椅子、エアコン、
卓上電気スタンド、電子レンジ、
冷蔵庫、収納庫、コインランドリー
等が備え付けられています。

■修了生へのフォローアップ

本コース修了後、名古屋大学の大学院に進み、
名古屋大学の専任教員（准教授など/日本語・
日本語学など）になったものが複数いる。

■問合せ先

(担当部署)

名古屋大学教育推進部学生交流課

住所 〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

TEL +81-(0)52-789-2198 (直通)

FAX +81-(0)52-789-5100

E-mail iess@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学ホームページ

<http://www.nagoya-u.ac.jp/>

国際言語センターホームページ

<http://jp.ilc.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/>

専任教員メールアドレス

籾山 洋介 j46083a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

浮葉 正親 j46084a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp



Nagoya Univ.(Aichi)



Remarkable improvement in Japanese and acquisition of research tools useful for graduate studies

■ The University

① Characteristics and Overview

Nagoya University is one of the leading national universities for higher education and research in Japan. It is located in Nagoya, the political, industrial and cultural center of central Japan, as well as the capital of Aichi Prefecture. The university's history dates back to 1871 when a medical school and a hospital were founded. In 1949, after passing through various transitions, the university re-emerged in the reformed post-war education system as Nagoya University. Today, it consists of nine schools, fourteen graduate schools, three research institutes, nineteen centers for specialized study and research, and the University Library. As of May 2016, 16,413 students are enrolled at the University. They are supported by 3,857 faculty and administrative staff. With regard to accommodation, international students are housed in International Residence, Foreign Students House and International Ohmeikan.

② International Exchange

International students: 2,137, representing 95 nationalities and regions
(April 2015 – March 2016)
International visitors & researchers: 1,247, representing 56 nationalities and regions
(April 2015 – March 2016)

③ Number of Japanese Studies Program Students in the past three years (as of May 1st/each year)

2016: 19 (1,672 international students in total)
2015: 19 (1,613 international students in total)
2014: 19 (1,668 international students in total)

④ Characteristics of the Region

Nagoya, situated between Tokyo and Osaka, comprises the political, economic, and cultural hub of the Chubu region. Located in the center of Japan, this cosmopolitan city is served by a convenient international and domestic transport network, as well as multi-lingual signposts. History and tradition co-exist alongside modern industry and pop culture and, with a population of 2.30 million, Nagoya is ranked as one of Japan's three major metropolises. Despite its size, comparatively reasonable prices and a quiet townscape make Nagoya a comfortable city and leading destination for international students.

■ Course Outline

① Purposes of the Course

A course conducted mainly to improve students' Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture.

- [1] Acquisition of an advanced level of Japanese language ability (Japanese-Language Proficiency Test: N1)
- [2] Accurate understanding of Japan and Japanese culture
- [3] Acquisition and practice of basic research methods in each student's major field

② Features of the Course

This course provides Japanese Studies Program Students (NIKKENSEI) with a well-organized and systematic program.

1. Learning Japanese Language

NIKKENSEI are able to improve their Japanese in a course specially devised for NIKKENSEI.

NIKKENSEI have a great variety of chances to learn practical Japanese, for instance, through project work

2. Learning Japanese Culture

Each student is required to write a research paper in Japanese on a topic related to Japan. This is one of the best ways to learn Japanese culture. Concrete procedures are as follows:

After learning the fundamentals of writing a paper systematically, each student embarks upon a research paper in Japanese under the careful supervision of the course's academic advisors.

Presentation techniques in Japanese can be learned through presenting one's paper.

Students' papers are collected and published each year.

3. For Students Aiming for Graduate Studies

Those students aiming for graduate school are able to learn basic research methodology in their major fields through the following introductory lectures — Linguistics, Japanese Linguistics, Japanese Culture, Japanese Literature, International Relations.

③ Number of Students Admitted

20 students
(Recommended by embassy: 16
Recommended by the university: 4)

④ Eligibility/Prerequisites for Application

1. Those who have an intermediate or advanced level of Japanese language ability (Japanese–Language Proficiency Test: N2)
2. Those majoring in Japanese language, Japanese linguistics, Japanese literature, or Japanology (Japanese Studies)

⑤ Goals of Achievement

1. Advanced level of Japanese language ability (N1)
2. Accurate understanding of Japan and Japanese culture
3. Acquisition and practice of basic research methods in each student's major field

⑥ Course Duration

From October 1, 2017 to September 30, 2018
(Completion Ceremony is held in September)

⑦ Outline of Course Subjects

1) Required Subjects

1. Intermediate and Advanced Japanese: Language courses specially devised for NIKKENSEI / 490hrs a year

2. Research Paper / 72hrs a year

2) Subject for Intercultural Exchange

Project work: Field trip for the study of principal products of Aichi

3) Optional Subjects

Introductory Lectures

- [1]Linguistics I (autumn semester / 28hrs)
Linguistics II (spring semester / 28hrs)
- [2]Japanese Linguistics I (autumn semester / 28hrs)
Japanese Linguistics II (spring semester / 28hrs)
- [3]Japanese Culture I (autumn semester / 28hrs)
Japanese Culture II (spring semester / 28hrs)
- [4]International Relations I (autumn semester / 28hrs)
International Relations II (spring semester / 28hrs)
- [5]Japanese Literature I (autumn semester / 28hrs)
Japanese Literature II (spring semester / 28hrs)

General Education Subject

International Students and Japan (autumn semester / 30hrs)



⑧ Special Events

- October Bus Excursion (Kyoto & Nara)
- November Autumn Welcome Party for New International Students
- November Cooking & Tasting Japanese Foods
- February Enjoying *ume* flowers
- March One-day Study Tour
- May Spring Welcome Party for New International Students
- All Year Home Stay/Home Visit

⑨ Academic Guidance

- 1) Academic Advice
Two course coordinators advise students on academic issues as the need arises.
- 2) General Advice
An international student advisor advises students on issues regarding life in Japan as the need arises.

⑩ Conditions for Completion of the Course

A certificate of completion of the program is awarded to students who have completed all of the required subjects.



■ Housing

(1) Foreign Students House (35 min. by subway)

Address: 2-23-1 Tosei-cho, Showa-ku, Nagoya
466-0026
Tel: +81-(0)52-853-2901

Concrete-reinforced 3-storey residence:

49 rooms for single persons (12.5m²)

5 rooms for couples (35m²)

2 rooms for families (50m²)

Each room is furnished with a bed, wardrobe, desk, chair, bookshelf, air-conditioner, refrigerator, shoe box.

Facilities: Reading room, lounge, kitchens, bath and toilet, laundry room, Japanese-style room, office.

(2) International Residence Higashiyama (on campus)

Address: 1 Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya
464-0814
Tel: +81-(0)52-789-2197

Concrete-reinforced 6, 7 and 8-storey building and

2-story administration building:

95 rooms for single persons (16m²)

25 rooms for couples (34m²)

Each room is furnished with a kitchenette, unit bath, bed, wardrobe, closet, desk, chair, air-conditioner, refrigerator and shoe box.

Facilities: Lounge, Reading room, meeting room, Japanese-style room, laundry room, multi-purpose room, office.

(3) International Residence Yamate North (10min. on foot)

Address: 165 Takamine-cho Showa-ku, Nagoya 466-0811
Tel: +81-(0)52-835-5575

Concrete-reinforced 3-storey residence:

106 rooms (15m²)

Each room is furnished with a kitchenette, unit bath, bed, wardrobe, desk, student lamp, chair, air-conditioner, refrigerator, microwave, curtains and window screens.

Facilities: Multi-purpose room, laundry room, office, etc.

(4) International Residence Yamate South (10min. on foot)

Address: 165 Takamine-cho Showa-ku, Nagoya 466-0811
Tel: +81-(0)52-835-5575

Concrete-reinforced 7-storey residence:

112 rooms (7m²)

Each room is furnished with a bed, wardrobe, desk, student lamp, chair, air-conditioner, curtains and window screens.

Facilities: kitchen and dining room, refrigerator, microwave, bath and toilet, laundry room, etc.

(5) International Ohmeikan (10min. on foot)

Address: 165 Takamine-cho Showa-ku, Nagoya 466-0811
Tel: +81-(0)52-832-2736

Concrete-reinforced 9-storey residence:

60 rooms (13m²)

Each room is furnished with desk, chair, air-conditioner, bed, wardrobe, cabinet, multi-purpose table, bath and toilet, curtains and window screens.

Facilities: Multi-purpose room, laundry room, kitchen, living room, etc.

(6) Ishida Memorial International Residence Myoken (10 min. on foot)

Address: 40 Myoken-cho Showa-ku, Nagoya 466-0814
Tel: +81-(0)52-835-3332

Concrete-reinforced 5-storey residence:

93 rooms (15m²)

Each room is furnished with a kitchenette, unit bath, bed, wardrobe, desk, student lamp, chair, air-conditioner, refrigerator, microwave, curtains and window screens.

Facilities: Multi-purpose room, laundry room, office, etc.

■ Alumni Follow-up

After completing the course, some alumni entered graduate schools of Nagoya university and have become professors of this university.

■ Contact Information

Student Exchange Division, Education and International Affairs Department, Nagoya University

Address:

Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601 JAPAN

Tel: +81-(0)52-789-2198

Fax: +81-(0)52-789-5100

E-Mail: iess@adm.nagoya-u.ac.jp

Home Page:

Nagoya University

<http://en.nagoya-u.ac.jp/>

International Language Center

<http://jp.ilc.iee.nagoya-u.ac.jp/en/>

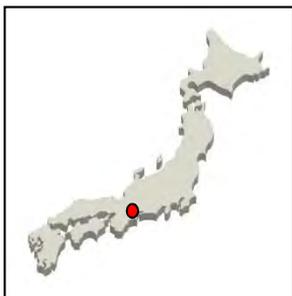
Academic advisors' e-mail addresses:

Momiyama Yosuke

j46083a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

Ukiba Masachika

j46084a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp



三重大学 (三重県)



コースの特色

- * 将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指している人のためのコースです。
- * 自分のレベルに合わせて、中級後半から上級レベルの日本語を集中的に学習します。
- * 自分の専門分野の研究を進めるために、それぞれ指導教員を決めて個別指導を受けて、基礎的な研究方法を学ぶことができます。
- * 日本人および在日外国人・留学生との相互交流を通して、日本文化や異文化への理解を深めることができます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

◆三重大学は総合大学で、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部があります。また、大学院は地域イノベーション学研究科を加えた6研究科があります。キャンパスは、津市にあります。自然環境に恵まれ、キャンパスのすぐ東側には海岸の波が打ち寄せ、北西には鈴鹿の山が連なります。

◆学生数・教員数：

学部学生数：6,083名

大学院生数：1,169名

教員数：769名

外国人留学生数：293名(31カ国)

<2016年5月1日現在>

◆環境先進大学：

三重大学は世界一の環境先進大学を目指しています。

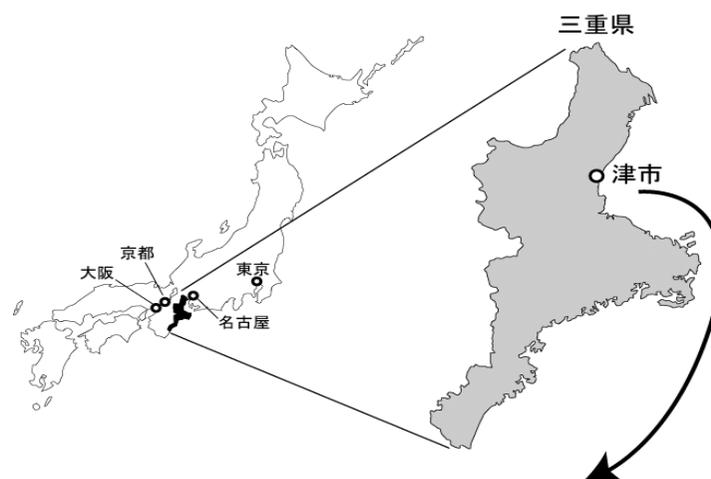
② 国際交流の実績

◆三重大学は、外国の111大学・機関と、大学間または学部間の学術交流協定を結んでいます。これらの大学とは、教員・学生の交流、学術情報の交換などを行っています。

<2016年9月20日現在>

③ 留学生及び日本語・日本文化研修留学生の受け入れ実績 (大学間協定に基づく受け入れを含む)：

	留学生	日研生
2014年度	286名	5名
2015年度	312名	5名
2016年度	293名	4名



国際交流センター (総合研究棟Ⅱ)

④ 地域の紹介

◆津市は、三重県の県庁所在地です。人口は約29万人、温暖な気候で暮らしやすいところです。交通も便利で、大阪へのアクセスは約1時間半、京都へは約2時間、東京へも約3時間です。

◆三重県は、歴史や文学・国学の豊かなところです。すでに8世紀には『万葉集』の詩歌にうたわれ、多くの小説の舞台となりました。三島由紀夫が小説『潮騒』に描いた神島も、ここ三重県にあります。俳句を詠んだ松尾芭蕉は現在の三重県の地に生まれ、「文学の神様」と呼ばれる横光利一も中学時代を三重県で過ごしました。

◆県内には多くの史跡や名勝があり、観光客もたくさん訪れます。伊勢神宮を中心とした歴史的建造物、古い宿場町や歴史街道も残っています。また、熊野古道は、2004年7月に世界遺産に登録されました。

◆他方、県内にある鈴鹿サーキットは、「日本のモータースポーツの聖地」と言われてきました。F1日本グランプリが開かれることにより、世界各国から多くのファンが集まります。

■コースの概要

◆コース名

三重大学国際交流センター

日本語・日本文化研修コース

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。

② コースの特色

●将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指している人のためのコースです。

●自分のレベルに合わせて、中級後半から上級レベルの日本語を集中的に学習します。

●自分の専門分野の研究を進めるために、それぞれ指導教員を決めて個別指導を受けて、基礎的な研究方法を学ぶことができます。

●日本人および在日外国人・留学生との相互交流を通して、日本文化や異文化への理解を深めることができます。

③ 受入定員

5名（大使館推薦3名、大学推薦2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

次の(1)と(2)の両方の条件を満たすこと。

(1) 本国の4年制大学において、日本語・日本語教育・日本文化関係を専攻している人（2年生以上）。

(2) 日本語能力試験N2以上か、それに相当する日本語力がある人（語彙を約4,000～6,000語、漢字を約600～800字以上、既に習得している人）。

⑤ 達成目標

専門分野及び日本語研究を通して、母国と日本のかけはしとなる学生の育成。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日

コース前半（10月～3月）

<日本語・日本文化研修期間>

・習得レベルに応じて、日本語を集中的に学習します。

・授業や見学・研修旅行を通して、日本の社会や文化、三重地域の歴史や伝統文化を学びます。

コース後半（4月～9月）

<専門研究期間>

・上のレベルの日本語・日本文化の学習を続けます。
・自分の専門分野について、指導教員による個人指導を受けながら、基礎的な研究方法を学びます。そして、研究レポートをまとめます。

⑦ 研修科目の概要

このコースに入ったら、まず日本語レベル判定試験を受けます。その結果により中級Ⅱレベルと上級レベルにわかれます。

各レベルの目標

<中級Ⅱ>

大学教育を受けるための高度な読解力、聴解力、文章表現力等をつけます。

語彙数： 約6,000～8,000語

漢字数： 約1,000～1,500字

<上級>

専門分野で研究を行うために必要な、高度な日本語力をつけます。

語彙数： 約8,000～10,000語

漢字数： 約1,500～2,000字

中級Ⅱの必修科目

《文法・読解》

主な目標：中・上級レベルの表現文型を体系的に学び、運用する力を身につける。

《読解・作文》

主な目標：大学の専門分野の学習への橋渡しとして、高度な文章を総合的に読解できる力をつける。

《聴解・会話》

主な目標：映画・アニメーション・ドラマ等の視聴を通して、生の日本語を聞き取り、意見交換を通して聴解・会話力を高める。

《日本語・日本文化演習》 ※

主な目標：自分の専門分野に関する研究を進め、研究レポートをまとめるための指導を受ける。

《三重の社会と文化》

主な目標：日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して理解し、楽しむ。

上級の必修科目

《上級総合日本語1》

主な目標：論文の読解を通して学術的な文章の基礎を学ぶ。また、実際の調査活動を通して小論文の作成方法を学ぶ。

《上級総合日本語2》

主な目標：敬語、ビジネス日本語等を通して、より実践的な日本語運用力を高める。

《日本語・日本文化演習》 ※

主な目標：自分の専門分野に関する研究を進め、研究レポートをまとめるための指導を受ける。

《三重の社会と文化》

主な目標：日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して理解し、楽しむ。

※日本語・日本文化演習は日研生のみを対象とする授業科目です。日本語で授業を行います。

選択科目

《文字・語彙》

主な目標：漢字の学習を通して、読解・作文など総合的な応用力を高める。

《日本事情》

主な目標：日本の社会や文化、国民性について、様々なテーマ（メディアなど）を通じて、日本人学生と共に考えます。

* 上級レベルの人は中級Ⅱの授業科目を、中級Ⅱレベルの人は中級Ⅰの授業科目を、選択して受講することもできます。合計7科目を履修します。

* これらの国際交流センターの科目の他に、5学部の科目を選択し受講することもできます。

⑧ 年間行事

- 10月 開講式
- 12月 国際交流イベント
- 5月 研究の中間発表
- 8月 研究の最終発表
- 9月 研究レポート提出(中旬)
修了判定・修了式(中旬)



⑨ 指導体制

指導教員：国際交流センター専任教員 1名
国際交流センター兼務教員 2名
協力教員：国際交流センター非常勤講師 5名
協力学部：全学部（5学部）

指導教員の主な専門分野

福岡 昌子(教授)：日本語教育、日本語学(音声)、第二言語習得論
松岡 知津子(准教授)：日本語教育、日本語学(文法)
栗田 聡子(准教授)：メディア心理学

<http://www.cie.mie-u.ac.jp/about/staff/index.html>

◆その他学習支援体制

教員のオフィス・アワー

センター専任教員は、それぞれ週2時間半のオフィス・アワーを設けています。その時間に各教員研究室を訪れば、日本語の学習に関するわからないことや、いろいろな悩みなど、自由に相談することができます。別の時間を予約することもできます。

日本語学習サポート・プログラム(てらこやサークル)

日本語を勉強している留学生に、日本人学生のボランティアを紹介しています。お互いに都合のよい時間を選んで会い、授業で習った日本語を使って会話の練習をしたり、日本語のまちがいを見てもらったりします。

コンピューター室の利用

国際交流センターのコンピューター室には、最新のパソコンを備え、CALLシステムが導入されています。留学生には、ユーザー・アカウントが発行され、授業以外でも、インターネットやレポート作成などに利用することができます。

e-ラーニングブース

この部屋は、日本語・日本文化研修生を含む国際交流センター所属の留学生が使用できる部屋です。コンピューターが7台設置され、学生たちは自由な時間に自習したり、自分の研究を進めたりしています。

セカンド・ホーム(ホストファミリー)プログラム

留学生は、週末や休日と一緒に楽しく過ごすためのホスト・ファミリーをもつことができます。

留学生と日本人学生との交流サークル活動(てらこやサークル)

パーティやスポーツや買い物、外食、その他、さまざまな活動を共にし、友情を育んでいます。

⑩ コースの修了要件

*コースの修了にあたっては、各レベルの必修科目を受講し、日本語による口頭試問、論文発表会を行い、優秀な成績を修めた者については修了証書を発行します。

成績判定にあたっては、国際交流センター教員による成績会議で統合的に判断されます。

*母国の大学で単位の認められる人には、成績証明書を発行します。

■宿 舎

大学の近くには、各種設備の完備した「外国人留学生会館」(単身室：30室月額¥5,900、夫婦室：5室、月額¥11,900)「外国人留学生寄宿舎」(単身室：52室月額¥13,000、29室月額¥29,000、4人部屋・女子のみ：8室月額¥6,500、シェアルーム：14室月額¥18,000)、「国際女子学生寄宿舎」(留学生用単身室：25室月額¥5,900)があります。日本語・日本文化研修留学生は、このいずれかで入居しています。

※日本語・日本文化研修留学生の宿舎利用実績

2014年度 5名
2015年度 5名
2016年度 4名

■修了生へのフォローアップ

メーリングリストを活用し、修了生の修了後の情報収集を行っています。

■問合せ先

担当係：三重大学学術情報部国際交流チーム
所在地：

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL：+81-59-231-9721

FAX：+81-59-231-5692

E-mail：koryu@ab.mie-u.ac.jp

三重大学国際交流センターホームページ

<http://www.cie.mie-u.ac.jp/>

三重大学ホームページ

<http://www.mie-u.ac.jp/>

日研生ホームページ

<http://www.mie-u.ac.jp/international/studyabroad/prospective/types-procedures/government/japanese-studies.html>



▲三重大学キャンパスマップ



Mie University (Mie)



Aims and Features of the Course

- * This course is for international students who intend to do research work on Japan or on the Japanese language in the future.
- * The intensive study of upper intermediate and advanced levels of Japanese in appropriate classes
- * To acquire basic research methods in one's major field of study with the assistance of academic advisors
- * To gain cross-cultural understanding through various experiences with Japanese and international students/ residents in the local community

◇ University Overview

① Outline of University

◆ Mie University consists of five undergraduate faculties (Humanities, Law and Economics/ Education/ Medicine/ Engineering/ Bioresources) and six graduate schools including the Graduate School of Regional Innovation studies. The campus is located in Tsu city, which is blessed with an excellent natural environment facing the beach on the east and the Suzuka Mountains to the north-west.

◆ Number of Students and Staff

Number of Undergraduates	6,083
Number of Graduate Students	1,169
Number of Teaching Staff	769
Number of International Students	293
(from 31 countries, as of May 1, 2016)	

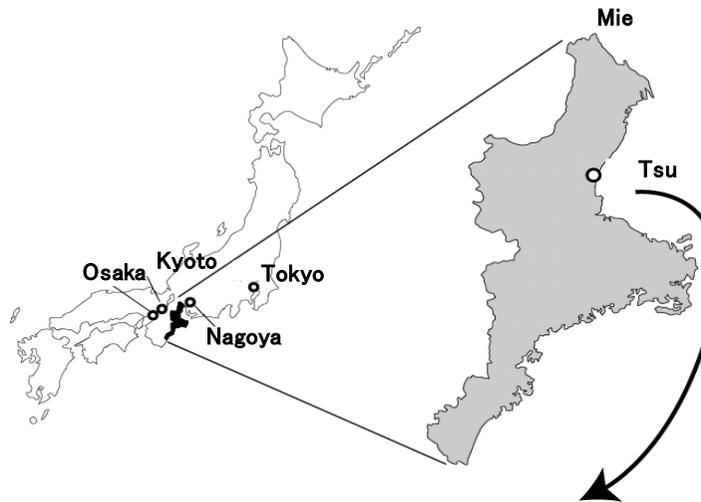
◆ The already environmentally advanced Mie University seeks to establish itself as the most environmentally advanced university in the world.

② International Exchanges (as of September 20, 2016)

Mie University has partner-university or partner-faculty academic exchange agreements with 111 Institutions for the advancement of the exchange of students, researchers, and academic information.

③ Number of (1) International Students and (2) Students in The Japanese Language and Culture Studies Course (including students from overseas institutions with exchange agreements)

Year 2014:	(1) 286	(2) 5 Students
Year 2015:	(1) 312	(2) 5 Students
Year 2016:	(1) 293	(2) 4 Students



Center for International Education and Research
(University Research Hall II)

④ Around University

◆ Tsu city is the prefectural capital of Mie prefecture with a population of 290,000. It is comfortable to live in with a mild climate throughout the year. It is convenient as well, taking one and a half hours to Osaka, two hours to Kyoto and three hours to Tokyo.

◆ Mie prefecture is known for its rich history and culture. Even a poem from *Manyoshu*, an anthology of poetry, compiled as early as the 8th century referred to Mie. *Shiosai*, a novel written by Yukio Mishima, is set in Kamijima Island of Mie. Matsuo Basho, a great haiku poet, was born in this district and Riichi Yokomitsu, known as the "God of Literature," spent his junior high school days here.

◆ Mie is also known for its rich historical spots and resort areas. Historical architectures such as the Ise Shrine, old towns, and streets have been well preserved. *Kumano-kodo* (the ancient road) was registered as a World Heritage Site in July, 2004.

◆ The Suzuka Circuit is referred to as the "Holy place of Japanese motorsports" and the site of the Japanese Formula 1 Grand Prix. This event attracts fans from all over the world.

◇ Course Overview

◆ Name of the Course

Japanese Language and Culture Studies Course (JLCS) at the Center for International Education and Research (CIER), Mie University

① Objectives of Course

The primary objective of the course is to teach students about Japanese society and culture. A secondary objective is to improve students' Japanese language proficiency.

② Course Features

- *This course is designed for individuals who plan to go on to conduct research or work in a field related to Japan or the Japanese language.
- *Students will engage in intensive Japanese language study according to their respective proficiency levels, from upper-intermediate to advanced.
- *Each student is assigned an academic advisor and receives personalized tutoring in basic research methods, aimed at helping to further advance research in his/her field of specialization.
- *Through interaction with Japanese students, foreign nationals living in Japan, and other international students, course participants will gain deeper understanding of the Japanese and other cultures.

③ Number of students to be accepted: 5

Embassy Recommended Student: 3

University Recommended Student: 2

④ Qualifications and Conditions for Application

Should meet both of the following conditions:

- (1) Undergraduate students (in the second year or above) at a home institution who major in Japanese language, education and culture.
- (2) Students who have passed the Japanese Language Proficiency Test Level 2 or have the ability equivalent to it (Those who have mastered 4,000 to 6,000 words, 600 to 800 Kanji or more.).

⑤ Course Goal

Developing individuals who, as a result of studying the Japanese language and their specialist fields, are equipped to build bridges between their respective home countries and Japan.

⑥ Duration: From October 1, 2017 to September 30, 2018

The first half of the course (October – March)

<Study Japanese Language and Culture>

- Students study the Japanese language in appropriate classes.
- Students participate in field trips to the local historical/cultural spots and other places of interest.

The latter half of the course (April – September)

<Studies in Major Fields>

- Students study an upper level of Japanese language and culture.
- Students work with academic advisors and write a research report in Japanese.

⑦ Outline of Classes

Enrollment in CIER Classes

First of all, new students in this program take a placement test. Students are then placed either in an advanced course or an upper intermediate course.

Goals of Each Course

<Upper Intermediate Course>

Acquire a high level of reading/ listening comprehension and writing ability necessary for university education.

Vocabulary: Approx. 6,000 – 8,000 words

Kanji: Approx. 1,000 – 1,500 characters

<Advanced Course>

Acquire a high level of Japanese language ability necessary for studies in major fields.

Vocabulary: Approx. 8,000 – 10,000 words

Kanji: Approx. 1,500 – 2,000 characters

Compulsory Classes in the Upper Intermediate Course

Grammar and Reading

Goals: Study intermediate and advanced levels of expression patterns systematically and acquire the ability to use them properly.

Reading and Writing

Goals: Acquire the ability to read advanced academic writing as preparation for study in one's major field.

Listening and Conversation

Goals: Improve the listening and conversational ability by learning real Japanese through movies, animation and drama, and through active conversation exchanges with classmates.

Japanese & Culture Seminar*

Goals: Take tutorials from academic advisors to study in one's major field and to write a research report in Japanese.

The Society and Culture of Mie

Goals: Learn and enjoy the social/ cultural environment of Japan and Mie prefecture through field studies.

Compulsory Classes in the Advanced Course

Advanced Total Japanese 1

Goals: Read journal articles to study the basis of academic writing. Study how to write a research paper.

Advanced Total Japanese 2

Goals: Enhance practical Japanese proficiency by learning polite expression, business Japanese and so on.

Japanese & Culture Seminar*

Goals: Take tutorials from academic advisors for studying in one's major field and for writing a research report in Japanese.

The Society and Culture of Mie

Goals: Learn and enjoy the social/ cultural environment of Japan and Mie prefecture through field studies.

*Japanese & Culture Seminar in both Advanced Course and Upper Intermediate Course are for the students in the Japanese Studies Program. The classes are held in Japanese.

Electives for Upper Intermediate and Advanced Courses

Character/ Vocabulary

Goals: Comprehensive improvement of reading and writing through learning Kanji.

Japanese Culture & Society

Goals: Considering and discussing with Japanese students various themes regarding Japanese society, culture, and national character (such as media).

*Students who are assessed as advanced level can take upper intermediate classes and intermediate classes are available for those in at upper intermediate level as needed (Course requirement: 7 classes per semester).

*In addition to these CIER courses, you may also enroll in classes offered at the five faculties (Humanities, Law and Economics/ Education/ Medicine/ Engineering/ Bioresources).

⑧ CIER Events

Oct: Opening Ceremony Activities
Dec: International Exchange Month
May: Review of the first six months of study meeting
Aug: Final Presentation Report
Sep: Submit Final Report (Mid Sep.)
Closing Ceremony (Mid Sep.)



⑨ Teaching Staff

Teaching Staff:
One CIER faculty member
Two CIER concurrently serving faculty members
Supporting Teaching Staff:
Five CIER part-time instructors
Supporting Faculties:
Five undergraduate faculties (Humanities, Education, Medicine, Engineering and Bioresources)

Full-time CIER Faculty Members and their Research Fields

Dr. Masako Fukuoka (Professor):
TJFL, Japanese Linguistics (Phonetics),
second language acquisition
Dr. Chizuko Matsuoka (Associate Prof.):
TJFL, Japanese Linguistics (Grammar)
Dr. Satoko Kurita (Associate Prof.):
Media Psychology
*TJFL= Teaching Japanese as a Foreign Language

For further information:

<http://www.cie.mie-u.ac.jp/en/cier/about/staff/>

◆ Study Support Programs

Office Hours of Teaching Staff

The four CIER faculty members have 2.5 office hours a week. Anyone who has questions on Japanese classes or has problems is encouraged to visit. You can also call for an appointment to meet at another time.

Japanese Language Study Support Program (Terakoya)

CIER introduces Japanese student volunteers to international students who are taking Japanese language courses at CIER. Volunteers help international students practice what they have learned in classes. An international student pairs with a Japanese student.

Computers

Latest model computers with CALL system are available in the computer room of CIER for all students. Besides using in classes, all students can use computers for the internet and to write papers with a provided user account.

E-Learning Booths

There are 7 computers for CIER and JLC students where one can spend time freely for study or research.

Second Home (host family) Program

International students may apply to have a host family to visit and to have fun with on weekends and holidays.

Multi-cultural Association For Fun (Terakoya)

International and Japanese students share time on/ off campus partying, sporting, shopping, eating out, studying and more.

⑩ Certificate of Completion and Credit Transfer

*Certificates of completion will be issued for those who have successfully completed the course requirements including both oral interview and paper presentation with excellent result. Judgment will be made in the evaluation meeting by the teaching members.

*Academic transcripts will be issued for those who can transfer credits to their home universities.

◆ Accommodation

University Foreign Student's House (gender-mixed, 30 single rooms: 5,900 JPY per month, and 5 rooms for married couples: 11,900 JPY per month), *Foreign Student's Dormitory* (gender-mixed, 52 single rooms: 13,000 JPY per

month, 29 single rooms 29,000 JPY per month, 8 rooms for 4 persons: 6,500 JPY per month per person and 14 sharing rooms for 4 persons: 18,000 per month per person) and *Women's Dormitory for International Students* (25 single rooms: approx. 5,900 JPY allocated for international students) offer adequate housing for students in this program.

*Students lived in the dormitories in this program
Year 2014- 5 Students
Year 2015- 5 Students
Year 2016- 4 Students

◆ Follow-up for Graduates

Utilizing our mailing list, we gather information on the progress and achievements of those who have graduated from this course.

◆ For Further Inquiry

International Relations Office, Mie University
Address: 1577 Kurimamachiya-cho, Tsu city, Mie,
514-8507 JAPAN
Phone: +81-59-231-9721
Fax: +81-59-231-5692
E-mail: koryu@ab.mie-u.ac.jp

CIER, Mie University

<http://www.cie.mie-u.ac.jp/>

Mie University

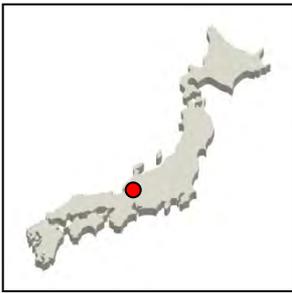
<http://www.mie-u.ac.jp/>

JLCS Course

<http://www.mie-u.ac.jp/international/studyabroad/prospective/types-procedures/government/japanese-studies.html>



▲ Campus Map of Mie University



京都大学 (京都府)



京都大学日本語・日本文化研修プログラムは、日本の伝統的文化や現代社会について理解を深め、京都の地域性を生かした実地体験を交えながら、多様な側面から日本を考える機会を提供します。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 京都大学は1897年の開学以来個性的でアカデミックな学風を打ちたて、現在もその精神は健在である。今日では、10学部、18大学院研究科、15附置研究所・研究拠点、16の教育研究施設等および図書館、病院を有する日本有数の総合大学として、学術・文化の発展に貢献している。

2) 京都大学の教員数は、2016年5月1日現在2,757名であり、13,511名の学部学生、9,351名の大学院生が、吉田、宇治、桂の3キャンパスに分かれて勉学、研究に励んでいる。

教授	准教授	講師	助教
1,017人	794人	156人	788人

(2016年5月1日現在)

② 国際交流の実績

京都大学では2016年5月1日現在、106ヶ国・地域からの、2,091名の留学生が学んでいる。国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターはこれらの学生の勉学・研究を、教育・生活の面から支援している。

京都大学は、国際交流の拠点大学として53ヶ国・地域・機関の146大学4大学群8機関と大学間協定を提携しながら、学術国際交流を推進している(2016年5月1日現在)。部局間学術交流協定を締結している機関数も755に上り、日常的に学術国際交流が可能な環境が整備されている。これらの機関からの交換留学生の受入れや日本人学生の海外留学を推進しつつ、世界的な視野で考え、行動できる学生の養成に大学全体として力を入れている。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 2,091人、日本語・日本文化研修留学生 21人
2015年：留学生数 1,881人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2014年：留学生数 1,779人、日本語・日本文化研修留学生 19人

④ 地域の特徴

京都は美しい自然に恵まれ、千年有余の歴史と豊かな伝統を誇る古都として世界的に有名であるが、自由闊達な精神を育んできた学術の街としても知られる。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

本プログラムは、将来日本をフィールドにしなが、教育・研究分野、外交分野、国際機関、多国籍企業等での人的交流のなめとなる役割を担うことが期待される人材を養成する京都大学のプログラムである。



↑ 百周年記念時計台 (吉田キャンパス本部構内)

自国で日本語や日本文化を学んでいる学生が、1年間京都大学に留学することによって、日本語だけでなく、多様な日本の文化や現代社会に接し、理解を深めるプログラムを提供する。

更に、世界各国からの学友との共学や、課題研究への取り組みを通して、世界を視野に入れた幅広い思考力と実践力を育成する。

③ 受入定員

22名 (大使館推薦 19名、大学推薦 3名)

④ 受講希望者の資格、条件等

1) 資格

3年程度の日本語学習歴があり、在籍大学で日本語・日本文化を専攻している学生であること。

2) 条件

京都大学の研修プログラムでは日本人学生とほぼ同等の内容の講義が、ナチュラルスピードの日本語で行われる。また修了論文作成の一環として文献を読み、研究・調査を行ない、発表することになっており、最終的に論文を執筆する。受入れ学生にはこれらを受講し、修了論文作成を行うことのできる日本語運用能力が求められる。具体的には、日本語能力試験 N2 レベル 合格以上の日本語能力を有することが条件となる。更に、研修プログラムを受講するための基礎的知識・学力を備えていることが望ましい。

⑤ 達成目標

このプログラムでは、日本社会・文化に対する知見を深め、同時に学術レベルの高度な日本語力の修得を到達目標とする。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年9月30日
修了式は9月を予定（2016年は9月）
第Ⅰ期：10月～3月、第Ⅱ期：4月～9月

⑦ 研修科目の概要（修了に必要な総時間数：600時間）

日本語・日本文化研修プログラム向けにデザインされている授業科目の履修、及び日本文化研修を受けることが必須であるが、選択科目として全学共通科目の中の推奨科目を日本人学生と共に受講する。各科目の概要は次の通りである。

1) 必須科目

a) 日本文化科目

選択必修科目（主対象は日本語・日本文化研修生、5科目中4科目を選択して履修）

・ **日本社会論（2単位・30時間・選択必修）**
日本社会における構造的特徴について概観し、集団主義と個人主義に焦点を当てながら、企業、教育、家庭におけるその現れについていじめ問題などを切り口に考える。

・ **現代日本社会の諸問題（2単位・30時間・選択必修）**

少子・高齢化、晩婚化、未婚化、ジェンダー論、雇用の在り方や若年層の社会参加、格差社会などの現代社会問題について考察しながら、日本社会に対する理解を深める。



↑ 吉田南キャンパス

・ **日本の経済（2単位・30時間・選択必修）**

日本経済の歩みについて時代区分に沿って概観した上で、現代の制度の在り方やグローバル社会におけるあり方について考える。

・ **日本の法と政治（2単位・30時間・選択必修）**

日本における法と政治の歴史的発展及び現代の政党政治、選挙制度などの構造的特徴について学ぶ。更に、民主主義や人権問題などを例に日本社会における政治思想・法意識について考察する。

・ **日本の歴史と文化（2単位・30時間・選択必修）**

日本の古代・中世の歴史と文化を概観し、日本の文学、街づくりなどにおけるそれらの反映について考える。

b) 日本語科目（修了に必要な単位・時間数：14単位、210時間）

b-1) 必修科目（対象は日本語・日本文化研修生のみ）

・ **日本語概論（2単位・30時間・必修）**

外的事象の把握・表現の仕組みとしての日本語の文法体系を考察する。

・ **アカデミック・リーディング（2単位・30時間・必修）**

学術的且つ高度な内容のテキストを読みながら、読解力を伸ばしていく。更に、内容把握を通して日本理解を深める。

・ **アカデミック・ライティングⅠ・Ⅱ（各学期1科目、合計4単位・60時間・必修）**

論文・学術的レポートを日本語で書く上で必要な知識・技能を身に付けながら、実践的練習を行う。

・ **アカデミック・プレゼンテーションⅠ・Ⅱ（各学期1科目、合計4単位・60時間・必修）**

発音練習なども取り入れつつ、自分の考えを論理的に述べるスキルを習得して行く。

b-2) 選択必修科目（2科目中1科目を選択して履修）

・ **日本語の歴史（2単位・30時間・選択必修、対象は日本語・日本文化研修生のみ）**

日本語の歴史的な変遷を概観し、現代日本語がどのようにして現在の姿になったかを考える。



↑ 初代総長木下廣次先生の言葉

・ **日本語教育演習（2単位・30時間・選択必修、日研究生及び文学部・文学研究科の学生を対象とする）**

文学部・文学研究科の学生と共に混合グループを形成し、誤用が起きやすいとされている日本語学習項目を選択し、分析しながら、それらの教授方法について学ぶ。

c) 修了研究論文作成に関わる科目
（修了に必要な単位・時間数：4単位、60時間）

・ **論文作成演習Ⅰ・Ⅱ（各学期1科目、合計4単位・60時間・必修、対象は日本語・日本文化研修生のみ、各学期3クラスずつ開講）**

1年間の日本語・日本文化研修プログラムを通して各自が自分のテーマを持ち、テーマに沿った調査・研究を行い、修了論文としてまとめ上げ、提出する。

2) その他の講義、選択科目等

・ **選択科目（京都大学学部学生と共に学ぶ科目、各学期2科目を選択して履修する。合計4科目：8単位、120時間）**
京都大学全学共通科目の中から日本語・日本文化研修生用に選定された推奨科目より選択して受講する。

文学、言語、教育、法・政治、歴史、社会といった諸分野の豊富な選択肢の中からそれぞれの研究テーマや関心に沿って選択して受講する。

3) 日本文化研修 (90時間、必修、対象は日本語・日本文化研修生のみ)

日本文化の特質や歴史的変遷を理解することを目的に日本語・日本文化研修生のみを対象とした日本文化研修を行う。

⑧ 年間行事

2016-2017の実施例の第一期分 (2017-2018の学年暦も上記とほぼ同様)。

9月30日 開講式

10月3日～2月7日 第Ⅰ期授業

11月9日 裁判所見学・裁判傍聴

11月21日 和菓子作り

11月30日 奈良見学

12月上旬 放送局見学 (予定)

12月14日 能楽鑑賞会

2月13日～14日 実地見学旅行

4月10日～8月4日 第Ⅱ期授業

8月5日～9月中旬

修了論文仕上げ期間

9月中旬 修了式



↑ 五山送り火 (京都、夏の行事の一つ)

⑨ 指導体制

1) 日本語・日本文化研修生は京都大学国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターの科目等履修生 (予定) として在籍する。

2) 日本語・日本文化研修生の指導は日本語・日本文化教育センターの教員を中心に担当する。学生の自国大学の専門分野に関する課題についても教員数名が個別指導にあたり、修了論文を作成し、帰国後も継続してその分野の研究を進めることのできる体制を組んでいる。

プログラム責任者:

ルチラ パリハワダナ (国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター・教授・専門: 日本語学・日本語教育学)

湯川 志貴子 (国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター・准教授・専門: 日本古典文学)

その他日本語・日本文化教育センター専任教員数名が主として指導にあたる。

⑩ コースの修了要件

本プログラムに1年間在籍し、次のa)、b)、及びc)を満たした学生に対し、本プログラムの修了を認定し、修了証書を授与する。

a) 次の各分野の必修、選択必修及び選択科目から計34単位以上を修得すること。日本文化: 選択16単位、日本語: 必修12単位・選択2単位、論文作成演習: 必修4単位

b) 修了研究論文を提出し、審査に合格すること。(4単位)

c) 日本文化研修合計90時間に参加すること。

■ 宿 舎

すべての日本語・日本文化研修生は、京都大学国際交流会館おうばく分館(京都府宇治市)、みささぎ分館(京都府京都市山科区)等の留学生・外国人研究者用の寮に入居することができる。家賃は単身室で月11,900円(2016年10月現在)で、入居日は10月1日以降の平日、退去日は9月末から一週間前頃となっている。また、民間アパートを希望する学生は、京都市内のアパートを自分で探すこともできる。

家賃は月平均4万円程度であるが、入居の際には敷金・礼金を支払う制度があり、家賃1～3カ月分程度の費用が別に必要となることが多い。民間アパートに入居する場合は京都大学留学生住宅保証制度を利用することができる。2014年10月～2017年9月までの3年間における日本語・日本文化研修留学生の宿舎入居実績は59名中59名である。



↑ 京都大学国際交流会館みささぎ分館

■ 修了生へのフォローアップ

修了生に対し、日本の大学院への進学をサポート、必要に応じて就職・大学院進学等のための推薦を行っている。また、修了日研究生との日常的な交流を絶やさないように努めており、メーリングリストの更新、メールでの連絡を通じた近況把握・アドバイシングの実施、修了生が渡日した時や担当教員が協定校等を訪問する際に面会の機会を作るなどを行っている。

■ 問合せ先

京都大学国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター

住所: 〒606-8501京都市左京区吉田二本松町
担当事務: 教育推進・学生支援部国際教育交流課
Email: intlstudent@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Tel: +81 - (0) 75 - 753 - 5685

Fax: +81 - (0) 75 - 753 - 5680

URL: <http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/>

大学ホームページ: <http://www.kyoto-u.ac.jp>



KYOTO UNIVERSITY (KYOTO)



Kyoto University's 'Japanese Studies Program' offers students the opportunity to deepen their understandings on traditional culture and current social issues of Japan from various viewpoints, while offering opportunities to experience the rich culture of Kyoto.

■ University's Overview

① Characteristics and Overview of Kyoto University

1) Since its foundation in 1897, Kyoto University has built an academic atmosphere and spirit of individuality, and these ethos are kept alive until the present day. Currently, Kyoto University consists of 10 faculties, 18 graduate schools, 15 research institutes and more than 16 educational and research centers and facilities like libraries and a hospital, making it one of the largest-scale universities in Japan which has continuously contributed to the development of science and culture.

2) Number of Teaching Staff and Students

As of May 1, 2016, 2,757 teaching staff as well as 13,511 under graduate students and 9,351 graduate school students are engaged in academic pursuits at Yoshida, Uji and Katsura Campuses.

Professors	Associate Professors	Senior Lectures	Assistant Professors
1,017	794	156	788

② International Exchange

Presently (as of May 1 2016), 2,091 international students from 106 countries and regions are studying at Kyoto University. International students funded by the Japanese government or other scholarships as well as privately-financed students spend fruitful campus lives pursuing their respective goals. The Education Center for Japanese Language and Culture supports studies and research of these students from the aspects of both education and lifestyle.

Kyoto University promotes international academic exchange, affiliating with 146 universities, 4 university clusters and 8 institutes from 53 countries, regions and institutes. In addition, it has 755 partner faculties scattered all over the world. Through student exchange with these global partners, Kyoto University hopes to foster global minded young talent.

③ Number of International Students and MEXT Japanese Studies Students (JSS) for the past 3 years

2016 International Students: 2,091, JSS: 21

2015 International Students: 1,881, JSS: 19

2014 International Students: 1,779, JSS: 19

④ Characteristics of the Region

Kyoto is famous throughout the world as a city blessed with beautiful nature and as the former capital of Japan with a history longer than one millennium. Serving as the center of traditional culture in Japan, it has nourished a spirit of openness and broad-mindedness integrating innovation with its rich tradition.



↑ Clock Tower Centennial Hall (Yoshida Main Campus)

■ Course Outline

① Course Objective

As its first motive this course aims to provide lectures and training on Japanese culture studies, while providing similar opportunities to improve Japanese language skills.

② Characteristics of Japanese Studies Program

This one year program at Kyoto University offers students majoring in Japanese language and culture in their countries, the opportunity not only to study Japanese but also to get exposed to various aspects of its culture and contemporary society, and thereby deepen their understanding of Japan.

This program fosters young talent, who after returning to their respective countries, will carry out research, cultural exchange and social activities in fields concerning Japan, with global scale visions.

③ Number of Students to be Accepted: 22

(Embassy Recommended Students: 19, University Recommended Students: 3)

④ Conditions and Qualifications for the Acceptance of Students

1) Qualifications

Those who have studied Japanese language for more than three years and are majoring in Japanese language or culture at their home university.

2) Conditions

The lectures given in this program, are generally of the same level as the ones given for regular Japanese students, and are held in natural speed Japanese.

Students will read research materials, carry out surveys, conduct presentations and write an academic research paper using the Japanese language. Therefore, they are required to have sufficient Japanese ability to understand lectures and complete the research paper. A level equivalent to that of Japanese Language Proficiency Test N2 level is a prerequisite.

⑤ Goals of the Program

This program sets its goal in, 1) acquiring a specialized knowledge on Japanology, in addition to 2) an academically applicable advanced Japanese language ability.

⑥ **Duration of Program:** 2017.10.1 – 2018.9.30
Completion Ceremony will be held in September.
(similar to 2016)

⑦ Outline of the Program

(a minimum total of 600 hours of auditing is required)

1) Compulsory Courses

a) Japanese Culture Courses

Sub-compulsory Courses (Specially designed for JS Students, Audit Requirement: 4 out of 5 courses)

• Japanese Society (2 credits, 30 hours, semi-compulsory course)

After a brief introduction into the structural characteristics of the Japanese society this course will focus on group orientation and individualism and their effect in working places, schools and in family life.

• Various Issues in Japanese Society (2 credits, 30 hours, semi-compulsory course)

This course will take up critical issues in Japanese society such as declining birth rates, aging population, late marriages /declining marriage rates, gender issues, employment issues and unequal society, thereby deepening student's understanding of present-day Japanese society.

• Japanese Economy (2 credits, 30 hours, semi-compulsory course)

Overview of the history of Japanese economy and its financial system as well as Japan's position in the globalized world will be the main subjects of this course.

• Japanese Law and Politics (2 credits, 30 hours, semi-compulsory course)

This course provides an overview of the historical development of law and politics in Japan. Furthermore it takes up matters such as characteristics of party politics and the election system, in addition to ideological matters such as human rights and democracy.

• Japanese History and Culture (2 credits, 30 hours, semi-compulsory course)

After brief introductions into the culture of ancient times and middle ages, this course will look into the way culture is reflected in various aspects such as Japanese literature and urban development.

b) Japanese Language Courses (Required number of credits:14, Minimum total study hours: 210)

b-1) Compulsory Courses (courses offered only to JS students)

• Comprehensive Studies on Japanese (2 credits, 30 hours, compulsory)

This course will introduce the way in which the Japanese grammatical system works when perceiving and expressing external events.

• Academic Reading (2 credits, 30 hours, compulsory)

Through comprehensive academic reading practice students will acquire academically applicable reading skills.

• Academic Writing I • II (1 lecture per each term, total number of credits:4, total of study hours: 60, compulsory)

Through practical training students will acquire knowledge and skills essential for writing academic papers and reports.

• Academic Presentation I • (1 lecture per each term, total number of credits:4, total of study hours: 60, compulsory)

This course provides a training on methods of presenting arguments in a logical academic way. Oral skills will be developed through pronunciation and other practices.

b-2) Semi-compulsory Courses (minimum requirement: one out of two courses, courses offered only for JS students)

• Japanese Language History (2 credits, 30 hours, semi-compulsory)

Historical changes in the Japanese language will be outlined, and the process by which contemporary Japanese language was formed will be discussed.

• Seminar on Japanese Language Education (2 credits, 30 hours, semi-compulsory)

Together with Kyoto University Students studying at the Faculty of Letters and the Graduate School of Letters, students will analyze various Japanese structures frequently misused by Japanese language learners, thereby deepening their understandings of socio-cultural factors underlying their usages.

c) Courses Related to Completion Research Paper (Required number of credits:4, Minimum total study hours: 60)

Report Writing Seminar I • II

(1 course per semester, total number of credits:4, total number of study hours: 60, compulsory, courses offered only for JS students, 3 courses offered each term)

As part of this yearly course, each student decides his/her theme, conducts bibliographic survey and research, and submits an academic research report.

This course provides individual advice in proceeding with the research.



←Hands-on experience in Japanese culture

2) Other Courses and Elective Courses

Elective Courses (Courses taken together with undergraduate students of Kyoto University, minimum requirement: a total of 8 credits (two courses per term))

Students select the required number of courses out of more than 35 recommended courses for JS students, based on their research topics and personal interests. These courses are offered as Liberal Arts and Sciences Courses open to all Kyoto University undergraduate students. A wide variety of courses are provided in areas such as literature, language, education, law and politics, history and social studies.

3) Japanese Culture Training (90 hours of training, compulsory, provided only for JS students)

- a) For the better understanding of Japanese society and culture through theoretical study and real experiences, many classes are combined with on-site studies, such as Japanese law and courts, Japanese architecture and gardens, and Japanese art.
- b) Cultural experiences unique to Japan such as festivals, Noh and Kabuki theater performances, making Japanese rice cakes etc., that offer the opportunity to directly experience the local aspects of Kyoto will be arranged.
- c) In addition, a study tour of approximately two days will be held.

⑧ Annual Events and the Academic Calendar

The following is an example of some of the annual events held in the year 2016—2017 (events held on the first semester).

- 30 September Opening Ceremony
- 3 October~ 7 February First Semester
- 9 November A visit to the District Court
- 21 November Hands-on experience in making rice cakes
- 30 November Field Trip to Nara
- Early December A visit to Broadcasting Station
- 14 December Noh Drama
- 13~14 February Study Tour
- 10 April~ 4 August Second Semester
- 5 August~ Mid November Period for completing the Academic Research Paper
- Mid September Closing Ceremony

⑨ Guidance System

1) JS students will enroll as Credited Auditor Students at the Institute for Liberal Arts and Sciences.

2) Teaching staff of the Education Center for Japanese Language and Culture will be responsible for the majority of guidance. Individual guidance is provided so that students can write their thesis and continue their research even after they go back to their home university.

Chief adviser: Professor Ruchira Palihawadana
(Education Center for Japanese Language and Culture, Specialization: Japanese linguistics and Japanese language teaching)

Sub adviser: Associate Professor Shikiko Yukawa
(Education Center for Japanese Language and Culture, Specialization: Classical Japanese Literature)

In addition, few other full-time teaching staff at the Education Center for Japanese Language and Culture, where students will be affiliated will be in charge of guidance.

⑩ Requirements for Completion and Issuing Certificates of Completion

Certificates of Completion will be issued to students who complete this program successfully by

a) acquiring 34 credits from each of the compulsory, semi-compulsory and elective courses:

Japanese Culture; elective 16 credits, Japanese Language; compulsory 12 credits, elective 2 credits, Report Writing; compulsory 4 credits

b) Submitting the completion research paper and pass the assessment requirements.

c) Take the 90 hour Japanese Culture training.

Gion Festival, one of the three most renowned festivals in Japan →



■ Accommodation

The Japanese Studies Students are able to reside in Kyoto University Ohbaku (Uji city, Kyoto) or Misasagi (Yamashina-ku, Kyoto) International Houses. Rent for a single room is 11,900 yen per month (As of 2016.10). Those residing can move-in on any week day after the 1st of October and must leave around one week before the end of September. In the past three years (Oct. 2014 – Sep. 2017), 59 out of 59 Japanese Studies Students resided in the above mentioned International House.

Those who wish to move into a private accommodation in Kyoto city will need to find a room by themselves. Rent is on average around 40,000 yen, in addition to which, key money and a deposit will be required. These additional fees paid at the time of contract amounts to approximately 1–3 months' extra rent. Joint Guarantor service is available when renting private accommodation.

■ Follow-up Services

We provide students with necessary support in enrolling in graduate programs in Japan. Recommendation letters will be provided at request for employment and further education purposes. We take utmost care to be in contact with all students after completion by keeping contacts by e-mail and by meeting with them when they revisit Japan or when we visit their countries.

■ Further Contacts:

The Education Center for Japanese Language and Culture, Kyoto University
Address: Yoshida Nihonmatsucho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501, JAPAN

Contacts: International Education and Student Mobility Division, Education Promotion and Student Support Department

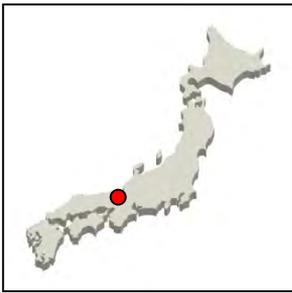
E-mail: intlstudent@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Tel: +81-(0)75-753-5685

Fax: +81-(0)75-753-5680

URL: <http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/>

Kyoto University home page: <http://www.kyoto-u.ac.jp>



京都教育大学 (京都府)



「体験しよう！京都」 Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education (EKYP at KUE)

■大学紹介

① 大学の特色および概要

京都教育大学は、1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校以来、141年の歴史と伝統をする大学です。

教員養成単科大学ですが、学部には、教育学、国語、社会、理科、美術、音楽、体育をはじめ、13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院には修士課程の教育学研究科と専門職学位課程の連合教職実践研究科という2つの研究科があります。

キャンパスの面積は14万㎡で、緑が多く自然に恵まれています。附属施設として、7つの附属学校、図書館、教育支援センター、教育資料館などがあります。



緑の美しいキャンパス
大学内の桜並木は3月末に満開になります

② 国際交流の実績

大学間交流協定締結数 7（中国、韓国、アメリカ、カナダ、ドイツ等）
コンソーシアム交流協定締結数 1（タイ）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数35人 日本語・日本文化研修留学生5人
2015年：留学生数47人 日本語・日本文化研修留学生7人
2014年：留学生数54人 日本語・日本文化研修留学生8人

④ 地域の特徴

京都は日本を代表する古都で、世界遺産に選ばれた多くの文化財、豊かな精神文化を有する街です。また、現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

大学のある伏見区は京都市の南部に位置しています。伏見は数々の歴史ドラマの舞台となった街です。とくに酒の産地として有名で、いまでも古い酒蔵が残っています。

大学のすぐ近くには、5月5日の端午の節句の発祥の地である藤森神社や、赤い鳥居が美しい伏見稲荷大社があります。

大学から京都の街の中心部までは電車で15分程度で、交通も大変便利です。

■コースの概要

① コースの特色「日本文化」

教育は文化であり、文化は教育によって継承されます。「体験しよう！京都」は、教育を切り口に日本を体験的に理解することを目的としたプログラムです。

大学での授業を受ける以外に、コミュニティ・ラーニングなどを通じて地域の人々と交流する機会をたくさん準備してします。日本語の実践力を向上させるとともに、教科書の中の日本とはちがう、自分なりの視点から日本に対する理解を深めることができます。

② コースの定員 12名（大使館推薦 10名、大学推薦等 2名）

③ 受講希望者の資格、条件等

- ・原則として、日本語・日本研究などを専攻する者
- ・日本留学試験「日本語」科目250点、日本語能力試験N3、もしくは同程度以上

④ 達成目標

<日本語>

終了時にCEFRまたはJFスタンダードB2に相当するレベル (CEFR: Common European Framework for Reference, JF: Japan Foundation)

<日本文化>

日本文化を理解するための、幅広く、ユニークな観点を獲得する

⑤ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日

※授業開始に間に合うよう、2017年9月末日までに来日してください。

※修了式は2018年9月下旬を予定しています。



修了式では学長から直接修了証を授与されます。

⑥ 研修科目の概要

授業はすべて日本語で行われます。

1) 必須科目

- ・世界の教育A 30時間
- ・世界の教育B 30時間
- ・日本語(3つのレベルから選択) 120時間
- ・本学学部生向けに開講されている科目のうち「文化・芸術」「日本語学・日本語教育学」「開発教育・国際教育」の各分野から選択した授業の履修

分野毎に60時間以上、合計180時間以上

シラバス <http://kyoumu.kyokyo-.ac.jp/jikanwari/index.html>

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・コミュニティ・ラーニング
- ボランティア活動やサークル活動に参加し、レポートを作成します。日本社会にゲストとしてではなく社会の一員として参加する体験を通じて、日本社会についての理解を深めることが目的です。

活動時間 30時間以上

3) その他の講義、選択科目等

授業科目以外に、地域との交流プログラムや京都市国際交流協会の国際理解プログラムPICNIKに参加することができます。地域の学校を訪問して自分の国の紹介します。また、京都市内の公立学校で、外国から来て日本語がわからない子どもたちを支援する、「学校通訳ボランティア事業」への登録の紹介も行っていきます。

⑦ 主な年間行事

- 11月 藤陵祭(留学生が屋台などを出店)
- 2月 国際交流実地見学研修
- 4月 個別研究中間発表会
- 8月 個別研究発表会
- 9月 修了式

この他にも、伝統文化体験や留学生会主催パーティー(年4回)があります。



国際交流実地見学研修(福井県)にて。

⑧ 指導体制

プログラム実施委員：中俣 尚己・浜田 麻里（国際交流委員会専門委員）

指導体制：研修生は教育学部に所属し、教育学部教員の指導を受けます。プログラム実施委員がプログラム履修全般の相談に対応します。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

以下の修了要件を満たした者には修了証書を授与します。

- (i) 必須科目（世界の教育60時間、日本語120時間、一般科目180時間以上）の単位修得
- (ii) コミュニティ・ラーニング（活動参加とレポート作成）
- (iii) 個別研究（発表とレポート作成）

■ 宿 舎

本学が管理する国際交流会館に入居することができます。

○家賃

・家賃（5,900円／月）＋共益費（2,500円／月）

入居時に保証金として20,000円が必要です。これは原則、帰国時に返金されます。

○宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備、給湯設備、バス・トイレ、ミニキッチン、家具類が備え付けられています。寝具は必要に応じてレンタル出来ます（約15,000円/年）

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近くにスーパーマーケット、病院、公園等、があります。大学まで徒歩で約15分、京都の中心まで約30分です。

■ 修了生へのフォローアップ

修了生は帰国後もFacebook（非公式）を使って連絡を取り合っています。また、指導教員はメールでさまざまな相談に応じています。

これまでの修了生のおよそ半分は、研究留学生として再来日しています。日本の大学院で学位を修得した後、母国の大学で教員として後輩を育てています。

残りの半分は、企業などに就職し、学んだ日本語を使って日本と母国の架け橋として活躍しています。

■ 問合せ先

○ 大学所在地

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

○ 担当部署

学生課学生支援グループ

○ 連絡先

TEL：+81-75-644-8159

FAX：+81-75-644-8169

E-mail: intel<AT>kyokyo-u.ac.jp

（<AT>を@に置き換えてください）

ホームページアドレス：

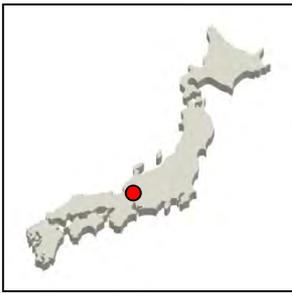
<http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/ehp/to-this/ekyp/>



そったくん

マスコットキャラクター そったくん

そったくんは、禅の教え「啐啄同時」に関係があります。雛鳥が外に出ようと殻を啄ぐ瞬間に母鳥が外からつつくことが大切なことから、教育全般のありかたについての教えになっています。そったくんは、教育者養成を目的とする京都教育大学を象徴化しています。



Kyoto University of Education (KYOTO)



The Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education (EKYP at KUE)

■ About Kyoto University of Education

1. University Features and History

Beginning in 1876 as Kyoto Prefectural Normal School, the Kyoto University of Education has been endowed with 141 years of history and tradition.

Although a college for teacher training, it is a comprehensive educational university with thirteen undergraduate departments, including Educational Science, Japanese Language, Social Studies, Science Education, Art Education, Music Education, and Physical Education. Our Graduate Schools offer two courses: the Graduate School's for master's degrees and the United Graduate School of Professional Teacher Education's course for special educational academic degrees.

The 140,000 square meters of campus is blessed with abundant natural greenery. The university has seven affiliated schools, a university library, the Educational Support Center, as well as the Museum of Education.



Beautiful campus of greenery
At the end of March, campus cherry trees are in full bloom.

2. International Exchange Record

Number of Inter-university exchange agreements: 8 (China, Korea, America, Canada, German, etc.).

Number of Consortium Exchange agreements: 1 (Thailand)

3. Number of Foreign Students (last three years)

Year	2014	2015	2016
International Students	54	47	35
Japanese Studies Students	8	7	5

4. Area Features

Kyoto City not only represents, as the old capital, Japanese traditional culture with its many World Heritage sites, cultural assets and rich spiritual culture, but also Japanese modern culture, with its famous Kyoto Station and Manga Museum. It is a city in which one can experience both historical and contemporary Japanese culture.

Just 15 minutes by train from the city center, the Kyoto University of Education campus is located in Fushimi Ward, the south of Kyoto City, the stage upon which many dramatic historical events took place. Particularly famous as an area of Japanese Sake production, old breweries still remain. Close to the campus are Fuji-no-Mori Shrine—birthplace of the season Boy's Day festival in May, and Fushimi Inari Shrine—for its many red gateways.

■ Program Outline

1. Course Features (Japanese Culture)

Education is culture, and culture is inherited through education. The Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education aims to provide an understanding of Japan through experience. Besides attending lectures, it provides many opportunities to experience communication with the people of the area through community learning and school visits. Along with improving one's Japanese language abilities, deepen your understanding of a Japan from a personal point of view, different than the one in a textbook.

2. Enrollment availability

12 students (10 Japanese Government (MEXT) Scholarship students and 2 students recommended by the universities)

3. Applicants Eligibility Qualifications and Conditions

- As a general rule, must be majoring in Japanese Language or Japanese studies
- Must have JLPT Level N3 or above; OR and EJU score for Japanese language 250 or above.

4. Expected Japanese language level at the end of the program

Japanese Language: Level comparable to CEFR or JF standard B2 level (CEFR: Common European Framework for Reference, JF: Japan Foundation)

Japanese Culture: To acquire a unique, broad viewpoint towards understanding of Japanese culture.

5. Course Period

October 1st, 2017 to September 30th, 2018.

- In order to make commencement of classes, arrival in Japan must be by the last day of September, 2017.

- Closing ceremonies are scheduled for September, 2018.



University President conferring certificates at Closing ceremonies

6. Course Outline:

All classes are conducted in Japanese.

1) Compulsory Subjects

- Education Around the World A 30 hours
- Education Around the World B 30 hours
- Japanese Language (selection from 3 levels) 120 hours
- Selection from classes for undergraduate students: Culture & Arts; Japanese Language Studies & Japanese Language Education; Development Education & international education (60 hours, or more, for each area, for a total of 180 hours or more)

Syllabi <http://kyoumu.kyokyo-u.ac.jp/jikanwari/index.html>

2) Participatory study tour and regional exchanges

- Community Learning

Participate in volunteer and club activities and write reports. Through participatory experience, not as a guest, but as a member, the aim is to deepen understanding of Japanese society.

(30 hours, or more of participation in activity)

3) Other Lectures and Electives

Students may also participate in community exchange programs and Program for Intercultural Nexus in Kyoto (PICNIK) organized by the Kyoto City International Foundation. They pay a visit to local schools and make a presentation about their home country. Registration is also promoted for the School Interpreter Program, in which the students serve as an interpreter between Japanese school teachers and newly arrived non-Japanese speaking children and their parents at local schools in Kyoto, on a voluntary basis.

7. Year's Main Extra-Curricular Activities:

November Toryo Festival (International Students cook and sell foods at food-stands)

February Over-night Study Tour

April Progress report of Individual Research

August Result Presentation of Individual Research

September Closing Ceremony

In addition, there is a traditional cultural experiences, and parties organized by the foreign students group (four per year), etc..



- Study tour

(-Fukui Prefecture)

8. Academic advising system:

Program Coordinating Committee: NAKAMATA Naoki and HAMADA Mari (Expert Panel of International Exchange Committee)

Academic advisors: Students are registered as a special research student of the Faculty of Education and each student has an academic advisor of that faculty. The Program Coordinating Committee deals with consultation of overall program completion.

9. Conditions for Course Completion and Issuance of Certificates:

- (i) Compulsory Subject Credits (Education around the World – 60 hours, Japanese Language – 120 hours, General Subjects – 180 hours or more)
- (ii) Community Learning (Activity Participation and Reports)
- (iii) Individual Research (presentations and submission of research paper)

■Accommodations

It is possible to live in the university's lodgings.

○ Monthly rent

- Rent (5,900 JPY/month) + Common service fee (2,500 JPY/month)

20,000 JPY are required when moving in this dormitory as a deposit. The deposit is refunded in principle when moving out

○ Facilities: Each room is equipped with an air conditioner/heater unit, a hot water system, a bath and toilet, simple kitchen and basic furnishings. Bedding can be rented as needed. (Approx. ¥15,000/year)

○ Information for Daily Life: A shopping mall, a hospital, and a park are close to the accommodations.

It takes about 15 minutes on foot to the Kyoto University of Education campus, and about 30 minutes by train to the center of the city.

■Follow-up for graduates

Students keep in touch with each other on the informal KUE International Facebook page. Consultation with one's advisor after completing one's research is by mail.

About one half of the students that complete their studies, return to Japan as research students. Following attainment of an academic degree, they return to their home countries and as educators countries to nurture others.

The remaining half, gain employment in business enterprises and using the Japanese language they have learned and are actively building bridges between Japan and their countries.

■Contact

Address: 1 Fukakusa Fujinomori-cho, Fushimi, Kyoto 6128522

Office: International Student Exchange Section

Phone: +81-75-644-8159

Fax: +81-75-644-8169

E-mail: intel<AT>kyokyo-u.ac.jp

Please replace <AT> with @

URL: <http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/ehp/to-this/ekyp/>



Mascot *Sotta-kun*

Sotta-kun represents the four-letter phrase, *sottakudoji*, which came from Zen philosophy. The phrase is a metaphorical representation of the collaboration between teachers and learners, and expresses the fundamental educational principle of supported autonomy development.



大阪大学 (大阪府)



学生一人一人へのていねいな指導・豊富な選択科目・目的に合わせて選べるコース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

大阪大学は、1931年に帝国大学として創設された伝統ある大学です。2007年10月、大阪外国語大学と統合し、新しい大阪大学となりました。学生の教育においては、ただ一つの専門分野の探求にとどまることなく、高度の専門性ととも、幅広い学際的視野を身につけた人材を育成することに力を注いでいます。

現在は、総合大学として、11の学部があり、そのほか16研究科、5附置研究所、附属図書館、附属病院、26を超える教育研究施設などが置かれています。学生数は約24,400名、教職員数は約6,400名です。

大阪大学には、吹田、豊中、箕面（みのお）の三つのキャンパスがあります。日研生プログラムは、箕面キャンパスにある日本語日本文化教育センター（CJLC）を中心として実施しています。

② 国際交流の実績

(2016年5月1日現在)

大学間交流協定数 110件
留学生数 2184名



箕面の滝

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 2184人
日本語・日本文化研修留学生 54人
2015年：留学生数 2094人
日本語・日本文化研修留学生 62人
2014年：留学生数 2012人
日本語・日本文化研修留学生 65人

④ 地域の特徴

箕面市は大阪府の北部、北摂と呼ばれる地域にあります。箕面キャンパスのある彩都地区は「国際文化公園都市」として、留学生を暖かく迎え入れ、「ホスト・ファミリー制度」などでの交流も発展しつつあります。付近には、紅葉の名所として知られる箕面の滝があります。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

★1対1に近いていねいな指導

学生には必ずひとりの先生がアドバイザーになります。アドバイザーは勉強や生活に対してアドバイスをするほか、毎週1時間、少人数制の授業をおこないます。その授業では、学生ひとりひとりに対して、研修テーマにあわせた指導をします。

★自由に選べるたくさんの授業

授業は週に100以上あり、すべて留学生のために準備されたものです。日本語能力を高める授業と、日本語・日本文化についての知識を身につける授業とがあります。学生はレベルや目的にあわせて自由に組み合わせて選ぶことができます。

★目的に合わせた二つのコース

このプログラムには二つのコースがあります。

○研究コース：授業での勉強のほかに、学生が自由にテーマを決めて、自分で研究をおこなうコースです。アドバイザーから、そのテーマの知識や研究方法の指導を受けることができます。コース修了時に、論文または研究レポートを完成させます。

○研修コース：授業での勉強のほかに、いろいろな研修に参加するコースです。アドバイザーの指導を受けながら、日本語の能力や技能を高め、実社会でも役に立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけます。コース修了時に、研修成果についてのレポートを完成させます。

③ 受入定員

60名（大使館推薦40名、大学推薦20名）

④ 受講希望者の資格、条件等

次の条件を満たす留学生在がこのコースの受講を希望することができます。

1. 渡日及び帰国時点で外国（日本国以外）の大学の学部在学中、日本語・日本文化に関する分野を専攻していること。
2. 日本語学習歴が2年以上あること。
3. 基本的な日本事情の知識を有すること。

⑤ 達成目標

1. 日本語能力別に開講される日本語実習科目を履修し、大学での研究や社会生活に必要な日本語能力を身につけること。
2. 日本語・日本文化に関する研究科目を履修し、様々な専門分野に関する幅広い知識と方法論を習得すること。
3. 研究・研修の成果について、日本語の論文・レポートを作成し、口頭発表できるようになること。

※ 日研生の多くは本プログラム修了時に日本語能力試験N1合格以上の日本語運用能力に到達しています。

⑥ 研修期間

2017年10月 ～ 2018年9月

※ 2017年9月下旬にオリエンテーションが始まりますので、それ以前に渡日してください。

⑦ 研修科目の概要

CJLCの授業は、秋学期・春学期どちらも15週あります。完全 Semester 制ですので、柔軟に授業を組み合わせることができます。授業はすべて日本語で行われます。ひとつの授業は90分間です。学期のはじめにプレースメントテストがあり、中級・中上級・上級のレベルに分けられます。

1. 必須科目

このプログラムの必須科目は3種類、専門演習と日本語実習科目、研究科目です。

★専門演習（JDR）

この授業は、ただひとつの必修の授業です。各学期1コマ（30時間）、学生ひとりひとりの研修テーマにあわせて、レポートや論文を作成するための指導をきめ細かくおこないます。これは日研生専用の授業で、大阪大学のプログラムの最大の特徴になっています。

★日本語実習科目（1学期あたり約60コマ）

日本語能力を高めるための授業です。中級・中上級・上級の3つのレベルにあわせて、少人数でおこなわれます。次の6種類の科目があります。

読解：主に「読む」能力を高めます。

聴解：主に「聞く」能力を高めます。

文章表現：主に「書く」能力を高めます。

口頭表現：主に「話す」能力を高めます。

文法・語彙：文法や句型を中心に、すべての日本語能力の基礎になる語彙力を高めます。

漢字・語彙：漢字や漢語を中心に、すべての日本語能力の基礎になる語彙力を高めます。

★研究科目（1学期あたり約40コマ）

日本語・日本文化についての知識を身につけるための授業です。中上級・上級の2つのレベルがあります。

必要となる知識を提供する「講義」と、資料の扱い方や研究の方法を学ぶ「演習」、やや専門的な内容を扱う「研究」の、3種類があります。

留学生のために準備された授業がこんなにたくさんあるのは、大阪大学のプログラムのすばらしい特徴の一つです。

「日本語実習科目」と「研究科目」は、各学期とも週に合計100コマ以上あります。その中から、秋学期・春学期あわせて約20コマ（600時間）以上を、レベルや目的にあわせて自由に組み合わせて選びます。

研究科目の主な開講科目は次の通りです。

【日本語研究科目】：

日本語学入門／日本語教育学入門／日本語学演習／音声学・音韻論／形態論・統語論／語用論／意味論／類型論／方言学／日本語史／日本語教育学など

【日本文化研究科目】：

〈人文科学〉日本文学入門／日本文化入門／日本史入門／日本の伝統芸能／日本文化と茶道／時代別日本史／日本服装史／日本古典文学／近現代文学／日本美術／宗教文化／比較文化など

〈社会科学〉日本経済学入門／社会学入門／日本経済学／経営学／社会学／女性学／国際関係論など

2. 見学、地域交流等の参加型科目

「研究科目」の授業では、授業の内容に合わせて必要な実地見学を行います。

（例：「日本美術史」の美術館見学・「古典芸能入門」の能楽鑑賞など）

「専門演習」の授業でも、実地見学や研修があります。（例：酒蔵見学・町家見学・マンガミュージアム見学・仏像制作所見学・通訳翻訳セミナーなど）

またそれ以外にも、授業とは別の課外活動として、さまざまな見学や旅行があります。

（例：研修旅行・宝塚歌劇鑑賞・歌舞伎鑑賞・文楽鑑賞など）

3. その他の講義、選択科目等

春学期に限り、日本語能力に応じて、文学部や外国語学部・法学部・経済学部などの日本関係の科目のうち、その一部を受けることができます。

⑧ 年間行事

(2015-16年度実施例)

- 10月 チューター・ホストファミリー対面式, 秋季留学生歓迎会
- 11月 大学祭, 研修コース見学(酒蔵), 見学旅行(一泊二日・姫路城ほか)
- 12月 研究コース面接
- 1月 芸能鑑賞会(宝塚歌劇・歌舞伎), 秋学期試験期間
- 2月 秋学期試験期間, 研究コース面接, 研究コース・研修コース中間発表会, 見学旅行(一日・伊勢神宮ほか)
- 3月 奈良教育大学合同研修(大相撲観戦)
- 4月 見学旅行(一泊二日・こんぴら歌舞伎ほか), 春季留学生歓迎会
- 5月 いちよう祭(大学祭), チューター対面式, 研修コース通訳・翻訳セミナー
- 6月 見学旅行(一泊二日・郡上八幡ほか), 修了生講演会, 芸能鑑賞会(文楽), 研修コース見学(仏像制作所)
- 7月 春学期試験期間
- 8月 修了論文・レポート提出
- 9月 研究コース・研修コース最終発表会, 修了式



見学旅行
金刀比羅宮



芸能鑑賞会・歌舞伎
大阪松竹座

⑨ 指導体制

1. プログラム担当教員:
柴田芳成, 松村薫子, 小森万里, 佐野方郁,
蔦清行, 水野亜紀子
2. 指導体制・学生の所属等:
学生はCJLCに所属します。学生の指導は, 上記教員を含むCJLC教員が担当します。
※必要に応じて, 日本人チューターが学習を手助けします。

⑩ コースの修了要件

1. コースごとに設定された授業科目数を修得します。
2. 研究・研修の成果をまとめた日本語の論文・レポートを提出します。
上記の二つの要件を満たした学生について, CJLC教授会が修了判定を行い, 修了した学生には修了証書を発行します。

備考: 単位認定, 単位互換

単位認定については, 学生の出身大学の判断に委ねています。出身大学での単位認定が必要な場合は, 具体的なカリキュラムの内容について, 申請を行う前にメール等で問い合わせてください。

■ 宿舎

日研究生が入居する寮として, 箕面キャンパス内に箕面留学生会館(単身者用117室, 寮費: 月額19,200円[注])があります。寮に入居できない場合は, 民間アパート(家賃: 月額3~5万円程度)を紹介しています。

[注] 2016年現在の金額です。2017年に寮費の改定が行われた場合には, 改定後の金額が適用されます。

■ 修了生へのフォローアップ

本センターでは, 「日研究生修了生追跡調査プロジェクト」を組織して, Eメールやフェイスブックを通じて, 修了生の近況の把握, 情報の蓄積に努めています。修了生の主な進路は, 大学院生, 大学教員, 大使館職員, 日本企業などです。また修了生の必要に応じて, 成績証明書・修了証明書を発行しています。そのほか, 毎年「修了生講演会」を開催し, 本学で大学院生として学んでいる修了生と日本の企業や地方自治体などで働いている修了生を招いて, 在校生に修了後の進路についての情報を提供しています。

■ 問合せ先

(担当部署)

大阪大学 国際教育共通事務室 日本語日本文化教育センター係

住所 〒 562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

TEL: +81-72-730-5075 (直通)

FAX: +81-72-730-5074

E-mail: kouryu@cjlc.osaka-u.ac.jp

大阪大学のウェブサイト

<http://www.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学日本語日本文化教育センター(CJLC)のウェブサイト

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/>

日研究生プログラムのホームページ

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/program/j/>





Osaka University

(Osaka Prefecture)



Attentive instruction, varied class offerings and courses to support individual student objectives

■ Introduction to our university

① Profile of Osaka University

Osaka University has a long legacy, having been founded as Osaka Imperial University in 1931. In October 2007, it merged with Osaka University of Foreign Studies to become the new Osaka University. Its current efforts are focused on not merely educating students in a single field of study, but producing talented persons with advanced specializations and a broad, interdisciplinary perspective.

The university currently has 11 academic departments, as well as 16 graduate programs, five research institutes, four libraries, two hospitals, and more than 26 educational research institutes. It has an enrollment of over 24,400 students and some 6,400 staff members. Osaka University has three campuses: Suita, Toyonaka, and Minoh. Its Japanese Studies program is conducted mainly at the Center for Japanese Language and Culture (CJLC) on the Minoh campus.

② Results of international exchange

(as of May 1, 2016)

Inter-university exchange agreements: 110
International students: 2,184



Minoh Water Fall

③ Foreign exchange students and Japanese Studies students accepted over the last three years

2016: International students 2,184
Japanese Studies students 54
2015: International students 2,094
Japanese Studies students 62
2014: International students 2,012
Japanese Studies students 65

④ Local features

Minoh City lies in the north of Osaka Prefecture in a region referred to as Hokusetsu. The Saito area in Minoh city is welcoming to international students and functions as an international culture park; developments are underway for a host family system and other forms of exchange programs. Minoh Water Fall, which near our university, is famous for its autumn foliage.

■ Course overview

① Learning objectives

To learn about Japan and Japanese culture, supplemented by studies to improve Japanese language abilities

② Course features

★Attentive individual instruction

All students are assigned to one teacher, who becomes their advisor. In addition to advising students on their studies and lives, the advisor will hold small-group classes for one class every week. During these classes, the advisor will provide each student with instruction based on their study theme.

★Wide selection of class offerings

Over 100 weekly classes have been established entirely for Japanese Studies students. These classes are intended to improve their skills and proficiency in Japanese, as well as develop knowledge required for their research in various fields of Japanese Studies. Students may freely choose subjects according to their levels and academic objectives.

★Two Courses in support of individual objectives

This program includes two courses.

○ **Research course:** Students decide on their own theme and conduct their own research. Guidance on the knowledge of their theme and research methods is provided by their advisors. At the end of this course, students complete a thesis paper or research report.

○ **Practical Japanese course:** Students participate in various forms of training. Under the guidance of their advisor, students improve their Japanese language abilities and skills and acquire various knowledge about Japanese language and culture. At the end of this course, students complete a report on the results of their training.

③ Total Number of Students: 60

(40 students with embassy recommendation, 20 students with university recommendation)

④ Qualifications and Conditions of Applicants:

Foreign exchange students satisfying the following requirements may apply for this course. The student should have

1. Applicants must be an undergraduate at a foreign (non-Japanese) university majoring in fields related to Japanese language or Japanese culture at the time of arriving in and leaving Japan.
2. Applicants are expected to have studied Japanese for over two years.
3. Applicants are expected to have fundamental cultural background knowledge of Japan.

⑤ Program Goals

1. To be able to acquire proficiency in Japanese necessary for academic research as well as for community life by taking Consolidation Subjects.
2. To be able to acquire broad knowledge and methodologies of various fields of Japanese studies by taking Research Subjects on Japanese language and culture.
3. To be able to write a research paper or a report in Japanese as well as make an oral presentation based on the result of the research and study during the program.

NOTE: Most students reach a degree of proficiency in Japanese equivalent to level N1 of JLPT or more at the time of completion of the program.

⑥ Period of Program

October 2017 – September 2018

NOTE: The orientations will start at the end of September, therefore you need to arrive to Japan before that.

⑦ General Outline of Subjects Offered

Classes in J program are given for 15 weeks in each semester. All classes are held in Japanese. One class period lasts 90 minutes. Students should take a placement test for every semester. There are three levels in Japanese proficiency, intermediate, Upper-intermediate, and advanced levels.

1. Required Subjects

Students are required to take three types of subjects: Directed Research and Reading, Japanese Language Subject, Research Subject.

★ Directed Research and Reading

Students are assigned to classes of Directed Research and Reading (JDR) depending on the courses they belong to. JDR is exclusive to this program. It is held for 30 hours in a semester. This subject offers attentive guidance to students in preparation for reports and research papers according to their own study fields.

This is a unique point in this program.

★ Japanese Language Subject (approximately 60 classes per semester)

This subject is designed to improve students' skills and proficiency in Japanese. These classes consist of small number of students. They are divided into 3 levels: intermediate, upper-intermediate and advanced. Students are offered 6 categories of Japanese Language Subject:

Reading: To improve reading skills

Listening: To improve listening skills

Writing: To improve writing skills

Speaking: To improve speaking skills

Grammar & vocabulary: To improve vocabulary (the basis of all Japanese language abilities) focusing on grammar and sentence patterns.

Kanji & vocabulary: To improve vocabulary (the basis of all Japanese language abilities) focusing on Kanji and Chinese loan words.

★ Research Subject (approximately 40 classes per semester)

This subject is designed to provide knowledge about Japanese language and culture. Students are offered 2 levels: upper-intermediate and advanced. They are divided into "Lecture" (designed to help students develop the knowledge necessary for conducting research), "Seminar" (designed to help students learn research methods and how to handle materials within their research fields) and "Research" (designed to help students learn slightly more advanced contents within their research fields). It is a major feature of this program that international students are offered so many exclusive classes.

100 classes or more of Japanese Language Subjects and Research subjects per week are provided for each semester. Students may choose approximately 20 classes (600 hours) or more in two semesters according to their Japanese levels and objectives.

The main courses offered in the research course are as follows.

[Research Subject on the Japanese language]:

Introduction to Japanese linguistics/ Introduction to Japanese pedagogy/ Japanese linguistics seminar/ Phonetics and phonology/ Morphology and syntax/ Pragmatics/ Semantics/ Linguistic Typology/ Dialectology/ Japanese language history /Japanese pedagogy/ etc.

[Research Subject on the Japanese culture]:

<Humanities> Introduction to Japanese literature/ Introduction to Japanese culture/ Introduction to Japanese history/ Introduction to Japanese traditional performance arts/ The way of tea ceremony and Japanese culture/ Japanese history/ Japanese clothing history/ Japanese classical literature/ Japanese modern literature/ Japanese art/ Japanese Religion and culture/ Comparative culture, etc.
<Social sciences> Introduction to Japanese economics/ Introduction to sociology/ Japanese economics/ Japanese business administration/ Sociology of Japan/ Women's studies/ International relations theory, etc.

2. Off Campus

Some research classes offer a variety of off campus activities necessary for their objectives.

(Example: art museum field trips for History of Japanese art, Noh performances for Introduction of classical performing arts, etc.).

JDR also offer some field trips and workshops.

(Example: sake brewery field trips, merchant house field trips, interpretation and translation seminars, etc.).

The students will have opportunities to watch some theater performances to deepen their understanding of Japanese culture.

(Example: training trips, Takarazuka performances, kabuki performances, bunraku performances, etc.).

3. Other Classes

Students may take some classes about the Japanese language and culture offered in the Schools of Foreign Studies, Law, Economics, etc. according to their levels of Japanese.

⑧ Yearly events

(2015-16 examples)

- Oct Tutor-host family meeting, International students welcome party (Fall)
- Nov University festival, Practical Japanese course field trip (sake brewery), Field trip (overnight, Himeji Castle, etc.)
- Dec Research course interviews
- Jan Theater Visits (Takarazuka, Kabuki), Examination term(Fall)
- Feb Examination term(Fall), Research course interviews, Mid-term presentations, Field trip (one-day, Ise Jingu Shrine, etc.)
- Mar Joint event with Nara University of Education (Sumo tournament)
- Apr Field trip (overnight, Kompira Kabuki, etc.), International students welcome party (Spring)
- May Icho festival (University festival), Tutor meeting, Practical Japanese course interpretation-translation workshop
- Jun Field trip (overnight, Gujō Hachiman, etc.), Lecture meeting of former J Program students, Theater Visit (Bunraku), Visit to Buddhist Sculpture Studio for the Practical Japanese course Students
- Jul Examination term(Spring)
- Aug Research paper or report submission
- Sep J Program final presentations and program completion ceremony



Field trip
Kompira Shrine



Theater Visit : Kabuki
Osaka Shochiku-za
Theater

⑨ Academic Advising

1. Persons in charge of the program :
Yoshinari SHIBATA, Kaoruko MATSUMURA,
Mari KOMORI, Masafumi SANO, Kiyoyuki TSUTA,
Akiko MIZUNO
2. Academic advisors and students' enrollments:
Japanese Studies Program students belong to the CJLC.
CJLC teaching staff, including the aforementioned
persons, serve as academic advisors for Japanese
Studies Program students.
NOTE: Academic assistance by Japanese tutors will be
available to students who need it.

⑩ Requirements for Program Completion

1. Complete the prescribed number of credit hours.
2. Submit a research paper or a report in Japanese based on the result of the research and study during the program.

NOTE: The judgment of the approval of completion is made by the meeting of the CJLC professors.

NOTE: Credit Transfer: Transfer of credit will be subject to the regulations and procedures of students' home universities. Students who need credit transfer should make inquiries about details of the curriculum prior to application.

■ Accommodations

There are several dormitories on campus (Minoh Foreign Students Dormitory, 117 single rooms total; fee: 19,200 yen per month [*]) available for Japanese Studies Program students. In cases where they are not available, the university will help students to find a room in a private apartment house near the campus (rent: 30,000~50,000 yen per month).

* This is the fee as of 2016. In case the dormitory fee is revised in 2017, the revised fee is applied.

■ Follow-up of Alumni

Every year the CJLC Alumni Survey Project strives to obtain information about the progress of students post-graduation, many of whom go on to become graduate students, university professors, embassy personnel, and figures in Japanese industry. Transcripts or certificates of completion will be issued to alumni as need demands. Alumni living and working in Japan are also invited to participate in the annual 'Graduates Lecture' event, providing current students with an opportunity to learn about the various possibilities after graduation.

■ Enquiries

(Contact)

Office for International Programs, Osaka University

Address: 8-1-1 Aomatanihigashi, Minoh City, Osaka 562-8558

TEL: +81-72-730-5075 (direct)

FAX: +81-72-730-5074

E-mail: kouryu@cjlc.osaka-u.ac.jp

Osaka University website

<http://www.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University Center for Japanese Language and Culture(CJLC)

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/>

Japanese Studies program homepage

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/program/j/>





大阪教育大学 (大阪府)



個性豊かな大阪の人々と文化に触れながら、日本語を勉強してみませんか。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

大阪教育大学は約140年の歴史と伝統を有する、日本で有数の教育大学です。教員養成課程と教養学科があり、すぐれた指導力を持つ教員や、社会の発展に貢献し得る人材の育成を行っています。

柏原キャンパスと天王寺キャンパスがあり、大阪府内に9の附属学校園があります。大学院（修士課程）は18専攻からなります。

メインキャンパスである柏原キャンパスは、大阪府東部・柏原市内の金剛生駒国定公園の中にあります。柏原市は緑豊かな山並みと美しい自然環境、そして古い歴史を持つ町です。柏原キャンパスから大阪市の中心部までは、電車で約30分です。

② 国際交流の実績

2016年5月1日現在、本学には162名の留学生在学しています。また、現在中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、フランス、キルギスの30大学と学生交流協定を結んでおり、毎年、交換留学生の受け入れ・派遣を活発に行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数162人、日本語・日本文化研修留学生6人

2015年：留学生数156人、日本語・日本文化研修留学生16人

2014年：留学生数147人、日本語・日本文化研修留学生17人



④ 地域の特徴

大阪の文化力

西日本は独特の文化を発展させてきましたが、大阪はその中心都市とすることができます。大阪は日本の伝統文化を守り育ててきましたし、現在も日本文化のメインストリームに強力な影響を与え続けています。大阪教育大学をベースキャンパスに、大阪の文化力に触れてみませんか？

大阪弁

大阪で話される方言は大阪弁と呼ばれ、力強く、しかしとても温かく心に響きます。また、マンガやテレビドラマの中で、エネルギッシュでユーモラスな大阪人の特徴として使用されることも少なくありません。そのため、大阪弁は日本人だけでなく留学生にもとても人気があります。大阪教育大学の留学生はもちろん標準的な日本語を勉強しますが、キャンパスの内外で大阪弁を聞く機会がたくさんありますので、大阪弁の特徴も学ぶことができます。

■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

大阪の活発な雰囲気の中、大学の内外で様々な人たちとの交流を通して日本語と日本文化を体験的に学びます。

③ 受入定員

20名（大使館推薦16名、大学推薦4名）

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースの受講を希望する学生は、以下の要件を満たしているものとします。

1. 日本語・日本文化に関連している分野を専攻していること。
2. 授業を理解するのに十分な日本語能力を有すること。日本語能力試験N3級以上を取得していることが望ましい。

⑤ 達成目標

- ・日本語で議論やレポート作成をし、学術的な内容を的確に表現できるようになる。
- ・西日本を中心に日本の文化を深く理解する。



⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年9月30日
修了式は9月を予定（2016年は9月7日）

⑦ 研修科目の概要

1科目は15回の90分授業からなります。1科目履修することにより2単位が与えられます。

- 日本語科目（必須：8単位以上）

科目名	単位数	
	秋	春
日本語 I a, I b (作文)	2	2
日本語 II a, II b (演習)	2	2
日本語上級漢字 I, II	2	2
日本語中上級読解 I, II	2	2
日本語中上級聴解 I, II	2	2
時事日本語 I, II	2	2
日本語中級会話 I, II	2	2
日本語中級文法 I, II	2	2

- 日本文化に関する科目（必須：8単位以上）

科目名	単位数	
	秋	春
日本の社会と文化 I, II	2	2
日本の言語と文化 I, II	2	2
日本文化史 I, II	2	2
日本現代史	2	-
日本文化研究	-	2
大阪の文化 I, II	2	2
日本の伝統文化 I, II	2	2
文化交流実践研究	-	2

1) 必須科目

各期、日本語科目から8単位、日本文化に関する科目から8単位が必須です。

「日本文化研究」は必修科目で、指導教員の指導のもとに各自テーマを決めて、レポートを書いて発表します。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

「大阪の文化 I, II」は講義と学外見学を通して、大阪の歴史・文化の特徴を学びます。大阪や関西の重要な史跡を訪れたり、伝統芸能の演者を講師としてお招きし、体験的に学びます。

「日本の伝統文化 I, II」は、学内の専門分野の教員が担当し、剣道、陶芸、伝統音楽、伝統舞踊、書道などを学びます。

「文化交流実践研究」は、フィールドワークや国際交流活動を行うことによって、日本の社会や文化について理解を深めます。



3) その他の講義、選択科目等

日本語・日本文化研修留学生は指導教員と相談した上で、様々な学部の授業を受けることができます。本学には以下のような専攻・コースがあり、日研生の専門にあった授業が数多く開講されています。

- ・日本文学・日本語学を学びたい方
日本アジア言語文化コース／国語教育専攻
- ・日本の歴史・地理・社会を学びたい方
社会文化コース／社会科教育専攻
- ・日本の教育について学びたい方
教員養成課程
- ・美術・音楽が好きな方
美術・書道コース／音楽コース

その他、本学には教育大学ならではの特色ある専攻があります。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

大阪教育大学 シラバス検索 (大教UNIPA)

<https://cardinal.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>

⑧ 年間行事

■ 11月・6月 日本文化研修

留学生が関西や日本の歴史・文化・伝統に実際に触れて体験し、理解を深めるために、年2回程度の日本文化研修を実施しています。

11月には日帰りバスツアーで、京都・奈良・兵庫等の関西地域を訪れ、関西の文化を体験します。6月には、1泊2日で関西以外の地域を訪れます。



■ 11月、5月 ホームビジット

地域のボランティアグループによるホームビジットプログラムに参加できます。また、その他にもボランティアグループとの様々な交流ができます。

■ 日本文化を楽しむ会など

3月・8月には、相撲観戦や浮世絵観賞など、日本の文化を楽しむ行事があります。また地域のボランティアグループが提供する行事を通して、着物や茶道、門松作りなどの日本文化体験をすることができます。

■ 8月 修了レポート発表会

日本文化研究を通して作成したレポートの内容を、これまで学んできた日本語を駆使して本学教職員や日本人学生の前で発表します。

■ 随時 国際交流行事

留学生が自国の文化を紹介したり、大学周辺地域の歴史や文化を学びながら、本学学生や地域住民と交流します。日研生の皆さんも積極的に参加して、交流の輪を広げてください。



⑨ 指導体制

● 国際センター教員

国際センター教員が主に日本語・日本文化研修生プログラムの運営を担当します。また、日本語の授業の担当、日本での生活についての助言をします。

● 指導教員

指導教員が授業の履修やファイナルレポートについて指導します。指導教員は教員養成課程、教養学科、国際センターなどの本学教員から選定されます。

● チューター制度

日本人学生がチューターとして留学生を一对一で支援します。学習や日常生活での助言を行い、留学中の生活をサポートします。

⑩ コースの修了要件

「研修科目の概要」にあげた講義のうち、「1. 日本語科目」は国際センター教員の指導にしたがって必要な科目を履修すること。その上で「2. 日本文化に関する科目」から「日本文化研究」（必修）を含む8単位以上を履修することにより、本学から修了証書が授与されます。または、「2. 日本文化に関する科目」は指導教員が適当と認める「4. その他の講義、選択科目等」に置き換えることができます。

■ 宿 舎

柏原キャンパス内と近隣地区の大阪府八尾市、奈良県香芝市に外国人留学生宿舎があります。日本語・日本文化研修留学生には、大阪府八尾市の留学生山本宿舎の部屋が優先的に割り当てられます。

<留学生山本宿舎>

* 3DKの部屋を3人でルームシェアし、個室を1人で占有します。

○設備・備品:

(居室) 机・椅子・ベッド・エアコン・本棚
インターネット・寝具

(共用) キッチン・バス・トイレ・冷蔵庫・テレビ
洗濯機・洗面台

○宿舎費: 光熱水費を含んで20,000~25,000円程度の予定です。

* 部屋タイプにより異なります。

○保証金: 25,000円程度 (入居時に必要)

○退去時積立金: 25,000円程度 (入居時に必要)

○収容定員: 21名 (7戸室)

所在地:

〒581-0013

大阪府八尾市山本町南7-9 大阪教育大学山本宿舎
近鉄大阪線「高安」駅徒歩約5分

■ 修了生へのフォローアップ

● 修了後の進路

本学で日本語・日本文化研修生として学んだ留学生は、帰国して母国の大学を卒業した後、国費留学生として再び日本で留学したり、優秀な日本語力を活用して企業等に就職したりしています。

● 修了後の情報提供

本学国際センターではホームページ等を通して修了生に情報を発信し、コミュニケーションを行っています。

■ 問合せ先

担当者: 学術部学術連携課国際係

住 所: 〒582-8582

大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

Phone: +81-(0)72-978-3300

FAX: +81-(0)72-978-3348

E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

大学Website:

<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp>

国際センターWebsite:

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/>

日研生ホームページ

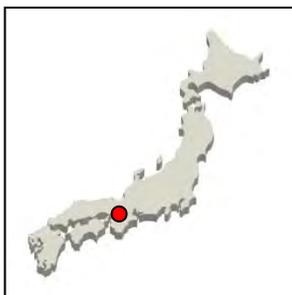
[http://osaka-](http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/special.html#ni)

[kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/special.html#ni](http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/special.html#ni)

国際係Facebook

<https://www.facebook.com/okuinternationaloffice>





Osaka Kyoiku University

(Osaka Prefecture)



Let's study Japanese at OKU with friendly people and unique culture in Osaka!

■ University Overview

① About Osaka Kyoiku University

Osaka Kyoiku University is one of the few educational universities of our nation to possess a history and tradition spanning over 140 years. The University has two departments, the Teacher Training Course and the Department of Arts and Sciences.

Tennoji campus has an Evening Program for Elementary School Teacher Training, which is the only national program of its kind in Japan for working students and in-service teachers. The Graduate School of Education offers 18 courses for master's degrees. Osaka Kyoiku University aims at being a composite educational university in collaboration with 9 affiliated schools and kindergartens.

The main campus (Kashiwara Campus) is located inside the Kongo-Ikoma Quasi-National Park in Kashiwara City, Osaka Prefecture.

Kashiwara City is about 20 kilometers east of the central part of Osaka City, and has a long history with beautiful surroundings commanding verdant mountains. Tennoji Campus is situated in Osaka City.



② International Exchange

The number of international students at OKU as of May 1, 2016 is 162. OKU has 30 overseas sister universities and is exchanging many students between them.

OKU has been accepting Japanese Studies Students (JSS) for many years and offering them intriguing programs. Table in ③ shows the numbers of Japanese Studies Students studied at OKU.

③ Number of International Students and Japanese Studies Students Studied at OKU in the Past 3 Years

2016:International Students 162 , JSS 6
2015:International Students 156 , JSS 16
2014:International Students 147 , JSS 17

④ Regional Characteristics – Beauty of Osaka

–Cultural Power of Osaka

Western Japan has long been developing its unique culture; especially, the city of Osaka, we believe, played a central role in building the Western Japanese culture. Besides cultures of Western Japan, the energetic city has also brought up then preserved the traditional Japanese culture. Today, Osaka remains to have strong influences on the main stream of the contemporary Japanese culture.

–Beauty of Osaka–dialect

'Osaka-ben', a local dialect spoken in Osaka, is very popular among not only Japanese people but also international students. It sounds very powerful but warm, and it is often used as an icon of energetic and humorous Osaka people in Japanese manga and TV dramas. Although international students at OKU learn the standard Japanese in classes, they also can hear people speak Osaka-ben inside or outside the campus and easily learn its characteristics.

■ Outline of the Program

① Purpose of the program

This program is conducted mainly to improve students' Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture,

② Feature

Under the friendly atmosphere in Osaka, Japanese Studies Student will learn Japanese language and culture through various experiences and interactions with Japanese people in and outside of the university.

③ Number of Japanese Studies Students to be Admitted

Total: 20 students
University recommendation 16
Embassy recommendation 4,

④ Qualification and Conditions

JSS applicants must fulfill the following conditions.

- 1) To be majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.
- 2) To be proficient enough in Japanese to understand lectures. Students who have obtained N3 level or above in the Japanese Language Proficiency Test are preferred.

⑤ Goal

- To learn to debate and write reports in Japanese, and to learn to present academic topics in precise expression
- To deeply understand the Japanese culture with a focus on western Japan.

⑥ Term of the Course

October 01, 2017 to September 30, 2018

Completion Ceremony is scheduled in September.

(Ex: September 7th 2016)

⑦ Course Descriptions

Generally one subject consists of 15 classes of 90 minutes and students obtain 2 credits when they finish it.

● Japanese course

(Requirement: 8 credits or more)

Subject	Credits	
	F	S
Japanese I a, I b (Writing)	2	2
Japanese II a, II b (Seminar)	2	2
Advanced Kanji and Writing I, II	2	2
Pre Advanced Japanese Reading I, II	2	2
Pre Advanced Japanese Listening I, II	2	2
Japanese for Current Topics I, II	2	2
Intermediate Japanese Grammar I, II	2	2
Intermediate Japanese Conversation I, II	2	2

● Subjects on Japanese Culture

(Requirement: 8 credits or more)

Subject	Credits	
	F	S
Japanese Society and Culture I, II	2	2
Japanese Language and Culture I, II	2	2
History of Japanese Culture I, II	2	2
Modern History of Japan	2	-
Japanese Studies	-	2
Culture of Osaka I, II	2	2
Traditional Culture in Japan I, II	2	2
Cultural Exchange Workshop	2	-

1) Required Subjects

- 8 credits from Japanese course and 8 credits from subjects on Japanese culture are required.

- "Japanese Studies" is a required course and aims to write a report on the topic of one's interest under the guidance of his/her academic advisor and make a presentation.)

2) Students Participatory Subject

"Culture of Osaka I, II" aims to learn characteristics of history and culture of Osaka through lectures and field trips. It is a hands-on learning course that includes visiting various historical sites in Osaka and Kansai area and attending special lectures by traditional performing arts artists. "Traditional Culture in Japan I, II" is taught by OKU faculty members specialized in specific areas. Subjects are Kendo, ceramics, traditional music, traditional dance, calligraphy, and etc. "Cultural Exchange Workshop" aims to deepen understanding of Japanese society and culture by participating in field trips and various cultural exchange activities.

3) Other Subjects

Following is the list of academic majors and courses recommended for Japanese Studies Students.

Japanese culture, literature, and linguistics

- Japanese and Asian Languages and Cultures Course / Japanese Language Education Major

Japanese history, geography, and society

- Society and Culture Course / Social Studies Education Major

Those who want to learn education in Japan

- Course for School Teachers

Fine Arts and Music

- Fine Arts and Calligraphy Course / Music Course

OKU also prepares various and characteristic majors/courses as a university of education. Please refer to our website for further information.

Osaka Kyoiku University syllabus search (OKU-UNIPA)

[https://cardinal.bur.osaka-](https://cardinal.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp)

[kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp](https://cardinal.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp)



⑧ Annual Event

November, June Cultural Field Trip

Twice a year in the Spring and Fall, field trips for international students are arranged.

In November, students visit historical places in Kansai. In June, students visit areas outside Kansai and study Japanese history, traditional cultures, and etc. Destinations vary every year.



November, May Home-visit Program

Local volunteer groups host the 'Home Visit' program and varieties of international exchange activities.

March, August Japanese Cultural Event

International Students can join and enjoy cultural events such as going to Sumo, Ukiyo-e, etc. Also, they can experience kimono, tea-ceremony, and new year decoration with the cooperation of regional volunteer groups.

August Final Report Presentation

Japanese Studies Students will make presentations in front of the OKU faculties and students about their report that they wrote for their Japanese Studies class.

Occasional Cultural Exchange Event

It gives international students an opportunity to interact with other students and local community members through introducing their cultures and learning history and culture of local area around OKU. Japanese Studies Students are strongly encouraged to participate and socialize.



⑨ Student Advising System

● International Center Faculty

International Center faculties are in charge of the operation of the JSS program. Also, they offer Japanese language classes and give advise to international students about their life in Japan.

● Faculty Advisor

Faculty advisors instruct the class registration for Japanese Studies Students and also supervise their final report. Faculty advisors are selected among OKU faculties from the Course for School Teachers, Department of Arts and Sciences, International Center, and so on.

● Student Tutor Program

Each Japanese Studies Students will be introduced a Japanese student as their tutor. Tutors will give support for their study and life in Japan while the JSS are in OKU.

⑩ Certificate and Academic Record

Among classes listed in '⑦ Course Descriptions,' Japanese Studies Students (JSS) will follow the International Center advisor's guidance and register for the recommended class in 'a. Japanese course.'

Then, by obtaining 8 credits or more, including 'Japanese Studies I, II' (requirement), from 'b. Subjects on Japanese Language and Culture,' JSS will be issued the certificate of completion from Osaka Kyoiku University.

Also, 'b. Subjects on Japanese Language and Culture' classes may be replaced with '3. Other subjects' classes when admitted by their academic advisors.

■ Accommodation

OKU has dormitories for international students on Kashiwara campus and in neighboring areas of Yao-city, Osaka and Kashiba-city, Nara. Japanese Studies Students will be given rooms at Yamamoto International Student Dormitory with priority.

<Yamamoto International Student Dormitory>

* Three students will share a 3 bedroom apartment and each will have his/her own bedroom.

○Facilities/Equipment:

(Private Room) Desk, Chair, Air conditioner, Bookshelf, Internet access, Beddings
(Shared area) Kitchen, Bathroom, Refrigerator, TV, Washer, Washstand

○Dormitory fees:

20,000 to 25,000 Yen including utilities

○Security Deposit:

About 25,000 Yen (Required up front)

○Deposit:

About 25,000 Yen (Required up front)

○Maximum occupancy:

21 persons(7 apartments)

Address:

7-9 Yamamoto-cho Minami, Yao-city, Osaka 581-0013

5 min. walk from Takayasu station on the Kintetsu Osaka Line

■ Follow-up for OKU Alumni

● After Completing the JSS Program

Many Japanese Studies Students, after completing the program at Osaka Kyoiku University, will go home to graduate from their home institution. Then, some will return to study in Japan as a government scholarship student, or some will find careers in companies to utilize their excellent Japanese language ability.

● Information Service for Alumni

OKU International Center will provide information for international students alumni through medias like homepage.

■ Contact Information

International Office

Address: 4-698-1 Asahigaoka, Kashiwara-shi, Osaka, 582-8582 Japan

Phone: +81-72-978-3300

Fax: +81-72-978-3348

E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

University Website:

http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/index_e.html

International Center Website:

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/en/>

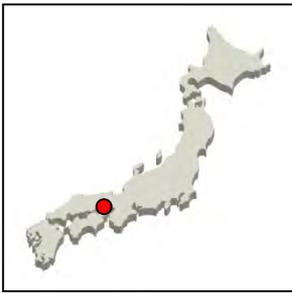
Japanese Studies Student Website:

http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/special.html#nij

International Office Facebook:

<https://www.facebook.com/okuinternationaloffice>





神戸大学 (兵庫県)



高度な日本語習得と研修旅行等による日本文化の理解を深めるコース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 歴史と特色

神戸大学は、1902(明治35)年に高等教育機関として設置された神戸高等商業学校を創立の起点としており、100年をこえる歴史もっています。

現在、国立大学法人として、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を想像するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成することを本学の使命として、10学部・15研究科を開設、1研究環・1研究所と多数のセンターを持つ総合大学です。

神戸大学では、国際都市である神戸という環境を反映して「異文化との交流」を重視し、多様な個性と専門性をもつ異分野の学生や教員との交流の中で学ぶことができる教育・研究環境を備えています。

2) 教職員・学生数等 (2016年5月現在)

- ・教員数：1,319名
- ・事務員数：1,145名
- ・学生数：学部学生 11,698名
大学院学生 4,658名
計 16,356名

〈内留学生数 1,196名 (86ヵ国・地域)〉

② 国際交流の実績

海外の基幹大学との学術交流や留学生の交換を積極的に進めており、世界55ヵ国・地域の著名な大学や研究所など、延べ354機関と学術交流協定を結んでいます。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数	1,196人	日本語・日本文化研修留学生	5人
2015年：留学生数	1,152人	日本語・日本文化研修留学生	7人
2014年：留学生数	1,096人	日本語・日本文化研修留学生	7人



④ 地域の特徴

神戸大学の所在地である神戸市は、1868年に兵庫港として開港以来、国際貿易の拠点として栄え、海外から多くの人や文化を出入れ、海と山に囲まれた国際都市として発展してきました。

また、神戸市は兵庫県の県庁所在地として、地方行政、経済、文化、教育の中心的役割を担い、国内でも有数の大都市です。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

高度な「日本語」を学ぶ中で、研修旅行や地域の教育機関や文化施設への見学、文化行事への参加などを体験し、様々なアプローチで日本を学ぶことが可能です。また、日本人学生と共に交流事業等において相互の国際感覚を養うことができます。国際教育総合センターに在籍し、日本語を中心に次の科目を学びます。

a. 必修科目「課題研究」では

各研修生が指導教員と相談のうえ研究課題を設定し、指導教員より助言を受けながら研究をします。

b. 日本語科目では

入学後に実施するプレースメントテストにより、日本語能力別にクラス配置を行い、「日本語」「日本事情」(上級レベル対象)と「日本語会話」「日本語聴解」「日本語読解」「日本語作文」「日本語漢字・語彙」「日本語特別演習」「日本文化演習」「異文化コミュニケーション」(中上級レベル対象)を学習します。

上級者レベル

学術的なトピックを中心とした日本語学習を通して、大学での勉学・研究を円滑に進めることのできる日本語運用能力を養成することとし、技能別に能力が磨けるように、作文、文法、会話、聴解、読解の授業内容となっています。また、日本の社会・文化・歴史等について、幅広い知識を学ぶとともに、専門分野の学習・研究への適応能力の養成を図ります。

中上級者レベル

日本語運用能力を補強することを目的として、文法、会話表現、読解、作文表現、漢字語彙と技能別に学習するとともに、日本文化についても学習します。

c. 選択科目では

研修生各自の問題意識・関心に応じて、本学の学部において開講されている関連分野の専門教育科目を履修させ、日本文化に関する知識を深めさせるとともに、日本語・日本文化の修得に必要な方法論・技能等を習得させ、日本語・日本文化研究のための基礎を養成します。

③ 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

④ 受講希望者の資格、条件等

受講の資格・条件として、以下の全ての要件を満たす必要があります。

・身分及び専攻

外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化を主専攻として履修している学部学生。（ただし、1年次生を除く）

・日本語能力及び学業成績

すでに基礎的な日本語の学習を修了し、本学において日本語で行われる日本語・日本文化等に関する授業を受講できる日本語能力（日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験1級」（新基準「N1」以上）を有する者で、在籍する大学における学業成績が上位の者。

・その他

大学推薦による受入れは、本学と学術交流協定締結大学からの受入を優先します。

⑤ 達成目標

日本語の教育研究者、日本語通訳者・翻訳者あるいは日本文化に関する教育研究者・専門家を目指す留学生に対して、高度な日本語能力と日本文化についての深い知識と理解が得られる教育環境を提供し、習得させることを目的としています。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年9月30日
修了式は9月を予定（前年度：2016年9月1日）

⑦ 研修科目の概要

授業は、原則としてクォーター毎に開講し、日本語・日本文化に関する研究を行う「課題研究」を必修科目、レベルにより選べる日本語の選択科目、日本文化を学習する選択科目の三形態の授業区分から構成されています。

授業期間：第3クォーター 2017年10月1日～2017年12月1日
第4クォーター 2017年12月4日～2018年2月9日
第1クォーター 2018年4月1日～2018年6月8日
第2クォーター 2018年6月11日～2018年8月8日

1) 国際教育総合センター開設科目

授業科目区分	授業科目	後期(第3・4Q)	前期(第1・2Q)
必修科目 セメスター開講	課題研究	30時間	30時間
選択科目 クォーター開講	日本語ⅠA～ⅧB	各15時間	各15時間
	日本事情ⅠA～ⅡB	各15時間	各15時間
	日本語会話中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語聴解中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語読解中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本作文中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語漢字・語彙初級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語特別演習ⅠA～ⅢB	各15時間	各15時間
	日本語特別演習ⅣA～ⅤB	各15時間	各15時間
	日本文化演習ⅡA～ⅡB	各15時間	各15時間
異文化コミュニケーションA・B	各15時間	各15時間	

2) 学部開講専門科目

文学部、国際人間科学部の専門科目のうち履修可能な科目。

各科目15時間～30時間／クォーターまたはセメスター開講

履修要件：

各クォーターにおいて、必修科目を含めて5科目以上履修しなければならない。

⑧ 年間行事

10月 オリエンテーション

・学生生活及び日本での生活指導

11月 日本文化体験旅行（丹波の焼物体験他）

12月 国際学生交流シンポジウム他

・日本人学生との交流シンポジウム

2月 日本文化体験旅行（自由参加）

・日本の冬を体験するイベント

6月 研修旅行

・日本の文化に触れる研修旅行

7月 課題研究の発表会

・作成した課題研究の発表

9月 日本語・日本文化研修修了

・日研究生プログラム修了式・送別会

6月 研修旅行 （沖縄）



11月 日本文化体験旅行

⑨ 指導体制

ハリソン教授を当プログラムの全体総括として、国際教育総合センターの各ユニットの先生が指導します。

1) プログラム実施委員

国際教育総合センター専任教員

河合 成雄	教授 (センター長)
高梨 信乃	教授
實平 雅夫	教授
朴 鍾祐	教授
リチャード・ハリソン	教授
黒田 千晴	准教授
齋藤 美穂	准教授
川上 尚恵	講師
朴 秀娟	講師

2) 指導方法

学生は国際教育総合センターに所属し、センターの教員から指導を受けます。

a. 学業面

1年間を通して「課題研究」の指導を行います。

b. 生活面

1年間を通して、上記の指導教員及び国際教育総合センター相談指導ユニットの専任教員2名が必要に応じて相談業務にあたります。

⑩ コースの修了要件

秋学期・春学期を通じて、必修科目(60時間)、選択科目(300時間以上)を合わせて360時間以上を修得すること及び研究課題の発表を修了要件としており、この要件を満たした者に修了証書を授与します。

修了判定にあたっては、国際教育総合センター教員による国際教育総合センター教員会議で総合的に判定されます。

なお、単位の付与はできませんが、各学期末に成績証明書を交付します。また、留学生の在籍する大学から照会があった場合には、授業内容や成績に関する資料の提供には応じます。

■ 宿 舎

神戸大学では、留学生数の増加にともない、希望者全員が大学の運営する留学生用宿舎へ入居できるとは限りません。やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もあります。

なお、大学では夫婦・家族室については用意できません。

(1) 神戸大学 (インターナショナル・レジデンス宿舎 他3ヶ所)

- ・入居期間は1年です
- ・寄宿料 月額 4,700円~21,000円(平成28年度)
宿舎によっては、共益費等が必要な場合があります。
- ・通学時間は、電車を利用して30~50分
- ・その他(光熱水費等は各自で負担となります。)

(2) 民間アパートの場合

民間のアパートでは、家賃月額 50,000円程度となります。(光熱水費別)

* 民間のアパート等では、日本独特の制度で敷金、礼金が別途必要になります。

■ 修了生へのフォローアップ

修了生には、本学の海外同窓会ネットワークへの加入(登録)を呼びかけ、本学の各種情報をお知らせすると共に進学や就職に関する相談などキャリアサポートも行っています。更に、同窓生間の情報交換に役立てています。

日研生プログラムを修了した留学生が、在学する大学を卒業後に日本の大学院への進学を促進ことになります。

本学を修了した過去の修了生86名のうち10名以上が、本学又は他大学の大学院に進学しています。

また、半分以上の修了生が日本企業や日本関連の仕事に就いています。

Facebook:

Kobe University International Alumni Association
<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalAlumni>

■ 問合せ先

(担当部署)
神戸大学

住所 〒657-8501
兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

事務担当

国際部国際交流課

TEL +81-78-803-5263 (直通)

FAX +81-78-803-5289

E-mail intl-suishin@office.kobe-u.ac.jp

実施担当

国際教育総合センター

(留学生交流推進ユニット)

TEL +81-78-803-5275 (直通)

ソーシャルメディア

神戸大学HP

<http://www.kobe-u.ac.jp>

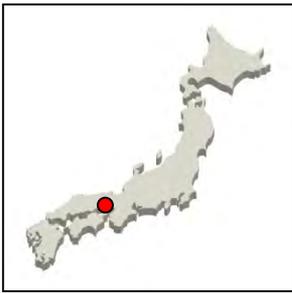
神戸大学国際連携推進機構国際教育総合センターHP

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/ipiep/edu/index.html>

Facebook:

Kobe University Center for International Education

<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalStudentCenter>



Kobe University (Hyogo)



Understanding Japanese culture through a high-level Japanese language program and study tours

■ Kobe University

① Outline of Kobe University

1) History and Background

Kobe University has more than 100 years of history, having started as Kobe Commercial High School in 1902.

Currently, there are 10 faculties, 15 research schools, 1 research office, and 1 research institute with several university wide centers. We work in a spirit of integrity, freedom, and cooperation in keeping with ours open and cosmopolitan culture and environs, aiming to contribute to the global community, through the creation of knowledge founded on universal values and the fostering of rich understanding and strong leadership skills.

Being situated in the city of Kobe, that prides itself on cross-cultural exchange, we are in an ideal location for learning in an environment where exchange with scholars from many different backgrounds and disciplines is encouraged.

2) Staff・Students (as of May 2016)

•Staff:	1,319
•Admin:	1,145
•Students: Undergraduates	11,698
Postgraduates	4,658
Total	16,356
<International Students 1,196 (from 86 regions)>	

② International Exchange

Kobe University has academic exchange agreements with 354 universities and research institutions in 55 countries worldwide.

③ Statistics on number of International Students and Nikkensei at Kobe University over the last 3 years

2016: International Students 1,196 Nikkensei 5

2015: International Students 1,152 Nikkensei 7

2014: International Students 1,096 Nikkensei 7



④ Kobe Area

Kobe University is located in the city of Kobe, which is a cosmopolitan port city surrounded by the sea and mountains. Kobe has developed into a major international trading center in Japan since opening the port in 1868.

Kobe is the major city in Hyogo prefecture and is the regional center of government, economy, culture and education in the region.

■ Course Outline

① Course Purposes

The main study of this course is Japanese culture. In order to gain deeper understanding, you will learn Japanese language as a subsidiary.

② Course

In this course it is possible to learn Japanese to a high level through several methods, including study tours, trips to educational and culture facilities and participate in various cultural events, in the local community in Kobe. Furthermore, you will be able to develop your inter-cultural communication skills by participating in many exchange activities with Japanese students.

You will be affiliated to Kobe University Center for International Education (CIE) and take the following classes.

a. Compulsory Research Project

You will choose a research topic and receive supervision from the CIE staff at different stages in the research.

b. Japanese Language

You will take a placement test at the beginning of the course and this will determine which Japanese classes you take. These include Advanced Classes in Japanese and Japanese Culture, Listening, Speaking, Reading, Writing, Kanji, Special Japanese, Japanese Culture and intercultural communication.

Advanced Level

These classes include composition, grammar, conversation, listening, reading, aimed at improving your Japanese competence, to be able to use Japanese for academic purposes by attending classes and conducting research in a university environment. Also, as well as learning about Japanese society, culture, history etc. you will acquire a wide knowledge of specialist subjects.

Upper Intermediate Level

These classes are aimed at strengthening your competence in different skills in Japanese such as writing, reading, conversation and listening as well as learning about Japanese culture.

c. Elective classes

You will be able to register for subjects from other faculties according to your interests in Japanese language and culture. These classes will allow you to develop a richer understanding of these areas.

③ Number of Students

10 (5 Embassy applicants, 5 university applicants)

④ Conditions for Application

Applicants must fulfill all the conditions below.

• Status and Field of Study

You must be registered at an overseas university and taking classes in Japanese language and culture as an undergraduate student (1st year students are excluded)

• Japanese language proficiency and grades

You must have completed a basic course in Japanese language and have competence in Japanese to take undergraduate classes offered in Japanese at Kobe University

(This is equivalent to attaining N1 level in the JLPT, and having excellent grades in other subjects at your university)

• Other

For students applying through their universities, we give preference to students applying from universities that have a formal exchange agreement with Kobe University.

⑤ Aims of the Course

The aim of this course is to provide an environment in which you can improve your competence in Japanese to a high level as well as deepening your understanding of Japanese culture, suitable for students aiming to be experts in Japanese studies looking to go on to be researchers/teachers/translators/interpreters, and so on.

⑥ Period of Study

1st October 2017 ~ 30th September 2018

Completion ceremony is held in September

(Ceremony of the previous year: 1 Sept 2016)

⑦ Outline of classes available

Classes are available in the Quarters 1-4. The one-year research project is compulsory. Japanese classes are offered by CIE.

Elective classes in other subjects are offered by other Faculties.

Term: Third Quarter 1/10/2017 - 1/12/2017

Fourth Quarter 4/12/2017 - 9/2/2018

First Quarter 1/4/2018 - 8/6/2018

Second Quarter 11/6/2018 - 8/8/2018

1) CIE subjects

Class Type	Class	Fall semester(3/4 Q)	Spring Semester(1/2 Q)
Compulsory (Semester class)	Research Project	30 hours	30 hours
Elective (Quarter class)	Japanese I A ~ III B	15 hours each	15 hours each
	Japanese Studies I A ~ II B	15 hours each	15 hours each
	Japanese Speaking A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Listening A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Reading A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Writing A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Kanji and Vocabulary A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese for Specific Purposes IA ~ III B	15 hours each	15 hours each
	Japanese for Specific Purposes VA ~ VB	15 hours each	15 hours each
	Japanese Culture II A ~ II B	15 hours each	15 hours each
Cross-cultural Communication A/B	15 hours each	15 hours each	

2) Major subjects in other Faculties

Subjects available to Nikkensei in the Faculty of Humanities and Global Human Sciences.

Class: 15 hours per quarter / 30 hours per semester

Registration: You should register for more than five subjects, including the Research Project in each quarter.

⑧ Events Program

October: Orientation

- Advising on student life in Japan

November: Japanese Culture Study Tour

- Pottery at Tamba Region etc.

December: Kobe University International Student Symposium (KISS)

- Exchange symposium with Japanese students

February: Japanese Culture Study Tour

- Experience Japanese winter

June: Nikkensei Study Tour

- Study tour on Japanese culture

July: Presentation of Research Project

- Presentation of research project results

September: Ceremony for completion of the course

- Ceremony and Farewell Party



Okinawa Culture Trip in June



Japanese Culture Study Tour in November

⑨ Supervision

Professor Richard Harrison is in overall charge of the program.

1) Program Members (Full-time Staff at CIE)

Prof. Naruo Kawai (Director)
Prof. Shino Takanashi
Prof. Masao Sanehira
Prof. Jong Woo Park
Prof. Richard Harrison
Assoc. Prof. Chiharu Kuroda
Assoc. Prof. Miho Saito
Assist. Prof. Naoe Kawakami
Assist. Prof. Soo Yun Park

2) Supervision

Students are affiliated to CIE and receive supervision from CIE staff.

a. Study

CIE provides supervision for 1-year research projects

b. Living

CIE has two advisors to provide counseling on living in Japan.

⑩ Completion of the course

You should pass the subjects that total more than 360 hours to complete the course (including 60 hours compulsory, and more than 300 hours elective). After which, you will receive the certificate of completion. CIE members determine the course completion.

We are unable to give credits, but we will give you an official transcript with subject names, hours and grades. You can access the syllabi from our web site.

■ Accommodation

Kobe University can only provide limited accommodation in university dormitories due to a sharp increase in the number of international students.

If dormitory accommodation is not available you will be offered public housing.

Kobe University is not able to provide accommodation for couples, or families.

1. Kobe University International Student Dormitory
International Residence Other: 3 sites
 - Period of stay is 1 year
 - Rent is ¥4,700~21,000 per month (2016year)
 - * May be required: common service charge, etc
 - Commuting time to university 30-50 minutes by train
 - Additional costs (utility costs are borne by the individual)
2. Public apartments.
Monthly rent is around ¥50,000 per month
 - * Deposits (Shikikin and Reikin) are necessary as part of the Japanese system for renting apartments.

■ Follow-up support for ex-Nikkensei

Students who have completed this course are included in our Alumni database, which we use to send information to students about further study opportunities and career advice. It is also used for information exchange between alumni groups.

We also help students who have completed the course to go on to further postgraduate studies in Japan.

Since this program started here at Kobe University, of the total of 86 students who took this course, more than 10 students have gone on to conduct postgraduate research in Japan. Also, more than half of the total number have found employment with Japanese or Japan-related companies.

Facebook:

Kobe University International Alumni Association
<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalAlumni>

■ Enquiries

Kobe University

Address

〒657-8501
1-1 Rokkodai, Nada-ku, Kobe, Hyogo

Office

International Exchange Division
TEL +81-78-803-5263 (direct line)
FAX +81-78-803-5289
E-mail intl-suishin@office.kobe-u.ac.jp

Kobe University, Center for International Education (CIE)
(Unit for Promotion of Exchanges)
TEL +81-78-803-5275 (Direct)

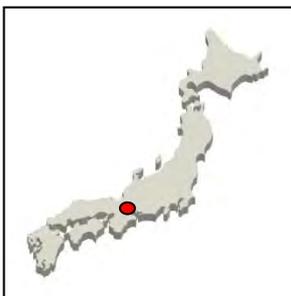
Social Media

Kobe University
<http://www.kobe-u.ac.jp>

Center for International Education, Institute for Promoting International Partnerships, Kobe University
<http://www.office.kobe-u.ac.jp/ipiep/edu/index.html>

Facebook:

Kobe University Center for international Education
<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalStudentCenter>



奈良教育大学 (奈良県)



・日本語・日本文化実地検証プログラム---やまと---

■大学紹介

①大学の特色および概要

1)特色と歴史

本学は1888年奈良県尋常師範学校として創設され、2008年11月に120周年を迎えた。この間女子師範学校、青年師範学校と合併、名実ともに教員養成機関として面目を一新、1949年5月に奈良学芸大学、1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。

本学は高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としている。

また、教員実践の経験をふまえた教育理論の見直し、再編成の場として教職大学院、大学院教育学研究科修士課程を設置している。

2)教員・学生数等:

教員数 102人 学生数 1,353人

②国際交流の実績

留学生教育に関しては、小規模大学としては充実しており、教員養成大学の特性(多岐に渡る専門領域の教育が実施されている)を生かし、所在地である古都・奈良の特色も生かした教育で高く評価されている。現在7か国12大学と国際交流協定を結んでおり、14か国から47名の留学生が在籍している。全学に占める留学生の割合は約3%である。

とりわけ日本語・日本文化研修留学生(以下、「日研生」という。)の受け入れに関しては実績があり、1987年に初めて1名を受け入れて以来、現在までに約40か国から約180名の受け入れ実績がある。日研生にとって、本学は日本の伝統文化と現代文化を同時に実地検証できる絶好の場であると言える。(④奈良市の特色参照)

③過去3年間の留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

年	留学生数	日研生
2016年	47名	4名
2015年	45名	8名
2014年	57名	15名

④奈良市の特色

本学が位置する奈良市は、人口約37万人で大阪、京都にそれぞれ電車で1時間以内で行くことができる利便性があり、かつ8世紀には都であったことから、古都としての伝統が色濃く残る、いわば過去と現在が交差する希有な都市である。

また、2010年に平城遷都1300年を迎えた奈良は、益々国際交流に力を入れており、留学生に対しては地域からの期待も大きく、またよくサポートを受けている。

■コースの概要

①研修目的

以下の(a) (b)両方を対象とする。

- (a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの
- (b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

②コースの特色

本学は世界遺産「古都奈良の文化財」に登録された社寺まで徒歩圏であるばかりでなく、本学の構内で8世紀の寺の遺構が発掘されるなど、他にはない特色を備えている大学である。このような立地条件で提供するプログラム「やまと」の特色は以下のとおり。

- 1) 日本文化の原点とも言える地にあるという利点を生かし、日研生ができる限り日本文化を実地で検証できる研修内容である。
- 2) 大阪・京都まで1時間以内で行けるという利便性を生かし、伝統文化が現代文化とどのように共存しているか、またその背景にある日本人の価値観とは何かが理解できるように、講義と実地研修の両面で指導する。

- 3) 日本語教育に関して、既存の留学生用授業を組み合わせることによって、日研生の日本語力に応じたレベルの日本語教育が受けられるようにする。
- 4) 日研生対象の日本語・日本文化関連の授業では、言語・文化に関する深い知識を座学で学ぶと同時に、プロジェクトワーク等を取り入れた実践的な日本語使用および文化理解の機会を提供する。
- 5) 日本文化関連の授業、実地検証などにおいて、日研生独自の年間カリキュラムを提供する。
- 6) 教育大学であることの特色を生かし、附属校等の授業に参加したり、子ども達と交流することで、日本の教育の実状も体験できる。
- 7) 留学期間後半では修了レポートの作成に伴い、日研生各自の興味の対象に沿う指導を行う。

③受入定員

16名(大学推薦 1名、大使館推薦 15名)

④受講希望者の資格、条件等

規則を守り、真摯に日本語・日本文化を学習する意欲のある者
日本語能力試験N3以上の日本語能力が望ましい。
また、少なくとも2年以上の日本語学習歴、専攻は日本語学、日本文学、日本語教育、日本学、比較文化学であることが望ましい。

⑤達成目標

- 1) 日本語・日本文化をテーマとした研究・研修の成果に関する日本語の論文・レポートを作成できる
- 2) 大学での研究や社会生活に必要な日本語運用力を身につけること。 ※日研生の多くはJLPT-N1またはN2レベルに到達している

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月17日
(修了認定は9月中旬~下旬となるため、修了式は実施していない。)



奈良教育大学 (奈良県)



⑦ 研修科目の概要

コース形態：日研生用コース。(ただし、下のとおり一部の日本語授業は他の学生と合同。)
授業科目および授業時間数：以下のとおり

	授業科目	時間数		
		秋学期	春学期	計
日本語	日本語Ⅰ上級(聴解・論文執筆技術)	30	30	60
	日本語Ⅱ上級(アカデミック読解)	30	30	60
	日本語コミュニケーション(体験型日本語学習)	30		30
	日本語演習Ⅱ(中上級アカデミック読解)	30		30
	日本語演習Ⅱ(中上級小論文執筆技術)	30		30
	日本語演習Ⅰ(中上級文学読解)		30	30
	日本語演習Ⅰ(中上級小論文執筆)		30	30
	日本語文献講読(日本語)		30	30
	・日本語能力に応じて指導教員が指定した科目を履修 ・上記日本語科目は一般留学生との合同授業			
日本文化	★※日本文化史	30		30
	★※比較文化論		30	30
	国際文化論		30	30
	比較言語文化論Ⅰ		30	30
	比較言語文化論Ⅱ	30		30
	日本人の宗教観	30		30

	日本語文献講読(文化)		30	30
	★※現代日本論		30	30
その他	※日本語教育論	30		30
	※日本語教授法特講		30	30
	書道	30	30	60
	★修了レポート指導	—	—	—
	日本文化科目、その他の科目のうち、 ★は必修科目、※は日本人学生との合同授業			

上記の表に記載された留学生用授業が開講されていない時間は、その他の日本人向け授業を受けることができます。ただし指導教員および担当教員の許可が必要です。

履修可能な日本人向け授業例

日本文学概説Ⅰ
日本文学概説Ⅱ
アジアの中の日本美術史
日本史概説Ⅰ
日本史概説Ⅱ
日本語学概説Ⅰ
日本語学概説Ⅱ
など



奈良教育大学 (奈良県)



⑧年間行事等 (2016年度実施(予定含む))

- 10月 秋季留学生懇談会(歓迎会)
- 11月 学習旅行(滋賀県近江八幡市)
大学祭
- 3月 大相撲見学
- 4月 春季留学生懇談会(歓迎会)
- 5月 学習旅行(三重県答志島)

⑨指導体制

学業面では以下の教員が個別指導を行う。

()内は専門分野

* 嶋宮 勝 (インド学、比較文化) tonguu@nara-edu.ac.jp

* 和泉元 千春 (日本語教育学) izumimotoc@nara-edu.ac.jp

⑩コースの修了要件、修了証書の発行

以下の要件を満たした場合、国際交流推進室がコース修了を認定し、修了証書を発行する。

- ・秋学期、春学期で指定された科目を含む合計360時間以上を履修し合格すること
- ・コースで定められた実地研修に参加すること
- ・本コースの成果をまとめたレポートを日本語で作成すること



⑪単位の認定及び単位互換

コースにおいて履修し合格した授業については単位を認定し、大学推薦の学生にあつては、取得単位は協定に基づき互換される。

◇宿舎

日研生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に入居する。

寮費 約17,200円/月 (但し、居室光熱費別途)
Wi-fi設備あり。

◇その他

来日後に、全員、国民健康保険(月額約2,500円)、個人損害賠償責任保険(年額約5,040円)に加入する必要があります。

また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。



学習旅行(近江八幡)

◇修了生へのフォローアップ

①指導体制

帰国後の学生が研究留学生として再日を希望する場合には、比較文化及び日本語教育を専門とする留学生担当教員が主として e-mail により助言し、専門領域に応じて、本学で受け入れたり、他大学を紹介している。

②キャリアパス(一例)

日本やその他の国の日本語教育機関において教職、研究職に従事。日本語能力、日本理解を必要とする日本国内外の企業への就職。



学習旅行(答志島)

◇問い合わせ先

(担当部署)

奈良教育大学学生支援課留学生担当

住所 〒630-8528 奈良市高畑町

TEL +81-742-27-9148(直通)

FAX +81-742-27-9146

E-mail ryugaku@nara-edu.ac.jp

奈良教育大学国際交流留学センターホームページ

<http://cies.nara-edu.ac.jp/>

奈良教育大学ホームページ

<http://www.nara-edu.ac.jp>



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



Program for On-the-spot Experience of Japanese Language and Culture --- YAMATO ---

◇ Introduction of our University

① Outline and Characteristics of the university

1) History and Characteristics

The history of our university started with the foundation of Ordinary Normal School in 1888 and celebrated the 120th anniversary in November 2008. The school itself has been developing into Nara University of Education with the historical background of being in association with Women's Normal School and Youth Normal School to assume a new aspect as teacher training school in reality and in name, or changing its name into University of Liberal Arts in May 1949 and the present title in 1966.

The university aims at developing cultivated human resources of high intelligence, especially competent educationists, as well as contributing to the advancement of the characteristic culture in Nara.

The Graduate School (Master's Course) and School of Professional Development in Education are affiliated as the place for higher level of research in education and the practical place for reviewing and reorganizing educational theory after having experience of teaching in schools.

2) Number of Teaching Staffs and Students: Number of Teaching Staffs : 102 Number of Students: 1,353

② International Exchange

Though our university is small in size, educational circumstances and facilities satisfy foreign students' request. Especially characteristics as teacher's training college, that is, the variety of professors' research fields in addition to the education based on the university's location as the ancient capital of Japan has ever been highly evaluated. Our university has ties with 12 partner universities in 7 countries through international exchange agreements and 47 foreign students from 14 countries are studying at the university now and its number accounts for 3 percent of the total number of our students.

In particular, we are experienced in accepting Japanese Studies Students (hereafter referred to as "Nikkensei"), and we have ever offered the special

program, reviewed and improved every year, to around 180 students from about 40 countries in total since one student started to study under the program in 1987. The university is an excellent location for the practical study of Japanese traditional culture as well as modern culture.

③ The number of Nikkensei for the past three years

年	留学生数	日 研 生
2016年	47名	4名
2015年	45名	8名
2014年	57名	15名

④ Characteristics of Nara Prefecture

Nara city with a population of 370,000 is conveniently located within 1 hour distance by train from both Osaka and Kyoto. Moreover, the city was the capital of Japan for about 80 years in 8th century, and the tradition as the old city still remains strong. The place, as it were, is one of rare cities where the past atmosphere intersects with modern environment.

Nara, which celebrated the 1300 anniversary of the transfer of national capital in 2010, focuses on the international exchanges, and expects to welcome and support students from abroad.

◇ Outline of the Course

① Purpose of Study

We accept both (a) and (b) below.

- (a) A course mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency
- (b) A course intended mainly to improve Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture

② The features of the Course

Our university is not only located in the area accessible to those famous temples and shrines on foot but also has excavated ruins of a temple constructed in the 8th century on campus.

- 1) Nikkensei students can study Japanese language and culture in such a place regarded as the original place of Japanese culture by attending classes offered in this program.
- 2) Students are guided and instructed on and off campus to understand the coexistence of traditional and modern culture in addition to Japanese concept of values behind its history and culture within easy access of Osaka.

3) As for Japanese language, students can attend those classes corresponding to their proficiency from among various Japanese-related classes offered to other types of foreign students studying at our university.

4) Students can enrich their understanding of Japanese language and culture in respective classes. Also the opportunity of practical Japanese usages introduced in the project work, and cultural understanding is offered.

5) We offer the unique annual curriculum for Nikkensei not only in classes related to Japanese culture but in study excursion to historic sites and ruins.

6) Students may get to know actualities of education in Japan with the experience of participating the classes as invited speakers and interacting with pupils in our attached schools etc, which is a characteristic of our university as a college of education.

7) When students draw up final composition to complete this program during the latter part of the course, they are guided under the appropriate instruction for their respective interests.

③ Number of students to be accepted

Total is 16 students

(1 students who recommended by University
15 students who recommended by Embassy)

④ Requirements for Completion of the Course and its Certificates

The applicants for this Course are required to be a person who are motivated to learn Japanese culture and customs sincerely and have the ability in Japanese language equivalent to or above the level N3 of the Japanese Language Proficiency Test, and also have at least two years' experience in studying Japanese. The desirable major fields of study are Japanese Linguistics, Japanese Literature, Japanese Education, Japanology (Study on Japan in general) and Comparative Culture.



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



⑤ Aim of the Course

The program goals are as follows:

- 1) To be able to write a report on Japanese language and culture based on the result achieved during the program.
- 2) To acquire the Japanese language proficiency and communicative competence necessary for academic research activities and social life.

※ Most students reach a degree of proficiency in Japanese equivalent to N1 or N2 of JLPT at the time of completion of the program.

⑥ Period of the Course

October 1 in 2017 ~ August 17 in 2018

Graduation ceremony will not be held because approval of completion will be in September, 2018.)

⑦ Type of the Course

The Nikkensei Course (A part of Japanese classes is conducted with other types of International students.)

Subjects and Hours of Classes are as below. Outlines of Classes are as below.

	Subjects	Hours		
		Fall	Spring	Total
Japanese Language	Japanese I (Academic listening & discussion)	30	30	60
	Japanese II (Academic reading & writing)	30	30	60
	Practical Japanese Communication (Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language II (Academic reading, Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language II (Academic writing, Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language I (Reading of literature, Pre-advanced level)		30	30
	Seminar of Japanese Language I (Academic writing, Pre-advanced level)		30	30
	Academic Reading Japanese		30	30
• All Japanese classes are open to other types of international students.				

Japanese Culture	★※History of Japanese Culture	30		30
	★※Comparative Culture		30	30
	Intercultural Understanding		30	30
	Comparison of Cultural Linguistics I		30	30
	Comparison of Cultural Linguistics II	30		30
	Japanese view on Religion	30		30
	Reading of Japanese Theses (Culture)		30	30
	★※A view of Modern Japanese		30	30
Others	※Introduction to Teaching Japanese	30		30
	※Methods of Teaching Japanese as a Second Language		30	30
	Japanese Calligraphy	30	30	60
	★Report Writing	—	—	—
★Compulsory class, ※Class open to Japanese students				

The students can attend the classes for Japanese students only when they do not have classes for Nikkensei, under the permission of a supervisor and an instructor.

- Outline of Japanese Literature I
- Outline of Japanese Literature II
- History of Japanese Art in Asian Context
- General History of Japan I
- General History of Japan II
- Outline of Japanese Linguistics I (Spoken Expressions Included)
- Outline of Japanese Linguistics II, etc.



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



⑧Program Events (in 2016(including plans))

October : International party (Welcome party)
 November: Field Study trip. (in Oumihachiman Ctiy)
 University Festival
 March : Appreciation of Grand Sumo Tournament
 April : International party (Welcome party)
 May : Field Study trip. (in Toushi Island)

⑨Leadership in Instruction

* TONGUU Masaru
 (Indology, Comparative Culture) tonguu@nara-edu.ac.jp
 * IZUMIMOTO Chiharu (Teaching Japanese as a Foreign
 Language) izumimotoc@nara-edu.ac.jp

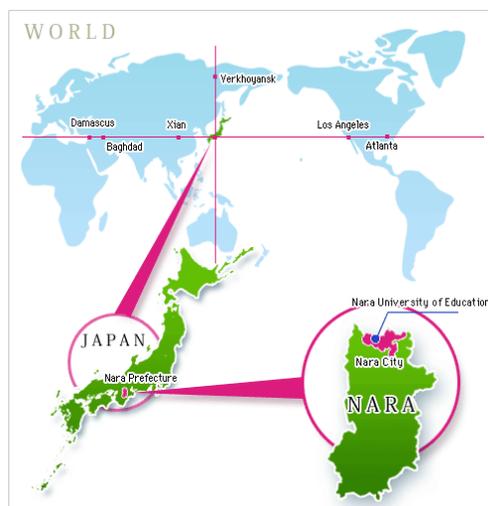
⑩Requirements for Completion of the Course and its Certificates

Those students who meet the following requirements are given the certificate of this course with approval of Promotion Office of International Relations.

To complete the prescribed 360 credit hours a year.

To participate in compulsory study excursions.

To submit a research paper or report in Japanese based on the result achieved during this program.



⑪Acquirement of credit and its transfer system

Students can acquire credits of those classes which they attended and passed, and credits acquired by students of our partner universities are transferable.

◇Dormitory

Nikkensei can settle in our student residences unless they have special reason.

The room rent per one month is approximately 17,200 yen. (The electricity expense in your private room is not included in a room rent)

There is Wi-Fi inside the Dormitory.

◇Others

Nikkensei have to buy National Health Insurance (about 2,500yen/m) and personal liability insurance (about 5,040yen/y) in Japan.

Also Nikkensei have to take a chest X-ray in Japan, too.



Field Study Trip (in Oumihachiman)

◇Follow-up for graduates

①Support

Two instructors in charge of foreign students' education advise students about their return to Japan as research students mainly through e-mail communication. Some students came back to us, or some students were introduced to other suitable institutions in accordance with their majors.

②Track

Professional occupations at educational departments of domestic and international institutions. Employment at miscellaneous corporations or companies in Japan or students' countries which require Japanese language proficiency.



Field Study Trip(in Toshi Island)

◇Contact Information

Contact: Nara University of Education,
 Student Affairs Section

Address: Takabatake-cho, Nara 630-8528

TEL +81-742-27-9148 (direct line)

FAX +81-742-27-9146

E-mail ryugaku@nara-edu.ac.jp

WEB(Nara University of Education, Center for Intercultural Exchange and Studies):

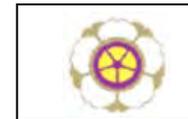
<http://cies.nara-edu.ac.jp/>

WEB(Nara University of Education):

<http://www.nara-edu.ac.jp>



奈良女子大学 (奈良県)



日本の原点「まほろば」の地で日本のことばと文化を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

本学は、1908年（明治41年）に創設された奈良女子高等師範学校を前身としており、2016年（平成28年）で創立107年を迎えます。この間日本における女性の最高教育機関としての役割を担ってきました。

文学部、理学部、生活環境学部の3学部、大学院人間文化研究科を擁し、小規模ながらも幅広い分野の研究教育を実施しています。

教員数は約200名、学生数は約2,700名でありきめ細やかな少人数教育が特徴です。



② 国際交流の実績

42大学（アジア28大学、欧米等14大学）と国際交流協定を締結しています。

本学を卒業・修了した留学生には、母国の大学で教員をしている方も多数います。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数	150人	日本語・日本文化研修留学生	2人
2015年：留学生数	144人	日本語・日本文化研修留学生	5人
2014年：留学生数	143人	日本語・日本文化研修留学生	3人

④ 地域の特徴

奈良は、日本の古い都（710年平城京遷都）で、多くの世界遺産に恵まれた日本有数の観光地です。都市部に比べて物価も安く、大阪・京都へも約40分で行けることから、留学生が「日本語・日本文化」を勉強するには最適の場所です。大学は、世界遺産に指定されている寺社や鹿で有名な奈良公園に隣接しています。



■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行います。

② コースの特色

伝統文化の息づく古都・奈良で、日本語、日本文化について体験的に学ぶことが出来ます。留学生1人1人にはチューターを配置し、生活面、学習面でも細やかなサポートを行います。

③ 受入定員

5名（大使館推薦4名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N2程度の日本語力を有し、2年以上の日本語学習歴がある女子学生。

⑤ 達成目標

日本や日本文化について学際的に学び、その理解を深める
日本語で論文・レポートを執筆できる
日本語能力試験N1相当の日本語力を身に付ける

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月31日
修了式は8月を予定（2016年度は8月23日）

⑦ 研修科目の概要

必須科目11科目、選択科目6科目以上を受講します。選択科目のうち、「ビジネス日本語」「日本語プレゼンテーション」以外は日本人学生と同じ授業を受講します。また、*の科目は日研生専用です。

1) 必須科目

科目名	秋	春	時間数
日本語ⅠA（文法）		○	30
日本語ⅠB（文法）	○		30
日本語ⅠC（読解・漢字）		○	30
日本語ⅠD（読解・漢字）	○		30
日本語ⅡA（聴解）		○	30
日本語ⅡB（聴解）	○		30
日本語ⅡC（作文）		○	30
日本語ⅡD（作文）	○		30
*日本語学基礎購読Ⅰ	○		30
*日本語学基礎購読Ⅱ		○	30
☆*修了レポート		○	30
計			330

☆修了レポートには、4,000字程度のレポート提出が課せられます。

2) 参加型科目（選択科目）

科目名	秋	春	時間数
スポーツ実習C4 (武道：剣道、なぎなた)		○	30
奈良の食を知る		○	30
奈良の食をさぐる	○		30
国際グループワークⅠ		○	30
国際グループワークⅡ	○		30

3) 講義科目（選択科目）

科目名	秋	春	時間数
ビジネス日本語Ⅰ		○	30
ビジネス日本語Ⅱ	○		30
日本事情A		○	30
日本事情B	○		30
*日本語プレゼンテーション		○	30
国語学概論Ⅱ	○		30
国語史概論Ⅰ		○	30
文化社会学概論	○		30
日本の美と芸術	○		30
文化と民族	○		30
文化人類学概論		○	30
文化人類学特殊研究	○		30
なら学		○	30
なら学概論B	○		30
ジェンダー論入門		○	30
女性生活史	○		30
異文化理解と国際協力		○	30

4) その他の科目

指導教員が認めた場合、上記以外の科目を選択科目として受講することも出来ます。

⑧ 年間行事（主なもの）

10月 生け花教室
11月 茶道体験教室、大学祭
5月 生け花教室、茶道体験教室
6月 文楽鑑賞教室、日本語スピーチ大会
8月 修了式

※その他、留学生と日本人学生の交流事業イベント、研修旅行、奈良のお祭への参加や参観も含めた多数のイベントがあります。また「弓道」「競技かるた」「書道」「古美術研究」「箏曲」「能楽」「華道」「茶道」等のサークルに所属できる他、大学が提供する様々な企画に参加することが出来ます。



⑨ 指導体制

コースの運営は、国際交流センターが文学部言語文化学科日本アジア言語文化学コースと連携して行います。担当指導教員は、各留学生の興味の分野に応じて全学より選任します。担当指導教員は修了レポート指導を行います。

⑩ コースの修了要件

指定された必修11科目、選択6科目以上を受講し、15科目以上の合格をもって修了証明書（日本語・英語）を発行します。合格科目については成績評価書が発行され、国際交流協定校の学生は、協定に基づいて本籍大学で単位認定を受けることができます。

■ 宿 舎

① 宿舍数

- ・ 単身用 国際交流会館36室、国際学生宿舍32室
- ・ 夫婦用・世帯用 国際交流会館各1室

② 宿舍費

国際交流会館(単身室)：
保証金10,000円(入居時)、清掃費10,000円
(入居時)、家賃5,900円/月
国際学生宿舍：
家賃4,700円/月、共益費1,200円/月
両宿舍とも光熱水費が別途必要

③ 宿舍設備・備品

両宿舍ともベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。

④ 宿舍周辺の生活情報、通学時間

国際学生宿舍・国際交流会館は大学から徒歩5分以内にあり、通学に便利です。
最寄り駅からも徒歩5分程度で、駅周辺には店も多く、生活にも便利なところです。



■ 修了生へのフォローアップ

- ・ メールによる個別相談
- ・ 本学大学院への進学相談

■ 問合せ先

奈良女子大学国際課留学生係

住所 〒630-8506 奈良市北魚屋東町

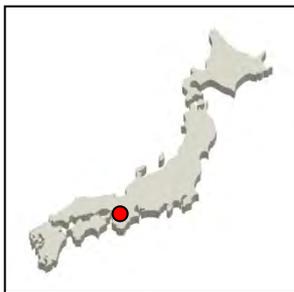
TEL : +81-742-20-3240 (直通)

FAX : +81-742-20-3309

E-mail : ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp

留学生のためのサイト：

<http://www.nara-wu.ac.jp/iec/int/ja/index.html>



Nara Women's University (Nara Pref.)



“MAHOROBA” Program –Study Japanese Language and Culture in Historic Nara Japan's Oldest Capital

■ University Overview

① About Nara Women's University

Nara Women's University traces its origins back to the foundation of the Nara Women's Higher Normal School in 1908 and has been providing the highest level of education to women in Japan for over 100 years.

As a close-knit community with approximately 2,700 students and 200 teaching staff spread across the three faculties of Letters, Science, Human Life and Environment, and the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University is proud to provide an individualized approach to education and research.



② International Exchange

NWU has 42 overseas partner universities (28 universities in Asia and 14 universities in other areas around the globe).

③ Number of International Students and Japanese Studies Students at NWU in the Past 3 Years

2016 : International students 150, Japanese Studies Students 2
 2015 : International students 144, Japanese Studies Students 5
 2014 : International students 143, Japanese Studies Students 3

④ Nara – Japan's Oldest Capital “MAHOROBA”

Japan's first true capital, Nara, is one of the most famous sightseeing locations in Japan with several areas designated by UNESCO as World Heritage sites. Nara is easily accessible to Osaka and Kyoto and attractive for its affordable cost of living. It is the ideal place to study the Japanese language and culture. NWU is close to such World Heritage sites and Nara Park which is famous for Japanese deer.



■ Outline of the Program

① Purpose of “MAHOROBA” Program

The purpose of this program is mainly to deepen the understanding of the Japanese affairs and Japanese culture.

② Feature

Study and experience the Japanese language and culture in Nara, Japan's historic capital. At NWU, students will be able to witness traditional and modern Japanese culture firsthand while learning Japanese under the direction of a one-to-one tutor.

③ Number of Japanese Studies Students to be Admitted

5 students (4 Embassy recommended students and 1 University recommended)

④ Qualification and Conditions

Eligible female students have taken Japanese for more than 2 years and have passed the N2 level in JLPT or its equivalent.

⑤ Goals

- To learn Japanese affairs and culture at a deeper level
- To obtain the N1 level in JLPT or its equivalent.

⑥ Term of the Course

October 01, 2017 to August 31, 2018
 Closing Ceremony will be held in August.

⑦ Course Descriptions

Students will enroll in 11 compulsory subjects and more than 6 optional subjects. The subjects marked with * are designed for Japanese Studies Students.

1) Compulsory Subject

Subject	Fall	Spring	Hours
Japanese 1A (Grammar)		○	30
Japanese 1B (Grammar)	○		30
Japanese 1C (Reading & Kanji)		○	30
Japanese 1D (Reading & Kanji)	○		30
Japanese 2A (Listening)		○	30
Japanese 2B (Listening)	○		30
Japanese 2C (Composition)		○	30
Japanese 2D (Composition)	○		30
Introduction to Japanese Linguistics I *	○		30
Introduction to Japanese Linguistics II *		○	30
Seminar for Completion * (Final report included)		○	30
計			330

2) Participatory Subjects (Optional)

Subject	Fall	Spring	Hours
Practice of Sports Skills ('Kendo' & 'Naginata')		○	30
Introduction to Nara's food		○	30
Study of Nara's food	○		30
International Seminar I		○	30
International Seminar II	○		30

3) Lecture Subjects (Optional)

Subject	Fall	Spring	Hours
Business Japanese I		○	30
Business Japanese II	○		30
Topics on Japan A		○	30
Topics on Japan B	○		30
Japanese Presentation *		○	30
Japanese Linguistics II **	○		30
History of the Japanese language I **		○	30
Cultural Sociology **	○		30
Japanese Culture & Theory	○		30
Culture and Ethnology	○		30
Cultural Anthropology **		○	30
Special Studies in Cultural Anthropology	○		30
NARA Studies		○	30
NARA Studies B **	○		30
Gender Studies **		○	30
History of Women	○		30
Cross-cultural Communication and International Cooperation		○	30

(**=Introductory subject)

Optional subjects except for 'Business Japanese' and 'Topics on Japan', 'Japanese Presentation' are open to both Japanese students and Japanese Studies Students.

4) Other Subjects

Japanese Studies Students may enroll in other courses as optional subjects with supervisor's consent.

⑧ Annual Events

October Ikebana lesson
 November Tea ceremony lesson, University festival
 May Ikebana lesson, Tea ceremony lesson
 June Bunraku lesson, Speech contest
 August Closing Ceremony

※ Students will also be able to participate in exchange events with Japanese students, travel programs, Nara festivals and club activities such as Japanese art of archery, etc.



⑨ Supervision

This program is organized by the International Exchange Center in cooperation with the Japanese and Asian Literature course, Faculty of Letters. Supervising professors will be assigned to each exchange student according to her interests. Supervising professors will supervise each student's Seminar for Completion course.

⑩ Course Requirements

Japanese Studies Students will be required to attend 11 compulsory subjects (a 4000 character final report is included) and 6 or more optional subjects. Upon successful completion of at least 15, students will be issued a certificate of completion in both Japanese and English. Students can acquire academic transcripts of those subjects which they attended and passed, and credits acquired by students of our partner universities are transferable based on Academic Exchange Agreements.

■ Accommodations

International House and International Student House are both available subject to vacancy.

① Number of rooms

- Single room: 36 in International House
32 in International Student House
- Couple room: 1 in International House
- Family room: 1 in International House

② Monthly rent

International House (for single) : Deposit ¥10,000-, Cleaning fee ¥10,000- (payable when moving-in), Rent ¥5,900/month
 International Student House: Rent ¥4,700/month, Communal fee ¥1,200/month
 Fees for light, water and gas are not included in the rent.

③ Facilities

Bed, desk, chair, bookshelf, closet, toilet and bath. Kitchen and washing machine room are shared.

④ General Information

Both are located within 5 minutes' walk from the campus. A train station is also within 5 minutes walk. Supermarkets and other shops are also located around the station area.



■ Follow-up for NWU Alumni

- Students will receive emails with updates relevant to alumni
- Students will be informed of opportunities to advance

■ Contact

Kitauoya Higashimachi, Nara 630-8506
 International Students Section,
 International Division

- Tel: +81-742-20-3240 Fax: +81-742-20-3309
- E-mail: ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp
- HP: <http://www.nara-wu.ac.jp/iec/int/en/>

和歌山大学 (和歌山県)



～地域とともに学ぶ～ 地域に根ざした和歌山大学で学びませんか？

■大学紹介

① 大学の特色および概要

和歌山大学は、1949年（昭和24年）に新制大学として設置されました。本学は、学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足し、1995年（平成7年）10月にシステム工学部を、2008年（平成20年度）4月に観光学部を開設し、4学部からなる和歌山県下唯一の国立大学法人として順調な発展を遂げています。

本プログラムは全学体制で実施されます。主に教養科目と教育学部開設科目を履修しますが、その他の学部の開設科目を履修することもできます。

和歌山大学では、留学生ひとりひとりに対して、きめ細やかな指導・支援をしています。



上：キャンパスの様子 下：那智の滝と青岸渡寺

② 国際交流の実績

大学間の交流協定数 31校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（いずれも10月1日現在）

2016年：留学生数150人、日本語・日本文化研修留学生3人

2015年：留学生数186人、日本語・日本文化研修留学生7人

2014年：留学生数206人、日本語・日本文化研修留学生8人

④ 地域の特色

和歌山大学のある和歌山市は大阪市内から約1時間、関西国際空港から約30分のところに位置する人口約37万人の都市です。和歌山県北部に位置するため大阪、京都、奈良にも近く、県南部には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」もある恵まれた自然・文化的環境にあります。気温差も少なく温暖で暮らしやすい環境であり、勉強するには最適な静かな環境です。

また、万葉集に歌われた和歌の浦や和歌山城などの史跡や名所に恵まれた伝統の町でもあります。

地域の方々による日本語ボランティア、NPO支援団体、学生支援サークル等全面的な留学生支援を活発に行っています。生きた日本語を学ぶ機会に恵まれています。

■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

プログラム担当教員のアドバイスに従って日本語・日本文学・日本文化に関する授業に出席し、また研究を行う。

③ 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・専攻が日本語あるいは日本文化等に関する専攻で学習歴1年以上
- ・「日本語能力試験N3」程度、又は「実用日本語検定J、TEST D級」程度の学力

⑤ 達成目標

日本文化を自国の文化と比較することによって、深く理解できるようになる。アカデミックジャパニーズを習得し、論文を書く力をつける。

研修留学生は、各自1年かけて論文を書き上げます。それを研修成果報告会で発表します。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日
修了式は9月を予定（2016年は9月）

⑦ 研修科目の概要

1) 必須科目

日本語ⅠA～ⅠD 各60時間、日本語ⅡA～ⅡD

各60時間

外国語としての日本語を学ぶ 30時間

日本文化と入門ビジネスジャパニーズ1・2

各30時間

日本文化入門 30時間

2) 見学、地域交流等の参加型科目

日本事情 30時間

わかやまを学ぶ 30時間

熊野古道と世界遺産 30時間

3) その他の講義・選択科目等

異文化間コミュニケーション

日本語あるいは日本文化等に関する各科目

その他、留学生の興味・関心に応じて多様な科目の履修ができます。

⑧ 年間行事

- 10月 第2学期授業開始
- 10月 秋季留学生歓迎交流会
- 11月 大学祭
- 11月 留学生日帰り研修旅行
- 12月 日本語スピーチコンテスト
- 2月 日本文化体験講座（冬期）
- 2月 第2学期定期試験
- 4月 第1学期授業開始
- 5月 春季留学生歓迎交流会
- 6月 作文コンクール
- 8月 日本文化体験講座（夏期）
- 8月 第1学期定期試験



⑨ 指導体制

1) プログラム指導教員

長友文子教授（日本語教育）
留学生の勉学上の関心に応じて適宜副指導教員が指導します。

2) 指導体制

日本語・日本文学などに関わる国際教育研究センターおよびその他の学部の教員が指導にあたります。個々の日本語能力に基づいた細やかな指導を行っています。生活面については、国際教育研究センターが指導・助言をします。

⑩ コースの修了要件

取得単位数と修了レポートを総合的に判断して修了を認定します。研修を修了した学生には、修了証書（和文・英文）を交付します。

■ 宿 舎

和歌山大学では国費外国人留学生の皆さんに2種類の宿舎を用意していますが、日本語・日本文化研修留学生の皆さんには日本語と日本文化により多く触れることができる方法として《宿舎その2》に入居して、日本人学生と1年間ルームシェアすることを是非お勧めします。

《宿舎その1》

名称: 国際交流会館（大学の施設です）



和歌山市の中心地に留学生用の宿舎である国際交流会館（単身者用）があります。

室数:

- ・ 単身者用： 24室
- ・ 夫婦・世帯用： なし

宿舎費：月額9,500円

【賃料5,900円+共益費3,600円（水道料含）】
（変更となる場合があります）

宿舎設備・備品:

ベッド、テーブル、机、ロッカー、靴箱、
ミニキッチン、ユニットバス・トイレ、
空調器、インターネット

各階：洗濯機・乾燥機2台ずつ設置
2階：集会室あり

宿舎周辺の生活情報、通学時間:

所在地：和歌山市西高松
（和歌山市の中心地付近）
大学までバスで約30分～40分

《宿舎その2》

（大学キャンパスのすぐ西側に隣接した民間の会社が経営する寮です）



和歌山大学と隣接しています。大学まで徒歩5分。

部屋のタイプ等:

- ① 日本人学生2人と留学生1人で世帯用1室をルームシェアします。
 - ② 他の留学生と2名で世帯用1室をルームシェアします。
- ①、②のいずれも、ルームシェアは人数の都合により希望に添えないことがあります。

設備：

テレビ、テレビ台、エアコン（上記部屋のタイプ①の場合は共用1台のみ）、カーテン、ダイニングセット、ガスコンロ、洗濯機、冷蔵庫など

宿舎費：

家賃22,000円（上記部屋のタイプ①は朝夕食事込、上記部屋のタイプ②は食事なし）
保証金・入居費なし
光熱水費・通信費・電球代等自己負担
（変更となる場合があります）
自転車置き場無料 バイク置き場月額500円
駐車場月額3,000円
退去時の住居のクリーニング費用
17,500円（上記部屋のタイプ①の場合）
35,000円（上記部屋のタイプ②の場合）

《宿舎その2》は留学生住宅総合補償（年額4,000円）に必ず加入しなければなりません。



上：和歌山城

下：和歌祭り



左：加太海水浴場 右：片男波海水浴場

■修了生へのフォローアップ

留学生のための進路指導、就職支援を行っています。日本語・日本文化研修留学生には、帰国後も修了者同士が連絡を取り合えるように国際教育研究センターがお手伝いします。



留学生日帰り研修旅行

■問合せ先

（担当部署）
和歌山大学国際教育研究センター 国際交流課
住所：〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930
TEL：+81-73-457-7524（直通）
FAX：+81-73-457-7520
E-mail：kokusai@center.wakayama-u.ac.jp

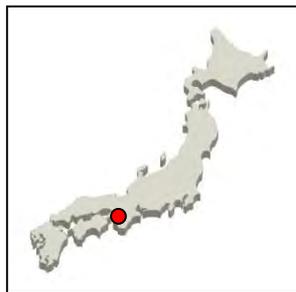
和歌山大学国際教育研究センターホームページ
<http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/>

和歌山大学ホームページ
<http://www.wakayama-u.ac.jp/>

日研生ホームページ
<http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/>

担当（指導）教員
長友文子 国際教育研究センター 教授
メールアドレス：nagatomo@center.wakayama-u.ac.jp





Wakayama University(Wakayama Pref.)



Wakayama University: our community-based institution welcomes all of you to study with us!

■ About Wakayama University

① University's Overview

Wakayama University was established in May 1949 as a new style of university. In the beginning, there were two faculties – the Faculty of Liberal Arts (currently the Faculty of Education), and the Faculty of Economics. October 1995 saw the Faculty of Systems Engineering being established, and April 2008 witnessed the foundation of the Faculty of Tourism. The addition of the field of Tourism to our offerings marks an important milestone in the university's healthy development.

This program is carried out by all of the faculties. Students will primarily take special subjects offered by the Faculty of Education and liberal arts courses, however, they can also take special subjects offered by the other faculties.

We take pride in our ability to provide all the necessary support our international students need in order to help them achieve a successful international education experience.



② Current situation of International exchange

Number of partner universities : 31

③ Number of International students and Japanese Studies Students accepted in the past three years

2016:International students 150,
Japanese Studies Students 3

2015:International students 186,
Japanese Studies Students 7

2014:International students 206,
Japanese Studies Students 8

④ Local Environment

The University is located in Wakayama City, which has about 370,000 population. It takes about one hour from Osaka City to Wakayama City and about half an hour from KANSAI International Airport. Wakayama City is a comfortable place to learn and live in, surrounded by beautiful hills and the sea. Moreover, our university is able to count on the support of the entire community residing in Wakayama in order to assist our international students while they study with us. We receive assistance from the local volunteer Japanese instructors, NPOs and students, so that our young foreign scholars may have plenty of different opportunities to learn the most current Japanese language and culture trends.

■ Program Outline

① Program purpose

A course conducted mainly to improve students' Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture.

② Program description

Students intensively attend the classes related to Japanese language, Japanese literature and Japanese culture and research these subjects recommended by their academic advisor.

③ Number of Students to be accepted

Approximately 10 (Embassy Recommendation: 5
University Recommendation: 5)

④ Qualifications of Applicants

- 1) To have studied Japanese for more than 1 years and majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.
- 2) Applicants are required to have proficiency equivalent of Level N3 of "Japanese-Language Proficiency Test" or Level D of "Test of Proficiency Japanese".

⑤ Goals and objectives

Japanese studies students gain a deeper understanding of Japanese culture by comparing it to their own culture. Japanese studies students acquire their writing skills by learning academic Japanese. Each Japanese studies student will write their thesis in Japanese for one year and present those thesis at the presentation meeting.

⑥ Duration of the Program

October 2017 – September 2018

⑦ Contents of subjects

1)Required subject

Japanese I A~ I D , Japanese II A~ II D 60
Teaching Japanese as a Foreign Language 30
Japanese Culture and Business Japanese 1/2 30
Introduction to Japanese Culture 30

2) Participatory subjects such as field trips and regional exchanges

Japanese Culture and Affairs 30
Lectures on Wakayama 30
Kumano Pilgrimage Routes and World Heritage 30

3)Others

Cross-cultural Communication 30
Subject related to the Japanese language or Japanese culture etc.
Students can take other subjects, including humanities, social studies, sports, arts, in accordance with their interest.

㊦ Events

- October First Day of Second Semester
- October Welcome party for new students (from Autumn)
- November University Festival
- November One day study tour
- December Japanese Speech Competition
- February The experienced –based courses of Japanese culture
- February Second Semester Exam Week
- April First Day of First Semester
- May Welcome party for new students (from Spring)
- June Composition contest
- August The experienced –based courses of Japanese culture
- August First Semester Exam Week



㊦ Academic counseling & advice

1) Academic Advisor

Ayako Nagatomo (Japanese Education)

Depending on each student's interests, proper associate academic advisors will teach them.

2) Collaborating Advisor

Instructors in Japanese language and culture at the Center for International Education and Research (IER Center) and the other faculties will teach students.

We teach Japanese on the basis of each student's Japanese ability.

The staff of IER Center will advise students on an ad-hoc basis throughout the year.

㊦ Certificate and Academic Record

A result of a final examination and a report are comprehensively evaluated.

Certificate of Completion of the Program will be issued at the end of the course, if all the requirements are fulfilled. Academic record will be issued for the subjects completed in each semester

■ Accommodations

We prepare two kinds of dormitories for Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Students. We recommend students on the Japanese Studies program to choose the share house accommodation option so that they may stay longer with Japanese students in order to be more exposed to Japanese people, language & culture.



《Type A》
International House

There is a dormitory “International House” available for foreign students (24 single rooms).

○ Number of rooms

- Single room 24
- Couple・Family room 0

○ Monthly rent

¥9,500/mo. [rent fee ¥5,900 + common service fee ¥3,600 (including water)]

The common service fee is subject to change.

○ Facilities

bed, table, desk, locker, shoe box, mini kitchen, prefabricated bathroom and toilet, air circulation system, the internet
Each floor : laundry facility
There is a meeting room on the second floor

○ Information for Daily Life

Location: Nishitakamatsu, Wakayama-shi

(It is located in the center of Wakayama city. .

It takes about 30-40 minutes from International House to the campus by bus.)



《Type B》
the option to share an apartment with Japanese students is available at the dormitory which a private company runs immediately adjacent to the west of our university campus.

Type①: a (3 bedroom) apartment in which the international student shall share his/her accommodations with two Japanese students.

Type②: there is also the option in which two international students may share the accommodation if they wish to do so.

We may not be able to comply with all your requests, since rooms are subject to availability.

Amenities:

TV, TV stand, air-conditioner (only for common use for Type ①), curtain, dining set, gas ring, washing machine, refrigerator

Costs:

Monthly rent: 22,000 yen (Meals in morning and evening are included for Type ① / No meals included for Type ②)

No deposit, nor entering fees required

Rent does not include: electricity, gas and water costs, telephone and internet access fees and other personal expenses (Subject to change)

Bicycle parking: free of charge

Motorcycle parking: available for 500 yen a month

Parking lot: available for 3,000 yen a month

Cleaning expense at the time of the withdrawal

17,500 yen (for Type ①)

35,000 yen (for Type ②)

For 《Type B》, Comprehensive Renters' Insurance for Foreign Students Studying in Japan (annual sum 4,000 yen) is mandatory.



Follow-up for graduates

We also assist our graduates with career path-finding and job acquisition upon graduation. The Center for International Education & Research helps the graduates to keep the communication among their international colleagues after returning home.



Contact

Wakayama University
Center for International Education & Research
International Exchange Division
Address: 930 Sakaedani, Wakayama-shi, Wakayama
640-8510

TEL: 81-73-457-7524 FAX 73-457-7520

E-mail: kokusai@center.wakayama-u.ac.jp

IER Center: <http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/>
<http://wakayama-ier-en.wix.com/ier-global>

Homepage of University

<http://www.wakayama-u.ac.jp/>

Japanese Studies Program

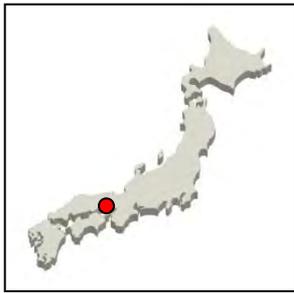
<http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/>

Academic Advisor

Ayako Nagatomo

E-mail: nagatomo@center.wakayama-u.ac.jp





兵庫教育大学 (兵庫県)



自然・文化・人が融和する大学で日本の心にふれることができます！

■ 大学紹介

(1) 大学の特色および概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学です。

さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）が設置されました。

在籍学生は、大学院、学部生あわせて1,600名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁しています。

学習環境

雄大な播磨平野の一角に位置し、自然豊かな学習環境にあり、40万㎡の広大なキャンパスには、附属図書館、教育研究棟等が機能的に配置され、最新の教育研究設備・機器が整備されています。学生宿舎等も充実し、快適なキャンパスライフが送れるようになっています。

国際的な視野に立つ教員・事務スタッフも充実し、加東市との連携したフレンドシップファミリーのサポート体制も整えています。また、国籍の異なる学生も在籍することから、国際交流の機会も増え、幅広い学習が期待できるようになっています。



(2) 国際交流の実績 (H28. 10. 1現在)

大学間交流協定校：(25大学)

欧米地域：ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部、ウィスコンシン大学オークレア校、ロンドン大学、ハイデルベルグ教育大学、ルツェルン教育大学、ヘルシンキ大学、ユヴァスキュラ大学、リガ教員養成大学

韓国：ソウル教育大学校、大邱教育大学校、京仁教育大学校、全州教育大学校

中国：華南師範大学、海南師範大学、湖南理工学院、浙江師範大学、寧波大学、東北師範大学

(台湾)：屏東大学、台中教育大学、台北教育大学

タイ：チュラロンコン大学、ピブンソクラン地域総合大学

モンゴル：モンゴル国立教育大学

ベトナム：バリア・ブンタウ教員養成大学

(3) 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

年度	留学生数	日本語・日本文化研修留学生数						
		中国	ポーランド	ウクライナ	ブラジル	イタリア	モンゴル	ベトナム
2014	83	2	1	1	1			
2015	66	1			1	1	1	1
2016	65							1
計	214	3	1	1	2	1	1	2

(4) 地域の特色

加東市は豊かな風土に生まれ、時代を越えて受け継がれてきた有形・無形の文化財が数多くあります。朝光寺(国宝)をはじめ、国史ゆかりの神社仏閣が多数あり、歴史探訪を誘ってくれます。また、加古川水系に見られる滝など自然に恵まれ、四季折々の変化が楽しめるフィールド散策等の体験学習もできます。秋祭りなど地域密着型の行事から、地域の方々とふれあうことができ、日本人の心のふるさとを感じさせる伝統文化が学べます。



■ コースの概要

(1) 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

(2) コースの特色

本コースは、半年間で日本の原風景に出会い、日本人の心に接することができる「日本の心探訪」コースと言えます。日本語をマスターし、日本文化に対する見識を高めるために各科目の講義、演習をはじめ、奈良、京都等の研修旅行などが用意されるほか、国際交流のための講演会、地域の文化財や季節にちなんだ行事（お花見会や夏祭り、秋祭り、お正月行事）にも参加できるプログラムとなっています。

(3) 受入定員

10名（大使館推薦4名、大学推薦6名）

(4) 受講希望者の資格、条件等

受講希望者は次の条件を満たすものとします。
・外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者で、帰国時点でその大学に在籍している者（1年生を除く）。
・日本語能力試験N2相当の日本語能力を有する者。

(5) 達成目標

日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格）、実体験を通して日本文化を学びます。

(6) 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日
修了式は9月を予定（2016年は9月）

(7) 研修科目の概要

本コースは、日本語、日本文化実習・演習、日本文化講義及び特別研究の4つの授業科目からなります。

1) 日本語

日本語会話、日本語読解、日本語学、日本語教育などに関する実習あるいは演習科目

2) 日本文化実習・演習

日本の生活と言語, 衣食住, 生活と自然, 生活と美術, 生活と音楽に関する実習あるいは演習科目

3) 日本文化講義

日本事情, 日本の文学, 歴史と社会, 自然, 生活文化に関する講義科目

4) 特別研究

本プログラムのための特別科目(「日本語・日本文化研究」, 「修士論文」)(必修)は1年を通じて課されます。

注1. 2016年4月1日現在の授業科目であり, 変更の可能性あります。

注2. 第1期は, 2017年10月~2018年3月, 第2期は, 2018年4月~2018年9月を示します。

注3. その他の学校教育学部開設授業科目についても, 授業担当教員の許可を得て, 履修することが可能であり, 修了要件の修得単位に含むことができます。

注4. 大学院の日本文化理解教育プログラムの授業科目(講義科目のみ)を, 授業担当教員の許可を得て, 聴講(単位修得は不可)できます。

② 見学, 地域交流等の参加型科目

1) 教育現場体験研修

近隣小・中・高等学校での授業参観及び授業参加を行い, 日本の教育現場, 教育事情の体験研修を実施しています。

2) 日本文化体験研修

留学生が日本文化に実際に触れ, 体験できるよう1泊2日の日本文化体験研修を実施しています。

3) 日本文化実習

地元加東市を中心に, 日本の生活習慣を体験するフレンドシップファミリーとの交流行事や, 茶道, 華道体験を実施しています。



近隣の学校で教育実習体験



華道体験

(8) 主な年間行事

- 10月 秋学期開始
フレンドシップファミリーとの対面式
- 11月 加東市秋のフェスティバルに参加
日本文化研修旅行(日帰り)
学祭への参加(留学生ブース出店)
- 12月 日本文化研修旅行(1泊2日)
- 1月 留学生による国際シンポジウム
- 2月 近隣学校への国際交流授業に参加
- 4月 地域住民とお花見交流会
- 6月 留学生歓迎パーティー
- 7月 茶華道体験
- 8月 学習成果発表会
加東市夏のまつりに参加
- 9月 日本語・日本文化研修留学生修了式



① 授業科目と単位数(時間数)(必修科目, 選択科目等)

授業科目 区分 (修了要件 単位数)	授業科目名	単位数(時間数)		必修	選択	
		第1期	第2期			
(2 単位 以上)	上級日本語コミュニケーション		1(30)	○		
	日本語リーディング	1(30)			○	
	国語学 I	2(30)			○	
	国語学 II (音声言語及び文章表現を含む)		2(30)		○	
	国語・国字論	2(30)			○	
	日本語教育		2(30)		○	
(2 単位 以上)	(日本の生活と言語)	書写・書道演習	2(30)		○	
	(日本の衣食住)	調理学実習	2(60)		○	
	(日本の生活と自然)	フィールドワーク技法 I	2(30)	○		
	(日本の生活と美術)	工芸実技 工芸演習	2(60) 2(30)		○ ○	
	(日本の生活と音楽)	器楽演習 I 合奏演習	2(30) 2(30)		○ ○	
	(2 単位 以上)	(日本事情)	日本事情	2(30)	○	
(日本の文学)		文学と読解 児童文学論(隔年開講)		2(30) —	○ ○	
(日本の歴史と社会)		初等社会 I 暮らしのなかの憲法		2(30) 2(30)	○ ○	
(日本の自然)		植物学 地学 地史学	2(30) 2(30)		○ ○ ○	
(日本の生活文化)		食物学 I (食品及び栄養学を含む)	2(30)			○
		食物学 II	2(30)			○
		住居学(製図を含む)	2(30)			○
		初等家庭	2(30)			○
		体育・スポーツ文化論 I	2(30)			○
特別研究 (4単位)		日本語・日本文化研究 修士論文			○ ○	
修了要件単位数 計		20以上				

(9) 指導体制

1) 指導教員

大学教員が指導教員となり、責任を持って留学生の関心に合致した個別指導を行います。

2) 学業面の個別指導

指導教員が一年間を通して履修指導や修了論文（レポート）指導を行います。

3) チューター制度

チューターは、留学生を一对一で支援する日本人の学生のことで、専門分野の学習や日常生活での助言を行います。また良き相談相手、よき友人として留学生活をサポートします。

4) 相談体制

国際交流会館の外国人留学生相談室で国際交流会館相談主事が留学生からの相談に応じています。

(10) コースの修了要件、修了証書の発行

1) コースの修了要件

下記の授業科目区分のとおり、20単位以上の単位を取得し、特定の課題についての修了論文（レポート）を作成のうえ、研究発表を行うこと。

また、見学、地域交流型参加科目の参加も行うこと。

日本語	日本文化実習・演習	日本文化講義	特別研究	総修得単位数
2単位以上	2単位以上	2単位以上	4単位	20単位以上

2) 修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、上記の修了要件を満たした者に対し、修了証書（英文・和文）を発行します。

3) 修了時に求められる日本語能力のレベル

日本語により修了論文（レポート）を作成し、日本語での研究発表・質疑応答が出来る日本語能力が求められます。



■ 宿 舎

大学キャンパス内の国際交流会館にはバスルーム・バルコニー・家具付の単身室が設けられています。



国際交流会館



単身室

■ 修了生へのフォローアップ

本学を修了後にはメール及びSNS等により連絡を取り、進路の確認などを随時行っています。また、本学の大学院への進学等についての相談等を行っています。

<学生の体験談>

(大使館推薦 ベトナム)

時間が経つのは本当に早いものです。兵庫教育大学での1年はあっという間でした。初めのうちはわからない事がたくさんありましたが、学生支援課の方がいつも優しく、丁寧に教えてくれて、温かく、安心を感じました。日本人と一緒に授業を受け、わたしにとっては、まるで夢のようです。日本の友達に誘ってもらって、部活の見学に行き、みんなの熱心に練習に取り組む姿を見たら「さすが日本人ですね」と心の中で感動しました。自分もやる気ももらいました。学生支援課と日本の学生さんたちも留学生のためにパーティーしたり、交流イベントを行ったり、祭りに連れて行ってもらったり、多くの体験させてくれました。さらにフレンドシップファミリーというプログラムのおかげで、自分の家族みたいに一緒に楽しく遊んで、食事しながらお互いに文化、習慣を話すことができるとてもうれしいです。私は日本で自分の目で見たこと、耳で聞いたこと、すべてをベトナムの学校の後輩たちに伝えたいです。そのため、これからもチャンスを逃さずに、無我夢中で日本のことをもっともっと理解したいと思います。一日一日を大切にすごしていきます。



■ 問合せ先

(担当部署)

兵庫教育大学 教育研究支援部学生支援課 国際交流チーム

住所 〒673-1494

兵庫県加東市下久米942-1

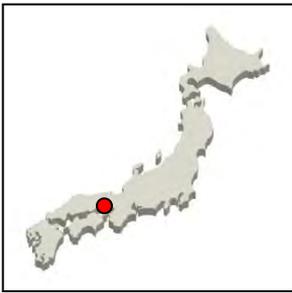
TEL +81-795-44-2043 (直通)

FAX +81-795-44-2049

E-mail office-kokusai-t@hyogo-u.ac.jp

大学ホームページ <http://www.hyogo-u.ac.jp/>





HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION (HYOGO)



Meet the Soul of Japan at our university harmonize nature, culture and people!

■ Introduction to Hyogo University of Teacher Education

(1) Outline and Characteristics of the University

Hyogo University of Teacher Education was founded in October 1978, and mainly in both our graduate School of Education (master's course), which conserves opportunities for advanced research and study in depth of school education by in-service teachers, and the School of Education, which fosters elementary school educators.

Furthermore in April 1995, the Joint Graduate Schools in School Education at Hyogo University of Teacher Education established the first doctoral program in the field of teacher training in Japan.

We, Hyogo University of Teacher Education are the university with approximately 1,600 students study in our undergraduate and graduate programs and with teaching staff experts in a wide range of fields.

Learning Environment

The university located in a part of great Harima plains, with nature-rich environment for study. In our great campus area of 400,000 square meters, the university functionally establishes university library, research and education building with modern research facilities and equipment. The student dormitories are fully equipped in order to provide comfortable campus life.

Many of the teachers and the staff with global and international mind are posted and the connecting Friendship Family System with Kato City is well prepared as our supporting organization.

Since the students who have different nationalities are on the university register, the opportunities of international exchange are on the increase and highly extensive studies are expected.

(2) International Exchange Universities with Agreements on Academic Exchange : (25universities)

Western: Peabody College of Vanderbilt University, University of Wisconsin, Eau Claire, London University, Heidelberg University of Education, University of Teacher Education Lucerne, University of Helsinki, University of Jyväskylä, Riga Teacher Training and Education Management Academy

Korea: Seoul National University of Education, Daegu National University of Education, Geogin National University of Education Jengju National University of Education

China: South China Normal University, Hainan Normal University, Hunan Institute of Science and Technology, Zhejiang Normal University, Ningbo University, Northeast Normal University

(Taiwan): National PingTung University, National Taichung University of Education, National Taipei University of Education

Thailand: Chulalongkorn University, Pibulsongkram Rajabhat University

Mongolia: Mongolian State University of Education

Viet Nam: Baria-Vungtau Teacher Training College

(3) Number of International Students (past 3 years) and Students of Japanese Studies Program

Year	Number of Oversea Students	Number of JSP Students						
		China	Poland	Ukraine	Brazil	Italy	Mongolia	Vietnam
2014	83	2	1	1	1			
2015	66	1			1	1	1	1
2016	65							1
計	214	3	1	1	2	1	1	2

(4) Characteristics of the Area

You are able to learn not only from the practicum of Japanese language and culture course in our campus, but also so many things from the surrounding area. There are both material and non-material of many cultural assets under the fascinating environment such as the national treasure of Choko Temple. With the rich nature environment, you are able to enjoy the variety of four seasons and actual studies experiencing with fishing and field trip and so on. Also you are able to study traditional culture which people of Japan feel it as their home of soul, spending so many

times with local people in our local events of Shinjimai, Onioi Dance, Autumn festivals and so on.

■ Course Description

(1) Purpose of the program

Mainly to learn Japanese culture study, Auxiliary to improve Japanese language ability.

(2) Characteristics of the course

This course is designed to learn genuine Japanese environment and Japanese people exploring the soul of Japan in 6 month. The subject of lectures and exercises for learning the Japanese language to enrich the consideration towards Japanese culture, and the field trip to Kyoto and Nara are arranged. Also this program includes the participation of lecture meeting for international exchange, and the other local cultural events of the season such as flower, summer, autumn, new years festivals.

(3) Students Accepted: 10

(Embassy Recommended 4, University Recommended 6)

(4) Applicant Qualifications and Conditions

Applicants must meet following conditions

○Currently studying at a foreign university (outside of Japan) in department or faculty with education related to Japanese language/culture and will be a student of university when returning from studies in Japan (excluding first year students)

○Students with Japanese language skills approximately equivalent to JLPT 2

(5) Target of Achievement

To improve the Japanese language capability (to pass JLPT 1) and learn Japanese culture through the real experiences.

(6) Period of Course

October 1, 2017–September 30, 2018

Completion ceremony is scheduled on September.

(7) Outline of Subjects Offered

① Subjects and Unit-Hours (hours) (Compulsory subject, Elective subject, etc.)

	Name of Subject	Credit (hours)		Compulsory	Elective	
		1st Semester	2nd Semester			
Japanese Language Studies (more than 2 credit)	Japanese for Communication II		1 (30)	○		
	Japanese for Reading	1 (30)			○	
	Japanese Linguistics I	2 (30)			○	
	Japanese Linguistics II (Including Spoken and Written Expression)		2 (30)		○	
	Japanese Language and its Orthography	2 (30)			○	
	Teaching Japanese as a Second or Foreign Language		2 (30)		○	
Japanese Life and Culture Practices (more than 2 credit)	(Japanese Lifestyle and Language)	Penmanship and Calligraphy Practicum	2 (30)		○	
	(Japanese Food, Clothing and Housing)	Practicum in Cooking	2 (60)		○	
	(Japanese Life with Nature)	Practical Methods for Field Work Studies I	2 (30)	○		
	(Art in Japanese Life)	Crafts in Practice	2 (60)		○	
		Introduction to Crafts		2 (30)		○
	(Music in Japanese Life)	Instrumental Music I	2 (30)			○
Instrumental Ensembles		2 (30)			○	
Japanese Culture Studies (more than 2 credit)	(Modern Japan)	Modern Japan		2 (30)	○	
	(Japanese Literature)	Literature Reading and Interpretation		2 (30)	○	
		Children's Literature or Seminar on Children's Literature (every 2 years)	-	-		○
	(Japanese Society and History)	Study of Elementary School Subjects (Social Studies I)		2 (30)		○
		The Constitution of Japan		2 (30)		○
	(Nature in Japan)	Plant Biology	2 (30)			○
		Principles of Geology	2 (30)			○
		Geo-history		2 (30)		○
	(Life Science in Japan)	Food Science I (including sitology and nutrition)	2 (30)			○
		Food Science II	2 (30)			○
		Housing and Interior Design (including drawing)	2 (30)			○
		Elementary domestic science	2 (30)			○
Cultural Theory of Physical Education and Sport I		2 (30)			○	
Student Research Studies	Japanese Language and Culture				○	
	Final Thesis				○	
Completion Requirement Units		More than 20 Credit				

Note 1. Subjects listed are correct as on April 1, 2016 and are subject to change.

Note 2. The first semester is from October 2017 to March 2018, and the second semester is from April 2018 to September 2018.

Note 3. Students may enroll in other subjects offered by the Department of School Education with the permission of the professors to gain credits towards the completion requirements.

Note 4. With the permission of the professors, students may attend to lectures (without gaining credit) for other subjects from the Graduate School Japanese Cultural Studies Program (lectures only).

The program consists of four subject areas: Japanese Language Studies, Japanese Life and Cultural Practices, Japanese Cultural Studies, and Student Research Studies.

- 1) Japanese Language Studies**
Japanese conversation, reading, linguistics, teaching Japanese as a second/foreign language, etc.
- 2) Japanese Life and Cultural Practices**
Practical experience with Japanese daily life and language, clothing, food and housing, life with nature, art, and music.
- 3) Japanese Cultural Studies**
Lectures related to modern Japan, Japanese literature, history and society, nature, and lifestyle.
- 4) Student Research Studies**
Required student research for this program (Japanese language/culture, final thesis) is assigned throughout the year. Students learn basic concepts, techniques, and methodology for teaching and doing research on the Japanese language and culture under guidance from their supervisors. At the completion of the course they create and present a final thesis (report) on the subject of their choice.

② Subject as Visits, Associate with local community, Practicum

- 1) Practicum on Educational Scene**
Participate and observe the school class in our local community, junior high, High school and elementary school, Experience the Japanese Educational Scene
- 2) Program for Japanese Cultural Experience**
Over night practicum program for international student to learn Japanese culture.
- 3) Practicum on Japanese Culture**
Practice Japanese traditional experiences as Japanese custom with local people such as Kato Friendship Families around the Kato city.



Teaching Practicum at Local School



Traditional Flower Arrangement

(8) Annual Events

- Oct. 1st Semester, Meet Friendship families
- Nov. Kato city Festival, Cultural Excursion, School Festival
- Dec. Japanese Cultural Over night Trip
- Jan. International Symposium
- Feb. Visit Local schools
- Apr. Flower Festival
- Jun. Welcome Party, Kato International Salon
- Jul. Tea ceremony and Flower arrangement
- Aug. Research Presentation, Summer Festival
- Sep. Completion Ceremony of JSP



(9) Program Guidance

1) Academic Supervisor

A university's teaching staff will serve as an academic supervisor and provide individual guidance in meeting the student's academic interests.

2) Academic Guidance

Academic supervisors meet weekly throughout the year with the student to give advice regarding Japanese language and the final thesis.

3) Student Tutor

Each JSP student will have a student tutor, who is a Japanese student and support you in your daily life and academic research. Also, they'll be one of your good friends and adviser during your stay in HUTE.

4) Consultation System

Students can have counseling from the staff at the Student Support Department service counter or by the International House Counselor at the International House Foreign Student Consultation Office.

(10) Course Completion Requirements, Issuance of Completion Certificate

1) Course Completion Requirements

Completion of units per subject category as below, and a total of at least 20 units, writing a final thesis (report) on a chosen topic, presentation of research, and performance of the above Japanese Culture Practicum.

Japanese Language	Japanese Life and Cultural Practices	Japanese Cultural Studies	Student Research Studies	Total Completed Units
More than 2	More than 2	More than 2	4	More than 20

2) Issuance of Completion Certificate

A student who completes the above completion requirements in the first and second semester will be issued a Completion Certificate (in English and Japanese).

3) Japanese Proficiency at Completion

Must have sufficient Japanese ability to create the final thesis (report), present research, and respond to a question and answer session in Japanese.



■ Accommodations

Furnished private rooms are available with bathroom and balcony in the International House on campus.



International House



Private Room

■ Follow-up for graduates

After graduation, we keep in touch through Social Network Service and so on, pursuing your careers. Also providing the counseling for father course to take in our graduate school.

<Comments from predecessor>

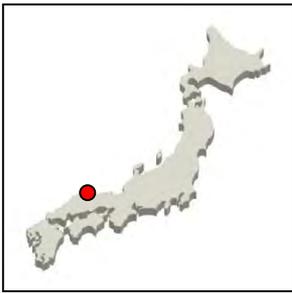
The time passed so fast. Soon one year has passed since the day I arrived at Hyogo University of Teacher Education. In the beginning there was so much surprise, but everyone in the Student Support Division was very hospitable and meticulous towards everything, I felt very safe and warm. To me, study with Japanese is like a dream. And the Japanese invite me to see the club activity. When saw the Japanese students practiced so hard, I sincerely felt that "the Japanese is really great." I also get motivated from their enthusiasm. Some Japanese students and Student Support Division staffs supported us exchange students and organized parties, and other events, leading us to the festival, giving us a lot of chance to gain experience. Moreover thanks to my friendship family, that we may eat together, and talk about culture, about each other's country like the members in my family. I hope that everything I've heard with my ears, have seen with my eyes, if possible I can recount and convey my experience to the students in Vietnam. So I'm not going to miss any opportunities, to learn more passionately about Japan. I will cherish every day I spend here.



■ Inquiries

Hyogo University of Teacher Education
International Exchange Team of the Student Support Division
Address: 942-1, Shimokume, Kato City, Hyogo 673-1494 JAPAN
Phone: +81-795-44-2043 Fax: +81-795-44-2049
E-mail: office-kokusai-t@hyogo-u.ac.jp
Website: <http://www.hyogo-u.ac.jp/>





鳥取大学 (鳥取県)



学内外での交流を通して、実践的な日本語力を身につけ、日本文化・地域文化について幅広く学びます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

鳥取大学は「知と実践の融合」を教育理念とし、地域社会との連携を重視する実学に秀でた大学です。構成学部は、地域学部、医学部、工学部、農学部であり、いずれの学部においても知識と共に実践的な能力を養うことに力を注いでいます。研究面でもCOEの採択もあり、その活動は高く評価されています。また、地域学部は、地域学を前面に出した数少ない学部であり、東アジアを中心とする地域研究も進めています。

2012年度から文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択され、大学教育のグローバル化及びグローバル人材の育成に力を入れています。

* 学生数・教員数 (2016年5月1日現在)

学部学生数：5,258名

大学院生数：1,005名

教員数：872名

② 国際交流の実績 (2016年10月1日現在)

学術交流協定校・機関数：92 (31の国・地域)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

(各年11月1日現在・2016年度は予定数)

2016年：留学生数176人

日本語・日本文化研修留学生1人

2015年：留学生数180人

日本語・日本文化研修留学生5人

2014年：留学生数188人

日本語・日本文化研修留学生3人

④ 地域の特徴

鳥取は、自然が豊かで静かな所です。勉学に取り組むのにとてもよい環境です。地元の人々は皆、親切で温かいので、地域での交流にも参加しやすいです。また、大阪、京都などの有名な大都市には、電車やバスで3時間程度で行けます。



鳥取砂丘



■コースの概要

① 研修目的

(a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

科目選択の自由度が高く、研修生の希望により、「日本語」に重点を置いて学ぶことも「日本文化」に重点を置いて学ぶこともできます。地域の行事に参加できる機会が多く、地域社会をより深く理解することができます。

③ 受入定員

8名 (大使館推薦6名, 大学推薦2名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・本国において、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者
- ・積極的に日本の文化・社会を理解し、自らの文化を発信しようとする姿勢を持つ者

⑤ 達成目標

- ・実践的な日本語力を習得すること
- ・興味のあるテーマについて、研究計画を進めその成果を発信できるようになること

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年9月30日

閉講式は9月下旬を予定

⑦ 研修科目の概要

全学共通科目や学部専門科目、国際交流センターで開設する科目の中から、研修生の興味に合わせて、自由に科目を選択することができます。(国際交流センターの科目については、単位が認定されません。)

1) 必須科目

・専門日本語

様々なテーマについて、自分の意見を口頭や文章で発表します。後半は、各自が設定したテーマで研究を進め、修了発表を行い、研究レポートを作成します。

・日本の地域文化と地域産業

企業や文化施設等の見学をおこない、そこで学んだことを互いにディスカッションします。

* 共に、国際交流センターで実施する、日研生専用の科目です。(単位認定はありません。)

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・日本の地域文化と地域産業（上記に同じ）
 - ・日本文化事情（全学共通科目）
 - ・日本社会事情（全学共通科目）
- いずれも、講義・ディスカッションと、見学や交流を、有機的に結びつけて授業をおこないます。

3) その他の講義、選択科目等

<全学共通科目>

- ・日本語実践
- 大学生活で必要となるアカデミックスキルを、実践を通して身につけます。

・日本語の表現技法

学習者同士で話し合いながら、伝えたいことを口頭や文章でより適切に表現する方法を学びます。

・日本のIT事情

コンピュータの基本的操作と入力を日本語でおこない、研究活動に役立てられるようにします。

<総合日本語コース>

プレースメントテストによってクラスを判定します。各自のレベルに応じたクラスで、四技能の向上を図ります。

<その他>

その他の全学共通科目や、地域学部の専門科目の中から、指導教員とも相談の上、受講する科目を選択します。

⑧ 年間行事（予定）

- 10月 開講式
新規留学生オリエンテーション
- 11月 留学生を囲む集い（学長主催）
- 1月 修了課題テーマ決定

- 2月 大山スキー研修

- 3月 京都研修旅行



- 5月 留学生と日本人学生との交流会

- 7月 留学生のためのゆかた着付け教室



8月 修了発表会

鳥取しゃんしゃん祭「一斉傘踊り」参加



9月 閉講式

* その他

- ・農作業体験（年に数回）



- ・小・中・高校での交流会（随時）
- ・地域の国際交流団体や学内の国際交流サークルのイベント（随時）

⑨ 指導体制

学生の興味のある分野に合わせて、地域学部の教員が指導教員になります。

また、国際交流センターでも、研修生それぞれに担当教員がつき、必要に応じて生活・教育支援を行います。

⑩ コースの修了要件

10科目以上を履修し、かつ日本語・日本文化研修留学生修了課題（レポート）を完成した学生に対し、修了証を授与します。

単位を付与する授業については、成績証明書を発行します。（大学推薦の学生は単位互換が可能です。）



■ 宿 舎

名 称： 鳥取大学国際交流会館
所在地： 〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110
電 話： 0857-28-4808

ホームページ：<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/students-housing-dormitory>

構 造： 鉄筋コンクリート5階建て
部屋数： 1人部屋50室，2人部屋6室，3人部屋3室
その他：

室内には、ベッド、机、椅子、エアコン、書棚、洋服ダンス、シューズボックス、電気スタンド、電気ポットがあります。共同設備として、キッチン、シャワー室、洗濯室、ラウンジ、和室があります。

コンビニエンスストア、スーパーマーケットまで徒歩15分です。



■ 修了生へのフォローアップ

修了後は、メールやSNSなどを活用し、その後のキャリアパス（進学・就職）について等、相談に応じます。

■ 問合せ先

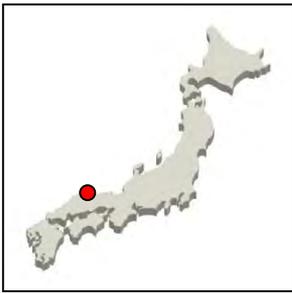
（担当部署）
鳥取大学 研究・国際協力部国際交流課
住所：〒680-8550
鳥取市湖山町南4丁目101
TEL：+81-857-31-5056（直通）
FAX：+81-857-31-6065
E-mail：kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学 地域学部教務係
住所：〒680-8551
鳥取市湖山町南4丁目101
TEL：+81-857-31-5077（直通）
FAX：+81-857-31-5076
E-mail：reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学国際交流センターホームページ
<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/ciatu>
（留学生向けホームページ）
<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/study-tottori>

鳥取大学ホームページ
<http://www.tottori-u.ac.jp/>





Tottori University



Students can acquire practical Japanese language skills and learn Japanese culture as well as regional culture through a wide variety of activities done on-campus and off-campus.

■ University's overview

① Outline

Tottori University has the idea 'Fusion of Knowledge and Practice,' and makes much of cooperation with regional societies. There are the Faculties of Regional Sciences, Medicine, Engineering, and Agriculture. Several big research programs are adopted, which shows its activities are evaluated highly. The Faculty of Regional Sciences is a unique faculty that promotes researches of Eastern Asia.

Tottori University has chosen for "Global Human Resources Development Project" by MEXT and makes an effort on globalizing of university education and developing global human resources.

*Number of Students and Academic Staff

Undergraduates: 5,258

Graduates: 1,005

Faculty members: 872

② International Exchange

Number of sister schools and organizations: 92 (31 countries and regions)

③ Number of International Students and Japanese Studies Students as of November 1.

2016: 176 International Students

1 Japanese Studies Students

2015: 180 International Students

5 Japanese Studies Students

2014: 188 International Students

3 Japanese Studies Students

④ Features of Tottori

• Rich natural scenery, and quiet environment – Really nice to focus on studying ; it is easy to participate in local events and interact with local people, kind and warm-hearted.

• Convenient public transportation – Around three hours trip to go to big cities like Osaka and Kyoto by bus or train.



Tottori Sand Dune



■ Course Outline

① Course Purpose

(a) A course conducted mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency.

② Course Features

As flexibility of choosing subjects is high, students can study not only "Japanese Language" mainly but also "Japanese Culture" mainly. A lot of opportunities to attend events in a region are provided makes them understand the regional society more deeply.

③ Number of Students to be Accepted

8 (Embassy Recommended 6, University Recommended 2)

④ Admission Requirements

• Those who are in major of Japanese language or Japanese culture in home universities.

• Those who would like to understand Japanese culture and society, and promote their cultures in Japan.

⑤ Goals and Objectives

• Acquire practical Japanese language skill
• Proceed their research plan about their interests and can transmit the results.

⑥ Duration of Course

October 1, 2017 through September 30, 2018

Completion ceremony is scheduled around the end of September.

⑦ Course Descriptions

Take any Common Course Subjects, specialized subjects provided by the Faculty, ones provided by Center for International Affairs suit to the students' interest. (No credits are given by subjects provided by Center for International Affairs)

1) Required Subjects

• Specialist Japanese

Give presentations and write essays in various topics. Proceed own research and make a final presentation and conduct a research report in the second semester.

• Regional Cultures and Industries of Japan

Visit companies, organizations or facilities and have a discussion about what we learn there.

* The above these subjects are provided especially for Japanese Studies Students by Center for International Affairs. (No credits)

2) Hands-on Learning in the Community

• Regional Cultures and Industries of Japan
(same as the above)

• Japanese Culture (Common Course Subjects)

• Japanese Society (Common Course Subjects)

These courses includes lectures, discussions, and visits to facilities in order to interact with local people.

3) Elective Courses and other Coursework

<Common Course Subjects>

• Japanese in Practice

Learn academic skills for college-life through practice.

• Expressing Technique of Japanese

Learn how to express more properly orally or in writing by discussions among the students.

• Computer Skills in Japanese

Learn how to use PC for research by practicing basic operation and inputting sentences in Japanese.

<General Japanese Language Course>

Judge the level by placement test. Four different level classes are provided. Students can acquire comprehensive language abilities.

<Other Subjects>

Choose other subjects from Common Course Subjects or specialized subjects provided by the Faculty of Regional Sciences, consulting with supervisors.

⑧ Event Calendar (tentative)

October Opening Ceremony
Orientation

November Annual Party for International Students

January Decide the theme for final presentation

February Ski training tour

March Trip to Kyoto



May International Party with Japanese Students

July Dressing of Yukata



August Final Presentation
Tottori "Shan-Shan" Festival



September Completion Ceremony

* Others

• Farm Work Experience (several times a year)



• International meeting at elementary, junior high, or high schools (occasionally)
• International events given by local institutions or students' club (occasionally)

⑨ Supervisors

Supervised by professors from the Faculty of Regional Sciences related to the field that students are interested in.

In addition, the professors from Center for International Affairs give supports socially and academically when necessary.

⑩ Completion Requirements

Certificate will be given for those who take 10 or more subjects and complete the final report.

Transcript will be given for subjects that the students will obtain credits. (Transferring the academic credits is possible for those students will come to the University under University Recommendation.)



■ Accommodations

Name: Tottori University International House (Tottori Daigaku Kokusai Koryuu Kaikan)

Address: 4-110 Koyamacho-Nishi, Tottori-city, 690-0947

Tel: +81-857-28-4808

Web Site:

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en/students-housing-dormitory>

Type: Reinforced concrete five-story building

50 single rooms, 6 double-occupancy rooms, 3 triple-occupancy rooms are available.

Others:

a bed, a desk, a chair, an air-conditioner, a bookshelf, a locker, a shoes box, a desk lamp, an electric pot in each room.

shower rooms, kitchen, laundry, lounge, a Japanese style room for common use.

Stores or supermarkets are located within 15 minute walk.



■ Follow-up to Completion Students

We are prepared to answer questions about their future carrier path such as further education or job hunting by using e-mail or SNS.

■ Contact

(Sections in charge)

International Affairs Division, Research and International Cooperation Department, Tottori University

Address: 4-101 Koyamacho-Minami, Tottori-city, Tottori, Japan 680-8550

TEL: +81-857-31-5056, FAX: +81-857-31-6065

E-mail: kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp

Educational Affairs Section, the Faculty of Regional Sciences, Tottori University

Address: 4-101 Koyamacho-Minami, Tottori-city, Tottori, Japan 680-8551

TEL: +81-857-31-5077, FAX: +81-857-31-5076

E-mail: reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

Website of Center for International Affairs, Tottori University

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en>

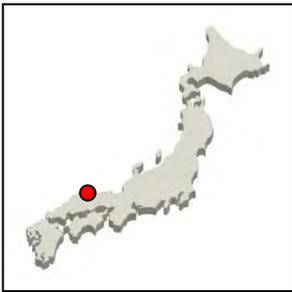
(Website for International students)

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en/study-tottori>

Website of Tottori University

<http://www.tottori-u.ac.jp/>





島根大学 (島根県)



四季折々の美しい自然。地域に根づいた伝統文化や行事の数々。島根だからこそ学べる日本があります。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

島根大学は法文学部、教育学部、総合理工学部、医学部、生物資源科学部で構成される中規模総合大学です(教員数787名、学生数5331名)。温かく人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数教育が大学の特色の一つで、教員からは授業内外できめ細かい指導を受けることができます。そして、世界各国からの留学生や日本人学生とは、活発な交流が行えます。

② 国際交流の実績(2016年10月1日現在)

21カ国55大学・機関と交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

年	留学生数	日本語・日本文化研修生数
2016年	168人	4人
2015年	174人	6人
2014年	148人	5人

④ 地域の特色

松江市は、宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光都市にも指定されています。城下町として知られ、古くから茶道や和菓子の文化が栄え周辺には神社や仏閣、史跡、温泉が点在しています。

他県と比べ、在住する外国人が少ないことも、留学生が島根で学ぶ利点となるでしょう。そのため、地域の人々との交流の機会も多く、日本語、日本文化を学びたい人にとっては絶好の場所です。治安もよく、冬には時々雪が降りますが、年間を通して気候は穏やかで住みやすいといえます。

【宍道湖の夕日】



■コースの概要

本コースは、「日本事情・日本文化に関する研修」を主としますが、帰国前7月の日本語能力試験受験を強く奨励し、N1またはN2合格レベルまで日本語力を向上させます。

① コースの特色

少人数で行う必須の日本語・日本文化研修生向けの授業により、受講生のレベルやニーズに応じて柔軟に指導内容を検討し、きめ細かい指導を行います。

「日本語」コースを選ぶ人は、⑥2)の日本語科目を中心に、「日本文化」コースを選ぶ人は、⑥2)の日本事情、異文化理解入門、その他専門に応じた科目を中心に履修します。

② 受入定員

6名(大使館推薦3名、大学推薦3名)

③ 受講希望者の資格、条件等

「日本語」コースを選ぶ人は、日本語能力試験N3レベル以上、「日本文化」コースを選ぶ人は日本語能力試験N2レベル以上の日本語能力があり、日本語あるいは日本に関係する分野を専攻していることが望ましいです。

④ 達成目標

1) 日本語能力試験N2またはN1に合格できるレベルの日本語力を身につけること(来日中の受験を推奨、支援します)。

2) 自分自身の研究テーマを設定し、研究内容についてディスカッションでき、最終的に小論文を書き上げること。

⑤ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月31日

修了式は8月末を予定(2016年は8月29日)

⑥ 研修科目の概要

1) 必須科目

(※日本語・日本文化研修生用の授業)

日本語総合A

日本文化論、日本人論に関する評論を軸に、関連する多様な文章(エッセー、新聞記事、講演録など)を目的に応じて読む。さらに、読みとったことを表現活動に結びつけ、内容理解を深める。

日本語総合B

日本の歴史を通史的に学び、各時代の社会的、文化的背景について理解する。合わせて、各時代の主要な文学作品に目を通し、日本語の変遷を知る。

日本語総合C(特別演習) ★

地域に密着した伝統文化や神話、芸能、祭事、歴史的文化財などに関連する資料を生教材として、日本語および日本文化を学ぶ。

日本語総合D(特別研究)

各自がテーマを設定して個人研究を行う。ゼミ形式で指導を受け、討論の仕方、図書館の使い方や資料収集の方法、小論文の書き方を学び、成果を発表する。

(★…見学を伴う参加型科目)

- 2) 選択科目
 (※一般留学生、日本人学生と合同の授業)

日本語ⅠA

作文クラス。論理的な文章を書くための表現、語彙を増やしなが、文章の構成や展開パターンを学ぶ。

日本語ⅠB

読解クラス。語彙力、文法力を高めながら、速読や精読を通じて目的に応じた読み方ができるよう訓練を行う。

日本語ⅡA

口頭表現クラス。発表のための調査、考察のスキルを養う。生の情報に接し、日本の社会に対する理解や知識も深める。

日本語ⅡB

語彙、文法クラス。トピック別の重要語彙やコロケーションを集中的に学ぶ。また、学習者が誤りやすい文法や表現を復習しながら、正確に使えるようになるまで文法力を磨く。

日本事情A ★

日常生活の中に見る日本の文化について知識を深め、その背景にある日本人の考え方、価値観について理解を深める。また、日常的に見る日本文化の中に自分でテーマを見つけ、発表を行ったり、ビデオ制作を行ったりする。

日本事情B ★

自然科学の視点から日本、島根県に対する理解を深める。テーマによって野外見学も実施する。

異文化理解入門

日本人学生との合同クラス。異文化理解に関する様々なトピックにもとづいて小グループでディスカッションを行ったり、課題制作を行ったりする。

その他、学生の専門に応じた科目

例) 日本語のしくみ 日本語学概論 日本文学講義 日本社会のしくみ 日本人の宗教と死生観 日本人の意識構造 等

授業名		時間数【単位数】		○必須 △選択	
		後期 <10月-3月>	前期 (4月-9月)	日本語 コース	日本文化 コース
必 須 ※	日本語総合A	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合B	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合C	30【1】	—	○	○
	日本語総合D	—	60【2】	○	○
選 択	日本語ⅠA	30【1】	30【1】	○	△
	日本語ⅠB	30【1】	30【1】	○	△
	日本語ⅡA	30【1】	30【1】	○	△
	日本語ⅡB	30【1】	30【1】	○	△
	日本事情A	30【2】	30【2】	△	○
	日本事情B	30【2】	30【2】	△	△
	異文化理解入門	30【2】	—	△	○
その他 専門に応じた科目		各30	各30	△	○
コース修了要件:		必須授業を含む600時間以上の履修			

※日本語・日本文化研修生用の授業にも単位が付与される(2013年より)。

⑦ 年間行事・見学 (※年度によって異なります)

10月 松江祭どう行列^A

足立美術館

11月 出雲大社^B

石見神楽

12月 諸手船神事

そば打ち

1月 どんど焼き

松江歴史館

2月 抹茶工場^C

3月 醤油蔵

和菓子作り^D

4月 青柴垣神事

安来のひな祭り

5月 蛸狩り

由志園
(日本庭園)

6月 月照寺^E

9月 留学生見学旅行



⑧ 指導体制

日本語・日本事情担当教員ほか、学生の専門に応じて指導教員が、学業面の指導、生活面の支援を行います。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

必須授業を含む、600時間以上を履修すること。修了者に対し修了証明書を発行します。



【修了証書授与】

■ 宿 舎

大学から徒歩5分のところに留学生用宿舎「国際交流会館」があります（単身用26室、夫婦用1室／単身用 月額5,900円 夫婦用 月額9,500円）。宿舎には、優しく時に厳しい「お母さん」のような管理人が勤務し、日本人チューターも住んでいます。研修生は、各国からの留学生との1年間の生活を通して、友情を深めると同時に、異文化コミュニケーション能力も身につけることができます。

■ 修了生のキャリア例

- ・ JETプログラムの国際交流員として県庁に勤務
- ・ 修了生母国の日本大使館に勤務

■ 問い合わせ先

島根大学国際交流課留学生交流担当

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

Tel : +81-(0)852-32-6106

Fax : +81-(0)852-32-6481

E-mail : ied-ryugaku@joffice.shimane-u.ac.jp

大学H.P : <http://www.shimane-u.ac.jp/>

日本語・日本事情担当教員：中園博美

nakasono@soc.shimane-u.ac.jp



【国際交流会館】



【居室】

【留学生見学旅行&行事】



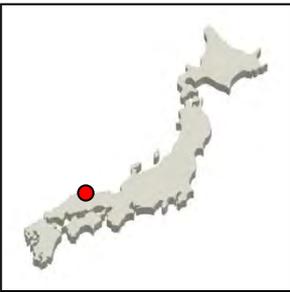
〈熊野大社〉



〈生け花体験〉



〈田植え体験〉



Shimane University (Shimane Prefecture)



Through wealth of traditional culture that finds roots in beautiful place Shimane, students learn Japan and Japanese language.

■ Introduction to Shimane University

① University Overview

Since Shimane University is a mid-sized university with 5331 students and 787 teaching staff, students have the opportunity to learn in a warm and friendly environment more typically associated with smaller colleges. Professors provide kind support and guidance to all students, and are readily available to foster enduring professional relationships through seminars, laboratory work and field work. This is but one of the many positive characteristics of Shimane University.

② International Exchange (As of October 1, 2015)

Universities with exchange agreements:
55 universities in 21 countries

③ The Number of international students and Japanese Studies Program students

Year	International students	Japanese Studies Program students
2016	★	4
2015	174	6
2014	148	5

④ Characteristics of Shimane Prefecture

Since there are not many foreign residents living in Shimane, studying at Shimane University provides an excellent opportunity for applicants to immerse themselves in the Japanese language and culture. Also, students are able to enjoy a wide variety of activities and international events with Japanese students both on and off campus. Matsue is also a very safe city, especially when compared to other

major cities. Climate-wise, Matsue is very temperate. While it may snow occasionally during the winter, the weather is quite comfortable throughout the year.



【Sunset over Lake Shinji】

■ Outline of the Course

Our course mainly focuses on Japan and Japanese culture, but we also strongly recommend students take the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) held in July and to improve students' Japanese ability up to N1 or N2 level.

① Characteristics of the Course

Applicants take compulsory subjects designed for only Japanese studies program students (see ⑥1)). The class size is very small and organized flexibly considering the needs of students to develop their ability in Japanese in the best possible way. Also, applicants take other elective subjects depending on their majors and purpose of study in Japan.

“Japanese course” students will take mainly Japanese classes, and “Japanese culture course” students will take mainly Japanese studies classes, intercultural understanding class and other classes related their major. The explanation of the classes are in ⑥2).

② Number of students to be accepted: 6 students

- Nomination by the Japanese Embassy 3
- Nomination by University 3

③ Qualification for the Course

“Japanese course” applicants are required to have Japanese ability equivalent to or above level N3 of Japanese Language Proficiency Test (JLPT), and “Japanese culture course” applicants are required level N2 ability. Applicants majoring in Japanese Linguistics or subjects related to Japan in general are preferred.

④ Aim of the Course

- 1) To acquire Japanese ability to pass N2 or N1 level of JLPT (We support students to take and pass JLPT).
- 2) To acquire research ability in Japanese to discuss on students' own research theme and write short thesis.

⑤ Period of the course:

October 1, 2017 to August 31, 2018
Completion ceremony will be held in end of August.
The last ceremony was held on Aug. 29, 2016.

⑥ Outline of classes

- 1) Compulsory classes
(※Classes for Japanese Studies Program students)

Integrated Japanese A

Read essays on Japanese culture and people and a variety of texts for example, newspaper articles and lecture texts.

Integrated Japanese B

Learn about general Japanese history and understand social and cultural features of each era.

Integrated Japanese C ★

Using materials concerning traditional arts, cultural and historical property, learn Japanese and about Japanese culture.

Integrated Japanese D

Learn how to find materials, how to use library services, and complete a research paper on a topic of one's choice. (★・・・A class offered Trips for field studies)

2) Elective classes

(※Classes with other foreign students and Japanese students)

Japanese IA

Writing class. Practice writing logical sentences for a composition. Learn new vocabulary, grammar, sentence structures, and understand composition development.

Japanese IB

Reading comprehension class. Practice reading rapidly and carefully for content.

Japanese IIA

Oral expression class. Practice giving presentations. Deepen understanding of Japanese culture and society through observation.

Japanese IIB

Vocabulary and Grammar class. Acquire important vocabulary and collocation based on various topics. Review grammar and expressions that are easy to mistake, and increase one's own grammar ability.

Japanese Studies A ★

Learn about Japanese culture and society. Get an understanding in Japanese thought and values. Students are required to give a presentation or make a short-video on a subject of their own.

Japanese Studies B ★

Learn about the environment of Japan and Shimane from a natural science viewpoint.

Intercultural understanding class

Learn from other cultures and have an experience of seeing things from a different cultural viewpoint through small group discussion and group activity with Japanese students and other foreign students.

Other Classes

Ex.) System of Japanese Japanese Study Japanese literature
System of Japanese society Japanese Japanese view of life and death etc.

Name of Class		Number of Hours 【Credits】		○Compulsory △Elective	
		1 st semester	2 nd semester	Japanese Course	Japanese Culture Course
※ Compulsory classes	Integrated Japanese A	30【1】	30【1】	○	○
	Integrated Japanese B	30【1】	30【1】	○	○
	Integrated Japanese C	30【1】	—	○	○
	Integrated Japanese D	—	60【2】	○	○
Elective classes	Japanese IA	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IB	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IIA	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IIB	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese Studies A	30【2】	30【2】	△	○
	Japanese Studies B	30【2】	30【2】	△	△
	Intercultural understanding	30【2】	—	△	○
	Other classes	30/class	30/class	△	○
Requirements:		completed 600 hours including Compulsory classes			

※ Credits will be given to the classes of Japanese Studies Program as well as general classes since 2013.

⑦ Field Trips / Activities (※varies from year to year)

- Oct. Matsue festival Doo Gyooetsu^A
Adachi Museum (Japanese garden)
- Nov. Izumo Shrine^B
Iwami Kagura
- Dec. Morotabune
Shinto ritual
Soba making



- Jan. Matsue History Museum

- Feb. Green Tea factory^C



- Mar. Soy sauce store-house
Wagashi making^D

- Apr. Aofushigaki Shinto ritual



- May Doll Festival in Yasugi
hunting for fireflies
Yuushien (Japanese garden)

- Jun. Gessyo temple^E
(hydrangea temple)

- Sep. Field trip for inter-
national students



⑧ Guidance System

An instructor for Japanese Studies Course and other advisors will give personal tutorials to the students concerning their research topic and offer support for daily living.

⑨ Requirements for Completion of the Course and Certificate of Completion

Those students who have completed 600 hours including compulsory classes are given certificates of completion for the Course.



【Students with certificate】

■Housing

International House is located 5 minutes on foot from the University campus (Single room: 5,900 yen/month, Double room: 9,500 yen/month). The resident assistant, who is very kind but sometimes strict like a mother and a friendly Japanese tutor will always help students. Students can cultivate friendship with international students and cross-cultural understanding throughout a year.

■Career Paths for Students

One student who completed our course returned to Japan to work as a coordinator for International Relations of the JET program, and another student is working as a staff member of Japanese Embassy in her country.

■Contact Address

International Student Section

International Exchange Division

1060 Nishikawatsu, Matsue, Shimane 690-8504

Tel: +81- (0) 852-32-6106

Fax: +81- (0) 852-32-6481

E-mail: ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp

H.P: <http://www.shimane-u.ac.jp/>

Instructor for Japanese Studies Course: Hiromi Nakasono

E-mail: nakasono@soc.shimane-u.ac.jp



【International House】



【Private room】

【Field trip and events for international students】



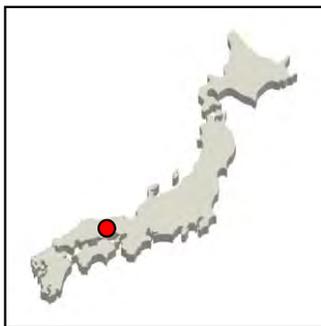
<Kumano Taisha, a shrine with a long history>



<Flower arrangement 【IKEBANA】 experience>



<Rice - planting 【TAUE】 experience>



岡山大学 (岡山県)



日本語能力の向上及び日本の文化、社会、経済、法律、教育などに対する理解を深めることを目的とする。本コースは次の3種類の授業からなる。①さまざまなレベルやトピックを扱う日本語クラス、②日本の文化、経済、法律、教育に関する授業、③文学部、法学部、経済学部、教育学部の各学部の日本人学生対象の講義

■大学紹介



① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

岡山大学は1949年に設立された国立大学ですが、その前身は1922年設立の岡山医科大学、1900年設立の第六高等学校などで、長い伝統があります。設立後発展を重ね、現在では文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境理工学部、農学部の11学部と、教育学研究科、社会文化科学研究科、保健学研究科、医歯薬学総合研究科、自然科学研究科、環境生命科学研究科、法務研究科の7大学院を擁する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひとつです。本学に在籍している外国人留学生に対しての日本語教育は、基幹教育センターが担当し、生活面のサポートはグローバル・パートナーズが行っています。

2) 教員・学生数等 (2016年5月1日現在)

教員数：1,503名
学部学生：10,148名
大学院生：2,951名

② 国際交流の実績 (2016年5月1日現在)

大学間交流協定数 131件
部局間交流協定数 140件

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数602人、日本語・日本文化研修留学生5人
2015年：留学生数520人、日本語・日本文化研修留学生5人
2014年：留学生数461人、日本語・日本文化研修留学生5人

④ 岡山市の特色

岡山県は日本の西部にある中国地方に位置し、瀬戸内海に面しています。水島工業地帯を抱え工業が盛んであるとともに、農産物や水産物が豊かな県です。岡山は、温暖な気候で、地震や台風などの自然災害もほとんどなく、日本で最も安心・安全で住みやすい地域と言われています。

岡山大学のある岡山市は岡山県の県庁所在地で、この地方の政治、経済、教育、文化の中心地のひとつです。岡山市へは交通が大変便利です。新幹線を利用すれば、東京から3時間30分、新大阪から45分で岡山市に着きます。



■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの

② コースの特色

日研生は、文学部、教育学部、経済学部、法学部のいずれかに所属し、指導教員の指導を受けます。日本語の能力が特に高い学生は、日本人学生と一緒に受講する教養教育科目や所属学部で専門科目の授業に出席することができます。また、各自の研究テーマに合った演習にも参加できます。

③ 受入定員

5名 (大使館推薦4名、大学推薦1名)

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験のN2レベルの日本語 (語彙6,000語、基本漢字1,000字程度) を習得している者。

⑤ 達成目標

アカデミックな日本語能力を養い、日本に関する専門的な知識を深めること。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日

(自主研修期間を含む)



⑦ 研修科目の概要

授業は原則として、第1・第2・第3・第4学期各8週間開講されます。学生は指導教員と相談の上自分のレベルや興味に合った科目を履修できます。必須科目は設けていません。履修可能科目の例は次の通りです。

1) 日本語科目

プレースメントテストの結果に基づいて、日本語のクラスを決めます。日本語5は日本語能力試験N2程度、日本語6は日本語能力試験N1程度を目指す学生のためのコースです。日本語7、あるいは文学部で開講されている上級コースは、既に日本語能力試験N1レベルに達している学生を対象としています。

◇中級コース（基幹教育センター）

授業科目名	概要	時間
日本語5 (第1-4学期)	中級後期の総合的なクラス	60
映像で学ぶ 日本語1 (第1-2学期)	ドラマや映画を通して日本語を学ぶクラス	15
新聞で学ぶ 日本語 (第3-4学期)	新聞、雑誌を読みながら日本語を学ぶクラス	15
中級文法1 (第1-4学期)	中級の文法を学ぶクラス	15
中級漢字・ 語彙 (第1-4学期)	中級の漢字・語彙を学ぶクラス	15

◇中／上級コース（基幹教育センター）

授業科目名	概要	時間
多読で学ぶ日本語 (第1-4学期)	多量の日本語を読むクラス	15
映像で学ぶ日本語2 (第1-2学期)	ドラマや映画を通して日本語を学ぶクラス	15
中級文法2 (第1-4学期)	中級後半の文法を学ぶクラス	15
日本を知ろう (第1-2学期)	日本の文化や社会について学ぶクラス	15
岡山を知ろう (第3-4学期)	岡山について調べながら日本語を学ぶクラス	15
メディア・リテラシー (第3-4学期)	情報を批判的に読み取るクラス	15
日本語6 (第1-4学期)	上級前期の総合的なクラス	60
日本語7（書く・読む・聞く・話す） (第1-4学期)	上級の（書く・読む・聞く・話す）力を高めるクラス	各15

2) 日本事情・日本文化科目

◇文学部・法学部・経済学部

授業科目名	概要	時間
日本文化学a/b (第1-4学期)	日本文化に関わるテーマについて討論するクラス	15
日本経済事情 (第1-4学期)	日本の経済・社会について学ぶクラス	15
日本法政事情 1a/b (第1-2学期)	日本の法律や政治について学ぶクラス	15

◇見学、地域交流等の参加型科目

授業科目名	概要	時間
日本事情A・B (第1-4学期)	茶道、備前焼などの日本文化を体験しながら学ぶクラス	15
ホームステイ (第1-4学期)	ホームステイ体験を通して、日本の家族や習慣について学ぶ	15



3) その他の講義等

日本語の能力が特に高い学生は、上記科目以外に、日本人学生と一緒に受講する教養教育科目や所属学部で専門科目の受講が可能です。

⑧ 年間行事

第3-4学期（10月-2月）

10月 新入生オリエンテーション

授業開始

新入生歓迎パーティー

11月 大学祭

2月 授業終了

第1-2学期（4月-7月）

4月 授業開始

7月 授業終了

8月 夏休み

9月 修了レポート提出

お別れパーティー



⑨ 指導体制

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる学部において指導教員を決め、学業面の指導、生活面の支援を行います。

コーディネーター

- 末繁美和（基幹教育センター）
- 堤 良一（文学部）
- 平田仁胤（教育学部）
- 廣田陽子（経済学部）
- 赤木真美（法学部）
- 原田和往（法学部）

⑩ コースの修了要件

各学期、週10コマ以上履修し、修了レポートを作成すること。修了時に修了証書を授与します。また、必要がある場合は、成績証明書も発行します。

■宿 舎

下記の岡山大学外国人留学生・研究者宿泊施設のいずれかに入居できます。各宿泊施設は大学の中心キャンパスである津島キャンパスから徒歩5～10分程度のところに位置しており、通学に大変便利です。

日本語・日本文化研修留学生は、研修期間中優先して入居することができます。

寄宿料および光熱水料は次のとおりです。

- 国際学生シェアハウス 寄宿料 月額23,000円
- 桑の木留学生宿舎 寄宿料 北棟 月額15,000円
南棟 月額12,000円
- 福居留学生宿舎 寄宿料 月額18,000円

※その他、電気、ガス、水道料金を負担していただきます。

※寄宿料は改定する場合があります。

桑の木留学生宿舎



国際学生シェアハウス



■修了生へのフォローアップ

2014年に岡山大学国際同窓会が設立され、毎年総会が開催されています。今後、更に海外での活動を充実させ、日研生を含め、本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

また、日研生修了生のうち、より深く専門分野を本学で学びたい学生が本学に戻ってくるケースも増えています。



■問合せ先

（担当部署）

岡山大学グローバル・パートナーズ留学交流課

住所 〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中2丁目1番1号

TEL +81-(0)86-251-7051（直通）

FAX +81-(0)86-252-5022

E-mail dde7046@adm.okayama-u.ac.jp

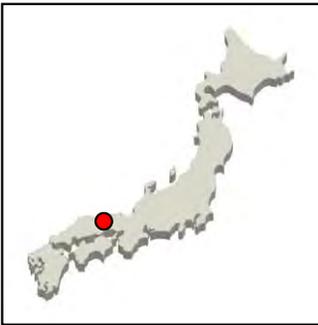
岡山大学ホームページ

<http://www.okayama-u.ac.jp>

岡山大学グローバル・パートナーズホームページ

<http://ouic.okayama-u.ac.jp/>





Okayama University (Okayama Prefecture)



This program aims at deepening your comprehension of Japanese language, culture, economy, law, and education.

The program offers the following classes;

- (1) Japanese language classes with various levels and topics,
- (2) Special courses on Japanese culture, economy, law, and education,
- (3) Courses at the Faculties of Letters, Law, Economics and Education

■ University Overview

Characteristics and Overview of Okayama University

1) Characteristics and History

Okayama University was founded in 1949 on the basis of its predecessors Okayama Medical College and Sixth High School, which were founded in 1922 and 1900 respectively. Now, it has 11 faculties and 7 graduate schools and is one of the biggest national universities in Japan.

One of its characteristics lies in its emphasis on international exchanges.

The Language Education Center provides Japanese language courses to International Students and the Center for Global Partnerships and Education supports their living in Japan.

2) Number of Students (as of May1, 2016)

Academic Staff 1,503

Undergraduate Students 10,148

Graduate Students 2,951

International Exchanges (as of May1, 2016)

International Exchange Agreement (University Level) 131

International Exchange Agreement (Faculty Level) 140

International Students & Japanese Studies Students

2016: International Students 602, Japanese Studies Students 5

2015: International Students 520, Japanese Studies Students 5

2014: International Students 461, Japanese Studies Students 5

Characteristics of Okayama Prefecture

Okayama Prefecture is in the Chugoku region, which is located at the western part of the Japanese Islands, and faces the Seto Inland Sea. The Mizushima Industrial District and manufacturing industry are prosperous. It is also famous for farm products and marine products. Okayama city, where Okayama University is located, is the capital of Okayama Prefecture and one of major political, economic, commercial, educational and cultural centers of the Chugoku region. Okayama city's population is approximately 700,000.

It is a convenient key city in the transportation network. By using Super Express (Shinkansen), it is about 3.5 hours from Tokyo and 45 minutes from Shin-Osaka.



■ Overview of the Courses

Course Objectives:

The courses focus mainly on improving Japanese language skills. They also offer opportunities to learn about Japanese society and culture.

Characteristics

Students will belong to the Faculty of Letters, Education, Economics, or Law, and will be supervised by academic advisors. They can attend classes offered for Japanese students in their faculty if their language proficiency is sufficient. They also can attend the seminars related to their research interest.

Number of Students to be Accepted: 5

(4 recommended by Embassy and 1 recommended by University)

Qualifications and Requirements:

Candidates are expected to have Japanese language ability equivalent to the N2 Level or above of the Japanese Proficiency Test (6,000 words, 1,000 kanji) .

Course Objectives

The aims of the courses are to aid students in improving their academic Japanese language skills as well as to deepen their specialized knowledge of Japan.

Period of the Course:

From October 2017 to September 2018 (including self-study period)

Course Outlines:

There are four terms in a year: The 1st term (April 1 to June 2), the 2nd term (June 3 to July 31), the 3rd term (October 1 to December 1) and the 4th term (December 2 to February 10) . Each Term consists of 8 weeks.

Students can take classes that suit their interests and Japanese language levels upon the consultation with their academic advisors. There are no required classes. The classes offered are as follows;



◆ Japanese Language Classes

Students will be assigned to Japanese language classes based on the result of the placement test. Japanese 5 is designed for students aiming for level N2 of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), and Japanese 6 is for those aiming for level N1. Japanese 7 and Advanced Japanese Courses offered in the Faculty of Letters are for those who have reached the level of JLPT N1.

◇ Intermediate Course (in the Language Education Center)

Title	Contents	Credit Hours
Japanese 4 (The 1st - 4th Term)	Integrated class for intermediate students	60 hrs
Japanese 5 (The 1st - 4th Term)	Integrated class for upper-intermediate students	60 hrs
Japanese through Films 1 (The 1st - 2nd Term)	Learn Japanese through dramas and movies	15 hrs
Japanese through News and Magazine Articles (The 3rd - 4th Term)	Learn Japanese through newspaper and magazine articles	15 hrs
Intermediate Grammar 1 (The 1st - 4th Term)	Reinforce grammar	15 hrs
Intermediate Kanji and Vocabulary (The 1st - 4th Term)	Reinforce Kanji and Vocabulary	15 hrs



◇ Intermediate / Advanced Course (in the Language Education Center)

Extensive Reading (The 1st - 4th Term)	Training for extensive reading	15 hrs
Japanese through Films 2 (The 1st - 2nd Term)	Learn Japanese through dramas and movies	15 hrs
Intermediate Grammar 2 (The 1st - 4th Term)	Reinforce grammar	15 hrs
Japanese Culture and Society (The 1st - 2nd Term)	Learn about Japanese culture and society	15 hrs
Study of Okayama (The 3rd - 4th Term)	Learn about Okayama through project works	15 hrs
Media Literacy (The 3rd - 4th Term)	Learn media literacy in Japanese	15 hrs



◇ Advanced Course (in the Language Education Center)

Japanese 6 (The 1st - 4th Term)	Integrated class for advanced Japanese students	60 hrs
Japanese 7 (Writing A/B) (The 1st - 4th Term)	Reinforce language skills in writing	15 hrs
Japanese 7 (Reading A/B) (The 1st - 4th Term)	Reinforce language skills in reading	15 hrs
Japanese 7 (Listening A/B) (The 1st - 4th Term)	Reinforce language skills in listening	15 hrs
Japanese 7 (Speaking A/B) (The 1st - 4th Term)	Reinforce language skills in speaking	15 hrs

◇ Advanced Course (in the Faculty of Letters)

Japanese 1a/b (The 1st - 4th Term)	Advanced reading	15 hrs
Japanese 2a/b (The 1st - 4th Term)	Advanced grammar	15 hrs

◆ Classes Other than the Japanese Language Classes

Study of Japan 1/2 (The 1st - 4th Term)	Learn Japanese culture through hands on experience such as the tea ceremony and Bizen pottery.	15 hrs
Homestay (The 2nd - 3rd Term)	Learn Japanese customs and values through a homestay or home-visit.	15 hrs
Japanese Studies a/b (The 1st - 4th Term)	Discuss topics concerning the Japanese culture	15 hrs
Japanese Economic Affairs IA/IIA (The 1st - 4th Term)	Study Japanese economic history after World War II	15 hrs
Japanese Economic Affairs IB/IIB (The 1st - 4th Term)	Study Japanese economic affairs	15 hrs
General Guidance on Japanese Law and Politics (The 3rd - 4th Term)	Introductory class on Japanese law and politics	15 hrs

*Others

Hours listed above represent the total hours one would receive upon completion of each course.

Students can attend classes offered for Japanese students in their faculty if their language proficiency is sufficient.

Academic Calendar and Events:

The 3rd – 4th Term (October 1 – February 10)

October: Orientation for New Students, Welcome Party, Classes begin

November: University Festival

February: Classes end

The 1st – 2nd Term (April 1 – July 31)

April: Classes begin

July: Classes end

September: Submission of Research Paper, Farewell Party

Academic Guidance:

Academic advisors will be assigned to each student. They will provide an academic guidance and an everyday life support.

Coordinators:

Miwa SUESHIGE (Language Education Center),

Ryoichi TSUTSUMI (Faculty of Letters),

Yoshitsugu HIRATA (Faculty of Education),

Yoko HIROTA (Faculty of Economics)

Mami AKAGI (Faculty of Law)

Kazuyuki HARADA (Faculty of Law)

Requirements for Completion of the Course and Certificate:

Students must take 10 classes or more per week each term and submit a final research paper.

A certificate of completion will be given upon the completion of the course.

An academic transcript will be also issued.

Accommodations

Okayama University has three dormitories for International students (Kuwanoki Dormitory, Fukui Dormitory and International Student Shared House). They are conveniently located within a five or ten minute walk from Tsushima Campus, the main campus of the University.

Students enrolled in the Japanese studies course have priority in residing in one of these dormitories during their studies.

< Rent and Utility Bills >

● International Student Shared House :Rent 23,000 yen per month

● Kuwanoki Dormitory :Rent
North Wing 15,000 yen per month
South Wing 12,000yen per month

● Fukui Dormitory :Rent 18,000 yen per month

* Electricity, water and gas will be charged.

* Rent is subject to change.

Kuwanoki Dormitory



Fukui Dormitory



International Student Shared House



Follow-up

Okayama University organized the Okayama University International Alumni Association in 2011 and the general meeting is held once a year. The Okayama University International Alumni Association will serve as a way to disseminate information between alumni association members and students of Japanese Studies at Okayama University in addition to providing alumni who do not belong to the association a way to stay connected with Okayama University.

After studying Japanese Studies at Okayama University, some students have returned to continue their research.



Contact

Center for Global Partnerships and Education,
Okayama University

Address: 2-1-1 Tsushima-Naka, Kita-ku,
Okayama, 700-8530

Phone: +81 - (0) 86 - 251 - 7051

Fax: +81 - (0) 86 - 252 - 5022

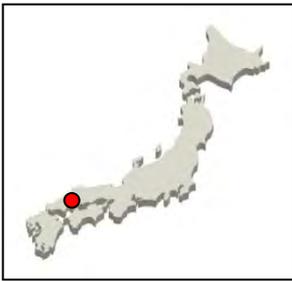
E-mail: dde7046@adm.okayama-u.ac.jp

URL: Okayama University:

http://www.okayama-u.ac.jp/index_e.htm

Center for Global Partnerships and Education:

<http://ouic.okayama-u.ac.jp/english/index.html>



広島大学 (広島県)



・充実した日本語日本事情教育

・豊富な実地見学

■大学紹介

①大学の特色および概要

1) 特色と歴史

1949年広島文理科大学、広島高等師範学校などを包括して設置された。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち、国立大学としては、全国有数の規模と学生数を誇る。11の学部と11の大学院があり、情報化、国際化、生涯学習及び国際協力へのニーズに対応した教育・研究が行われている。学部・研究科（大学院）以外にも、高等教育研究開発センター、平和科学研究センター、国際センター、原爆放射線医学研究所などのユニークなセンター・研究所群を持つ。

さらに、教育学部は日本語教育系コースを持ち、日本語教師や日本語教育学の専門家を目指す日本人学生、留学生が勉学に励んでいる。

医学部、歯学部等を除く東広島市への統合移転が1995年度に完了し、市街地を離れた広大な東広島キャンパスは、自然に恵まれ、静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。

2) 教員・学生数等 [2016. 5. 1現在]

教員	1,679名
学生数	学部学生・研究生等 11,249名
	大学院学生・研究生等 4,368名

②国際交流の実績

大学間交流協定数：180協定

(41カ国・地域 166機関)

留学生在籍数	1,191名 (70カ国) [2016. 5. 1 現在]	
うち、日本語・日本文化研修プログラム	国際センター	8名
	文学部	1名
	教育学部	1名

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修学生の受入実績

	留学生数	日本語・日本文化研修留学生
2016年	1,191人	3人
2015年	1,284人	10人
2014年	1,158人	13人

④広島県、広島市、東広島市の特色

広島市、東広島市が位置する県南部は、瀬戸内海に面し、気候は温暖で、四季に恵まれ、海苔やカキの養殖が盛んである。また、北部の中国山地は、神楽などの伝統芸能が盛んで、「たたら（現在の製鉄所）」の遺跡も多い。

広島市は世界最初の被爆都市であるが、政令指定都市となった現在は、国際平和都市として市民グループの活動も活発で、平和や国際協力に関する留学生との国際交流活動に参加できる機会にも恵まれている。

東広島市は、広島市の東約30キロの盆地の中にあり、古くから、酒都として有名であるが、現在は、広島大学、他の私立大学、また国や多くの企業の研究施設も移転してきており、研究学園都市として急速に発展している。また、半導体、電気・電子機器等製造業の進出が近年盛んで、人口も急速に増えている。

■コースの概要

①研修目的

日本語能力の向上のために研修を主とし、補助的な日本語事情・日本文化に関する研修を行うもの。

②コースの特色

本プログラムは、本プログラムの研修生のみを対象として開講する必修の「日本語・日本文化特別研究」、指導教員のもとで行われる「課題研究」、およびそのレポートの作成、そして全学向けの「日本語・日本事情科目」から選択して履修する授業を3つの柱としている。

必修科目である「日本語・日本文化特別研究」では、国際センター、また学内の教員の協力を得て1回完結の講義の中で日本語と日本文化、日本社会、広島から考える平和について学ぶとともに、広島市を始め、広島県内および中国地方、瀬戸内海周辺で実施する多くの見学を通じて、直接日本文化に接しながら日本の歴史、文化、風俗および平和の尊さについて学ぶ。

「日本語・日本事情科目」は、全学の留学生に開講されているものだが、そのうち、中上級レベルであるレベル4、上級レベルであるレベル5のクラスから、自身の日本語能力と興味・関心に応じて授業を選択する。

「課題研究」では、日本語学、日本語教育学、日本文化学などの専門家である指導教員の個別指導のもと、日本語・日本文化の分野で専門水準の研究を行う。また、自身の興味、専門に応じ、指導教員と相談したうえで、総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部等で開講されている日本人学生向けの授業を聴講することも可能である。

研修生には日本人学生のボランティアチューターを1人つけ、生活面、勉学面でサポートしている。さらに、要望に応じて日本語会話パートナーと会話練習をしたり、多様な国際交流活動に参加できる。

また、国際センターでは、コンピューター室の開放、研修生全員に専用の研修ツールとしてノートブック型コンピューターの貸出などを行っている。

さらに、国際センターには数多くの日本映画とアニメのDVDソフトが用意されており、これらを活用した授業が行われているだけでなく、授業の一環として視聴を奨励している。

また、国際センターでは、各留学生在が指導教員の個別指導のもとに行った「課題研究」をまとめ毎年、研修レポート集として発行している。

③受入定員

20名（大使館推薦 16名、大学推薦 4名）

④受講希望者の資格、条件等

このコースを受講できる者は、文部科学省の規定に基づく大使館推薦による者の他、大学間協定、ないし部局間協定に基づく大学推薦の学生とし、以下の要件を満たす者とする。

- 1) 日本語能力：日本語能力試験N2以上の高い日本語能力を有する者、あるいは有すると見なせる者。
- 2) 日本研究学習歴／専攻：日本語を2年以上学び、日本語・日本文化を主専攻とする者。大学1年生は対象としない。

⑤達成目標

日本語・日本文化の分野で1年間、指導教員の個別指導のもと、卒業論文の水準の「課題研究」を行い、研修修了時に日本語レポートとしてまとめる。これにより、テーマの設定、研究構想、原稿作成、口頭発表に必要な日本語能力を獲得する。

⑥研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年9月30日
修了式は9月を予定（2016年は9月8日）

⑦研修科目の概要

授業は原則として前期・後期各15週開講される。

1) 必須科目

「日本語・日本文化特別研究I・II」：前後期週2コマ（4時間）

国際センター、また学内の教員による日本語・日本文化・日本事情に関する講義、および文化施設・文化財・建築等の見学。また、「課題研究」の構想発表・中間発表もこの時間に行われる。以下の講義・見学は2015年度のもので、2016年度は多少変更の可能性はある。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- 広島見学1（広島城・平和公園）
- 広島見学2（ひろしま美術館・広島市現代美術館）
- サタケ（精米器メーカー）見学
- 宮島見学
- 亀齢酒造見学
- マツダ見学
- 福山見学
- 瀬戸内海しまなみ研修旅行（愛媛県松山市1泊2日）
- 尾道見学
- 下蒲刈島・呉市見学
- 古事記・風土記の旅（島根県松江市1泊2日）

3) その他の講義、選択科目等

・講義

- | | |
|------------|-------------|
| 日本語音声学・音韻論 | 現代日本語の語彙 |
| 日本語と文体1 | 世界の平和教育 |
| 俳句入門 | 日本語と文体2 |
| 比較言語文化論の視点 | 沖縄のこぼれ |
| 古事記と日本神話 | 日本の高等教育の国際化 |
| 日本社会とジェンダー | と市場化 |

・選択科目

レベルIV：

- （前期）総合日本語中級IIA（長文読解）、B（日本語作文）、C（聴解）、日本の教育と文化A：各1コマ（90分）／週
- （後期）総合日本語中級IID（長文読解）、E（日本語作文）、F（聴解）、日本の教育と文化B：各1コマ（90分）／週

レベルV：

- ・日本語聴解特別演習A・B
- ・日本語語彙特別演習A・B
- ・日本語分析特別演習A・B
- ・日本語表現特別演習A・B
- ・映像日本語特別演習A・B
- ・論文作成法A・B
- ・日本の社会・文化A・B
- ：各1コマ（90分）／週

日本語【授業科目及び授業時間数】

授業科目		前期	後期
必須科目	日本語・日本文化特別演習	60	60
選択科目： 日本語・日本事情科目	総合日本語中級II A・D	30	30
	総合日本語中級II B・E	30	30
	総合日本語中級II C・F	30	30
	日本の教育と文化 A・B	30	30
	日本語聴解特別演習 A・B	30	30
	日本語語彙特別演習 A・B	30	30
	日本語表現特別演習 A・B	30	30
	日本語分析特別演習 A・B	30	30
	日本の社会・文化 A・B	30	30
論文作成法 A・B	30	30	

⑧年間行事

- ・日帰り見学
1年間に5～6回
- ・研修旅行（1泊2日）
前期、後期それぞれ1回
- ・研修成果発表会



⑨指導体制

1) プログラム実施委員

氏名	所属・職名	専攻
中川正弘 (委員長)	国際センター教授	文体論、日本語教育
田村泰男	国際センター准教授	言語学、日本語教育
石原淳也	国際センター准教授	日本語音声学・音韻論、言語学
深見兼孝	国際センター准教授	言語学、日本語教育

2) 指導体制

センターに所属する全ての教員および一部の教育学部教員が指導教員として本プログラムに参加し、学生の学業、生活両面にわたり指導・助言を行っている。

3) 助言・カウンセリング

留学生に対する助言・カウンセリング等は、以下の場所で協力して行われている。
 ・保健管理センター
 ・所属学部の留学生専門教育教員（教育学部 配置学生のみ）

⑩コースの修了要件

修了時に各指導教員の下で行った「課題研究の成果をまとめたレポートの提出も求められる。修了式において学長の署名が入った「修了証書」が授与される。

■宿 舎

広島大学の留学生数の増加にともない、全ての者が広島大学内の留学生用宿舎、東広島市内の公的宿舎へ入居できるとは限らない。やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もある。

・過去3年間の日研生の宿舎入居状況（各年度10月現在）

	国際交流会館	サンスクエア 東広島	民間 アパート	計
2016年度	3	0	0	3
2015年度	10	0	0	10
2014年度	13	0	0	13

- ・広島大学の留学生用宿舎
 「国際交流会館」：広さ 13.3㎡、家賃 5,900円/月、共通経費 2,500円/月、国際センターまで徒歩20分・自転車7分
 「広島大学留学生用借上宿舎」：広さ 15㎡~17㎡ 家賃 8,000~18,000円/月、敷金 20,000円
- ・その他
 「サンスクエア東広島」：広さ 17.46㎡、家賃 20,000円/月、共益費 3,500円/月、シーツ代 6,000円、敷金40,000円、国際センターまでバス15分・自転車25分、留学生用の公的宿舎
 「民間アパート」（平均的相場）：広さ 15㎡~17㎡、家賃 25,000円~45,000円/月、共益費 1,000円~3,000円、敷金 家賃の1~3ヶ月分、礼金 家賃の約1ヶ月分、幹旋料 家賃の約1ヶ月分

奨学金支給までの生活費、宿舎入居のための資金として、少なくとも10万円程度を用意しておくことが望ましい。



■修了生へのフォローアップ

- ・日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集を修了生本人と所属（出身）大学へ送付
- ・修了生のレポートPDFを国際センターホームページにリポジトリ登録し、閲覧可能
- ・修了した研修プログラムの記録を国際センターホームページに保存し、閲覧可能
- ・研修プログラムの最新の動向を知らせるため修了生をメーリングリストに登録

■問い合わせ先

（担当部署）
 広島大学国際センター国際交流グループ
 住所：〒739-8514 広島県東広島市鏡山1丁目7番1号 広島大学学生プラザ
 TEL：+81-82-424-6182（直通）
 FAX：+81-82-424-4545
 E-mail：kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

- 広島大学ホームページ（日本語日本文化研修コースガイド）
<http://hiroshima-u.jp/international/admissions/mext/cguide2>
- 広島大学での生活
http://hiroshima-u.jp/explore_hu





Hiroshima University (Hiroshima)



*Quality Japanese Language and Culture Education *Lectures Held by Specialists *Engaging Study Tours

■ About Hiroshima University

① Features of the University

1) Characteristics and History

In 1949, the Hiroshima College of Literature and Science and the Hiroshima Higher Education Teaching College were merged, and Hiroshima University was born. Hiroshima University has a reputation as a leading university among education universities in Western Japan, as well as being prominent among Japanese universities for its high number of students. With 11 undergraduate faculties and 11 graduate departments, Hiroshima University is the home to education and research which meet the needs of today's world, including those of the Information Age, internationalization, and lifetime learning. Aside from the undergraduate and graduate faculties, Hiroshima University holds a variety of unique research centers including the Research Institute for Higher Education, Institute for Peace Science, International Center, and the Research Institute for Radiation Biology and Medicine. Furthermore, the education department offers a special Japanese Language education course for students studying to become Japanese Language teachers or Japanese Language specialists. In 1995, Hiroshima University was moved from Hiroshima City to Higashi-Hiroshima (apart from the Medicine and Dentistry Departments, which remain in Hiroshima City). Separated from the bustling city and surrounded by an abundance of nature, the vast Higashi-Hiroshima Campus provides the perfect study environment.

2) Staff/Student Numbers *as of 1 May, 2016

Teaching Staff	1,679	
Students	Undergraduate students	11,249
	Graduate and research students	4,368

The number of University Level Bilateral Agreements: 180
(166 institutes, 41 countries/areas)

② International Exchange Numbers *as of 1 May, 2016

Total Number of Int'l Students	1,191 (70 countries)	
Japanese Language and Culture Study Program	International Center	8
	Faculty of Letters	1
	Faculty of Education	1

③ Total Numbers of Accepted International Students and numbers of Students for Japanese Language and Culture Study Program for the past 3 years

	Total Number of Int'l Students	Total Numbers of Students for Japanese Language and Culture Study Program
2016	1,191	3
2015	1,284	10
2014	1,158	13

④ Features of Hiroshima Prefecture, Hiroshima City, and Higashi-Hiroshima City

Hiroshima City and Higashi-Hiroshima City are located in the Southern region of Hiroshima Prefecture. Both have

direct access to the Seto Inland Sea, a mild climate, and are famous for their seaweed and oysters. The mountain area of northern Hiroshima Prefecture is famous for the traditional entertainment known as Kagura. One can also find many ruins of 'Tatara (ironworks)' in this area.

Hiroshima City was the first city to fall victim to the atomic bomb, but now, as an official designated city dedicated to the quest for international peace, it is the home of many groups involved in peace-promoting activities, in which our program's students have opportunities for participating. Higashi-Hiroshima City is located in a basin approximately 30 kilometers east of Hiroshima City. It has a long history as a town famous for its sake (Japanese rice wine). Recently, with the move of Hiroshima University and the establishment of several other private universities, as well as a great number of enterprise research centers, the city is rapidly developing into a center for academics and research. Furthermore, the recent prosperity of semiconductor, electricity and electronics production has led to a rapid increase in the population of Higashi-Hiroshima.

■ Course Contents

① Purposes of Course

The main purpose of this course is to improve Japanese language ability, and subsidiarily provide lectures on Japanese Studies (culture and society).

② Features of Course

This course is comprised of three major components: a compulsory Special Japanese Language and Culture Study Program conducted

solely for the students of this program; a research component consisting of topical research conducted under the guidance of a personal supervisor and the presentation of a research report; and participation in general Japanese and Japanese Affairs classes of the student's choice. The Specialized Japanese Language and Culture Study Program involves the cooperation of professors both in and out of the International Center, and offers students the chance to not only deepen their knowledge of Japanese language, culture, society, and the peace contemplated from Hiroshima through special lectures, but also allows them to experience Japanese history, culture and customs first-hand, and the preciousness of peace through several study tours within Hiroshima Prefecture, the Chugoku region, and in the Seto Inland Sea and surrounding areas. The general Japanese Language and Culture classes are conducted for all foreign students of Hiroshima University, and students of this course may take any of the upper intermediate Level 4 and the advanced Level 5 classes, according to their personal ability and interests. For topical research, each of the students undertakes specialized research in a topic of their choice relating to Japanese language or culture. The students' personal supervisors, including specialists in the study of the Japanese language, Japanese language education, and Japanese culture, oversee the research. If desired, students are also able to audit regular classes from other faculties along with other Japanese students.

Every student is assigned a personal tutor, a Japanese student who can offer advice or assistance with study or everyday matters, and conditioned to have Japanese conversation practice with Japanese students and join in different international activities on demand.

The International Center offers access to a computer room in the department, as well as the loan of a personal laptop computer. Wireless

internet access is available in the International Center, the International House and certain other areas of the university. The International Center also holds a large collection of Japanese movies and animation DVDs available for loan, along with portable DVD players. It is hoped that students will make use of these to further their study by watching them in their free time.

Every year, the International Center publishes the collection of the research reports written by the students.

③Maximum Capacity: 20 students

Embassy recommendation: 16, University recommendation : 4

④Requirements for Acceptance

Those eligible to enter this course include those recommended by their embassies based on the regulations set by the Ministry of Education, or those recommended by universities or departments that have an agreement with Hiroshima University (Oxford University, Beijing Teachers' College, etc). In addition, the following requirements must be met:

1) Japanese Language Proficiency: Applicants must have a high level of Japanese ability. At the minimum, they must either hold or be able to pass Level N2 of the Japanese-Language Proficiency Test.

2) Educational Background/ Field of Study: Applicants must have studied Japanese for a minimum of two years and be majoring in Japanese Language and/or culture. First year students are ineligible for this program.

⑤Goal of Achievement

Every program student completes specialized personal research and writes a research paper under the direction of his or her individual advising professor. This research process grows ability in focusing on subject, planning study, word processing in Japanese and public presentation.

⑥Course Length:

October 01, 2017 – September 30, 2018

Course Completion Ceremony is held in September.

⑦Course Outline

In principle, classes usually run for 15 weeks during both semesters.

1) Compulsory Subjects

Special Japanese Language and Culture Study program I & II: Two periods (4 hours) per week during both semesters. It consists of special lectures on the Japanese language, culture and affairs, given by lecturers from the International Center and other Faculties, and study visits to cultural institutions and treasures. The research proposal presentation and mid-term presentation of each student's personal research also takes place during this time. The following is the description of the contents of this course for 2015. The 2016 program may be subject to change.

2) Study Tours and Involvements in the local community

- Hiroshima City Tour 1 , 2
- Miyajima Study Tour
- Shimanami Study Trip (Seto Inland Sea)

3) Other Lectures and Elective Courses

☆Lectures

- Japanese Phonetics and Phonology
- Modern Japanese Lexicology
- Japanese Stylistics 1
- Let's enjoy HAIKU
- Peace Education in the world
- A view point of contrastive analysis on languages and cultures
- Japanese Stylistics 2
- KOJIKI and Japanese Mythology
- Language of Okinawa
- Japanese Society and Gender
- Internationalization and marketization of Higher Education in Japan

☆Elective Courses

Japanese Language【Subjects and hours】

Subject		Spring	Fall
Compulsory		60	60
Elective Courses: Japanese Language and Japanese Affairs	Integrated Intermediate J.IIA	30	30
	Integrated Intermediate J.IIB	30	30
	Integrated Intermediate J.IIC	30	30
	Listening	30	30
	Lexical	30	30
	Analysis	30	30
	Cinema	30	30
	Culture and Society	30	30

⑧Annual Events

An opening and closing ceremony, as well as the Research Presentation, where students give a brief presentation on the contents of their individual research report.

⑨Guidance

1)Program Coordinators

Name	DEP	Position	Major
Masahiro Nakagawa	I.C	Prof.	Literature, Stylistics,
Yasuo Tamura	I.C	Assoc. Prof.	Linguistics, Japanese education
Junya Ishihara	I.C	Assoc. Prof.	Phonetics&Phonology; Linguistics
Kanetaka Fukami	I.C	Assoc. Prof.	Linguistics, Japanese education

2) Guidance

All professors from the International Center and some from the Education Department oversee the running of this program, and offer advice and support to students.

3) Advice and counseling are available for international students at the following locations:

- Health Service Center
- International Student Advisor (Education department only)

⑩Course Completion Requirements

There is no set of fixed course completion requirements, but instead students, in consultation with their personal supervisor, must decide the number and types of classes to be taken. They must also submit a report based on their personal research. A certificate of completion, signed by the president of the university, will be awarded at the closing ceremony.

■Housing

The increase in the number of International students at Hiroshima University means that it is no longer always possible to find a place in one of the university's international student dormitories. There are cases when students have to rent a private apartment. The lodging situation for students of the Japanese Language and Culture Program for the last three years is as follows:

	Int'l House	Sun-square	Private Apartment	Total
2016	3	0	0	3
2015	10	0	0	10
2014	13	0	0	13

Hiroshima University International House:

Room size 13.3m², Rent ¥5,900/month; Common House Expenses ¥ 2,500/month; Walking Time to the International Student Center: 20 mins, Cycling time: 7 mins

Leased Accommodations by University:

Room size 15-17m², Rent ¥ 8,000- 18,000/month, Deposit ¥ 20,000

Sunsquare Higashi-Hiroshima:

Room size 17.46 m², Rent ¥ 20,000/month, Common expense charge ¥ 3,500/month, Sheets ¥ 6,000, Deposit ¥ 40,000, Time to the International Center: Bus - 15 mins, Bicycle - 25mins

Private Apartments:

Room Size 15-17m², Rent ¥ 25,000 - 45,000/month, Common expenses charge ¥ 1,000-3,000/month, Deposit 1-3 months rent, Move-in fee 1 month rent, Agent fee 1 month rent

* In order to cover living expenses and set-up costs until the time of the first scholarship payment, it is suggested that students bring a minimum of ¥ 100,000 with them to Japan.

■Follow-up for Course Completion Students

Printed Research Reports Books are delivered to completed students and their home university.

Research Reports' files are registered for general use at International Center HP repository.

Past program activity records are accessible to completed students.

All completed students are booked on our program's mailing list and informed about present program activities.

■Inquiries

International Exchange Group, International Center, Hiroshima University

Address: Student Plaza, 1-7-1 Kagamiyama Higashi-Hiroshima City, Hiroshima 739-8514

Phone: +81-82-424-6182(Direct)

Fax: +81-82-424-4545

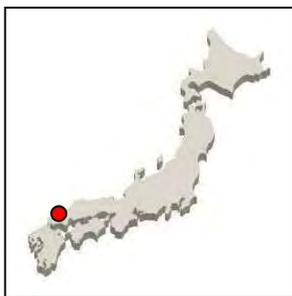
Email: kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

◇Hiroshima University MEXT Scholarship (Japanese Studies Students):

<http://en.hiroshima-u.jp/international/admissions/mext/cguide2>

◇Living at Hiroshima University:

http://en.hiroshima-u.jp/explore_hu



山口大学 (山口県)



歴史のある美しい街、山口へ留学してみませんか

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

山口大学は1815年、長州藩士・上田鳳陽によって創設された私塾・山口講堂を前身とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された。

メイン・キャンパスは山口市（人口は194,021人）に位置している。山口市は自然環境に恵まれた落ち着いた都市で、多くの歴史的名勝・文化的景観が残されている。

2) 教員・学生数等

・教員数：2,620名（2016年4月現在）

・学生数：学部生 8,744名

大学院生 1,525名

（2016年5月現在）

② 国際交流の実績

・大学間交流協定校数：83校

・学部間交流協定校数：5校

釜山大学校

復旦大学

淡江大学

イヴァン・フランコ記念リヴィウ国立大学

キャンベラ大学

（2016年5月現在）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 341人、日本語・日本文化研修留学生 2人

2015年：留学生数 313人、日本語・日本文化研修留学生 2人

2014年：留学生数 313人、日本語・日本文化研修留学生 2人

（2016年5月現在）

④ 地域の特徴

山口県は、本州の西の端にあり、山口大学吉田キャンパスのある山口市は「西の京」とも呼ばれ、歴史と文化の薫り漂う県庁所在地です。吉田キャンパス近くにある「湯田温泉」は、約800年の歴史と山陽路随一の規模を持つ温泉街で、一日2000tという豊かな湧出量を誇り、地元客や観光客に人気です。このほか、県内には優れた温泉地がたくさんあります。

また、広島県、福岡県の間に位置し、どちらの都市にも新幹線で約40分で行くことができます。

■コースの概要

① コースの特色

・スピーキング、リーディング、ライティング能力を伸ばしながら、日本語の基礎を学ぶことを主な目的とする。

・コースには日本語能力の中級話者を対象にした日本語及び日本事情の授業科目が含まれる。

・日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講する者は、日本国以外の大学学部（来日時点で主として第2学年次以上）に在籍する学生で、日本語・日本文化研修生として、以下の要件を満たす者とする。

(1) 日本語能力

日本語能力試験のN3ないしそれ以上の級に合格している者、または同等の日本語能力を有する者。一般的な事柄について会話ができ、基本的な文章を読み書きできること。

(2) 日本研究学習歴、専攻

日本語・日本文化に関する分野を専攻する者。

④ 達成目標

・日常的に使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。

・日本社会、日本文化に関する研究に活用できる知識を身につける。

⑤ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年9月30日
修了式は2018年9月を予定

ただし、オリエンテーションの日程によっては、10月1日以前に来日するように求める場合がある。

⑥ 研修科目の概要

1) 必須科目

【日本語演習A】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

単語や文法の知識を基に、特に「聞く」「話す」能力を育成し、日常生活におけるより一層のコミュニケーション能力の向上を目指す。また、学習内容のトピックに関連した簡単な新聞記事も読めるようにする。

【日本語演習B】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

表現文型・文法を学び、日本語の運用能力を高める。特に助詞が正しく使えるようになることを目指す。また、その日のテーマに関連したディスカッションから書く練習へと発展させ、文章作成能力のレベルアップを図る。

【日本語演習C】（前期60時間／後期60時間）

演習形式、使用言語：日本語

いろいろなジャンルの新聞記事、エッセイ、小説などを読み、日本語の様々な文体に慣れる。楽しく読むことができ、かつ読めたという体験を持たせ、長文の速読速解能力の向上を目指す。

【日本事情】（前期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本の文化、習慣、教育、政治、経済など日本についての基本的な事項を各種のメディア（新聞、雑誌、テレビ、インターネット等）から取り上げ、講義し、その日のテーマについてディスカッションを行う。

【異文化を学ぶ】（後期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本文化に関する様々なテーマについて学習する（例：日本の漫画、アニメ、音楽、遊び、芸術、社会）。フィールドワーク作業、ビデオ教材等を含めることで、言葉では説明しにくいものを感覚的に理解出来るように配慮する。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

日本文化と歴史を体験から学びとるため、毎年冬に留学生を対象とした見学旅行を実施している。神社や武家屋敷を訪れたり、温泉に宿泊したりする。

3) その他の講義、選択科目等

さらなる勉学・研究のために、日本語の仕組み、日英語の違い、日本の音楽、日本の歴史、日本の工芸等の教育学部開講の授業に参加することができる。

留学生の日本語能力の向上の程度を勘案して、日本語のドリル及び日本文化に関する補講を行うことがある。

教育学部が開設する授業に加え、本学には共通教育科目として、すべての学部在籍する留学生を対象にした日本語・日本事情関係の授業が開講されている。日本語能力テストの結果に応じてこれらの授業を履修することも可能である。

⑦ 年間行事

11月 留学生歓迎会、懇談会

⑧ 指導体制

- ・ 責任教員 高橋 俊章
(学生国際交流作業部会長)
- ・ 学生の所属：教育学部
- ・ 指導教員：希望に合わせて専門分野の教員又は、
国際交流に関わる教員が指導を担当する。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

- ・ 各自の課題（日本語・日本文化に関するもの）の研究を押し進め、最終的には論文を提出する。
- ・ 本コースの科目を全て履修した者には、修了証書を発行する。

■ 宿 舎

原則として、山口大学の敷地内の留学生用宿舎「国際交流会館」に入居可能である。

※過去3年間の入居実績： 2名（2014年）
2名（2015年）
2名（2016年）

※留学生用宿舎の詳細については以下のURLを参照

http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/ryugaku/ryu_05.html



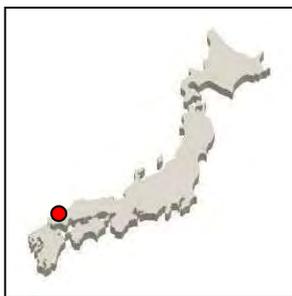
■ 修了生へのフォローアップ

修了生へのフォローアップについては、研修期間の指導状況に合わせ、指導教員が行う。

■ 問合せ先

(担当部署)

- ・ 山口大学教育学部学務係
- 住所：〒753-8513
山口県山口市吉田1677-1
- TEL：083-933-5307
- FAX：083-933-5468
- E-mail：info-g@yamaguchi-u.ac.jp
- 担当教員：高橋 俊章
(教授・学生国際交流作業部会長)
- E-mail：bld10@yamaguchi-u.ac.jp
- URL：http://abroad.edu.yamaguchi-u.ac.jp/
【山口大学ホームページ】
<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>
【山口大学留学生センターホームページ】
<http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/>



Yamaguchi University (Yamaguchi)



Study abroad in Yamaguchi, a beautiful city with historical interest

■ Yamaguchi University: A brief description

① Outlines of Yamaguchi University

1) Features and location of Yamaguchi University

Yamaguchi University was originally established in 1815 as a private school (“Yamaguchi Kodo”) by a member of the Choshu clan (“Ueda Hoyo”). It was reorganized under the educational system reforms in the Meiji and Taisho eras. Then Yamaguchi University was established as a national university in 1949. The University is now a large institution with seven Faculties, nine Graduate Schools.

The main campus in Yamaguchi (population, 194,021) is located in a city noted for its natural beauty, its many historical sites and cultural facilities.

2) Number of staff and students

Yamaguchi University has a teaching staff of 2,620. We currently have 8,744 undergraduate students and 1,525 postgraduate students (as of May 2016).

② Outlines of Student Exchange

•Number of exchange agreements signed

University Level Agreement:

83 universities (as of May 2016)

Faculty Level Agreement:

5 universities (as of May 2016)

•The list of the Partner Universities (Faculty Level Agreement):
Pusan National University(Korea), Fudan University (China),
Tamkang University(Taiwan), Lviv University (Ukraine),
University of Canberra (Australia)

(as of May 2016)

③ Number of international students at Yamaguchi University and number of students in the “Japanese Studies” Program at Yamaguchi University in the past three years

2016: international students	341students
Japanese Studies Students	2 student
2015: international students	313 students
Japanese Studies Students	2 student
2014: international students	315 students
Japanese Studies Students	2 student
	(as of May 2016)

④ Regional Characteristics

Yamaguchi Prefecture is located in the west end of the main Japanese island. Yamaguchi City is the capital city of the prefecture and is called “Kyoto in the West”, with many historical and cultural places of interest. Yuda Onsen (a hot spring bath) near Yamaguchi Campus was discovered about 800 years ago and the hot spring resort is one of the largest in western Japan, where more than 2000 tons of hot water gushes out every day. Yuda Onsen is very popular among locals and tourists alike. There are many other hot spring resorts in Yamaguchi Prefecture.

Yamaguchi is conveniently located midway between Hiroshima and Fukuoka and is about 40 minutes by Shinkansen train (bullet train) from either city.

■ Japanese Studies Program

1. feature of Japanese Studies Program

The course aims primarily at giving the students’ a firm grasp of basic Japanese and giving their speaking, listening, reading, and writing capabilities.

The Course includes intermediate Japanese language and culture classes.

The Course is mainly designed to improve Japanese language proficiency with supplementary aims of studying about Japan and Japanese culture

2. Number of Students to be accepted

Elementary and Intermediate Japanese classes: 2”(Embassy recommended students: 1, University recommended students: 1)

3. Qualifications of Applicants

The applicant should be enrolled at a university overseas and meet the following conditions:

(1) The applicant should have N3 or above of “the Japanese Language Proficiency Test” or other equivalent Japanese language proficiency qualification.

(2) The applicant should be majoring in Japanese or Japanese Studies.

4. Attainment Target

-To understand Japanese spoken in a wide range of social and academic contexts

-To acquire knowledge about life in Japan and Japanese culture

5. Period of the Course

From 1 October, 2017 to 30 September, 2018 (1 year)

The course completion ceremony will be held in September, 2018.

It should be noted that students may be asked to arrive earlier than October 1 for the orientation program.

6. Subjects Offered to the Japanese Studies Program students

1) The first three classes are seminars given in Japanese and the last two are lecture given in Japanese

•Japanese Seminar A (1st Semester 30 hrs / 2nd Semester 30 hrs)

The main focus is on listening and speaking. The student reads newspaper articles written in simple Japanese.

•Japanese Seminar B (1st Semester 30 hrs / 2nd Semester 30 hrs)

The main focus is on syntax. After discussion, the student will write on the topic discussed.

•Japanese Seminar C (1st Semester 60 hrs / 2nd Semester 60 hrs)

The main focus is on extensive as well as speed reading. The student will read newspaper articles, essays, novels, etc.

•Japanese Studies (1st Semester 30 hrs)

After a lecture on a topic (such as Japanese culture, customs, educational system, political system, Japanese economy, etc.), the student will engage in some discussion about it.

•Cross-cultural Studies (2nd Semester 30 hrs)

Students will learn about Japanese culture, such as Japanese anime, Japanese pop music, arts, etc.) Practical work will often be involved.

2) Study Tour (Field Trip)

The study tour, which is offered every winter, provides an opportunity for international students to experience Japanese culture and history. During the tour, students visit cultural and historical places such as shrines and old samurai residences and enjoy a hot spring bath, etc.

3) For Further Studies and Research

For further studies and research, various classes at the Faculty of Education are open to the “Japanese Studies” students (e.g. Japanese Linguistics, Japanese-English Contrastive Linguistics, Comparative History of Music, Japanese History, Japanese Pottery, etc.).

Supplementary lessons may be provided, depending on the level of the student's Japanese language proficiency.

As part of General Education in the University, the courses in Japanese and Japanese culture are offered for foreign students in all Faculties. If resources permit, students may have the opportunity to attend to appropriate courses based on their results of the Japanese Language Proficiency Test.

7. Tours and Events

November

- Welcome party for international students
- A round-table with international students

8. Staff Responsible for the Program

▪ The student(s) studying under this program belongs to the Faculty of Education.

▪ Course Director:

Toshiaki Takahashi (Professor) , Chairman of the Committee for International Student Exchange

▪ Student Supervisor: the appointment of the supervisor is made by taking into consideration the area of interest of the student, etc.

9. Course Requirement

Students learn about the Japanese language and culture. They are required to write papers on them at the end of the course.

■ Accommodation

Yamaguchi University agrees to assist the student in his / her search for living accommodation.

University-owned accommodations are available on campus (in most cases)

(http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/ryugaku/ryu_05.html)

The number of the Japanese Studies Students who have lived in the university residences for the past three years

2 student (2014)

2 student (2015)

2 student (2016)



■ Follow up for the international student in the past

Supervisors are encouraged to keep contact with the international students who have studied in Yamaguchi University and offer them advice and support, where necessary, based on request from the students.

■ Enquiries

▪ The Course Director: Toshiaki Takahashi

Chairman, Committee for International Student Exchange, The Faculty of Education, Yamaguchi University, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, 753-8513 Japan

TEL: 083-933-5307

FAX: 083-933-5468

E-mail: bld10@yamaguchi-u.ac.jp

info-g@yamaguchi-u.ac.jp

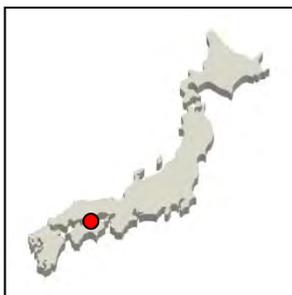
URL: <http://abroad.edu.yamaguchi-u.ac.jp/>

Yamaguchi University

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

International Center

<http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/>



香川大学 (香川県)



香川大学
キャラクター

地域に根ざした学生中心の大学

■大学紹介

① 大学の特色および概要

香川大学は1949年に設置されました。2003年10月にそれまでの香川大学と香川医科大学が統合して新しい香川大学となりました。教育学部、法学部、経済学部、医学部、工学部および農学部の6つの学部を持つ総合大学です。

それぞれの学部に大学院（修士課程）が設置されています。また、博士課程は、医学系研究科、工学研究科、連合農学研究科に設置されており、地域マネジメント研究科という専門職大学院も有しています。

●学部および学科

○教育学部

学校教育教員養成課程・人間発達環境課程

○法学部

法学科

○経済学部

経済学科、経営システム学科、
地域社会システム学科

○医学部

医学科、看護学科

○工学部

安全システム建設工学科、電子・情報工学科、
知能機械システム工学科、材料創造工学科

○農学部

応用生物科学科



② 国際交流の実績

2016年10月の時点で、54の大学間協定、26の部局間協定を締結して、世界中の大学と学术交流や学生交流を実施しています。加えて、4件の連携協力協定も締結して、複数大学間での国際的な協力体制を築いています。



国際シンポジウム（タイ）



学生交流プログラム（インドネシア）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数247人、日本語・日本文化研修留学生2人
(10月時点)

2015年：留学生数267人、日本語・日本文化研修留学生2人

2014年：留学生数250人、日本語・日本文化研修留学生2人

(日本語・日本文化研修留学生出身国：ミャンマー、メキシコ、ポーランド)

④ 地域の特色

香川

香川県は、四国の北東部に位置します。瀬戸内海に面しており、四季を通じて降水量が少なく、温暖な気候です。

香川県で最も有名なものは、おそらくうどんですが、オリーブやうちわなどでも有名です。

皆さんが住む予定の高松市は、コンパクトシティと言われています。日本一長い商店街のなかにたくさんの商店があり、自転車で行くことができる範囲でなんでも揃います。



うちわ

うどん

オリーブ



■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。

② コースの特色

本コースは、日本文化や香川県に関する知識の習得、そしてそれらの知見を実践的に活用する能力の向上を目的としています。そのため、それに必要な日本語力の向上の機会も提供されます。

③ 受入定員

5名（大使館推薦3名、大学推薦2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・日本語能力試験N2以上、または同等の日本語能力を有すること。
- ・国費留学生として、各種交流活動に積極的に参加すること。

⑤ 達成目標

- ・日本語能力試験N1または同等以上の日本語能力を習得する。
- ・各種プレゼンテーションを含む、日本語の実践的能力を向上させる。
- ・香川県に関するトピックを自ら選定し、レポートとしてまとめることができる。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月31日
修了式は8月を予定

⑦ 研修科目の概要

1) 必須科目

必修科目は、統一的な受入れプログラム「さぬきプログラム」の一環である、「プロジェクトさぬき」です。この科目を通して、留学生は香川県や日本について学習し、日本語でレポートを作成します。

2) 見学、地域交流等の参加型学習

行事予定表の中で、交流行事に関しては、国費留学生としての積極的な参加を期待しています。我々は交流することも学習と考えています。特に、本コースの学生には日本語による交流を期待しています。

3) その他の講義、選択科目等

●日本語・日本事情科目

学生は、自分に合ったレベルの「日本語」、「日本事情」科目や、「ビジネス日本語」などの複数科目の中から、自分のレベルや興味に応じて選択します。

●全学共通科目

所属している学部に関係なく受講できる科目で、日本人学生と一緒に、多様な授業を受講することができます。自分の興味に基づいて選択することができます。

●各学部専門科目

日本語力に余裕のある学生は、これらの科目を選択することもできます。

本コースの学生としてふさわしい科目を選択する必要がありますので、実際の科目選択については、指導教員とよく相談してください。



⑧ 年間行事

- 10月 開講式、秋期新入留学生ガイダンス、歓迎会
- 11月 大学祭
課外教育行事
- 12月 学長主催外国人留学生交歓会
ホームビジット
- 1月 新年会
- 2月 日本のビジネスマナー講座
- 7月 日帰り島旅行
- 8月 修了式
さよならパーティー(秋期卒業生)

時期は年度により変わります。上記の他、随時交流や学習のためのイベントが行われます。



学長主催外国人留学生交歓会の様子



島の小学生と交流（課外教育行事）

⑨ 指導体制

学術的な指導は、指導教員により行われます。

生活面での指導や支援は、インターナショナルオフィスが担当します。

また、学生によるサポート体制も整っており、サポーター、チューターがそれぞれ生活面と学習面で支援します。

⑩ コースの修了要件

本コースの修了要件は、最終レポートおよび上記授業の履修です。最終レポートは、日本（特に香川）や日本文化に関するテーマを選び、指導教員とよく相談しながら、論文の形に仕上げます。

これらの条件を満たした修了生には、修了証書を発行します。個々の授業に関しては成績証明書が発行されます。



■ 宿 舎

香川大学には、現在3つの留学生宿舎があります。本コースの学生はこれらの宿舎に申請することができます。

これらの1か月の室料は5,900円~23,000円です。

詳しくは本コースの申請時にお尋ねください。



留学生宿舎（屋島地区）



屋島山上からの景色



宿舎のご近所の方と流しそうめん 餃子パーティー

■ 修了生へのフォローアップ

本コースは1年で帰国することを前提としていますが、さらに本学の大学院進学等のため、各部署に問い合わせることが可能です。

また、いくつかの国や地域に関しては、すでに帰国留学生ネットワークが形成されています。

その他、SNSを通じた交流も行われておりますので、右記のFacebook等をご参照ください。

■ 問合せ先

香川大学国際グループ

住所 〒760-8521

香川県高松市幸町1-1

TEL +81-87-832-1149（直通）

FAX +81-87-832-1192

E-mail kokusai@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

香川大学インターナショナルオフィス

<http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>

日研生ホームページ

<http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/jss/>



香川大学ホームページ

<http://www.kagawa-u.ac.jp/>



香川大学留学生センターFacebook

<https://www.facebook.com/KUIISC>





KAGAWA UNIVERSITY (Kagawa Prefecture)



Community based university that focuses on their students

Introduction of university

① Characteristic and history

Kagawa University (hereafter, KU) was established in 1949 as a national university.

In October 2003, KU merged with Kagawa Medical University to form the new comprehensive 'Kagawa University'. Currently, the university has six faculties (Education, Law, Economics, Medicine, Engineering, and Agriculture).

All the six faculties have their respective master programs. In addition, the university also offers the professional MBA master program. Doctoral programs are offered in the Medicine, Engineering and Agriculture faculties.



② International Exchange

As of November 2016, KU has 54 international exchange agreements with overseas universities signed at the university level, and 26 similar agreements signed at the faculty level. In addition, KU has concluded international agreements with 4 institutions other than universities.



Joint Symposium (Thailand)



Student Exchange Program & International Seminar (Indonesia)

③ The number of international students in recent years are as follows

2016. 10. 247students Japanese Lang. & Culture Program: 2 students
2015. 267students Japanese Lang. & Culture Program: 2 students
2014.250 students Japanese Lang. & Culture Program: 2
Lang. & Culture student each from Myanmar, Mexico and Poland have entered Kagawa.

④ Geographical characteristic

香川

Kagawa Prefecture is situated on the north east of Shikoku. It faces the Seto Inland Sea, has four seasons with little rain and comparatively warm winters. The most famous product of Kagawa is probably 'udon', a thick noodle made from wheat, but she is also well known for olives and fans.

Takamatsu city, where KU is located, is a compact, mid-sized city that is bicycle-friendly. The city is reputed to have the longest shopping (pedestrian) arcade in Japan. This arcade is lined with many shops of interest to both the young and the old. The climate of Kagawa is not harsh and international students find it 'easy' to adapt to.



Fans

Udon

Olives



■ Course Outline

① Research aim

The main aim is on Japanese culture and Japanese affairs, with supplementary emphasis on the Japanese Language.

② Course characteristic

This course focuses on expanding the theoretical and practical knowledge base of students in the area of Japanese culture and issues related to Kagawa Prefecture. Along this line, the course also offers opportunity for students to improve their Japanese Language ability.

③ Number of students accepted

5 (3 by the embassy recommendation and 2 by the university recommendation)

④ Eligibility and conditions

Candidates must possess Japanese Language Proficiency Test Level N2 or above. Students coming in as 'Monbukagakusho' scholars should actively take part in activities organized by KU.

⑤ Target to achieve

Japanese Language Proficiency Test Level N1 or above.

Practical presentation skills in the Japanese Language Compile a report on any aspect of interest in relation with Kagawa.

⑥ Program period

1st October 2017 – 31st August 2018.

A 'Completion Ceremony' shall be held in August.

⑥ Description of courses

1) Mandatory courses

There is one mandatory course named Project Sanuki that is part of the Sanuki Program, an exchange program conducted by the International Student Center. Through this course, international students learn about Kagawa and Japan and write essays in Japanese.

2) Field trips, events with local community

Students who successfully applied to be 'Monbukagakusho' scholars are required to participate in the events as listed in the calendar.

These events are part and parcel of the program and offers excellent opportunities for international students to enhance on the language ability.

3) Elective course

* Japanese Language classes / Japanese Culture classes

Students choose classes (Japanese Language, Japanese Culture, Business Japanese, etc.) that suit their language abilities and interests.

* General education classes

These classes are offered to all students regardless of faculty affiliation and are conducted in Japanese. International students undergo these classes together with Japanese students.

* Major courses in the respective faculties

Depending on the Japanese Language ability, students may opt to take these classes in faculties related to their major.

This program requires students to choose courses that suits them best, so it is highly advised that students discuss with their supervisors before making a decision.



⑦ Annual calendar

October	• Opening ceremony, Guidance, Welcome Party
November	• University festival • One-day field trip
December	• Reception Party for International Students • Japanese home visit • Lecture on Japanese Business Manners
January	• Sanuki New Year event
February	• Visit to Japanese company
July	• One-day trip to island in Seto Inland Sea
September	• Farewell Party (for students graduating in September)

The above information is tentative and is subjected to changes.



Reception Party for International Students



One-day trip

⑧ Supervision

Matters related to major studies shall be supervised by members from the appropriate faculty. Matters related to daily living are supervised by staff members from the International Office. In addition, student-supporters and student-tutors assist international students in the daily living and their studies.

⑨ Requirement for completion

To successfully finish the program, students must submit a final report and complete the classes taken. Students must also make a presentation in Japanese (preferably focusing on Kagawa) based on the final report. Students shall then receive a Certificate of Completion, as well as a transcript on their grades for classes taken.



■Accommodation

KU currently manages three dormitories and apartments for international students. Students registering for this program are eligible to apply for this housing.

Depending on the accommodation type, the monthly rental ranges from 5,900 yen to 23,000 yen, excluding utilities. Students may inquire on this during the application process.



KU dormitory (Yashima area)



Around Yashima



Somen-noodles party



Pan-fried dumpling party

■Follow-up for graduates

This program is designed for one year. Students who wish to continue their studies at the graduate level should consult the supervisor at the faculty concerned.

For students returning to their home countries, KU has Alumni Associations in some countries.

Furthermore, returning students can log into the SNS to keep abreast with the happenings at KU.

■Contact

KU International Office Administrative Group

Address: 1-1 Saiwai-cho, Takamatsu,

Kagawa, 760-8521, Japan.

Phone: +81-87-832-1149

Fax: +81-87-832-1192

E-mail: kokusai@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

Kagawa University International Office web

<http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>

<http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/jss/>



Kagawa University web

<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

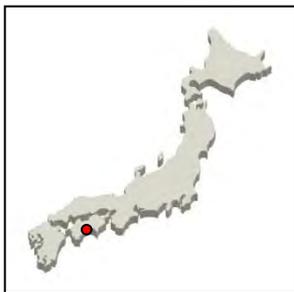


Kagawa University International

Student Center Facebook

<https://www.facebook.com/KUISC>





高知大学 (高知県)



高知大学は、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問、研究の充実・発展を推進します。

■大学紹介



①大学の特色および概要

高知大学は、人文社会科学部、教育学部、理学部、医学部、農林海洋科学部および地域協働学部の6つの学部と土佐さきがけプログラムからなる学士課程と大学院総合人間自然科学研究科に人文社会科学専攻、教育学専攻、理学専攻、医科学専攻、看護学専攻、農学専攻の6つの修士課程と応用自然科学専攻、医学専攻、黒潮圏総合科学専攻の3つの博士課程で特徴的な教育・研究を行っています。

(学部学生数：4,947人)

キャンパスは、高知市内の朝倉キャンパスと南国市の物部キャンパス及び岡豊キャンパスの3つがあり、日本語・日本文化研修留学生は、朝倉キャンパスに通います。

②国際交流の実績 (2016年5月1日現在)

大学間協定校－60機関 (19か国・地域)

部局間協定校－23機関 (16か国・地域)

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績 (2016年5月1日現在)

2016年：留学生数 146人、日本語・日本文化研修留学生 0人

2015年：留学生数 154人、日本語・日本文化研修留学生 3人

2014年：留学生数 149人、日本語・日本文化研修留学生 3人

④地域の特色

高知県は、西日本に位置する四国の南部にあり、北は四国山脈がちなり、南は太平洋に面しています。年間を通じて暮らしやすい温暖な気候で、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。また、地方文化にも恵まれています。自由民権発祥の地として、近代日本の形成に大きな役割を果たした土地でもあります。高知市街には美しい鏡川が流れ、市内随所に歴史的な観光名所があります。

日本の主要都市からの所要時間は、空路を利用すれば大阪空港まで45分、東京(羽田)空港まで1時間20分です。そのほか、福岡、名古屋へも国内便があります。空路のほかにも、長距離バス、鉄道などが利用できます。

■コースの概要

①研修目的

(b)日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

アカデミック日本語能力の向上並びに日本文化に対する理解を深めると同時に、高知の地域文化に触れ、体験活動を通して、日本語・日本文化研修留学生の目線から地域振興にも貢献できる人材育成をめざします。

②コースの特色

留学生科目として、共通教育に「日本語」、「日本事情」科目が開設されており、専門科目に関しては、人文社会科学部、教育学部、地域協働学部の授業も受講可能です。基礎的な日本語力や日本文化などを広く学びたい留学生のためには、国際連携推進センターが開講している日本語総合コースの授業も受講できます。日本語の自由な運用能力を習得するとともに、専門授業を通して多文化共生力を養うことができます。

③受入定員

2名(大使館推薦1名、大学推薦1名)

④受講希望者の資格、条件等

a) 日本語能力

日本語能力が日本国際教育協会が実施する「日本語能力試験」1級(N1)またはこれと同等の日本語能力を有する者

b) 日本研究学習歴・専攻

日本語・日本文化に関する分野の専攻者

⑤ 達成目標

日本語による討論と論文作成能力の習得
母国では実施できない研究の遂行

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月31日

修了式は2018年8月を予定

⑦ 研修科目の概要

授業時間：

(1コマ=1.5時間×15週+テスト1.5時間)

1) 必須科目

高知大学では、必須科目は設けていません。
留学生は、個人の学習・研究テーマに合わせて
共通教育科目や学部専門科目から授業を
選択します。例えば、次のような授業科目が
あります。

- ・ 共通教育で開講される科目
日本語・日本事情科目 (計10コマ)
- ・ 異文化理解・多文化共生関連科目 (計6コマ)
- ・ 必要と認められるその他の科目 (上限なし)

詳細は以下の通りです。

《共通教育》

日本語 I ~ IV (※各週2コマ)

I : 発音・聴解、II : 聴解・会話

III : 作文 IV : 読解

日本事情 I ~ VI (※各週1コマ)

【各学部開講】 (※各週1コマ)

《人文社会科学部科目》

日本語オーラルコミュニケーション上級

日本社会論

日本事情と伝統文化

日本語メディア論演習

《教育学部科目》

日本語学演習

日本文法

日本語学演習

日本文法

日本文学概説

日本語学概説

日本語学特講

日本語学講読

《土佐さきがけプログラム》

実践アカデミック日本語

実践ビジネス日本語

実践日本語演習I

実践日本語演習II

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・ 「異文化理解」授業での歴史文化施設見学
- ・ 地域との交流事業
- ・ 外国人留学生課外研修



地域の祭りに参加
(高知県内)

3) その他の講義、選択科目等

国際連携推進センター開講科目

国際連携推進センターでは、「日本語能力
試験」N2程度の者に対する日本語総合コ
ースの授業(単位不認定科目)を開講してい
ます。日本語・日本文化研修留学生のうち、
日本語能力が不十分で、日本語総合コ
ースの受講を必要とする者は受講するこ
ができます。

国際連携推進センターによる日本語総合
コース(日本語補講)で開講している科目は
以下の通りです。

《日本語総合コース授業科目》

中級聴解 I (30h)

中級聴解 II (30h)

中級会話 I (30h)

中級会話 II (30h)

中級漢字 I (30h)

中級漢字 II (30h)

中級読解 (30h)

中級作文 (30h)

アカデミック日本語 I (30h)

アカデミック日本語 II (30h)

高知文化事情 (30h)

⑧ 年間行事

- 1月 地域との交流活動
- 4月 新入留学生オリエンテーション
- 5月 地域との交流活動
- 6月 日本語講演会
- 10月 新入留学生オリエンテーション
- 11月 外国人留学生課外研修
留学生によるスピーチコンテスト

その他：

月1回のペースで、各国の留学生が自国の文化や歴史を紹介するカルチャーカフェを実施しています。また、地域の国際交流団体などが主催する留学生向け各種イベントを紹介します（ホームステイ、着物着付け体験、紙すき体験など）。地域住民と交流できるイベントにも参加できます。



研修旅行
(四国カルスト)

⑨ 指導体制

責任教員：国際連携推進センター長
担当教員：国際連携推進センター教員
人文社会科学部教員
教育学部教員
地域協働学部教員

※個別指導：必要に応じて指導教員が行います。

⑩ コースの修了要件

研究報告書作成並びに研究発表会
修了時には、「修了レポート」を提出し、指導教員の合格判定を得なければなりません。
単位認定…学期（2学期制）毎に単位認定を行っています。
単位互換…交流協定を結んでいる大学の在籍者は、特別聴講学生として受け入れ、単位互換を行っています。

■ 宿舎

留学生専用の宿舎はありません。多くの学生が、大学周辺の民間アパートやシェアハウスに入居しています。
（家賃月額2万円～5万円）住居選びから入居まで国際交流課がサポートしています。

※寮を希望する場合は、単身用女子寮に入居できることがあります。

【単身用女子寮】

寮費：約 7,500円／月

設備：机・椅子・ベッド・ロッカー・本棚・共同自炊設備・共同バス・トイレ

場所：キャンパスから寮まで自転車で10分

キャンパス周辺は、食料品店や飲食店が多くあり、生活に便利な場所です。

■ 修了生へのフォローアップ

修了後もメールなどで連絡を取り合い、可能であれば窓口教員が協定校を訪問し、留学後の学習状況についての懇談を計画しています。

■ 問合せ先

（担当部署）

高知大学国際交流課国際連携係

住所 〒780-8520

高知県高知市曙町2-5-1

TEL +81-88-844-8145（直通）

FAX +81-88-844-8718

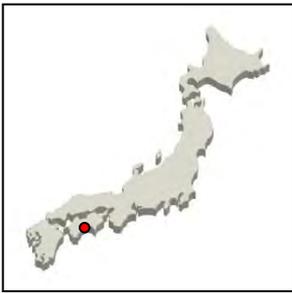
E-mail kr03@kochi-u.ac.jp

高知大学国際交流ホームページ

<http://www.kochi-u.ac.jp/international/>

高知大学ホームページ

<http://www.kochi-u.ac.jp/>



Kochi University (Kochi pref.)



Kochi University shall promote the development of opportunities for learning and research and the production of human resources.

■ University Overview



① Characteristics and history:

Kochi University has 6 faculties and 1 program at undergraduate level: Faculty of Humanities and Social Sciences, Faculty of Education, Faculty of Science, Medical School, Faculty of Agriculture and Marine Sciences, Faculty of Regional Collaboration and TOSA Sakigake Program. Also, Graduate School of Integrated Arts and Science offers 6 master's courses : Humanities and Social Sciences, Education, Science, Medical Science, Nursing Science and Agricultural Science, and 3 doctoral courses: Applied Science, Medicine and KUROSHIO Science.

(number of undergraduate students: 4, 973)

Kochi University has three campuses, Asakura Campus in Kochi City and Monobe and Oko Campuses in Nankoku City. Japanese studies students will study at Asakura Campus.

② International exchanges: (as of May 1, 2016)

Agreements between Universities :

60 Institutions (19 Countries and Regions)

Agreements between Faculties :

23 Institutions (16 Countries and Regions)

③ Number of International students and Japanese Studies students admitted.(2014-2016)

FY	Number of	
	International students	Japanese Studies students admitted
2016	146	0
2015	154	3
2014	149	3

④ Characteristics of the area

Facing the vast Pacific Ocean to the south and surrounded by the Shikoku Mountains to the north, Kochi Prefecture, with its beautiful yet wild natural environment, ever nurtures freedom of thought and independence of mind. Kochi Prefecture is characterized by a climate of four distinct seasons. The Kagami River runs through the city. Kochi City is blessed with a variety of historical sites.

Distance from largest cities in Japan

From Tokyo: 1 hour and 20 minutes by air / 7 hours by train

From Osaka: 45 minutes by air / 4 hours by train

Kochi is also linked by airline connections to Nagoya and Fukuoka.

■ Outline of the Course in Brief

① Aims of the Course

a) The main aim is cultivation of Japanese language proficiency. The second aim is learning about Japanese issues and Japanese culture.

We aim to nurture individuals who can contribute to the local society at the view of JAPANESE STUDIES STUDENTS through the Kochi cultural experiences

② Characteristics of the Course

We offer classes of 'Japanese Language' and 'Japanese Studies' for international students at General Education Course. Also, students can take specialized subjects offered by Faculty of Humanities and Sciences, Faculty of Education, Faculty of Regional Collaboration and TOSA Sakigake Program.

If students wish to learn a wider range of Japanese and Japanese culture, it is possible to take Japanese Supplementary Classes offered by the Center for International Collaboration.

The courses aim to give students a chance to gain an understanding of Japanese culture while at the same time learning about different peoples and different cultures.

Students will also be able to acquire knowledge in their major fields and to improve their Japanese language abilities in speaking, listening, reading and writing.

③ Number of students to be accepted:

2 students

(1 from Embassy Recommendation

1 from University Recommendation)

④ Qualifications and Conditions for Application:

a) Japanese Ability:

Applicants must have sufficient fluency to understand lectures in Japanese.

Those who have passed level 2(or higher) of the Japanese Language Proficiency Test or have equal or higher proficiency.

b) Study of Japanese:

Applicants must be those who major in a field related to the Japanese language and to Japanese culture.

⑤ Expected Japanese language level at the end of the program

- Enhancement of Japanese language skills for discussion and writing theses
- Conducting research that cannot be carried out in one's own country

⑥ Period of the course:
October 1, 2017 – August 31, 2018
Completion Ceremony will be held on August, 2018

⑦ Contents of the course:

Hours:

1 unit = 1.5h. × 15weeks + Test 1.5h

1) Compulsory subjects

Kochi University does not force students to take compulsory subjects. Students can take courses designed by their own.

(e.g.)

- Japanese and Japanese Studies in General Education (10 units)
- Subjects related to inter and cross-cultural communication (6 units)
- Other subjects offered by each faculty (not limited)

<Subjects of General Education>

* Japanese I
(Pronunciation & Listening Comprehension)

* Japanese II
(Listening Comprehension & Speech)

* Japanese III (Writing)

* Japanese IV (Reading)

Japanese Studies I – VI

*2 units per week others are 1 unit per week

<Subjects of Faculty of Humanities and Social Sciences>

Japanese Oral Communication Advanced

Japanese Society

Japan and Traditional Culture

Seminar about Japanese Language Media

<Subjects of Faculty of Education>

Seminar in Linguistics of Japanese Language

Grammar of Japanese Language

Seminar in Linguistics of Japanese Language

Grammar of Japanese Language

Introduction to Japanese Literature

Introduction to Linguistics of Japanese Language

Lexicology in Japanese

Regional Culture and Language in Japan

<Subjects of TOSA Sakigake Program>

Practical Japanese for Academic Studies

Practical Japanese for Business Studies

Practical Exercises in Japanese I

Practical Exercises in Japanese II

2) Participatory subjects such as field trips and regional exchanges

- Field trips to historical sites and cultural facilities
- Participation in an exchange event with Kochi Prefecture International Exchange Association
- Study Tour

Take part in
“MATSURI”
traditional
festival



○ Subjects offered by Center for International Collaboration

The Center for International Collaboration offers Japanese Supplementary Classes (non-credit subjects) for students qualified JLPT N2. Japanese Studies students may take Japanese Supplementary Classes if necessary.

The titles of the above courses are as follows;

- Intermediate Japanese Listening Comprehension I (30h)
- Intermediate Japanese Listening Comprehension II (30h)
- Intermediate Japanese Conversation I (30h)
- Intermediate Japanese Conversation II (30h)
- Intermediate Kanji•Vocabulary I (30h)
- Intermediate Kanji•Vocabulary II (30h)
- Intermediate Japanese Reading Comprehension (30h)
- Intermediate Japanese Composition (30h)
- Academic Japanese I (30h)
- Academic Japanese II (30h)
- Kochi Studies (30h)

⑧ Events

January: Exchange event with local people

April: The orientation for new international students

May: Exchange event with local people

June: Japanese language seminar

October: The orientation for new international students

November: Study Tour

Japanese Speech Contest

Others: Various events are offered by international exchange associations.(Home Stay, Kimono trying-on event,

Tosawashi papermaking experience event and so on)

There are also some opportunities to interact with local residents.



Study Tour

⑨ Guidance System

Responsible Person:

Head of Center for International Collaboration

Expected Academic Adviser:

Faculty members of

Center for International Collaboration

Faculty of Humanities and Social Sciences

Faculty of Education

Faculty of Regional Collaboration

*Tutorials will be provided by academic advisers as necessary.

⑩ Requirements for Completion

Report and Presentation of Research

Credits will be given each semester (Spring/ Fall)

Credit Transfer: Students from affiliated universities will be accepted as Special students and be able to transfer credits back to their home universities.

■ Accommodations

Kochi University does not have dormitory for international students. Most international students rent an apartment or room at shared house. (monthly rent is JPY20,000-40,000) International Exchange Division will support your housing.

Female students may live in Female Dormitory for domestic students.

[Asakura Campus]

Female Dormitory

Rent: approx. JPY7,500 per month

Table/ chair/ bed/ locker/ bookshelf/
shared bathroom & kitchen

10 minutes from campus by bicycle.

The neighborhood around Asakura campus is residential area. Grocery stores and restaurants are easily accessible.

■ Follow-up for former International students

Faculty members will keep in touch with students by e-mail after completion of the course. If possible, they will visit partner universities and discuss the former International students' current situation concerning studies.

■ Contact:

International Exchange Division, Kochi University
Address: 2-5-1 Akebono-cho, Kochi 780-8520,
Japan

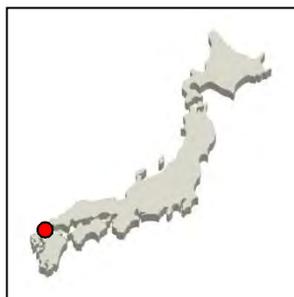
Tel: +81-88-844-8145

Fax: +81-88-844-8718

E-mail: kr03@kochi-u.ac.jp

URL: <http://www.kochi-u.ac.jp/>

English: <http://www.kochi-u.ac.jp/international/english/>



九州大学 (福岡県)



きめ細やかなサポート体制のもと、充実した日本語クラスと各学部の授業を“自由に”選択できます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

九州大学は、1911年に九州帝国大学として誕生して以来、約1世紀にわたって、多くの人材を世に送り出し、顕著な研究成果を社会に発信し続けている。現在、学生約19,000名、教員約2,100名、職員約2,200名が在籍し、11学部、18大学院、4附置研究所、病院などを擁する我が国有数の総合大学である。

2011年には創立百周年を迎え、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念とし、「九大百年、躍進百大」、すなわち、すべての分野において世界のトップ百大学に躍進することを行動計画として掲げている。

また、九州大学は、九州の玄関口、福岡に位置することから、地理的・歴史的にアジアに近く、開学当初から「アジアに開かれた大学」を標榜している。

2005年10月には福岡市西部に九州大学の新たな中心となる新キャンパス（伊都キャンパス）が開校し、工学系から順次移転を行っており、本コースも2015年10月から伊都キャンパスで実施している。

【学部】文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、芸術工学部、農学部

【大学院】人文科学府、地球社会統合科学府、人間環境学府、法学府、法務学府（法科大学院）、経済学府、理学府、数理学府、システム生命科学府、医学系学府、歯学府、薬学府、工学府、芸術工学府、システム情報科学府、総合理工学府、生物資源環境科学府、統合新領域学府

② 国際交流の実績

【交流協定締結数】(2016. 5. 31現在)

〈学术交流協定〉

大学間：126機関（28ヶ国・地域）

部局間：264機関（47ヶ国・地域）

〈学生交流協定（覚書）〉

大学間：116機関（26ヶ国・地域）

部局間：154機関（35ヶ国・地域）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数2,089人(2016. 5. 1時点)

日本語・日本文化研修留学生24人(内、私費留学生20人)

2015年：留学生数2,231人(2015. 11. 1時点)

日本語・日本文化研修留学生27人(内、私費留学生15人)

2014年：留学生数2,171人(2014. 11. 1時点)

日本語・日本文化研修留学生21人(内、私費留学生14人)

④ 地域の特徴

九州大学がある福岡市は、九州の北部に位置し、人口約150万人の商業・貿易都市であり、地理的・歴史的に日本とアジア地域を結ぶ窓口としての機能を果たしている。

福岡空港には、アジアの主要都市からの航空機が飛来し、また、東京便も豊富（羽田発着は1日108便、成田発着は1日24便）であるため、世界各都市から福岡までのアクセスもよい。
(国際路線 8カ国・地域、20都市・20路線、636便/週)

ちなみに、東京一福岡は約90分のフライトであるのに対し、例えばソウル一福岡は約80分、釜山一福岡は約50分である。

■コースの概要

① コースの特色

九州大学日本語・日本文化研修コースは、留学生センターが開設するもので、日本語・日本文化研修留学生が、今後の日本研究に必要な日本語能力の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する理解を深めることを目的としている。

日本語・日本文化研修留学生は留学生センターに所属し、留学生センターで開講する「日本語論」、「日本社会文化論」及び「自主研究」の必修科目と、各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて、文学部、経済学部、法学部などで開講される日本の社会や文化に関する学部学生向けの授業を選択科目として受講することができる。

さらに、留学生センターで開講する技能別の日本語の授業（総合、漢字、会話、読解、作文）も受講することができる。

② 受入定員

40名（内、大使館推薦10名程度、大学推薦2名程度、他私費留学生）



③ 受講希望者の資格、条件等

本コースは、日本国以外の大学に在籍し、日本研究を主専攻としている学部学生（1年次生を除く。）で、既に基礎的な日本語の学習を終え、本学において日本語で行われる日本の社会や文化に関する授業を受講できる日本語能力（日本語能力試験N1合格程度が望ましい）を有する者を対象とする。

④ 達成目標

本コースでは、上記③の資格、条件を満たす学生を1年間受け入れ、彼らの今後の日本研究に必要な日本語能力の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する理解を深めることにより、諸外国の将来を担う世代に日本への興味・関心を伝播し、日本の事情に通じた指導者となる人材を育成することを目的としている。

⑤ 研修期間

2017年10月初旬 ～ 2018年9月中旬
2017年9月下旬にオリエンテーション実施

⑥ 研修科目の概要

1) 必修科目と選択必修科目

10月から翌年9月までの1年間に、次表に掲げる必修科目（2単位）、選択必修科目（24単位）と選択科目（4単位以上）を修得する。

	授業科目	第1期 (10-3月)	第2期 (4-9月)
必修科目	自主研究		2単位 (30時間)
選択必修科目	日本語論	12単位 (180時間)	
	日本社会文化論	12単位 (180時間)	
選択科目	日本の社会や文化に関する学部学生向け授業 (注)	4単位 (60時間) 以上	

(注) 選択科目は本学の学部学生を対象に基幹教育科目として開講されている授業科目及び文学部、法学部、経済学部などにおいて専門教育科目として開講されている授業科目の中から、本コースのコーディネーターの指導のもとに、各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて選択の上、受講する。

さらに、留学生センターで開講する以下の技能別・レベル別の日本語クラスを受講することができる。

	総合	漢字	会話	作文	ビジネス マナー
入門	J 1 週3回	K 2			
初級1	J 2 週3回	週2回			
初級2	J 3 週3回	K 3 週2回	S 3 週2回		
中級入門	J 4 週3回	K 4 週2回	S 4 週2回		
中級1	J 5 週2回	K 5 週2回	S 5 週2回	W 5 週2回	
中級2	J 6 週2回	K 6 週2回	S 6 週2回	W 6 週2回	
上級入門	J 7 週2回	K 7 週2回	S 7 週2回	W 7 週2回	
上級					集中 講義

2) 見学、地域交流等の参加型科目

大学の教育活動の一環として、コース期間中に数回、福岡近郊や九州地域などを巡る見学旅行を実施し、日本の文化や歴史、自然に触れる機会を提供する。

また、自治体や学校、国際交流団体などが実施する様々なイベントに参加することにより、地域との交流を促進するとともに、研修の効果を上げる。

3) その他の講義、選択科目等

学生たちの多様なニーズに応えるため、カリキュラムの一環として、報道関係者、日本文化研究者をゲストティーチャーに招き、講演会を行っている。今後は、企業経営者等福岡県内にて活躍するさまざまな方へ依頼することも計画している。

⑦ 年間行事

- 9月 オリエンテーション旅行
- 10月 開講式・秋学期開始
- 11月 地域住民との交流会・見学旅行
- 1月 長崎原爆講話
- 2月 秋学期終了
- 4月 春学期開始・見学旅行
- 6月 歌舞伎[於]博多座
- 9月 自主研修期間（※選択科目にて集中講義を受講可能）



<オリエンテーション旅行 熊本・大分>



<地域住民との交流会>

⑧ 指導体制

日本語・日本文化研修留学生には、留学生センターの教員がコース・コーディネーターとして各自の学業面等について個別指導にあたる。

さらに、生活面や異文化適応に関しては、留学生指導に関する専門の教員が適宜対応する。

加えて、学生レベルでのサポート体制として、日本人学生によるチューターを1名ずつ配置し、日常生活や修学上のサポートを行うとともに、日本人学生との交流が図れるような環境を整えている。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

履修した科目は、履修認定が行われ、所定の要件を満たした日本語・日本文化研修留学生には、修了証書を授与する。



<日本語・日本文化研修コース閉講式>

■宿 舎

日本語・日本文化研修留学生は、コース期間中、留学生用宿舎に入居できる。

宿舎は、バス・トイレのほか、机、書棚、ベッド、衣料タンス、冷蔵庫、エアコン、インターネット接続完備。



※写真は伊都キャンパスの留学生・日本人混住宿舎である伊都協奏館。

■修了生へのフォローアップ

九州大学日本語・日本文化研修コースは、本学の英語による短期留学プログラムであるJTW (Japan in Today's World) とともに、日本語による短期留学プログラムとして国内外で高い評価を得ている。また、本コース修了者の満足度は高く、その多くが在籍大学卒業後、再び本学や日本の大学院に進学したり、日本企業に就職する等している。

■問合せ先

(コース・コーディネーター)

留学生センター・教授 郭 俊海

E-mail: guo.junhai.841@m.kyushu-u.ac.jp

(担当部署)

九州大学学務部留学生課短期プログラム係

住所 〒819-0395

福岡県福岡市西区元岡744

TEL +81-92-802-2228 (直通)

FAX +81-92-802-2287

E-mail: intlrtan@jimu.kyushu-u.ac.jp

日研生ホームページ

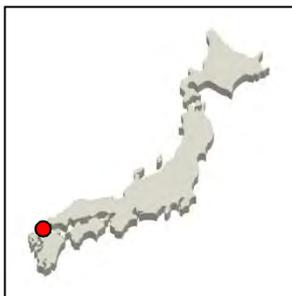
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/>

九州大学留学生センターホームページ

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/center/home.htm>

九州大学ホームページ

<http://www.kyushu-u.ac.jp/>



Kyushu University (Fukuoka)



You will have many free choices among Japanese Language Courses and various Faculty Courses with our well-kept support.

◇ University Overview

Kyushu University was founded in 1911 and has grown to be one of the most prestigious universities in Japan. At present, there are 11 undergraduate schools, 18 graduate schools, 4 research institutes, and a hospital. Approximately 19,000 students and 2,100 faculty members are engaged in study and/or research at the University. Kyushu University is located in Fukuoka, gateway of Kyushu.

Geographically and historically, the city is close to other parts of Asia, so we have been aiming to be the “University opened to Asia” from the beginning. Also, a new main campus, in Ito opened in 2005, where some departments have begun its activities.

【Undergraduate Schools】 Letters, Education, Law, Economics, Sciences, Medicine, Dentistry, Pharmaceutical Sciences, Engineering, Design and Agriculture.

【Graduate Schools】 Humanities, Integrated Sciences for Global Society, Human-Environment Studies, Law, Law School (Professional Graduate School), Economics, Sciences, Mathematics, Systems Life Sciences, Medical Sciences, Dental Science, Pharmaceutical Sciences, Engineering,

Design, Information Science and Electrical Engineering, Interdisciplinary Graduate School of Engineering, Sciences, Bioresource and Eioenvironmental Sciences, Integrated Frontier Sciences.

【International Exchange】 (As of May 31, 2016)

- International Academic Cooperation
126 universities (28 countries / areas)
264 faculties (47 countries / areas)
- Student Exchange Program
116 universities (26 countries/areas)
154 faculties (35 countries/areas)

【Number of International Students】

- 2016: Kyushu University 2,089 (As of May 1, 2016)
Japanese Language and Culture Course 24
(includes, 20 privately-funded students)
- 2015: Kyushu University 2,231 (As of Nov. 1, 2015)
Japanese Language and Culture Course 27
(includes, 15 privately-funded students)
- 2014: Kyushu University 2,171 (As of Nov. 1, 2014)
Japanese Language and Culture Course 21
(includes, 14 privately-funded students)

【Location】

Kyushu University is located in Fukuoka city, the northern part of Kyushu, which has a population of 1.5 million.

Geographically and historically, the city has been played an important role as Japan’s gateway in connecting with continental Asia, especially East Asian and Southeast Asian countries. There are many flights to the Fukuoka International Airport from the principal cities of Asia and by plane it only takes 80 minutes from Seoul and 50 minutes from Pusan.

◇ Contents of the Course

Japanese Language and Culture Course(JLCC) is provided by the International Student Center at Kyushu University and it is organized for those who wish to gain a deeper understanding of Japanese society and culture with further opportunities to improve Japanese language skills for conducting research in the area of Japanese studies.

【Student enrollment】

40 (includes, about 28 privately-funded students)

【Eligibility Criteria】

Applicants must fulfill both of the following conditions:

- be registered as undergraduates and majoring in Japanese studies at their home institution. (first year students may not participate.)
- have completed basic Japanese language courses and be ready to take classes offered in Japanese at Kyushu University.

Candidates preferably will have passed Level N1 of the Japanese Language Proficiency Test or possess the equivalent proficiency in Japanese language.

【Achievement Objective】

We accept students who fulfill the above conditions. JLCC is organized for those who wish to gain a deeper understanding of Japanese society and culture with further opportunities to improve Japanese language skills for conducting research in the area of Japanese studies.

【 Program Period】

From early October 2017 to mid September, 2018
(Orientation: late September, 2017)

【Overview of Curriculum】

[Class Requirement]

JLCC students are required to complete the following requirements:

1. Compulsory subjects: Independent Study Project (ISP, 2 credits)
2. Elective compulsory subjects: Japanese Language & Linguistics (12 credits), Japanese Culture & Society (12 credits),
3. Elective subjects: at least 4 credits

	Classes	1st Semester Oct. – Mar.	2nd Semester Apr. – Sep.
Compulsory subjects	Independent Study Project (ISP)	/	
Elective compulsory subjects	Japanese Language & Linguistics	12 credits (180 hrs)	
	Japanese Culture & Society	12 credits (180 hrs)	
Elective subjects	Subjects regarding Japanese Society and Culture offered for Undergraduate Student by various departments at Kyushu University*	4 credits (60 hrs) or more	

(Notes) *Elective subjects include the subjects offered by the Faculty of Arts & Science and the specialized subjects offered by the Undergraduate Schools of Letters, Economics and Law. Students need to select at least two subjects (four credits) related to their major and Japanese level with their coordinator's advice.

Moreover, students can take different level's Japanese courses offered by the International Student Centre.

• **[Study Trips and Other Activities]**

Study trips and other activities are provided to visit Japanese cultural sites and to have close contact with Japanese culture, history and nature.

• **[Guest Lectures]**

To better meet the student's needs, we also invite scholars, journalists to come to campus to give a series of guest-lectures on selected topics. We are planning to invite business administrators and those who are actively involved in various fields in Fukuoka in the future.

	Integrated Classes	Kanji	Speaking	Writing	Business Manner
Beginners	J1 3 times /week	K2 2 times /week			
Elementary 1	J2 3 times /week				
Elementary 2	J3 3 times /week	K3 2 times /week	S3 2 times /week		
Pre-Intermediate	J4 3 times /week	K4 2 times /week	S4 2 times /week		
Intermediate 1	J5 2 times /week	K5 2 times /week	S5 2 times /week	W5 2 times /week	
Intermediate 2	J6 2 times /week	K6 2 times /week	S6 2 times /week	W6 2 times /week	
Pre-Advanced	J7 2 times /week	K7 2 times /week	S7 2 times /week	W7 2 times /week	
Advanced					Intensive course

【Schedule】

September: Orientation Trip

October: Opening Ceremony, Fall Semester Starts

November: Events with local people, Study Trip

January: Hibakusha (atomic bomb survivor) Symposium

April: Study Trip, Spring Semester Starts

June: Kabuki@Hakata-za Theater

September: Independent Study, Intensive courses)



< Event with Local People >

【Support System for Students】

As the JLCC coordinator, a teaching staff from the International Student Center will be assigned to JLCC students for their overall support. In addition, teaching staff from the International Student Center and Japanese students (tutors) are also assigned to course students so that he/she can discuss matters concerning their daily life or study and communicate



<Orientation Trip to Kumamoto & Oita Prefecture >

【Grade Transcript & Certificate】

Grade Transcript with all registered credits will be issued. The students who have completed all necessary classes will be granted a certificate.



<Closing Ceremony for Japanese Language and Culture Course >

◇ Housing

Kyushu University International House is available for those participating in the Japanese Language Culture Course while they are enrolled. Kyushu University International Student House offers about 300 fully furnished rooms equipped with a bathroom, a toilet, a desk, a bookshelf, a bed, a closet, a refrigerator, internet connectivity and air-conditioning.



< Ito Harmony House – a dormitory for Japanese and International Students at Ito Campus >

◇ Follow-up for Alumni

Japanese Language and Culture Course (JLCC) at Kyushu University has been highly-praised as a short-term program taught in Japanese both at home and abroad as well as another short-term program, Japan in Today's World (JTW), which offers courses in English. JLCC has enjoyed high satisfaction rates from participants and as a result, many of them have chosen to further their studies at Kyushu University graduate schools and/or at other academic institutions in Japan. Also, some have obtained jobs at Japanese companies.

◇ Contact

【Program Coordinator】

International Student Center:

Professor GUO Junhai

E-mail: guo.junhai.841@m.kyushu-u.ac.jp

【International Student Division】

Kyushu University

744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395,

JAPAN

Tel: +81-92-802-2228 / Fax : +81-92-802-2287

E-mail: intlrtan@jimu.kyushu-u.ac.jp

Webpage for JLCC (in English):

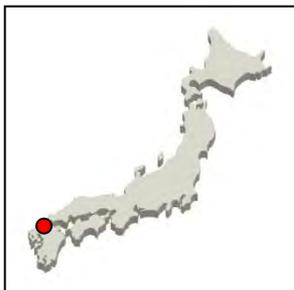
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/en/>

Webpage for Kyushu University:

<http://www.kyushu-u.ac.jp/english/index.php>

Webpage for International Student Center:

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/center/home.htm>



福岡教育大学 (福岡県)



豊かな自然と歴史にあふれた地域性を活かした教育

■大学紹介

① 大学の特色および概要

本学は、九州で唯一の教員養成単科大学で、教育学・心理学・特別支援教育学・各教科教育学のほか、人文・社会・自然・芸術・スポーツ科学・家政学等、教科内容に関する多様な専門学術分野の教員を擁する大学である。

○学生・教員現員 (2016年5月1日現在)

学生	学部レベル	2,755人
	大学院レベル	206人

教員	181人
----	------

② 国際交流の実績

- ・外国人留学生数 48人 (10カ国)
- ・国際交流協定校 8校

③ 過去3年間の日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数48人／日研究生4人
 2015年：留学生数74人／日研究生4人
 2014年：留学生数71人／日研究生3人

④ 大学のある宗像市とは？



大学構内 (2016年5月)

大学が所在する宗像市は福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、北九州都市圏と福岡都市圏のベッドタウンとして発展し、豊かな自然環境に囲まれている。また、歴史的には、朝鮮半島に近いことから古より大陸との交流窓口として発展してきた。

自然に囲まれ、歴史に深くつながる地域に位置する大学として、その特性を教育に取り入れる工夫を行っている。

■コースの概要

① 研修目的 一文科省「募集要項」より

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

本コース生は、留学生対象の授業を履修し、さらに各指導教員のもとでの専門分野の学修を通じて、日本語と日本文化に関する総合的な研修を行う。

日本語教育レベルは、JEES (日本国際教育支援協会) の日本語能力試験「N2レベル」程度である。学期始めの日本語プレテストにより、留学生担当教員において各人の能力に応じたクラス (初級Ⅰ、初級Ⅱ、初中級と漢字クラス、中級 (聴く・話す)、中級 (読む・書く)、上級、個別指導) を判定し、「推奨授業一覧」として通知する。

③ 受入定員

10名 (大使館推薦5名、大学推薦5名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・原籍大学で、日本語や日本文化に関する領域を専攻していること。
- ・日本語能力は、一般的事柄について会話ができ、文章が正確に読み書きできること。

⑤ 研修期間

2017年10月 ~ 2018年9月

⑥ 研修科目の概要

- 必修科目
 - ・「ホームルーム」
 - ・コース修了時の研究発表
- 見学、地域交流等の参加型科目 (予定)
 - ・「日本理解特別プログラム」

本学教員、学外講師等が各専門分野から、日本理解に期する講義を行う日本理解のための講義・見学プログラム

研修旅行を中心に据え、見学地ごとにテーマを設定し、旅行参加者自身が事前に調査などの準備を重ねて、自律的な体験を計画する。見学後はレポートや発表が課され、体験を共有する。
- その他の講義、選択科目等
 - ・「日本事情A・B」

日本の文化、社会についてのテーマを掘り下げていくために、見学、インタビュー等様々な方法で周囲の意見を取り入れ、日本についての認識を深め、それによって自分自身の持つ文化的特徴をも把握していくことを目標とする。

 - ・「日本の教育制度A・B」

B (後期開講) では、日本の歴史を踏まえながら、古代から現代までの教育の歴史を国際教育交流史の視点から概観する。

A (前期開講) では、現代の日本の教育制度に関わるキーワードをひとつずつ学習しながら、日本の教育制度の特色を理解する。

・「比較教育文化論A・B」

文化、習慣の違いからくるトラブル事例（留学学生や日本人の体験した）を学び、カルチャーショックを予防する。

日本の教育の背景にある、文化的特性を考察することで、日本人や日本社会及び教育文化の特色について理解する。

・「異文化交流の心理学」「異文化間心理学」

後期・前期ともに、日本学生との合同授業である。毎回あるテーマ（食べ物、自分の将来など）やトラブル事例（割り勘とか弁当など）をめぐって留学生と日本人学生とがグループディスカッションを行い、出会い体験をする。また、留学生自らも母国についてのレクチャーを行う。留学や移民などの異文化接触に伴う心理的過程や育児文化等についても学ぶ。

・「日本語」

学部留学レベルの「話す・聴く」「読む・書く」能力それぞれを高めるためのトレーニングを行う。

・「日本語補講（※単位認定は行わない）」

初級Ⅰ、初級Ⅱ、初中級、漢字、個別指導（初級の理解を助ける／上級の理解を伸ばす）

※なお留学生対象授業等に関するより具体的な内容については、福岡教育大学ホームページ掲載の、留学生ガイドブック等を参照して下さい。

⑦ 指導体制

- ・指導教員：
専門分野に関わる指導、研究発表および最終レポート作成の指導、学修や日本生活に関わる相談
- ・留学生担当教員：
留学生対象必修科目・選択科目の授業担当、授業分野に関わる指導、「日本理解特別プログラム」の実施・運営、「ホームルーム」の実施・運営、学修や日本生活に関わる相談

⑧ コースの修了要件

指導教員、留学生担当教員の指導のもと、専門的観点から独自に研究テーマを設定し、コース修了時に最終レポートを提出、研究発表を行う。このレポート及び履修科目、ホームルーム出席状況等についての、指導教員、留学生担当教員による総合的評価のもとに、コース修了証の授与を受けることができる。

○単位認定、単位互換

授業における単位認定（「日本語補講」を除く）については、当該授業の成績評価による。取得単位は原籍大学に持ち帰り、単位互換の認定審査を受けることができる。

○単位習得証明書

履修する全科目（「日本語補講」を除く）について発行可能。「日本語補講」については単位認定は行わないが、受講証明書を発行する。

⑨ 年間行事

- 10月 後期開講式・留学生オリエンテーション・日本語プレテスト
- 12月 日本理解特別プログラム研修旅行
- 2月 後期閉講式・研究発表会
- 4月 前期開講式・留学生オリエンテーション・日本語プレテスト
- 7月 日本理解特別プログラム研修旅行
- 8月 前期閉講式・研究発表会
- 9月 自由研修期間・修了認定



2016年度前期閉講式

⑩ その他、宗像地域交流行事



「浴衣でお茶会」に参加する日研生たち

宗像地域との交流が盛んで、「お月見会」「留学生料理教室」「着付け大会」のような日本文化に触れる行事や地域の小中学生に外国の文化を紹介する講師としてボランティア活動に参加することもあります。国際交流の盛んな街で体験する文化的交流を通して、日本文化を学びませんか？

■ 宿 舎

- ・福岡教育大学学生寮
- ・大学近辺の民間アパート等に入居可能

■ 修了生へのフォローアップ

- ・修了後、留学生から相談のある際は、個別に対応している。

■ 問合せ先

（担当部署）
福岡教育大学連携推進課

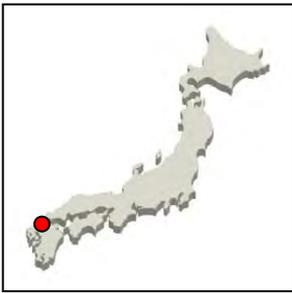
住所 〒811-4192
福岡県宗像市赤間文教町1番1号
TEL +81-904-35-1247
FAX +81-940-35-1700
E-mail ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp

福岡教育大学国際交流・留学情報掲示板

<http://ww1.fukuoka-edu.ac.jp/~Ryugaku/>

福岡教育大学ホームページ

<http://www.fukuoka-edu.ac.jp>



University of Teacher Education Fukuoka (FUKUOKA)



Education Enriched by Local Features – Nature and History –

■ Overview of the university

Characteristics and History

University of Teacher Education Fukuoka (UTEF) stands in a unique position in that it is the only national university of education in Kyushu. Further, the teaching staff at UTEF teach across a wide range of subject areas. Available fields of study include: education, psychology, philosophy, law, literature, history, geography, sociology, economics, language, natural sciences, industry, agriculture, fine arts, *shodo* (Japanese calligraphy), music, physical education, home economics.

• Number of students studying at UTEF
(1 May 2016)

Undergraduates	2,755
Graduates	206

Teaching staff	181
----------------	-----

International Exchange

Year	Number of international students	Students enrolled in the Japanese Studies Program
2016	48	4
2015	74	4
2014	71	3

• Overseas Affiliated Universities – 8 Universities

UTEF in Munakata City



University campus (May 2016)

Munakata city lies between Fukuoka city and Kitakyushu city, so it is quite convenient yet, it is surrounded by rich nature. Munakata has developed as a liaison for international relations since ancient times because the city is near the Korean peninsula. We are making the most of the local features for our education.

■ Overview of the Japanese Studies Program

Objective of the study

A course conducted mainly about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency
—*JAPANESE GOVERNMENT (MONBUKAGAKUSHO:MEXT)*
SCHOLARSHIP, JAPANESE STUDIES STUDENTS

Characteristics of the study

Students in the Japanese Studies program attend two different types of classes, classes specially designed for international students and classes focused on the students' chosen major study.

Throughout this program, students will obtain an integrated knowledge of both Japan and the Japanese language.

The level of the Japanese Studies Program assumes a Japanese language ability equivalent to that of the JEES N2 Japanese Language Proficiency Test.

Placement test will be administered at the beginning of each semester to decide which courses are suitable for students in accordance with their individual language proficiency.

Number of students able to be accepted :

Nomination by the Japanese embassy : 5
Nomination by University : 5

Program entrance requirements

- Applicants should be majoring in Japanese language and/or culture in their home university.
- Students are also expected to have basic Japanese language skills in reading, writing and conversation in daily life.

Program dates

The program starts in October 2016 and concludes in September 2017.

Overview of Units

1) Required Units

- homeroom
- research presentation

2) Special Program for Understanding Japan

Lectures and observation program conducted by university faculty and guest speakers.

Studies focus on a study trip (pending).

Students choose a theme and autonomously plan their learning trips, including the method of inquiry and outcomes.

After the program, participants present a report and share their experiences with each other.

3) Elective Units

- Japanese Culture and Society Part A; Part B:

In order to investigate the theme of Japanese culture and society, various opinions should be taken in by varied methods, such as visits and interviews. As the understanding of Japan is deepened the students aim at embracing their own cultural features.

- Education System of Japan A, B
 - A: Key words of today's Japanese education are given and explained in each class.
 - B: Students will study the history of Japanese education history from ancient times to the presents.
 In both classes some study tours to elementary schools or high schools are held.

- Comparative Studies about Educational Cultures A, B
 - : We learn about Japanese culture from the view point of educational science.
 - We also look at some case studies of troubles experienced by international students or Japanese, which are caused by differences of cultures and habits. Studying these cases, we will try to prevent your forthcoming culture shock.

- Cross-Cultural and Psychological Encounter
 - Cross-Cultural Psychology:
 - Both are joint classes with Japanese students. International and Japanese students discuss, in small groups, some theme such as foods or the future, and some issues about for example, splitting the costs, packed lunch etc. International students give small lectures about their home countries. We also study about the psychological process of cross-cultural contacts experienced by international students or immigrants, and study cultural differences regarding child rearing.

- Japanese Language classes:
 - The aim of these classes is to improve students' Japanese language skills in speaking, listening, writing and reading in accordance with their current ability.

- Supplementary Japanese (Non-credit) :
 - beginning class (I -1, I -2),
 - introductory classes, first step and middle level drill, Kanji characters classes (each one class)

Teaching staff

- Academic advisor: in charge of major study education, major research guidance, and assistance with any living troubles
- Teachers in charge of international students education: in charge of international students' education, Special Program for Understanding Japan, International Students' Home Room, and assistance with any living troubles

Program succession requirements

Students are required to attend the International Students' Home Room (held biweekly), submit a final research report and make a final presentation. After that academic advisors and three teachers in charge of international students' education approve their completion of the course.

Unit certification

Course credit can be issued for all classes, except for supplementary Japanese language classes. Supplementary Japanese do not carry course credit for completion although a certification of attendance may be issued.

Program Schedule (from October 2017 to September 2018)

2nd Semester	October	Opening ceremony, Orientation, Placement test
	December	Study trip (pending)
	February	Closing ceremony, research presentation (for other international students)
1st Semester	April	Opening ceremony, Orientation, Placement test
	July	Study trip (pending)
	August	Closing ceremony, research presentation (including Japanese Studies students)
	September	Independent Program, Completion Program



Closing ceremony (August 2016)

International Exchange in Munakata



Tea ceremony wearing yukata

In Munakata city, you can join several kinds of international exchange events, such as *Otsukimikai* (moon festival), home visits, cooking classes by international students etc. In those events, you can experience Japanese culture and introduce your culture to local children. Why don't you learn Japanese culture in this city?

Accommodation

There are two different types of living arrangements available to international students studying at UTEF:

- UTEF Student Dormitory
- Off-campus Apartment

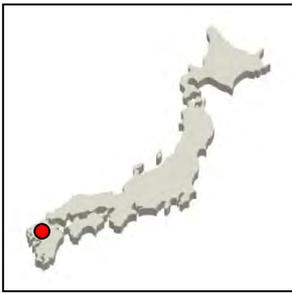
Follow-up for graduates

When graduates need help, we advise individually.

Contact Details

University of Teacher Education Fukuoka
Promoting Cooperation Department

- Tel: +81-940-35-1247
- Fax: +81-940-35-1700
- Email: ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp
- Web: <http://www.fukuoka-edu.ac.jp>
- Web(for International exchange): <http://ww1.fukuoka-edu.ac.jp/~Ryugaku/>



佐賀大学 (佐賀県)



アジアの中の日本、世界の中の日本、地域から見える日本を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

佐賀大学(さがだいがく)は、自然(しぜん)と共生(きょうせい)するための人類(じんるい)の「知」の創造(そうぞう)と継承(けいしょう)に努めて(つとめて)います。佐賀地域(ちいき)独自(どくじ)の研究(けんきゅう)を世界(せかい)へ発信(はっしん)しようとしています。そして、アジアの知的拠点(ちてききょてん)を目指し(めざし)、国際社会(こくさいしゃかい)に貢献(こうけん)しています。

(学 部)教育(きょうい)学部、
芸術地域(げいじゅつちいき)デザイン学部、
経済(けいざい)学部、
医学(いがく)部、
理工(りこう)学部、
農学(のうがく)部
学部生数 6,023名

(大学院)学校教育学(がっこうきょうい)がく研究科、
地域(ちいき)デザイン研究科、医学系(いがくけい)研究科、
工学系(こうがくけい)研究科、農学研究科(のうがくけんきゅうか)

大学院生数 857名



② 国際交流の実績

世界各国・地域の160大学と交流協定を締結しています。現在、本学には207名の留学生が在籍しています。2009年度から2016年度までに大使館推薦の日本語・日本文化研修生をベトナム3名、リトアニア、スウェーデン、アルメニア、ベルギー、インド、ブラジル、セルビア共和国、トルクメニスタン各1名、大学推薦の日本語・日本文化研修生カンボジア1名、ラオス1名を受け入れています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績(5月1日現在)

2016年：留学生数 207人、日本語・日本文化研修留学生 4人
2015年：留学生数 209人、日本語・日本文化研修留学生 2人
2014年：留学生数 233人、日本語・日本文化研修留学生 3人

④ 地域の特色

佐賀(さが)大学のある佐賀県(さがけん)は、九州(きゅうしゅう)の北西部(ほくせいぶ)に位置(いち)し、自然(しぜん)が美しく(うつくしく)、歴史(れきし)が豊か(ゆたか)なところです。メインキャンパスは佐賀市(さがし)にあります。佐賀市は、物価(ぶつか)が安く(やすく)、住み(すみ)やすい町(まち)です。気候(きこう)は温暖(おんだん)で、年間(ねんかん)の平均(へいきん)気温(きおん)は17度です。

春(はる)には、満開(まんかい)の桜(さくら)、夏(なつ)には、鮮やか(あざやか)な緑(みどり)と花火(はなび)を見ることが出来ます。また、秋(あき)には、黄金色(こがねいろ)の水田(すいでん)と、カラフルなバルーンが青い(あおい)空(そら)を舞う(まう)姿(すがた)があります。冬(ふゆ)には、ときどき、雪(ゆき)がふります。

佐賀の人々は国際(こくさい)交流(こうりゅう)に大変(たいへん)熱心(ねっしん)で、国際(こくさい)交流(こうりゅう)イベントに参加(さんか)できます。

また、佐賀(さが)は陶磁器(とうじき)でも非常に有名(ゆうめい)で、有田(ありた)、唐津(からつ)などの焼き物(やきもの)の産地(さんち)があります。



■コースの概要

① 研修目的

本コースは、日本語能力の向上(こうじょう)のための研修(けんしゅう)を主とし、補助的(ほじょてき)な日本事情・日本文化に関する研修を行うものです。ただし、研究したい場合は、お手伝いはします。



② コースの特色

佐賀大学は、学生と先生がよくコミュニケーションできる大学です。本コースは、佐賀の美しい自然(しぜん)や心温かい人々といっしょに、日本社会や文化への理解を深め、日本語の能力(のうりょく)を伸ばす(のばす)ことができるコースです。

日本語>

本コースでは、研修生(けんしゅうせい)のレベルに合った日本語科目を履修(りしゅう)できます。また、日本語コースの中に、日本人学生ボランティアとの活動(かつどう)や地域(ちいき)での活動(かつどう)が組み込まれて(くみこまれて)いるので、実践的(じっせんてき)な日本語能力(のうりょく)が身(み)につきます。

静かで歴史豊かな
佐賀の生活は
体験してみんしゃい



日本文化＋専門科目＞

必修(ひっしゅう)の日本事情研修(にほんじじょうけんしゅう)では、日本文化の講義(こうぎ)の他(ほか)、柔道(じゅうどう)や茶道(さどう)を体験したり、日本文化(にほんぶんか)の見学旅行(けんがくりょこう)をします。

インターフェース科目では、日本人の学生(がくせい)といっしょに、議論(ぎろん)をしたり、見学(けんがく)に行ったり、パンフレットを作ったりといった活動(かつどう)をします。

これらの授業によって、研修生は、より深い日本語理解や日本語の実践的(じっせんてき)な能力(のうりょく)を身(み)につけることができます。

また、研修生の興味(きょうみ)や専門(せんもん)に応じた(おうじた)科目を受講(じゅこう)することができます。

学生生活＞

大学主催(しゅさい)留学生と日本人学生のための催し(もよおし)や、学生主催のパーティーが多く行われています。佐賀大学の学生と交流(こうりゅう)する機会が数多く設け(もうけ)られています。また、地域(ちいき)の学校や文化教室(ぶんかきょうしつ)の講師(こうし)などをしてしている学生もいます。

③ 受入定員

14名(大使館推薦7名、大学推薦7名)

④ 受講希望者の資格、条件等

1) 主(しゅ)専攻(せんこう)あるいは副専攻(ふくせんこう)が日本語、日本文化など日本に関する分野(ぶんや)である学部(がくぶ)学生。

2) 中級以上(ちゅうきゅういじょう)の日本語能力(にほんごのうりょく)を持っていること。(N2合格程度)



⑤ 達成目標

- ・日本語や日本文化について幅広い(はばひろい)知識(ちしき)を身につけること。
- ・日本社会に親しむ(したしむ)こと。
- ・自国で専門研究(せんもんけんきゅう)するための基礎能力(きそのうりょく)を養う(やしなう)こと。
- ・研修生の帰国後のキャリア選択(せんたく)に役立つ(やくだつ)実践的(じっせんてき)な日本語運用能力(にほんごうんようのうりょく)を身につけること。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月31日

I期: 2016年10月1日~2017年3月31日

II期: 2017年4月1日~2017年8月31日

修了式は8月を予定(2016年は8月)

⑦ 研修科目の概要

本コースで研修を受ける研修生は、全学教育機構および佐賀大学の各学部が開講する授業の中で、定められた「選択必修科目」「選択科目」を履修しなければなりません。

1) 選択必修科目(せんたくひっしゅうかもく)

	科目名	単位数と時間数
選択必修科目	日本事情研修(にほんじじょうけんしゅう)AまたはC	2単位(30時間)
	日本事情研修BまたはD	2単位(30時間)
	日本語コース	2単位(30時間)
	インターフェース科目	2単位(30時間)
	研修生が興味がある科目	10単位(150時間)

・受講科目(じゅこうかもく)を決めるときは、指導教員(しどうきょういん)やコーディネーターと相談(そうだん)してください。

・今までの研修生は、日本語や日本文学、言語学、日本の建築(けんちく)等に関する授業を受講しました。

*「日本語コース」のレベルは、プレースメントテストの結果で決めます。

*科目の名前などは変わることがあります。

なお、日本語の授業は全学教育機構から提供されています。

佐賀大学が提供(ていきょう)する授業について、詳しく(くわしく)知りたい人は、オンラインシラバスを参考にしてください。
<http://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/syllabus2/syllabusSearchDirect.do?nologin=on>

2) 見学、地域交流等の参加型科目

短期留学生(たんきりゅうがくせい)といっしょに受講する日本事情研修(にほんじじょうけんしゅう)では、地域(ちいき)の歴史(れきし)・文化・産業(さんぎょう)を知るための学外見学(がくがいけんがく)をしたり、地域の日本人と交流したりできます。

また、インターフェース科目(異文化理解いぶんかりかい)では、日本人学生との交流や地域への貢献(こうけん)を授業の中心的(ちゅうしんてき)な活動(かつどう)に設定(せってい)しています。

3) その他

上記の科目のほか、指導教員(しどうきょういん)や全学教育機構(ぜんがくきょういくきこう)の教員(きょういん)の指導(しどう)のもと、レポート作成を行うことができます。



⑧ 年間行事

- 10月 開講式
オリエンテーション
新入留学生ウェルカムパーティー
- 11月 佐賀インターナショナルバルーン
フェスタ
日本文化体験研修旅行
- 12月 カルチャルナイト
- 2月中旬～ 春休み
- 4月 春学期開始
日本文化体験研修旅行
- 5月 ガタリンピック
- 6月 日本文化体験研修
- 8月 夏休み
栄の国祭り
修了式
フェアウェルパ



⑨ 指導体制

1) コースコーディネーター

全学教育機構日本語教育部会
国際交流推進センター併任教員
准教授 中山 亜紀子
(E-mail: anakayam@cc.saga-u.ac.jp)

2) 研修生(けんしゅうせい)の日本での生活面(せいかつめん)に関して(かんして)は、本学(ほんがく)の保健(ほけん)管理(かんり)センターとの連携(れんけい)体制(たいせい)をとりながら、国際(こくさい)交流(こうりゅう)推進(すいしん)センターの専任(せんじん)および併任(へいにん)教員(きょういん)が対応(たいおう)しています。

3) 研修生(けんしゅうせい)には、学生チューターが1名ずつつきます。学生チューターは、日常(にちじょう)生活(せいかつ)、勉強上(べんきょうじょう)のお手伝いや、日本人(にほんじん)学生(がくせい)と交流(こうりゅう)をするお手伝いをしてくれます。

⑩ コースの修了要件

日本事情(じじょう)研修(けんしゅう)を各(かく)学期(がく)2単位(たんい)、日本語コースから春学期・秋学期合(あ)わせて2単位以上、インターフェース科目(かもく)から2単位以上、佐賀大学の授業(じゅぎょう)の中から10単位以上が修了(しゅうりょう)のために必要(ひつやう)です。コースの修了者(しゅうりょう)に対し修了(しゅうりょう)証明書(しょうめいしょ)及び(および)成績(せいせき)証明書(しょうめいしょ)を発行(はっこう)します。

■宿 舎

大学(だいがく)の敷地内(しきちない)に留学生用(りゅうがくせいよう)の宿舎(しゅくしゃ)、国際交流(こうりゅう)会館(かいかん)があります。

(単身室(たんしんしつ) 8,100円/月、夫婦室(ふうふしつ) 12,200円/月、家族室(かぞくしつ) 14,900円/月)

この他に、大学周辺(だいがくまわり)に留学生(りゅうがくせい)のための良質(りょうしつ)で家賃(やちん)の安いNPO法人国際下(こくさいげ)宿屋(しゅくや)(月額2万円程度)や民間(みんかん)のアパートがあります。

(ちなみに、今までの研修生(けんしゅうせい)は、15,000~30,000円の冷蔵庫(れいぞうこ)、洗濯機(せんたくき)などのついた民間(みんかん)のアパートに入居(にゅうきょ)しました。



■修了生へのフォローアップ

佐賀大学に留学(りゅうがく)した研修生(けんしゅうせい)は、佐賀大学で学んだことを生かして(いかして)、母国(ぼこく)の日系(にっけい)企業(きぎょう)で働いたり、日本の大学院(だいがくいん)に進学(しんがく)したりしています。

修了(しゅうりょう)した研修生(けんしゅうせい)は、インターネットで佐賀大学やコーディネーターといつでも連絡(れんらく)することができます。

佐賀大学の学部(がくぶ)を卒業(そつぎょう)した留学生(りゅうがくせい)は、県内外(けんないがい)の企業(きぎょう)に就職(しゅうしょく)したり、母国(ぼこく)で就職(しゅうしょく)したり、また、佐賀大学や他大学の大学院(だいがくいん)に進学(しんがく)しています。有名な企業(きぎょう)で働いている卒業生(そつぎょうせい)もいます。



■問合せ先

(担当部署)

佐賀大学学術研究協力部国際課

住所 〒840-8502

佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL +81-952-28-8169(直通)

FAX +81-952-28-8819

E-mail ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

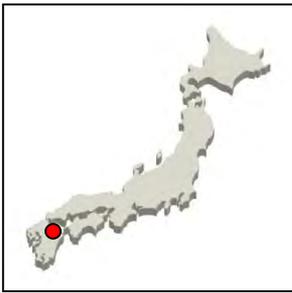
佐賀大学国際交流推進センター

<http://www.irdc.saga-u.ac.jp>

佐賀大学ホームページ

<http://www.saga-u.ac.jp>

日研生ホームページ <http://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/interest/jresearch.html>



SAGA University



Understand Japan from local perspective and rich experience.

■ About Saga University

① University overview

Saga University commits itself to the creation and inheritance of human wisdom so that people can live together with nature. Saga University is continually raising its academic level to convey its original achievements to the world, and contribute to the development of the international society as a major intellectual organization in Asia.

Saga University consists of six faculties: Education, Art and Regional Design, Economics, Medicine, Science and Engineering, and Agriculture. 5 graduate schools: Teacher Education, Regional design, Medical Science, Science and Engineering, Agriculture

Number of students:

undergraduate students	6,023
graduate students	857



② International Exchange

Saga University executes academic exchange agreements with more than 160 universities throughout the world. We have 207 International students are enrolled.



One student each from Lithuania, Sweden, Belgium, Armenia, India, Brazil, Serbia, Turkmenistan, Cambodia and three Vietnamese students have entered Saga University via the Language and Culture Japanese Studies Program from 2009 to 2015.

③ Number of International Students last 3 years of record (As of May 1)

2016: International Students ,207, JLCP 4

2015: International Students ,209, JLCP 2

2014: International Students ,233, JLCP 3

(JLCP: Japanese Language and Culture Program)

④ The location

Saga Prefecture (population 850,000) is in north-western Kyushu. Saga City, the capital of Saga Prefecture, has a population of 230,000. It is located in the central part of the Saga Plain spread between Mt.Tenzan and Mt. Sefuri in the north and the Inlet of the Ariake Sea in the south. The Saga plain is one of the largest plains in Japan and is favored with plenty of water.

Saga is blessed with a rich natural environment and is a comfortable place to live. The climate is not severe at all with an average year-round temperature of 17°C. Each of the four seasons offers various natural beauties: a cascade of falling cherry blossoms in spring; fresh greenery of camphor trees and fireworks in summer; colorful balloons flying over golden fields of rice in autumn; and harvests of seaweed in winter of which Saga is Japan's leading producer.



As Saga is graced with agriculture, you can enjoy the freshest food at very reasonable prices. Also you can live here at a low cost compared to big cities elsewhere in Japan.

The people of Saga are eager to share with others through international exchanges and, likewise, have organized many international cooperative ventures including the annual International Balloon Festival. Saga is also famous for its porcelain and ceramics. Imari-ware has been traded all over the world for over two hundred years since the Edo-period.

Wouldn't you like to experience the joys and challenges of campus life at Saga University, in the midst of Saga's tranquil environment and rich history?

■ Outline of This Program

① Purpose of the program

This program aim to improve your Japanese communication and academic skills through the various Japanese courses. Secondly, this program aim to deepen your understanding to Japanese culture and Japanese affairs.



② Characteristics of this Program

This program, offered by the Center for Promotion of International Exchange at Saga University, is designed for undergraduate students studying Japanese language and culture. Its aim is to develop students' Japanese language proficiency and to deepen their understanding of Japanese society and culture, as well as to widen their world view.

We provide six levels of Japanese courses so that every student is able to study at their appropriate level under experienced Japanese teachers. Students will learn practical Japanese through activities with Japanese students and by interacting with the local community.

A distinctive feature of our program is that we systematically incorporate these essential community interactions into the academic courses the students study in. Through the interface subjects and the "study of Japanese affairs", students will be exposed to real Japanese culture. These experiences deepen students' understanding of Japan and teach them true practical Japanese skills.

We offer field trips and cultural activities such as the Japanese tea ceremony to deepen understanding of Japanese culture. In addition, we provide opportunities to make friends with Japanese students. For instance, we invite Japanese students to Japanese language classes, making these experiences more practical and meaningful. Students can take part in events and activities such as Language Lounge or Halloween Party organized by the Japanese students here at Saga University.

③ The number of students accepted is 14
(Embassy recommendation: 7, University recommendation: 7)



④ Eligibility

1) Applicants must be full-time undergraduate students who have completed their first year of studies at a university in a country other than Japan. Also, all students must be majoring in Japanese language and studies in their home university either as a major or a double-major.

2) Applicants should have an intermediate level of language proficiency in order to enroll. (preferably JLPT N-2 level)

⑤ Achievement Goals of This Program

- To obtain wide knowledge of Japanese language and culture;
- To become familiar with Japanese society;
- To develop basic research skills and abilities for students to conduct academic research in their home country after this program is completed;
- To enhance their practical Japanese competency well enough to help students choose their future careers.

⑥ Period of the Program

October 1st 2017 ~ August 31st 2018

1st semester : October 1st 2017 ~ March 31st 2018

2nd semester : April 1st 2018 ~ August 31st 2018

Closing ceremony is scheduled in August 2018

⑦ Academic Program

Students must obtain a certain number of credits in subjects provided by each faculty and the Organization for General Education at Saga University in order to complete the program.

1) Selective Compulsory subjects

	Subject	Credits (Hour)
Selective Compulsory	Field Work on Japanese Affairs A or C	2 Credits (30hr)
	Field Work on Japanese Affairs B or D	2 Credits (30hr)
	Japanese Courses	2 Credits (30hr)
	Interface Courses	2 Credits (30hr)
	Subject Offered by the Organization for General Education	10 Credits (150hr)
	Subjects Offered by the Faculties	

* Students are placed in the most appropriate level of Japanese language classes according to their language proficiency based on the results of a placement test.

* Japanese courses are provided by the Organization for General Education.

* Please note that the names of these courses may change.

-Two or more credits in Japanese language courses for the year at one's appropriate level.

-Two or more credits in the interface courses which students take with Japanese students for the year.

-Two credits in the "Field Work on Japanese Affairs" courses per semester.

-Ten or more credits for the year in elective courses regularly offered for Japanese students.

Students who participate in our program will select courses connected with his/her major or interest under guidance and supervision of course coordinators or academic supervisors.

Past participants have taken courses such as Japanese Language, Japanese Literature, and Japanese Architecture.

Students who wish to see details of the classes Saga University provides should check our online syllabi at:

<http://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/syllabus2/syllabusSearchDirect.do?nologin=on>



2) Participatory Subjects

Saga University also offers subjects in which students can experience Japanese culture and interact with local people. In the “Field Work on Japanese Affairs” class, students can join field trips to become better acquainted with the local and regional history, culture, industry of Kyushu. They will also get the opportunity to converse with local people and learn more about Saga’s unique place in Japan. Students can also participate in selected classes of the interface program of intercultural interaction. The main focus of each class is intercultural interaction between Japanese students and foreign students.

4) Others

Students can conduct research related to their specialty or interest areas under the guidance of an academic supervisor or under the guidance of an academic staff in the Organization for General Education.

⑦ A Timetable of Events

October : Opening Ceremony
Orientation
Welcome Party

November : Saga International Balloon Fiesta
Field Trip

December : Cultural Night

Med-February : Spring Vacation

April : Second Semester Start
Field trip

May : Gatalympic

June : Culture hours

August : Summer Vacation
Sakae no Kuni Matsuri
Closing Ceremony
Farewell Party



⑧ Supervision

1) Course Coordinator
NAKAYAMA, Akiko
Associate Professor, Ph. D.
e-mail: anakayam@cc.saga-u.ac.jp
Associate Professor of Organization
for General Education & Concurrently
Appointed Professor to CPIE



2) Staff of the Center for Promotion of International Exchange, in cooperation with the Health Care Center, provide guidance in regards to student welfare at Saga University.

3) The student tutor will help students taking the course with their daily life in Saga, studies and communication in Japanese. Each student tutor will be assigned to one student.

⑨ Requirements for Completion of the Program, and Certificate of Completion

A certificate of completion is awarded and issued to the students who meet the following stipulations:

- 1) Two credits in Field Work on Japanese Affairs in each semester.
- 2) Two or more credits in Japanese language courses for the year.
- 3) Two or more credits in interface program courses
- 4) Ten or more credits in elective courses offered by each faculty.

Students are credited in each course of the Program. They may receive recognition in their home universities for credits obtained during the Program based on the academic transcript issued by Saga University.

■ Accommodations

Foreign students usually live in: 1) International House (one-year lodging, 8,100 yen/month for single use) ; 2) Lodging House supported by the NPO corporation (more less 20,000 yen/month) ; or 3) a local apartment.

Students in the past have rented local apartments with basic electrical home appliances such as a refrigerator and/or a washing machine in 15,000~30,000yen/month range.

■ Follow-up for program graduates

We are proud of our former international students: a past student is now working for a Japanese company in her home country using the skills and knowledge which she gained at Saga University.

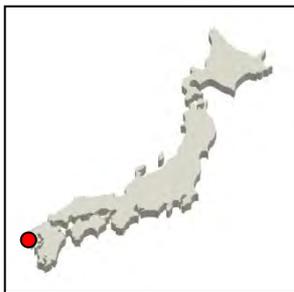
Quite a number of our students who studied at Saga University as short-term international student came back to Saga University or have attended other top ranking Japanese Universities to study in graduate school.

Some past international students who studied here as undergraduate students have returned to their home countries where they have found jobs at Japanese companies such as Yamato Transport CO. or Suzuki. Others have found work where their Japanese skills and knowledge are needed. And some come back for graduate studies at Saga University.

■ Contact

Center for Promotion of International Exchange
International Affairs Division,
Academic Research Cooperation Department, Saga University
1Honjo-machi, Saga City, Saga Pref. 840-8502
Japan
TEL 81-952-28-8169 FAX 81-952-28-8819
Email: ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp
Center for Promotion of International Exchange
<http://www.irdc.saga-u.ac.jp>
Saga University Homepage:
<http://www.saga-u.ac.jp>
Saga University Japanese Language and Culture
Program Homepage:
<http://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/interest/jresearch.html>





長崎大学 (長崎県)



研修生の専攻に合った分野の科目を受講できるとともに、日本語能力に応じた国際教育リエゾン機構の日本語・日本事情の科目を受講することもできる。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

長崎大学は、多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部を持つ総合大学であり、6つの大学院（教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、水産・環境科学総合研究科、医歯薬学総合研究科、熱帯医学・グローバルヘルス研究科）と2つの研究所（熱帯医学研究所・原爆後障害医療研究所）を有する教員数約1,300人、学生数約8,400人の国立大学法人である。長崎大学は、長崎に根づく伝統的な文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献することを理念としている。



② 国際交流の実績

長崎大学は海外の210の大学と交流協定を締結しており、2016年10月1日現在、503名の留学生が、それぞれの所属する学部、研究科、国際教育リエゾン機構等の組織の中で勉学、研究に励んでいる。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（10月1日現在）

2016年：留学生数 503人
日本語・日本文化研修留学生 3人
2015年：留学生数 429人
日本語・日本文化研修留学生 4人
2014年：留学生数 423人
日本語・日本文化研修留学生 4人

④ 地域の特徴

本学がある長崎市は九州の西端に位置し、青く澄んだ海と緑豊かな山々に囲まれ、気候も温暖な都市である。長崎港は、200年間に及ぶ日本の鎖国時代にあってもアジア、西欧との交易のために日本で唯一開かれていた。長崎市民はこのような国際交流の伝統を受け継いで開放的で人情味豊かであり、留学生にも非常に好意的である。

■コースの概要

① 研修目的

- (a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。
- (b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

日本語・日本文化研修生という1年間の留学目的や身分に配慮し、本学の3つの学部（多文化社会学部、教育学部、経済学部）のうちから研修生の母国における専攻分野の学業目標達成を最も効率的に支援できる学部にも所属してもらい、当該分野の指導教員の履修指導に基づいて研修生の希望に沿った科目等を履修するとともに、研修生の日本語能力に応じた国際教育リエゾン機構の日本語・日本研究科目も履修できる教育カリキュラム体制を準備している。

③ 受入定員

8名（大使館推薦 6名、大学推薦 2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- (1) 日本語能力試験のN2以上に合格しているか、それと同等以上の日本語能力のある者。（1年次在籍者を除く。）
- (2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻している者。

⑤ 達成目標

- (1) 日本語能力試験N1に合格、あるいは、合格相当以上の日本語能力を修得する。
- (2) 講義や演習を通して日本文化の理解を深めるとともに、興味のあるテーマについて研究できるようにする。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月末日
修了式は8月を予定

⑦ 研修科目の概要

(A) 日本語科目（中級～上級）一選択

中級Ⅱ会話	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ読解	前期及び後期	90分授業30回
中級Ⅱ作文	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ聴解	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ漢字	前期及び後期	90分授業15回
上級Ⅰ読解	前期及び後期	90分授業30回
上級Ⅰ総合	前期及び後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合A	後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合B	後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合C	前期	90分授業30回
上級Ⅱ総合D	前期	90分授業30回
日本語上級Ⅱb	後期	90分授業30回
日本語上級Ⅱa	前期	90分授業30回
日本事情	後期	90分授業15回

(注) 授業は、他の留学生とともに受講する

(B) 専門科目一選択

それぞれの専門に応じて、選択受講する。

・学部開講の科目

- (例) 日本を知る、アジア理解への扉、国語学概論
国語学史、近代文学、国文学史、日本史通説、
日本書道史、日本語からたどる文化、比較文化論、
文化の交流と共生、文化と対人関係、
国際関係論、国際協力論、ジェンダーと人権
地域を越えるマネジメント、紛争と平和

(注) 上記科目は学部学生（日本人学生及び留学生）とともに受講する。

・国際教育リエゾン機構開講の科目

- 日本研究Ⅰ：人間と文化
- 日本研究Ⅰ：言語と社会
- 日本研究Ⅱ：人間と文化
- 日本研究Ⅱ：言語と社会

1) 必須科目

専門科目については、所属学部の指導教員による履修オリエンテーションに基づき、履修を決定する。
日本語科目については、国際教育リエゾン機構の担当教員が履修ガイダンスを行う。日本語科目は、全科目が選択科目である。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・平和学習バスハイク
- * 所属する学部のゼミ等で専攻に応じた地域見学・研修等が行われる場合がある。

3) その他の講義、選択科目等

- ・教養教育自由選択科目
希望に応じて、教養教育の自由選択科目を受講することができる。
- ・日本語・日本事情等の科目については、国際教育リエゾン機構においてプレースメントテストを受け、その結果に基づいて履修科目を決定する。

⑦年間行事

- 10月 後期履修オリエンテーション・後期授業開始
- 11月 平和学習バスハイク
長崎大学学園祭
- 12月 外国人留学生の集い
- 2月 後期授業終了
- 4月 前期履修オリエンテーション・前期授業開始
- 8月 前期授業終了

⑧指導体制

各人の専門分野により、所属学部を決め、指導教員を定める。指導教員は各人の専門分野について適宜、個別指導を行う。

また、国際教育リエゾン機構においても担当教員を定め、日本語を含めた履修オリエンテーションを行うとともに、日本語の学習について指導・援助する。

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

前・後期合わせて14コマ以上を履修し、合格した者には修了証書を発行する。

【文教キャンパス】



■宿 舎

長崎大学には、国際交流会館（西町本館・A棟・B棟）、坂本分館、国際学寮ホルテンシア（A棟・B棟）の留学生用宿舎が設置されている。但し、数に限りがあるため、希望者全員が入居できないこともある。

その場合は、民間アパートを借りる。

留学生向けの居室数等は、以下のとおりである。

(2016年10月1日現在)

宿舎数

・ 単身室	64室
・ 2人シェア	12室
・ 4人シェア	118室

宿舎費（1人あたり）

・ 単身室	¥8,177
	¥11,384
	¥20,589
・ 2人シェア	¥12,560
	¥12,516
・ 4人シェア	¥19,275
	¥22,000

■修了生へのフォローアップ

学術研究等の相談があった時は、メールやSNS等でいつでも応じる体制を取っている。

■問合せ先

(担当部署)

長崎大学国際教育リエゾン機構事務室
〒852-8521

長崎県長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2209 (直通)

FAX: 095-819-2125

Email: ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学ホームページ

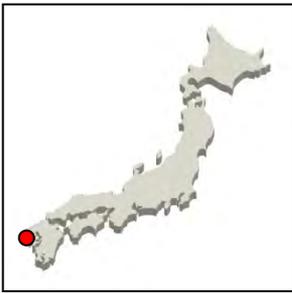
<http://www.nagasaki-u.ac.jp>

長崎大学国際教育リエゾン機構ホームページ

<https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/>

【国際交流会館（西町本館）】





Nagasaki University



Students can take subjects corresponding to their major field of study at home university as well as the Japanese language and Japanese culture related classes offered by the Liaison Center for International Education.

■ Introduction to Nagasaki University

① Characteristics and Outline of Nagasaki University

Nagasaki University consists of nine faculties (Global Humanities and Social Sciences, Education, Economics, Medicine, Dentistry, Pharmaceutical Sciences, Engineering, Environmental Sciences, and Fisheries) and six graduate schools (Education, Economics, Engineering, Fisheries and Environmental Sciences, Biomedical Sciences, and Tropical Medicine and Global Health), and two research institutes (Institute of Tropical Medicine and Atomic Bomb Disease Institute).

It is a national university corporation with about 1,300 faculty members and about 8,400 students. Nagasaki University aims at devoting itself to the development of harmonious society by inheriting the tradition of culture rooted in Nagasaki, fostering rich mind among the students, and creating new sciences to sustain global peace.

② International Exchange

Nagasaki University has 210 partner universities abroad. As of October 1, 2016, 503 international students are pursuing their research goals in various departments and the Liaison Center for International Education.

③ Achievements in the past three years (As of October 1)

2016	International Students: 503
	Japanese Studies Student: 3
2015	International Students: 429
	Japanese Studies Student: 4
2014	International Students: 423
	Japanese Studies Student: 4

④ Local Characteristics

The city of Nagasaki, where Nagasaki University is located, is situated at the western end of the Kyushu Island.

The city is surrounded by the clear-blue sea and rich green mountains, and the climate is very mild. The port of Nagasaki was the only port that opened its window for trading with Asian and European countries when the Japanese government closed its doors to the world for approximately 200 years.

People of Nagasaki have inherited the tradition of international exchanges. They are open-minded, warmhearted, and friendly to international students.

■ Outline of the Course

① Aims of the Course

- To primarily gain knowledge on Japanese affairs and Japanese culture and supplementarily acquire better Japanese language proficiency.
- To primarily acquire better Japanese language proficiency, and supplementarily gain knowledge on Japanese affairs and Japanese culture.

② Characteristics of the Course

Considering the characteristics of this established program and its short study period of one year, students are to belong to any of the three faculties, Global Humanities and Social Sciences, Education, or Economics, whichever is closest to their major at their home university.

Supervisor helps his/her student to choose the most suitable subjects according to a study plan. Students are also given classes related to Japanese language and Japanese affairs depending on their Japanese comprehension.

③ Maximum Enrollment: 8

Embassy recommended student: 6
University recommended student: 2



④ Qualification for Enrollment

- (1) Applicants must pass level N1 or level N2 of the Japanese Language Proficiency Test, or equivalent.
(Except for 1st year students)
- (2) Applicants must major in a field related to Japanese language and Japanese culture.

⑤ Goals and Objectives

- (1) Applicants must pass Japanese language proficiency Test level N1 or acquire language skills equivalent to level N1.
- (2) Applicants must gain a better understanding of Japanese culture through lectures and exercises as well as learn to conduct research of their own interests in Japanese.

⑥ Training Period

October 1, 2017 – End of August, 2018
Closing ceremony will be held in August.

⑦ Outline of Subjects

(A) Japanese Language

- (Intermediate – Advanced) – Elective
- Intermediate Japanese II Conversation
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)
- Intermediate Japanese II Reading
First and Second Semester, 30 classes (90 min.)
- Intermediate Japanese II Composition
First and Second Semester, 15 class (90 min.)
- Intermediate Japanese II Listening
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)
- Intermediate Japanese II Kanji
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)

Advanced Japanese I Reading
First and Second Semester, 30 classes (90 min.)

Advanced Japanese I Integrated Skills
First and Second Semester, 30 classes (90 min.)

Advanced Japanese II Integrated Skills A
Second Semester, 30 classes (90 min.)

Advanced Japanese II Integrated Skills B
Second Semester, 30 class (90 min.)

Advanced Japanese II Integrated Skills C
First Semester, 30 class sessions (90 min.)

Advanced Japanese II Integrated Skills D
First Semester, 30 class sessions (90 min.)

Advanced Japanese II b
Second Semester, 30 classes (90 min.)

Advanced Japanese II a
First Semester, 30 classes (90 min.)

Japanese Affairs
Second Semester, 15 classes (90 min.)

Note: Lectures are open for other international students as well.

(B) Specialized Subjects – Elective

According to student’s major, he/she may select subjects from various options including following:

Subjects offered by the faculties (e.g.)
Learning about Japan, A Door to Understand Asia, Outline of the Japanese Language, History of Japanese Language, Modern Literature, History of Japanese Literature, Common Belief of Japanese History, History of Japanese Calligraphy, Culture tracing from Japanese Language, Comparative Culture, Cross Cultural Exchange and Coexistence, Culture and Personal Relations, International Relations, International Cooperation, Gender and Human Rights, Transnational Management, Conflict and Peace Studies

Note: Lectures are open for all regular undergraduate students.

Subjects offered by the Liaison Center for International Education

- Japanese Studies I: Human and Culture
- Japanese Studies I: Language and Society
- Japanese Studies II: Human and Culture
- Japanese Studies II: Language and Society

1) Compulsory Subjects

Specialized subjects are to be selected under the guidance of supervisors.
As for Japanese subjects, the Liaison Center for International Education will give assistance. Japanese courses are all elective.

2) Participatory subjects (Field trips and community exchanges)

- Peace Study (Learning peace-related issues on a field trip)

Note: Field visits may be offered at the faculties or seminars which students belong to.

3) Other lectures and elective subjects

Students are free to select subjects from the elective subjects in general education. Subjects on Japanese language and Japanese affairs are to be determined according to the placement test results conducted by the Liaison Center for International Education.

⑧ Annual Event

October	Orientation for the Second Semester Beginning of the Second Semester
November	Peace Study School Festival
December	International Student Party
February	End of the Second Semester
April	Orientation for the First Semester Beginning of the First Semester
August	End of the First Semester

⑨ Instructive System

Supervisor will be assigned according to a student's area of expertise. The supervisor will give individual guidance to the student.

【Bunkyo Campus】



Professors (Chikako Nagai, Kumiko Matsumoto, Miyuki Tada, and Yumi Furumoto) of the Liaison Center for International Education will help to select Japanese classes.

⑩ Prerequisite for Course Completion and Certificate

A certificate will be given to those who have successfully completed a total of 14 subjects or more.

■ Accommodations

Nagasaki University has dormitories prepared for international students, Nishimachi International Student House (Main Bldg., Bldg. A & Bldg. B), Sakamoto International Student House, and International Dormitory HORTENSIA (Bldg. A & Bldg. B).

When vacancies are not available, students must rent private apartment.

The number of rooms available for international students are as follows (As of October 1, 2016):

Number of Rooms:

-Single room	64 rooms
-Two-bed room	12 rooms
-Four-bed room	118 rooms

Rent:

-Single room	¥8,177	¥11,384	¥20,589
-Two-bed room	¥12,560/person	¥12,516/person	
-Four-bed room	¥19,275/person	¥22,000/person	

■ Follow-up for Graduates

Supervisors are always ready to provide academic assistance to the former students through emails, SNS, etc.

■ Contact

Liaison Center for International Education
Nagasaki University

1-14 Bunkyo

Nagasaki 852-8521

Japan

TEL: +81-95-819-2237 (Direct Number)

FAX: +81-95-819-2125

E-mail: ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

Nagasaki University:

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/en/>

Liaison Center for International Education:

<http://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/en/>

【Nishimachi International Student House】





熊本大学 (熊本県)



豊かな自然と歴史のある熊本で、日本語や日本文化を学んでみませんか。日本文化に関するさまざまな分野の授業を日本人と一緒に受けて、日本への理解を深め、将来の研究に向けた基礎を作りましょう。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

熊本大学は、夏目漱石やラフカディオ・ハーン(小泉八雲)も教えたことのある旧制第五高等学校を母体とする、伝統ある国立の総合大学です。現在、7学部・9大学院があり、約10,000人の学生及び約2,600人の教職員がいます。また、2014年には、文部科学省から、スーパーグローバル大学創成支援事業の対象校に選ばれました。

② 国際交流の実績

2016年10月3日現在、43か国1地域の209大学・機関と国際交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2016年：留学生数 527人
日研生<国費> 1人(インドネシア)

2015年：留学生数 532人
日研生<国費> 11人(カンボジア、タイ、ラオス、ベトナム、ブラジル、スペイン、フランス、トルコ、ポーランド、インドネシア)

2014年：留学生数 470人
日研生<国費> 8人(インドネシア、シンガポール、ラオス、ブラジル、オーストリア、ポーランド、タイ)

④ 地域の特色

自然豊かな熊本には、2014年に世界ジオパークに認定された阿蘇山や、豊かな海に囲まれた美しい天草諸島があります。



■コースの概要

① 研修目的

各学生の目的に合わせ、以下の2つのコースを準備しています。
(a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの
(b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの

② コースの特色

学部の指導教員及び日本語担当教員が常に連携し、コースの選択から修了まで丁寧に指導します。

(a) 日本事情・日本文化研究コース

科目群	取得単位数	備考
日本語科目	6単位以上	1年間で合計24単位以上を取得すること。
研究科目	①～④から8単位以上	
①日本語研究科目		
②日本文化研究科目		
③日本文学研究科目		
④日本社会研究科目		
自由選択科目	日本語科目、研究科目の科目群から10単位以上	

* 修了レポートを提出し、口頭試問に合格すること。

(b) 日本語能力向上コース

科目群	取得単位数	備考
日本語科目	12単位以上	1年間で合計24単位以上を取得すること。
研究科目	①～④から4単位以上	
①日本語研究科目		
②日本文化研究科目		
③日本文学研究科目		
④日本社会研究科目		
自由選択科目	日本語科目、研究科目の科目群から8単位以上	

* 指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出すること。

③ 受入定員

12名(大使館推薦 8名、大学推薦 4名)

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語・日本文化を専攻し、自国の大学で少なくとも2年間日本語を学習していること。本学のレベル4(日本語能力試験N3-N2レベル相当)以上が望ましい。

⑤ 達成目標

さまざまな体験を通じて、日本の社会や文化に対する知見を深め、特に「(a)日本事情・日本文化研究コース」では日本を対象とした研究を行う上で必要となるスキルを身につけ、一方、「(b)日本語能力向上コース」では、日本語能力を高め、社会で役立つ日本語・日本文化の知識を身につけることを目指します。

⑥ 研修期間

2017年10月1日～2018年9月30日
閉講式は2018年9月予定



⑦ 研修科目の概要

日本語科目、研究科目（日本語研究科目、日本文学研究科目、日本文化研究科目、日本社会研究科目）があります。

※研修科目は追加・変更になる場合があります、本コースガイドに記載のない科目についても修了要件として認められることもあります。

1) 日本語科目

- ・日本語能力向上コース 12単位、360時間以上
- ・日本事情・日本文化研究コース 6単位、180時間以上

<日本語科目>

「聞く・話す・読む・書く」の4技能について、日本語能力の向上を目指します。1～6レベルのクラスが技能別に開講されています。学期はじめのプレースメントテストの結果や学生の希望に基づいて、受講するクラスを決めます。

[主な科目]

中級会話

依頼する、誘う、断るなどコミュニケーションに必要な表現や言葉を、ロールプレイを通して学びます。

中上級読解

日本社会や文化について書かれた文章を正確に読み取るための読解のストラテジーを学びます。

上級レポート作成法

研究レポートのテーマ探しから作成・発表まで、実際に書きながら段階を踏んだ学習ができます。



日本語クラス

2) 研究科目、その他

- ・日本語能力向上コース 4単位 60時間以上
- ・日本事情・日本文化研究コース 8単位 120時間以上

<日本語研究科目>

日本語の文法・音声・音韻・語彙などを通時的・共時的に分析・考察します。

[主な科目]

日本語学概論I

大学で初めて出会う「日本語学」の講義として、現代日本語の全体像を理解できるよう、日本語学の基本的な事項について学びます。

国語学概説II

日本語文法の理論と文章表現を学びます。

※その他、日本語学概論II、日本語文章作成など

<日本文学研究科目>

日本文学に関する諸問題の考察を通じ、研究における様々な視点や方法を学びます。

[主な科目]

日本文学概論II

日本文学の流れをたどりながらその特質について概観するとともに、日本文学をいかに研究するか、その基本的な知識、姿勢、方法について学びます。

日本語日本文学入門

日本語あるいは日本文学を研究することの意義と方法について概観します。共通語と方言、書き言葉と話し言葉、古典文学と絵画、物語と和歌などをとりあげます。

日本語文章読解

日本の小説や随筆文、論説文をいくつか抜粋して取り上げ、それらを語彙や文体に注意しながら読みます。学んだことをもとに自分の考えを日本語で表現します。

※その他、日本文学概論Iなど



文学部民俗学概論Iを履修する日研究生

<日本文化研究科目>

日本の歴史や文化をテーマとした基礎的な知識や専門的な研究のための視点を学びます。

[主な科目]

日本史概説II

日本の近世から近代にかけての政治と社会の動きを具体的に探り、日本近世・近代史の基礎を理解すると共に現代社会の基盤に対する理解を深めます。

民俗学概論I

日常生活の中の様々な習慣が、いつ、どのように作り出されたのか、近代国家成立によってどう変化したのか理解し、伝統的習慣をどう考えるべきかを学びます。

文化史概説I

明治維新から敗戦までの日本近代思想史を学ぶことによって、日本近代思想史の基礎知識を習得すると共に、歴史認識を再考する手がかりを学びます。

日本の文化と社会

日本の社会、文化、歴史などについて基礎的な知識を習得します。授業で扱うテーマや素材は、参加者同士で話し合っ随時決めます。

※その他、日本史概説、社会学特講など

<日本社会研究科目>

現代日本の諸問題を、政治、教育をはじめとする様々な視点から分析・考察します。

[主な科目]

地域社会学概論I

社会の基本構造である家族と地域社会の構造と機能について、また地域社会の「原型」について学びます。明治以降の近代化・産業化についても触れます。

地域社会学概論II

戦後大きく変動してきている日本の地域社会の諸問題の課題や解決策などについて、現実的対応に焦点をおいて具体的な事例を用いて考察します。

※その他：社会学概説、教育社会学、民法入門、教育学概論、教育史など

⑧ 年間行事

<秋学期 10月～3月>

- 9月末 開講式
 10月 ウェルカムパーティ
 熊本市内文化探訪
 12月 文楽鑑賞(清和村)
 留学生交流パーティ
 冬期休暇
 1月～2月 定期試験
 2月 研修旅行
 2月～3月 春期休暇

<春学期 4月～9月>

- 7月～8月 定期試験
 8月 日本語による学習成果物提出/
 修了レポート提出&口頭試問
 水前寺公園で能鑑賞
 9月 閉講式



<<熊本と夏目漱石>>

“山路を登りながら、
こう考えた。

智に働けば角が立つ。
情に掉させば流される。
意地を通せば窮屈だ。
兎角に人の世は住みにくい。



夏目漱石著「草枕」より

熊本大学夏目漱石銅像

夏目漱石の「草枕」は、熊本が舞台となつて生まれた作品です。熊本には漱石ゆかりの地が多く存在し、その足跡をたどることができます。

⑨ 指導体制

学生は、文学部等に所属し、教員は学生の専門に合わせてレポートの個別指導にあたります。

学生1名に対し所属する学部 of 指導教員1名と日本語担当教員1名の2名体制で共同指導を行います。

○2015年度のレポート題目及び文学部の指導教員

レポート題目	指導教員 (専門分野)
短期留学生の友人関係構築に見る異文化適応意欲とアイデンティティ変容機会	水元 豊文 (情報メディア倫理)
日本語とトルコ語における依頼場面に対する断り表現	パウアー・トビアス (日本の宗教・哲学、比較思想史) (1998-1999 日研生)
読書文化の比較研究 カンボジアと日本を例に	鈴木 寛之 (民俗学)
タイと日本の若者の親の介護に関する意識の比較	平野 順也 (修辞学、コミュニケーション学)
熊本の郷土食「馬刺し」に対する日本人の若者のイメージ	坂元 昌樹 (日本近現代文学)
熊本市とサンパウロ市の水事情	三澤 純 (日本近現代史)
日本における難民制度 1975年から現在まで	松浦 雄介 (社会学)
アルペール・カミュの『ペスト』と小野不由美の『屍鬼』の比較研究	竹内 裕 (聖書学)
くまモンの人気に関する研究	茂木 俊伸 (日本語学、現代日本語文法)
平安時代と現在の日本文化における安倍晴明という陰陽師のイメージ	山下 裕作 (日本民俗学)
現代の若者の飲酒文化	木下 尚子(考古学)

○プログラム実施委員

日本語・日本文化研修留学生の受け入れ、年間授業計画、成績判定、修了認定のために、全学からの委員による委員会が組織されています。

⑩ コースの修了要件、修了証書の発行

1年間に24単位以上を取得し、指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出、または修了レポートを提出し、かつ口頭試問に合格した学生には修了証書を与えます。

■宿 舎

キャンパスから東に1.5kmほどのところに、留学生のための寮「熊本大学国際交流会館」があります。200人以上の留学生や研究者が住んでいます。宿舎から大学までは自転車で10分くらいです。

<部屋タイプ> 単身室

<設備> キッチン・シャワー・トイレ・クローゼット・エアコン・ベッド・冷蔵庫・IHクッキングヒーター・机・いす・電話機(受信専用)等

<寄宿料> 月額 17,000円(水道・光熱費を含まない)

* 料金は、変更になる場合があります。

* その他、入居時に預託金、退去時に清掃費・鍵交換費が必要です。

ふとんリース：約10,000円/年

インターネット：別契約



国際交流会館の外観と室内

■修了生へのフォローアップ

SNS等を活用して、修了者との交流を継続しています。

<修了後の進路例>

- ・大学院(母国・日本)進学
- ・日本企業勤務・日本語翻訳者
- ・大学教員

■問い合わせ先

熊本大学 国際教育課

住所 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1

電話 +81-96-342-2103/2133 (直通)

FAX +81-96-342-2130

E-mail gjj-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学グローバル教育カレッジホームページ

<http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学ホームページ

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

日研生ホームページ

[http://www.kumamoto-](http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program)

[u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program](http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program)

[rogram/japanese_studies_program](http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program)



Kumamoto University (Kumamoto)



Kumamoto is rich in natural beauty and historical heritage.

Study with Japanese students and acquire fundamental knowledge for your research.

■ Introduction

① Characteristics and overview

Kumamoto University is a national university established in May 1949 from several institutions, including the Fifth High School where Lafcadio Hearn and Soseki Natsume had taught. Now, we have 7 undergraduate departments and 9 graduate schools with about 10,000 students and about 2,600 staff. In 2014, we were selected for the MEXT Top Global University Project.

② International Exchanges

As of October 3, 2016, Kumamoto University has international exchange agreements with 209 colleges, universities and institutions in 43 countries and 1 region.

③ The Number of International Students and MEXT Japanese Studies Students

In 2016: 527 International Students,
1 MEXT Japanese Studies Student (Indonesia)

In 2015: 532 International Students,
11 MEXT Japanese Studies Students (Cambodia, Thailand, Laos, Vietnam, Brazil, Spain, France, Turkey, Poland, Indonesia)

In 2014: 470 International Students,
8 MEXT Japanese Studies Students (Indonesia, Singapore, Laos, Brazil, Austria, Poland, Thailand)

④ Kumamoto Overview

Kumamoto has Mt. Aso which was selected as a global geo park in 2014 and there is a beautiful national park of Amakusa Islands.



■ Program Outline

① Training Objective

The following two courses have been prepared in line with the goals of the students. (a) A course focusing on training about Japan and Japanese culture, with supplementary training in improving Japanese language ability. (b) A course focusing on the improvement of Japanese language ability, with supplementary education about Japanese affairs and culture.

② Course Feature

There will be regular coordination between faculty advisors and Japanese instructors to provide careful guidance to select the appropriate course.

(a) Japanese Studies and Japanese Culture Program

Subjects	Number of Credits	Note
Japanese Language	6 or more credits	In total 24 credits or more in a year
Research Subjects	8 or more credits from ① to ④	
① Japanese Language Research		
② Japanese Culture Research		
③ Japanese Literature Research		
④ Japanese Society Research		
Elective Subjects	10 or more credits*	

A course completion report and an oral examination are required.

(b) Japanese Language Intensive Program

Subjects	Number of Credits	Note
Japanese Language	12 or more credits	In total 24 credits or more in a year
Research Subjects	4 or more credits from ① to ④	
① Japanese Language Research		
② Japanese Culture Research		
③ Japanese Literature Research		
④ Japanese Society Research		
Elective Subjects	8 or more credits*	

An essay in Japanese which is approved by a supervisor is required.

* Elective subjects may be chosen from Japanese Language, and Research Subjects.

③ The Number of Students to be Accepted: 12

- By Embassy Recommendation: 8
- By University Recommendation: 4

④ Qualifications and Requirements

- The students must be majoring in Japanese language or Japanese culture and have completed at least two years of Japanese language studies at their home university.
- 450 or more hours of Japanese language study or JLPT N3-N2 or above is preferred.

⑤ Program Goals

- To improve one's proficiency in Japanese language necessary for academic research as well as community life (equivalent to N1 of JLPT).
- To acquire knowledge and methodologies necessary for various fields of Japanese studies.
- To deepen understanding of various aspects of Japanese society and culture through various experiences in Japan.

⑥ Duration of the Program

October 1, 2017 – September 30, 2018
Closing ceremony will be held in September, 2018.



⑦ Program Outline

Each program consists of Japanese Language and Research Subjects (Japanese Language, Japanese Literature, Japanese Culture and Japanese Society).

*Note that the classes are subject to change, and that classes not shown on this course guide may be able to be approved as a program completion requirement.

1) Japanese Language

<Japanese Language>

- Japanese Language Intensive Program:
12 credits, 360 hours or more
- Japanese Studies and Japanese Culture Program :
6 credits, 180 hours or more

The aim of the classes is to improve your Japanese language proficiency. Various types of classes to improve your skills in listening, reading, speaking, and writing are offered. You will choose appropriate classes based on your interests and the result of the initial placement test in each semester.

[Subject example]

Intermediate Conversation

Through role playing, students will learn useful expressions in various situations such as requesting and apologizing.

Upper Intermediate Reading

The class will help students to gain reading strategies so that they can read authentic texts on their own.

Academic Writing

Students will learn how to write an academic paper step by step. They will write their papers and make an oral presentations.



Introduction to Japanese Folklore I offered by Faculty of Letters

2) Research Subjects, and Other subjects

- Japanese Language Intensive Program: 4 credits, 60hours or more
- Japanese Studies and Japanese Culture Program:
8 credits, 120 hours or more

<Japanese Language Research>

Synchronic and diachronic analysis of various characteristics such as phonemes, grammar, meaning and vocabulary of the Japanese language from a linguistic point of view.

[Subject example]

Introduction to the Japanese Language I

Students will learn the fundamentals needed for studying modern Japanese language; discussing it from phonological, grammatical and lexical viewpoints.

Introduction to the Japanese Language II

Students will learn the theory of Japanese grammar.

Other subjects: Composition in Japanese, etc.

<Japanese Literature Research>

Through studies of several topics in Japanese literature, students will acquire points of view and methodologies necessary for literature.

[Subject example]

Introduction to Japanese Literature II

Lectures will be given on the nature of Japanese literature, based on its history. They will help students learn basic knowledge and advanced academic approaches for studying Japanese literature.

Introduction to Japanese Language and Literature

Lectures will focus on the significance and methodology of studying Japanese language and literature. They will deal with standard Japanese and dialects, written and spoken languages, storytelling, literature and 'waka'-poems.

Other subjects: Reading of essays, novels, article ,etc.

Reading of Writings in Japanese

Develop your reading ability by means of Japanese novels, essays, and articles, paying attention to the vocabulary used and the style. Students are expected to present what they learn from their readings.

Other subjects: Introduction to Japanese Literature I

<Japanese Culture Research>

Students will acquire fundamental points of view and methodologies necessary to gain further knowledge about Japanese history and culture.

[Subject example]

Introduction to the History of Japan II

Students will learn the fundamentals of early modern Japan, up to the present day, through exploring the social and political movements of the times.

Introduction to Japanese Folklore I

You will see the change of various customs by way of the formation of modern society. Also you will learn how to interrelate those traditional customs with the modern society.

Introduction to the History of Culture I

Students will learn the history of modern Japanese from the Meiji Restoration to the end of World War II to criticize commonly accepted theory.

Japanese Culture and Society

Students will learn the basics of Japanese society, culture and history. The subjects and materials for discussion will be decided by the students.

Other subjects : Introduction to Japanese History, Sociology, etc.

<Japanese Society Research>

Classes are designed to analyze current social issues of politics and education in Japan.

[Subject example]

Introduction to Regional Sociology I

Lectures will be given on the structure and function of families and regional societies – the basic structural factors of society in Japan, and further on the 'prototype' of regional society.

Introduction to Regional Sociology II

Lectures will be given on the problems in Japanese regional societies after World War II and their solutions. Case studies will be used for discussions.

Other subjects: Introduction to Sociology, Sociology of Education, Introduction to the Civil Law, Introduction to Education, History of Education, etc.

⑧ Annual Events

<Fall Term Oct.– Mar.>

End of Sep.	Opening Ceremony
Oct.	Welcome Party Kumamoto City Cultural Excursion
Dec.	Watch <i>Bunraku</i> in Seiya International Student Party Winter Vacation
Jan.–Feb.	Final Examinations
Feb.	Field Trip
Mar.	Spring Vacation

<Spring Term Apr. – Sep.>

Jul.–Aug.	Final Examinations
Aug.	Submission of an Essay in Japanese/ Submission of a Program Completion Report & Oral Examination Watch <i>Noh</i> in Suizenji
Sep.	Closing Ceremony



<<SOSEKI and Kumamoto >>

*“Going up a mountain track,
I fell to thinking.*

*Approach everything rationally, and you become
harsh. Pole along in the stream of emotions, and
you will be swept away by the current. Give free
rein to your desires, and you become
uncomfortably confined. It is not a very agreeable
place to live, this world of ours.”*

“THE THREE-CORNERED WORLD”

Soseki Natsume, Translated by Alan Turney

“Kusa Makura” (The Three-Cornered World) is a novel written by Natsume Soseki, with Kumamoto set as the stage. There are many locations associated with Soseki in Kumamoto, and you can touch the world of his novel by following in his footsteps.

⑨ Support

Students will be assigned to a faculty (Literature, etc).

A faculty teacher and a Japanese language instructor will co-teach and act as your supervisors.

○Titles of the Supervised Report and their Supervisors in 2015–2016

Supervised Report Title	Name (Field of Study)
Cross-Cultural Adaptation and Identity Transformation in Short Term Exchange Students in Friendship Cultivation	MIZUMOTO, T. (Media Communication, Truism Information and Media Ethics)
Refusing Expressions – Japanese and Turkish	BAUER, T. (Japanese Religion and Philosophy, Comparative History of Ideas) (MEXT student of 1998– 1999)
Comparative Research of Reading Culture – Cambodia and Japan	SUZUKI, H. (Folklore Studies)
Comparative Research of Consciousness for Eldery Care – Thailand and Japan	HIRANO, J. (Rhetoric, Communication Theory, Communication Ethics)
Japan’s Younger Generation’s Image of Kumamoto’s Local Dish, Basashi	SAKAMOTO, M. (Japanese Modern Literature)
Water Supply Situation in Kumamoto and San Paulo	MISAWA, J. (Japanese Modern History, Contemporary History)
Refugee System in Japan Since 1975	MATSUURA, Y. (Sociology)
Comparative Research of <i>LA PESTE</i> (Albert Camus) and <i>SHIKI</i> (ONO, Mayumi)	TAKEUCHI, Y. (Ethics of the Hebrew Bible)
Research on the Popularity of KUMAMON	MOGI, T. Japanese (Linguistics, Modern Japanese Grammar)
Image of <i>ABENO SEIMEI</i> in Japanese Culture	YAMASHITA, Y. (Folklore Studies)
Culture of Drinking Alcohol Among Young People in Japan	KINOSHITA, N. Archaeology

○ Program Committee

Committee members are selected from professors of various faculties. They are in charge of accepting Japanese Studies students, evaluating students’ achievement and certifying their completion.

⑩ Certificate of Program Completion

Students who have earned 24 credits during the academic year, have submitted an essay in Japanese which is approved by a supervisor is required or a program completion report and have passed an oral examination will receive a certificate.

■ Accommodation (International House)

The dormitories for 200 international students are located about 1.5 km east of the main campus.

<Room Type> Single Room

<Facilities and Equipment>

Kitchen, shower and toilet, closet, air conditioner, bed, refrigerator, IH cooking heater, desk, chair etc.

<Rent> ¥17,000/month (excluding utilities)*

*The rent will be subject to change.

Other Expenses: Move-in deposit, room cleaning and key change fee (moving-out), *Futon* Lease (about 10,000yen/year) and internet (optional)



International House

■ Follow-Up (Career Path)

We continue to interact with former students through the internet.

After graduation:

- Going to graduate school in Japan
- Working in Japanese company
- Japanese translators
- University teachers

■ For Further Information

International Student Office, Kumamoto University
2-40-1 Kurokami, Chuo-ku, Kumamoto-city
860-8555 Japan

TEL: +81-96-342-2103/2133; FAX: +81-96-342-2130

E-mail: gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

College of Cross-Cultural and Multidisciplinary Studies URL

<http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/en/>

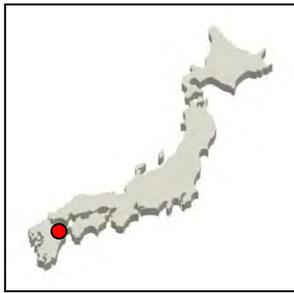
Kumamoto University URL

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

Japanese Studies Program URL

[http://www.kumamoto-](http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program)

[u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program](http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program)



大分大学 (大分県)



歴史豊かな大分の地で、日本語・日本文化の知識を高め、日本研究の進歩に貢献しよう！

■大学紹介

① 大学の特色および概要

大分大学(以下「本学」)は、5学部(教育学部、経済学部、医学部、理工学部、福祉健康科学部)、5大学院(教育学、経済学、医学系、工学、福祉社会科学研究科)からなり、2016年度現在、学部5009人、大学院生684人が学ぶ国立大学法人です。

その緑に囲まれたキャンパスでは、「創造性や人間性に富む人材の育成」、「国際社会の平和と発展への貢献」、「人類の福祉と文化の創造」を理念とした教育が実践されており、少人数制の教育の下、教員やスタッフと親密な関係が築け、日本人学生との交流も活発に行うことができます。

② 国際交流の実績

本学は、現在19の国と地域の67大学と学生交流協定を結んでおり、152人の留学生が学んでいます。

本学の日研究生プログラムは2004年から始まり、毎年日研究生を受け入れてきました。このプログラム以外にも、協定校からの短期留学生を対象とした交換プログラムがあり、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、中国、韓国などから、毎学期約60人の交換留学生が本学で学んでいます

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数152人、日本語・日本文化研修留学生1人(大学推薦1人)

2015年：留学生数144人、日本語・日本文化研修留学生5人(大使館推薦2人、大学推薦3人)

2014年：留学生数152人、日本語・日本文化研修留学生4人(大使館推薦1人、大学推薦3人)

④ 地域の特色

そして、知っていましたか？ 大分県の人口10万人当りに占める留学生の数は2016年度現在、日本で1番目なんです。大分県は留学生にとっても好かれている県であるわけなんです。

大分県は九州東部にあり、県庁所在地は大分市。人口約47万人の地方都市ですが、大都市に比べて物価が安く、人々も親切で、留学生には生活しやすいところです。県内には、別府や湯布院など、全国的にも名高い温泉地があり、近年はアジアからの観光客にも人気を博しています。年間平均気温は約17℃と、温暖で過ごしやすく、四季おりおりの海や山の美しさを堪能することができます。

大分の歴史も魅力的です。かつて大友宗麟が大分地方をおさめていた時、今の大分市は日本を代表する国際都市であったのです。そして、更に大分の歴史は11世紀から12世紀にかけて彫られた臼杵の石仏(国宝)、8世紀に建立された宇佐神社へとさかのぼることができます。

■コースの概要

① コースの特色

日本語・日本文化研修留学生(以下「日研究生」)コースは、

- 1) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うものであり、
- 2) 日本語・日本文化に関する高度な知識の習得を目指し、
- 3) 日本語・日本文化研究の進歩に貢献し、あなたの国と日本との相互理解の促進に貢献する意思のある

外国人留学生のためのコースです。

本学日研究生コースにおける日研究生の最も重要なタスクは、日本語・日本文化に関わるテーマの一つを選び、指導教員の指導の下、調査・研究の仕方、日本語での論文の書き方を学びながら1年かけて論文を書き上げることです。指導教員、チューター、日研究生がチームを組んで論文指導は行われますので、安心して論文を書き上げることができます。

また、この論文作成と並行して、中級(レベル4)から最上級までの日本語科目、ならびに、国際理解教育科目「表現技術」の中から自らのレベル・目的に合った科目を選択し、日本語のさらなる習得も行います。日本語上級の日研究生は、本学日本人

学生が学ぶ教養・専門課程科目の受講も可能です。また、将来日本研の論文を英語で発表してみようと考えている日研究生は、英語で講義が行われるIPOU科目の選択も可能です。最後に、地域の祭りや研修旅行などに参加し見聞を広められることも本学日研究生コースの魅力です。

② 受入定員

5名(大使館推薦2名、大学推薦3名)

③ 受講希望者の資格、条件等

- 1) 外国(日本以外)の大学で、日本語・日本文化に関する分野を主専攻あるいは副専攻としており、来日時点で日本語を300時間程度学習していること。ただし、日本語が母語でないこと。
- 2) 日本語で日常会話ができること。
- 3) 自分の得意な研究分野の日本語論文を辞書を使って読む能力を有していること。
- 4) 400字の長さの日本語エッセイを辞書を使って30分程度で書ける能力を有していること。
- 5) 日本語・日本文化をテーマに調査・研究を自主的に行う意欲があること。

④ 達成目標

- 1) 学術的目標
 - ・論文の書き方を習得し、自ら専門の分野の論文を実際に執筆する。
 - ・学術論文の書き方では、具体的には下記を学ぶ
 - 序論・本論・結論の論理的繋がり理解
 - 理論構築とデータ収集のバランスのととり方
 - 参考文献の提示の仕方
 - テキスト内引用の方法

2) 日本語運用上の目標

- ・対人関係・場に配慮した、大人の日本語が理解でき、話せるようになる。

・大学の教養課程レベルで要求される日本語能力（レポート作成および発表）が身につく。具体的には、授業内容がわかり、レポートが書け、授業での発表ができるようになる。

・地域交流に必要な日本語が理解でき、話せるようになる。

⑤ 研修期間
2017年10月1日 ～ 2018年8月31日
修了式は8月を予定（2016年は8月）

⑥ 研修科目の概要
次に説明する必須・選択科目の中から、1週間に7科目以上受講する必要があります。それぞれの科目は、1週間に1コマ(90分)の開講で、日研生はコース修了時までには**少なくとも315時間の日本語・日本文化の研修**を受けることとなります。

1) 必須科目
・日本研究Ⅰ、Ⅱ
「日本研究Ⅰ」と「日本研究Ⅱ」があります。どちらも必ず取らなければなりません。指導教員の指導の下、日本語・日本文化に関するテーマを一つ選び、調査・研究を行い、その成果を論文として「日本研究Ⅱ」で提出します。

・日本語科目
プレースメントテストで受講するレベルが判定されます。日本語科目にはコンテンツ・ベースの特講（表1参照）と言語ベースの日本語4から日本語6（表2参照）の4レベルがあり、これらの日本語科目から原則として毎学期最低3科目は受講しなければなりません。

2) 見学、地域交流等の参加型科目
「学習ボランティア入門」では大分の地域ボランティア活動に参加できます。「大分の水Ⅰ、Ⅱ」では大野川水系を中心とした大分県内の水辺の環境

・地域づくりの実態を体験学習などを通じて学びます。（これらの科目は「教養科目」です。詳細は次項参照。）

3) その他の講義、選択科目等
・国際理解教育科目「表現技術」など
「表現技術」は、日本人学生も受講する科目で、口頭発表の技術を学びます。（表1参照。）

・教養・専門科目（各学部開設科目）
指導教員の助言のもと、各学部の日本人学生のための教養教育科目や専門科目の中から、受講することができます。

・IPOU科目
英語を通じて日本社会・文化を学ぶコースで、授業はディスカッション中心。受講に当たってはIPOUコーディネーターの承認が必要です。

表1. 特講（最上級日本語）および国際理解教育の科目名

科目名	内容	レベル
日本語特講4	日本のポピュラーカルチャー	上級-上 (OPIレベル)
日本語特講5	レポート作成	上級-上 (OPIレベル)
大分事情	大分県の特徴	上級-上 (OPIレベル)
狂言で大分を学ぶ	伝統芸能を演じることで大分を知る	上級-上 (OPIレベル)
表現技術	コミュニケーション力増強	上級-上 (OPIレベル)
日本語学Ⅰ	日本語学概論	上級-上 (OPIレベル)
日本語文法分析	認知言語学的視点で日本語分析	上級-上 (OPIレベル)
ソーシャルネットワークと大分からの発信ⅠⅡ	大分地域の自然と街並み観察	上級-上 (OPIレベル)

表2. 中級から上級までの日本語科目名

科目名	JLPTレベル
日本語4文法Ⅰ	N2
日本語4文法Ⅱ	N2
日本語4スピーキング	N2
日本語4読解Ⅰ	N2
日本語4読解Ⅱ	N2
日本語4作文Ⅰ	N2
日本語4作文Ⅱ	N2
日本語4応用	N2
日本語5文法Ⅰ	N1
日本語5文法Ⅱ	N1
日本語5スピーキング	N1
日本語5読解・作文Ⅰ	N1
日本語5読解・作文Ⅱ	N1
日本語6読解・作文Ⅱ	N1
日本語6スピーキング	N1

⑦ 年間行事

- 10月 開講式、リエンション、プレシメントテスト
新留學生歓迎会
チューターとの研修旅行
CIERセミナー
- 11月 大学祭・地域開放イベント
日本語レベルコンテスト・留學生フォーラム
- 12月 国際文化祭
ホストファミリーとの交流会
- 1月 ホームステイ
研修旅行（自衛隊訪問）
- 2月～3月 春休み
- 4月 チューターとの研修旅行
健康診断
- 5月 消防訓練
- 7月 大分大学七夕祭
ななせほむら祭り
留學生送別会
- 8月 大分市七夕祭り
修了式

⑧ 指導体制

プログラムの責任教員は、国際教育研究センターの南里敬三、坂井美恵子です。個別研究指導はセンター教員が行いますが、それに並行して、指導教員から指導をうけたチューター（本学正規生）による学習支援も受けることができます。

個別指導の専門分野は、「日本語教育」、「日本語教授法」、「外国語教育論」、「応用言語学（CALL・動機・第2言語習得研究）」、「大分学（歴史・言語）」、「ジェンダー・スタディーズ」、「中間言語語用論」、「社会言語学（発話行為、ポライトネス）」、「日本文学（主に、近代・現代）」、「大衆文化研究」、「比較文化・文学理論研究」、「イデオロギーと談話構造の研究」、「システミック言語学」などです。

⑨ コースの修了要件

履修した科目に合格すると単位が認定されます。また、コースの修了者には、修了証書および成績証明書を発行します。

■ 宿 舎

日本人学生と一緒にの学生寮に入居しますので日本語漬けの生活ができます。詳細は表3をご覧ください。

表3. 学生寮の部屋代・設備など

部屋代 (月額)	27,000円または22,000円 (全室一人部屋)
設備	机、椅子、ベッド(寝具なし)、クローゼット、ユニットバストイレ、ミニキッチン(冷蔵庫、IHクッキングヒーター)、エアコン
部屋代以外の費用	・維持管理一時金 40,000円(入居時) ・光熱水費 約9,000円/月 ・インターネット料 2,000円/月(全員加入)

■ 修了生へのフォローアップ

日研生プログラム修了生は、ブログ、フェイスブック、スカイプ等のソーシャルメディア・プラットフォーム、及び、電子メールなどを通じて、修了後の更なる学術的指導、及び、進路相談が受けられます。また、フェイスブックを通して他の修了生との情報交換も行え、大分大学及び大分地域の最新情報も入手できるようになります。

■ 問い合わせ先

大分大学研究・社会連携部国際交流課
住所：〒870-1192 大分市旦那野原700
TEL : +81-97-554-7444
FAX : +81-97-554-7437
E-mail : ryugaku@oita-u.ac.jp

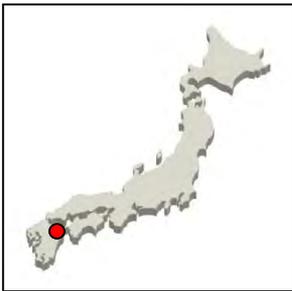
国際教育研究センターホームページ
<http://www.cier.oita-u.ac.jp>

大学ホームページ
<http://www.oita-u.ac.jp>

日研生ホームページ
<http://www.cier.oita-u.ac.jp/j/academic/kokuhi.html>



中学校でのカルタとり



Oita University(Oita)



Attain a High Level of Knowledge about Japanese Language and Culture, and Make a Academic Contribution to the Advancement of Japanese Studies, in the Historic Oita Region!

◇UNIVERSITY OVERVIEW

① About Oita University

Oita University's mission is to 'foster people rich in creativity and humanity, contribute to peace and development in the world, and promote human welfare and creating new culture.'

Oita University (hereafter "the university") has Faculties: Education, Economics, Medicine, Science and Technology, Welfare and Health Science and it also has five graduate schools: Education, Economics, Medicine, Engineering, and Social Service Administration. As of 2016, the University has 5009 undergraduate students, 684 graduate students, and 605 friendly faculty members; classes are conducted with a small number of students, so international students enjoy a close relationship with the faculty and staff and have many opportunities to develop friendships with Japanese students.

② An International Atmosphere at Oita University

The University has concluded 67 agreements for student exchange with universities from 19 countries and regions. At present there are 152 international students studying at the University. The Japanese studies program began in 2004 and has accepted students to the program each year since. The University also has short-term exchange programs for students from our partner universities from such places as the United States, Europe, Australia, China, and Korea. About 60 short-term exchange students participate in this program each semester.

③ Numbers of exchange students and Japanese studies students accepted to the University during the last three years

2016: 129 exchange students, and 1 Japanese Studies Program student (1 by university recommendation)

2015: 144 exchange students, and 5 Japanese Studies Program student (2 by embassy recommendation, 3 by university recommendations)

2014: 152 exchange students, and 4 Japanese Studies Program student (1 by embassy recommendation, 3 by university recommendation)

④ About Oita Prefecture

Did you know that Oita prefecture has the second highest ratio of international students to population in all Japan in 2015? Oita prefecture is quite popular among international students.

Oita prefecture is in eastern Kyushu. The prefectural capital is located in Oita city, whose population is 470,000. With a low cost of living for a city of this size, and with kind people, Oita city provides international students with a high quality of life. The prefecture is nationally famous for its hot springs, found in such places as Beppu and Yufuin. Oita enjoys a moderate climate with an average yearly temperature of 17 degrees Celsius.

Oita's history is also fascinating. The city of Oita was once one of the largest international cities in Japan during the reign of Otomo Sorin. The history can further be traced back through the stone Buddha statues carved in Usuki (a designated National Treasure) carved from 11th to 12th centuries, and to Usa shrine constructed in the eighth century, and beyond.

◇ PROGRAM DETAILS

① The Japanese Studies program, designed for international students, is a course to primarily brush up Japanese language proficiency and supplementarily acquire some knowledge about Japanese culture and society. These students (Japanese research students) should have the following objectives.

1) To attain a high level of knowledge about Japanese language and culture

2) To contribute to the advancement of research into Japanese language and culture

3) The desire to contribute to promoting mutual understanding between Japan and the student's own country

The most important task for Japanese research students is to produce a research paper over the course of a year of study. The student will

select a theme related to Japanese language and/or culture, and will work under the guidance of an advising professor while also learning how to conduct research and investigations. The advising professor, and an individual tutor, will form a team with the student to provide guidance and support throughout the researching and writing process. The student will also learn how to write research papers in Japanese. In addition, while working on their research papers, Students will further advance their knowledge of Japanese by choosing and taking Japanese language courses and Education for International Understanding courses (Techniques of Expression) appropriate to their level and objectives. Students with a high level of Japanese proficiency can take university general education and specialized subject courses with Japanese university students. In addition, students who are considering presenting research papers in English can take IPOU courses that are conducted in English. Finally, the Japanese studies program uniquely offers many opportunities to broaden your horizons by participating in regional festivals and field trips.

② We accept up to 5 students to the Program. (Three students recommended by universities and two students recommended by embassies)

③ Qualifications for Admission

• You must be studying at a university outside of Japan, and be majoring or minoring in fields related to Japanese or Japanese culture.

• You must have completed 300 hours of Japanese study at the time of your arrival in Japan.

• Your native language must be other than Japanese.

• You must be able speak Japanese at a level sufficient for ordinary conversation.

• You must have the ability to read articles in Japanese in your chosen area of research, with the use of a dictionary.

• You must be able to write a short essay in Japanese of about 400 characters in approximately 30 minutes, with the use of a dictionary.

*You must have the motivation to carry out independent research into your chosen research topics concerning Japanese language or culture.

④ Achievement Objectives

1) Scholarly Objectives

- To learn who to write research papers, and to be able to write research papers in ones chosen field of specialization
- To learn the following specific aspects of writing scholarly papers
 - Understanding the logical connections between introduction, body, and conclusion
 - How to balance a logical structure with data collection
 - How to present reference materials
 - The proper way of quoting text

2) Japanese Language Usage Objectives

- To be able to speak and understand standard adult Japanese that is appropriate to the situation and the relationships between people
- To enable you to acquire the Japanese ability required to take university level course work at a Japanese university. This ability would include being able to understand the contents of the course, to write reports, and to give presentations in class.
- To be able to speak and understand the Japanese necessary for interacting with the people of the region

⑤ Period of study

October 1, 2017–August 31, 2018
 The completion ceremony is planned for August. (The 2016 ceremony was held in August.)

⑥ Course Content:

You must take a minimum of seven courses per week, to be selected from among the required and elective courses explained below. (You will thus have **a minimum of 315 face-to-face contact hours to learn Japanese language and culture** over the year.) Please note that the “Japanese studies” course described in category one is a requirement. All of these courses meet once a week for 90 minutes.

1) Required Subjects

Japanese Studies: “Japanese Studies I” (fall semester) and “Japanese Studies II” (spring semester) are both required courses. Under the guidance of a faculty member you will select a theme related to Japanese language or culture, and will carry out investigation and research concerning this chosen topic. You will submit a research paper with the results of your research in “Japanese Studies II” in the spring semester.

Japanese Courses: Your Japanese language ability will be assessed in a placement test. Based on the results of this test, you will be placed in Japanese courses at an appropriate level. There are four levels of Japanese courses, including advanced level special courses. In principle Japanese studies students must take at least three courses Japanese language courses each semester.

2) Courses based on experiential learning and fieldwork in the local area
 Students can participate in volunteer activities in Oita Prefecture through “Introduction to Volunteer Learning”. “The Waters of Oita I, II” gives students the opportunity to learn through experiential learning about the circumstances of the environment surrounding the Oono river basin and the role that the river and the water it provides plays in regional development. (These courses are general education courses. For more details, see the following references.)

List 1. Advanced Level Special Courses and Education for International Understanding Courses

Classes	Content	OPI Level
Special Japanese 4	Contemporary Society and Popular Culture	Advanced
Special Japanese 5	Writing Academic Papers	Advanced
Discover Oita (Oita Jijo)	What Oita Prefecture is like	Advanced
Learning Oita through <i>kyogen</i>	Understand Local Culture in Oita through performing a <i>kyogen</i>	Advanced
Oral Presentation Skills	Effective ways of communication	Advanced
Japanese Linguistics I	An introduction to Japanese linguistics	Advanced
Analysis of Japanese Grammar	Analyzing Japanese language from a point of view of cognitive linguistics	Advanced
Social Networks and Introduction of Oita to the World I, II	Getting to know the nature and streets in Oita Prefecture	Advanced

3) Elective and Other Courses

•**Education for International Understanding “Oral Presentation Skills”:** “Oral presentation skills” is a class where you will learn how to make oral presentations. Regular university students are also able to take this course. (See list 1.)

•**General Education and Specialized Courses offered by Each University Department:** You can take general education and specialized courses throughout the university, in accordance with the advice of your supervisor.

List 2. Japanese Language Courses

Classes	JLPT Level
Japanese 4 Grammar I	N2
Japanese 4 Grammar II	N2
Japanese 4 Speaking	N2
Japanese 4 Reading I	N2
Japanese 4 Reading II	N2
Japanese 4 Writing I	N2
Japanese 4 Writing II	N2
Japanese 4 Contextual	N2
Japanese 5 Grammar I	N1
Japanese 5 Grammar II	N1
Japanese 5 Speaking	N1
Japanese 5 Reading & Writing I	N1
Japanese 5 Reading & Writing II	N1
Japanese 6 Reading & Writing II	N1
Japanese 6 Speaking	N1

•**IPOU Courses** With the approval of the IPOU coordinator, you can take IPOU courses in Japanese society and culture taught in English. These courses are discussion-centered, will improve your discussion skills in English.

⑦ **Yearly Schedule of Events**

October	Opening ceremony, orientation, and placement test Welcome ceremony for new exchange students Field trip with tutors CIER seminar
November	University festival Japanese speech contest Exchange student forum
December	International Culture Festival Meeting and party with host families
January	Homestay Field trip (visit self-defense force)
February-March	Spring break
April	Field trip with tutors Health examination
May	Fire prevention drill
July	Oita University Tanabata festival Nanase homura festival Exchange student farewell party
August	Oita City Tanabata Festival Closing Ceremony

⑧ **Advising System**

Associate Professors Keizo Nanri and Mieko Sakai from the Center for International Education and Research are in charge of the program. Other Center faculty also serve as academic advisors. In addition, Oita University undergraduate students are available to act as individual tutors, under the guidance of the academic advisor, and provide further academic support. The Center is available to advise you in the following specialized areas: Japanese language education theory of foreign language education, applied linguistics, Oita studies (history, language), gender studies, inter-language pragmatics, sociolinguistics (speech acts, politeness), Japanese culture studies (primarily current and modern), popular culture research, comparative culture and literary studies, Internet and discourse construction studies, systemic linguistics and so forth.

⑨ **Recognition of Units**

You will receive a certificate of completion of the program and a certification of grades for the courses that you have taken. You will also receive credit for the courses that you have completed and passed.

◇ **HOUSING**

Students will reside in a dormitory on campus together with Japanese

List 3. Student Dormitory Room and Facilities Charges

Room Charge	27,000 or 22,000 yen /month (All rooms are single rooms.)
Facilities	desk, chair, bed (bedding not provided), closet, unit bath/toilet, mini kitchen (refrigerator, IH burner), heater/air conditioner
Additional Charges	maintenance fee one-time charge of 40,000 yen (due upon moving in); utilities approximately 9,000 yen/month; Internet 2,000 yen/month (required of all residents).

students, so they **will be able to immerse themselves in a Japanese-speaking environment.** See List 3 for details.

◇ **Program Post-Completion Follow Up**

Students who complete the Japan studies program will continue to receive advice about their research and further pursuing their academic careers through email and social media such as blogs, Facebook, and Skype. In addition, students can continue to exchange information with other students who have completed the program through Facebook, and stay up to date about Oita University and the Oita region.

◇ **FOR FURTHER INFORMATION**

International Office, Oita University
700 Danmoharu, Oita-shi, Oita-ken, 870-1192, Japan

TEL : +81-97-554-7444 FAX : +81-97-554-7437
E-mail: ryugaku@oita-u.ac.jp

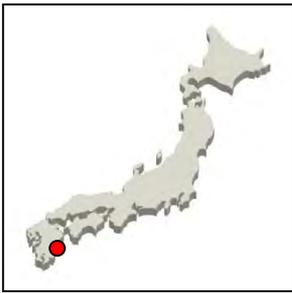
Center for International Education and Research Homepage:
<http://www.cier.oita-u.ac.jp>

Oita University's Homepage:
<http://www.oita-u.ac.jp>

Japanese Studies Students Homepage:
<http://www.cier.oita-u.ac.jp/j/academic/kokuh.html>



Karuta game at Oita junior High School



宮崎大学 (宮崎県)



「日本語」と「日本事情」のクラスを中心に講義を受けるとともに、学生が希望する専門分野の科目も受講し、直に日本人学生のものの考え方等に触れる機会をもつ。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の5つの学部と教育学研究科、看護学研究科、工学研究科、農学研究科、医学獣医学総合研究科、農学工学総合研究科の6つの大学院研究科で構成されている国立大学法人です。本学の概要は次のとおりです。

(1) 課程・学科

◇教育学部: 学校教育課程

◇医学部: 医学科、看護学科

◇工学部: 環境応用化学科、社会環境システム工学科、環境ロボティクス学科、機械設計システム工学科、電子物理工学科、電気システム工学科、情報システム工学科

◇農学部: 植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、

海洋生物環境学科、畜産草地科学科、獣医学科

◇地域資源創成学部:
企業マネジメントコース、地域創造コース、
地域産業創出コース



(2) 学内共同教育研究施設

◇附属図書館

◇国際連携センター

◇語学教育センター

◇産学・地域連携センター

◇教育・学生支援センター

◇フロンティア科学実験総合センター

◇産業動物防疫リサーチセンター

◇IR推進センター

◇安全衛生保健センター

◇障がい学生支援室

◇情報基盤センター

◇イスラーム文化研究交流棟 (Islamic Center)

② 国際交流の実績

27カ国82機関と協定を締結しており、学生交流や研究教育に関する協力や交流を行っています。

海外拠点オフィスとしてマランオフィス (インドネシア)、バンコクオフィス (タイ)、ジョグジャカルタオフィス (インドネシア)、ヤンゴンオフィス (ミャンマー)、ハノイオフィス (ベトナム) を設置しており、本学との学術交流・学生交流を積極的に推進しています。

夏には外国人留学生を対象に3週間のサマープログラムを提供しており、日本語・日本文化・日本語演習・ラボリサーチのクラスを開講しています。2016年度には11カ国から43名の学生を受け入れました。

また、JSTのさくらサイエンスプランでは2016年度に112名の学生・研究者を受け入れてるなど、多くの学生・研究者をとの交流を広げています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年: 留学生数178人、日本語・日本文化研修留学生1人

2015年: 留学生数144人、日本語・日本文化研修留学生3人

2014年: 留学生数141人、日本語・日本文化研修留学生2人

④ 地域の特徴

新鮮な空気、紺碧の海、まぶしい陽光

宮崎県は九州の南部に位置しており、南京 (中国) やサンディエゴ (アメリカ合衆国) と同じ緯度にあります。宮崎市の人口は約40万人です。太平洋の暖流のおかげで、宮崎は日本で最も暖かい場所の一つで平均気温全国三位、快晴日数全国二位です。温暖な気候と、多くのスポーツ施設があるため、毎年1月下旬から2月にかけてプロ野球やJリーグのスポーツキャンプで賑わいます。雄大な自然に囲まれた宮崎は、「古事記」上巻の2/3をしめる日向神話の舞台です。



■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

「プログラムの特徴」

前期（1学期、2学期）、後期（3学期、4学期）に、同じレベルの同じ科目を開講。各科目は学期で内容を変えて、科目名末尾に前期はA、後期はBと付記して区別。これにより前期、後期のいずれの学期に留学しても、希望するレベルから学習を開始できる。また、半期の学習では不十分と感じた場合、同じレベルのクラスを、単位取得対象として再度受講することができる。

「日本語」

入門から超上級まで7段階に細かく分けられた科目構成による、適切なレベルでの学習の提供。特に、高度な論文（読解と執筆）やビジネス日本語の支援の充実。

「日本文化」

特色ある以下の2科目を提供。

- ・日本事情概論 A/B： 全学の教員が様々な分野における今の日本、地域について紹介。
- ・日本語地域インターンシップ A/B： より日本社会を知るために、また将来日本での就業を期待する学生向けに、地域社会に参加できる機会を提供。

③ 受入定員

5名（大使館推薦3名、大学推薦2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語初級修了以上。

⑤ 達成目標

留学前より上のレベルの科目の履修。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ～ 2018年9月30日

修了式は9月を予定（2016年は9月）

⑦ 研修科目の概要

開講科目 のレベル	半期の科目数(平成29年度)		日本語能力 検定レベル
	科目数	時間数	
入門	2科目	45時間	(初心者)
初級	3科目	67.5時間	N5相当
初中級	3科目	67.5時間	N4相当
中級	3科目	67.5時間	N3相当
中上級	3科目	67.5時間	N2相当
上級	3科目	67.5時間	N1相当
超上級	2科目	45時間	N1取得以上
中級以上共通	3科目	67.5時間	N3以上
専門(関心ある分野の一般科目を受講できます)			N2以上

1) 必須科目
指定なし。

2) 見学、地域交流等の参加型科目
・日本語地域インターンシップA/B

3) その他の講義、選択科目等
研修生のニーズに応じて日本語科目等の中から選択。専門科目については指導教員と相談の上、決定。

研修生は、日本語、日本事情の授業を研修生の日本語能力に応じて受講するほか、各自の専門領域に関連する科目を受講できる。その際、指導教員が専門内容についての個別指導を行う。

- ・中級日本語I-III A/B
- ・中上級日本語I-III A/B
- ・上級日本語I-IV A/B
- ・ビジネス日本語 A/B
- ・日本事情概論 A/B

⑧ 年間行事

- 10月 オリエンテーション、
留学生ウェルカムパーティー
- 11月 大学祭、
留学生のためのビジネス講座
- 12月 冬期休暇
- 2月 留学生見学旅行、春期休暇
- 4月 オリエンテーション、
留学生ウェルカムパーティー
- 5月 みやざき国際フェスティバル
- 6月 留学生スポーツ大会
- 7月 えれこっちゃみやざき市民総踊り
- 8月 夏期休暇



⑨ 指導体制

担当教員

アダチ徹子准教授、石川千佳子教授、

上原徳子准教授、篠原久枝准教授、菅裕教授、

塚本泰造教授、寺尾智史准教授、藤井久美子教授、

椋木香子准教授、山田利博教授、山元宣宏准教授、
新名桂子准教授

⑩ コースの修了要件

日本語による留学報告書(1200~1500字程度)を提出し、その内容が基準を満たしていることが必要である。

■ 宿 舎

<学生寮>

男子寮 100室、 女子寮 100室

<国際交流宿舎>

単身室 167室 月額4,700円
夫婦・家族室 8室 月額9,500円/14,200円

<木花ドミトリー>

単身室 31室 月額24,000円(光熱水費・Wifi込)

<清武ドミトリー>

単身室 30室 月額24,000円(光熱水費・Wifi込)

<宿舎設備・備品>

各部屋にベッド、机、椅子、クローゼット付



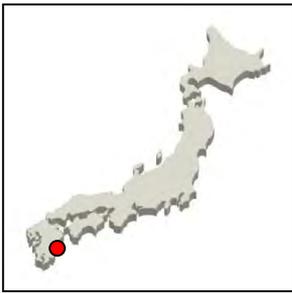
■ 修了生へのフォローアップ

- ・日本語・英語によるFacebookの活用
- ・海外同窓会(インドネシア・台湾・ベトナム)
- ・JETによる再来日
- ・修了、帰国後の地域企業等へのインターンシップによる再来日希望者への支援

■ 問合せ先

(担当部署)
宮崎大学研究国際部国際連携課留学交流係
住所 〒889-2192
宮崎県宮崎市学園木花台西1-1
TEL +81-985-58-7134 (直通)
FAX +81-985-58-7782
E-mail ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp

宮崎大学国際連携センターホームページ
<http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/>
宮崎大学ホームページ
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>



University of Miyazaki

(Miyazaki Prefecture)



The trainees mainly take the classes of 'Japanese language' and 'Japanese Culture.' In addition, they may take some classes of their interest and have a chance to understand the way of thinking of Japanese students by exchanging opinions with them in their classes.

■ Introduction of the University

① University Overview

The University of Miyazaki is a national university consisting of five faculties (Education, Medicine, Engineering, Agriculture and Regional Innovation) and six graduate schools respectively attached to each faculty.

(1) Division, School, Department, & Course

- ◇ Education: Teacher Training Division
- ◇ Medicine (Schools) : Medicine, Nursing
- ◇ Engineering: Departments of
 - Applied Chemistry
 - Civil and Environmental Engineering
 - Environmental Robotics,
 - Mechanical Design Systems Engineering
 - Applied Physics and Electronic Engineering
 - Electrical and Systems Engineering,
 - Computer Science and Systems Engineering
- ◇ Agriculture: Departments of
 - Agricultural and Environmental Sciences
 - Forest and Environmental Sciences
 - Biochemistry and Applied Biosciences,
 - Marine Biological and Environmental Sciences
 - Animal and Grassland Sciences
 - Veterinary Sciences
- ◇ Regional Innovation:
 - Business Management Course
 - Regional Development & Management Course
 - Regional Industry Creation Course

(2) University Facilities

- ◇ University Library
- ◇ Center for International Relations
- ◇ Language Education Center
- ◇ Center for Collaborative research and Community Cooperation
- ◇ Center for Education and Student Support
- ◇ Frontier Science Research Center
- ◇ Center for Animal Disease Control
- ◇ Center for the Promotion of Institutional Research
- ◇ Health Care and Security Center
- ◇ Office of Support for Students with Disabilities
- ◇ Information Technology Center
- ◇ Islamic Center

② International Exchange Activities

We entered exchange agreements with about 82 institutions from 27 countries. In collaboration with partner institutions, University of Miyazaki engages in international research and educational activities.

We have five overseas offices that support academic and student exchanges.
 Malang Office (Indonesia), Bangkok Office (Thailand), Yogyakarta Office (Indonesia), Yangon Office (Myanmar), Hanoi Office (Vietnam)

We run a three-week summer program for international students, consisting of 4 classes: Japanese language, Japanese culture, Japanese language practice, and laboratory research. We accepted 43 students from 11 countries in 2016.

We accepted 112 students and researchers for Sakura Science Program (JST) in 2016.

③ Number of international students in 3 years

2016: 178 International students, 1 Japanese Studies Students

2015: 144 International students, 3 Japanese Studies Students

2014: 141 International students, 2 Japanese Studies Students

④ A Brief Introduction to the Miyazaki Area

Land of Fresh Air, Blue Sea, and Bright Sunshine

Miyazaki Prefecture is located in southeast Kyushu, at about the same latitude as Nanjing (China) and San Diego (USA). Miyazaki City is situated on the coast and has a population of about 400,000. The warm currents of the Pacific Ocean give Miyazaki one of the warmest climates in Japan. Average temperature is the third in Japan and the number of clear days is the second in Japan. With its warm climate and numerous sports facilities, Miyazaki City is crowded with the spring training camps for professional baseball and soccer teams from the end of January through February each year. Miyazaki, surrounded by spectacular nature, is setting of Hyuga myth and "Kojiki", the Japanese oldest historical record.



■ Course Contents

① Purpose of the Studies

A course conducted mainly to improve students' Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture.

② Feature of the Course

<Feature of Program>

All classes open in both 1st semester (1Q & 2Q) and 2nd semester (3Q & 4Q). These class are differentiated by the name, 1st semester is "A" and 2nd semester is "B" at the end of class name. And the contents of class is different between A and B. Herewith, students can learn from the beginning of course, even if they come in any semester. In addition, students can learn again in same level class for complete when they don't achieve the level in previous class.

<Japanese Language>

Curriculum framework is composed of 7 levels from beginner to upper advanced. Students can attend class of adequate level. Especially, high level class of reading comprehension and writing for article, and business Japanese language.

<Japanese Culture>

2 distinctive classes open.

•Introduction to Japanese Culture A/B:

Introduction about current issue related to Japan and region in various field by teachers from all faculties.

•Japanese Local Internship A/B:

Chance to know Japanese society through the experience. The class give a good experience for students who hope to work in Japan in future.

③ Number of Students Accepted

up to 5 students. 3 by Embassy Recommendation, 2 by University Recommendation

④ Qualification

Complete beginning course, at least.

⑤ Goals

Complete the class of upper level than the level before coming.

⑥ Term of the Training

October 1st, 2017 ~ September 30th, 2017.

Completion ceremony is September.

(In 2016, it was September.)

⑦ Classes Contents

Level of class	Class in a half year (2017 FY)		JLPT level
	Class	Time	
Beginner	2	45 hr	-
Elementally	3	67.5 hr	N5
Pre-Intermediate	3	67.5 hr	N4
Intermediate	3	67.5 hr	N3
Upper-Intermediate	3	67.5 hr	N2
Advanced	3	67.5 hr	N1
Upper-Advanced	2	45 hr	Over N1
Common for over intermediate	3	67.5 hr	Over N3
Common class and major subject	can choose under the guidance of the advisors		Over N2

1) Required subjects
none.

2) Participatory classes (including visit and local exchange)

•Japanese Local Internship A/B

3) Others

* Students choose language classes according to their abilities.

* Major subject classes are chosen under the guidance of the advisors.

•Intermediate Japanese I— III A/B

•Upper- Intermediate Japanese I — III A/B

•Advanced Japanese I — IV A/B

•Business Japanese A/B

•Introduction to Japanese Culture A/B

⑧ Events

October: Orientation, Welcome Party

November: School Festival,

Business Manner Course

December: Winter vacation

February: Travel for international students,

Spring vacation

April: Orientation, Welcome Party

May: Miyazaki International Festival

June: Sports Festival for international students

July: Dancing in Erekoccha Festival

August: Summer vacation



⑨ Teachers

ADACHI Tetsuko (Assoc. Prof.)

ISHIKAWA Chikako (Prof.)

UEHARA Noriko (Assoc. Prof.)

SHINOHARA Hisae (Assoc. Prof.)

SUGA Hiroshi (Prof.)

TSUKAMOTO Taizo (Prof.)

TERAO Satoshi (Assoc. Prof.)

FUJII Kumiko (Prof.)

MUKUGI Kyoko (Assoc. Prof.)

YAMADA Toshihiro (Prof.)

YAMAMOTO Nobuhiro (Assoc. Prof.)

SHIMMYO Keiko (Assoc. Prof.)

⑩ Course Requirement

Submission of a report on his/her study and life at UOM in Japanese (1200–1500 letters) is required.

■ Accommodation

<Dormitory>

Men's dorm: 100 rooms, Women's room: 100 rooms

<International House>

Singles: 167 rooms, 4,700JPY per month

Couples & Families 8 rooms, 9,500JPY / 14,200JPY

<Kibana Dormitory>

Singles: 31 rooms, 24,000JPY (including utilities and Wifi)

<Kiyotake Dormitory>

Singles: 30 rooms, 24,000JPY (including utilities and Wifi)

<Equipment>

Each room has a bed, a desk, a chair and a closet.



■ Follow-up for finished trainees

- Follow-up through facebook in Japanese and in English
- Alumni associations abroad (Indonesia, Taiwan, Vietnam)
- Return visit to Japan through JET

■ Contact Information

Global Support Office, University of Miyazaki

1-1 Gakuen Kibana-dai Nishi, Miyazaki,

889-2192 JAPAN

TEL: 81-985-58-7134(from outside Japan)

FAX: 81-985-58-7782(from outside Japan)

Center for International Relations

<http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/english/index.html>

University of Miyazaki

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>



鹿児島大学 (鹿児島県)



九州の南端で<日本>を学ぶ・<日本>を研究する基礎作りをしませんか！

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

鹿児島大学は、九州最南端に位置する9学部、10研究科およびグローバルセンターや国際島嶼教育研究センターなどの教育・研究施設を有する国立の総合大学です。鹿児島大学が新制国立大学として発足したのは昭和24年です。はじめは文理、教育、農、水産の4学部からスタートしましたが、その後、医学部、工学部、歯学部、共同獣医学部、各種大学院等を整備して今日に至っています。

文系学部は法文学部と教育学部があり、さまざまな分野の教員が在籍しています。教員の専門分野については、本学のURLを参考にして下さい。

Welcome to Kagoshima!!



2) 教員・学生数等

学部生（留学生）	9,025名	(119名)
大学院生（留学生）	1,516名	(175名)
教員	1,055名	
職員	1,487名	

② 国際交流の実績

現在、学部学生9,025名のうち留学生119名、大学院生1,516名のうち留学生175名が在籍しています。

過去10年間の日本語・日本文化研修留学生の出身と専攻分野は以下の通りです。この中の何名かは研究生・大学院生などとして再来日し、学位を取得しています。

出身…アメリカ合衆国、インドネシア、オーストラリア、シンガポール、韓国、中国、ドイツ、ベトナム、ポーランド、モンゴル、ロシア、ウクライナ、ラトビア、スペイン、キルギス、コスタリカ、トルコなど。

専攻分野…日本語学、日本史、日本文学、政治学、経済学、社会言語学、日本文化論など。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数 294人、日本語・日本文化研修留学生 2人
2015年：留学生数 282人、日本語・日本文化研修留学生 4人
2014年：留学生数 277人、日本語・日本文化研修留学生 4人

④ 地域の特徴

鹿児島市は人口約60万人を有し、地域の特性を生かして古くから海外との交流により発展してきた都市です。古くはフランシスコ・ザビエルの来航、また藩政時代から海外貿易に力を注ぎ、幕末には国禁を犯して英国に留学生を送るなど海外交流の歴史は古くから続いています。

桜島を目の前に眺望できる鹿児島市は、東洋のナポリとうたわれイタリアのナポリ市を始め、オーストラリアのパス市、アメリカのマイアミ市と姉妹都市盟約を、中国の長沙市とは友好都市盟約を結んでいます。

気候も温暖で、年間を通して過ごしやすく、生活環境、勉学環境も整い、快適な留学生活を送ることができます。

■コースの概要

① 研修目的

(b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行う。

② コースの特色

1) 次のような研修留学生を募集します。

- 日本語能力（聞く・話す・読む・書く）をさらに伸ばしたい人。
- 日本文化や日本文学、日本社会、異文化コミュニケーションを中心に総合的に学びたい人。
- 鹿児島地域の文化、歴史に興味を持ち、研究テーマとして発展させたいと考えている人。

2) 本学のコースは、このような研修留学生を対象に、その留学生の日本語能力に応じたきめ細かい指導を行っています。また鹿児島地域の歴史・地理・文化を学んだあと、実地研修や地域の人との交流活動を行い、より深く日本・鹿児島を理解できるプログラムを目指しています。

③ 受入定員

6名（大使館推薦3名、大学推薦3名）

④ 受講希望者の資格、条件等

次の(a)及び(b)の条件を満たしている者が、このコースを受講できます。

- 外国の大学に1年以上在籍し、日本語または日本の文化、文学、社会等に関する分野を主として学習している者。
- 日本語能力試験のN3以上に合格または同等の能力を有する者。

⑤ 達成目標

日本語能力試験で、来日時より1つ上のレベルの合格を目標とします。また、日本語によるポスター発表、最終レポートの作成を達成目標としています。

⑥ 研修期間

2017年10月1日 ~ 2018年8月31日
・修了式は8月を予定

⑦ 研修科目の概要

授業は原則として、I期・II期各15週間開講されます。留学生の日本語力、留学目的に合わせて「**日本能力向上コース**」と「**日本語・日本文化研究コース**」のどちらかを受講します。コースの選択については、プレースメントテストの結果をもとに、グローバルセンターの教員と相談して決めます。

〈日本語能力向上コース〉

日本語力に応じてグローバルセンターの日本語科目や文化の科目を中心に受講します。

科目群	科目数	単位・時間数
日本語科目	6科目	10単位 300時間
文化学修科目	2科目	4単位 60時間
修了レポート ポスター発表	2科目	4単位 120時間
自由選択科目	2科目以上	2単位以上 60時間以上
参加型科目	1科目	単位なし 60時間
コース修了に 必要な単位と時間	13科目以上	20単位以上 600時間以上

〈日本語・日本文化研究コース〉

グローバルセンターの日本語科目の他に、学部の専門科目、共通教育の文化学修科目を受講します。

科目群	科目数	単位数	時間数
日本語科目	2科目	2単位	60時間
文化学修科目	3科目	6単位	90時間
修了レポート ポスター発表	2科目	4単位	120時間
自由選択科目 専門科目	6科目以上	12単位以上	180時間以上
参加型科目	1科目	単位なし	60時間
コース修了に 必要な単位と時間	14科目	24単位以上	510時間以上

1) 必須科目

日本語科目、文化学修科目には次のような科目があります。プレースメントテストの結果に基づいて指定されたレベルの科目を受講してください。授業は全て日本語で行われます。

グローバルセンター開講科目

日本語学修科目

- [会話] 場面や相手に応じた会話のスタイルを学ぶ。
- [読解] 語彙・文法だけでなく読解に必要な技術を学ぶ。
- [作文] レポート、論文作成の基礎を学ぶ。また先生や目上の人に送るような、やや改まったメールの書き方を学ぶ。

文化学修科目

日本文化入門 異文化理解

共通教育科目 (学部学生が学ぶクラス)

- 日本語科目：日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
大学生活に必要なアカデミックジャパニーズを学ぶ。
- 文化学修科目：日本事情A、B
文化の定義、慣習とマナー、鹿児島の歴史、時代と文学、異文化サバイバル、留学論、地理、教育、政治、伝統、宗教、昔話、現代文学、人間関係論などを扱う。

専門科目

自分の専門分野に関する学習・研究のために、共通教育や所属する学部及び他の学部で開講されている授業科目について指導教員と相談の上、受講する科目を決めます。

2) 見学、地域交流等の参加型科目
地域交流等の参加型科目

国際理解教育調査研究Ⅱ 2単位 (I期30時間)
「日本人学生と学ぶ鹿児島」というテーマのもと日本人学生と留学生の合同グループで鹿児島について見学調査しその結果を発表します。
週1回の授業で事前準備を行い、見学には1日を使います。

地域行事への参加 (単位なし)

地域の国際交流行事に参加し、参加レポートを作成します。



屋久島異文化交流セミナー (単位なし)

世界自然文化遺産に登録されている屋久島の自然と地域について学んだ後、2泊3日で屋久島を訪問します。また、屋久島の住民や中学生と交流します。

※この他にも学部で開講されている専門科目を受講することができます

⑧ 年間行事

- 10月： 秋期オリエンテーション
- 11月： 大学祭 屋久島異文化交流セミナー
インターナショナル・ナイト
- 2月： 2泊研修旅行 (京都・奈良)
- 4月： 春期オリエンテーション
- 8月： ポスターセッション

⑨ 指導体制

1) プログラム実施委員

氏名(職名)	所属	専攻
和田 礼子 (教授)	グローバル センター	日本語教育 日本語文法
中島 祥子 (准教授)	教育学部	日本語教育 異文化理解教育
梅崎 光 (准教授)	教育学部	国語学 日本語の歴史
市島佑起子 (講師)	グローバル センター	日本語教育 社会言語学

2) 指導体制

研修留学生の専門分野に応じて、教育学部・法文学部の教員の中から指導教員を1名定め、学習・研究上のアドバイスを行っています。生活面の指導については、グローバルセンターと連携しながら行います。

⑩ コースの修了要件

規定の単位を取得し、日本語ポスター発表及び小レポートを提出することが条件です。コース修了時には修了証を発行するとともに、受講した科目については成績証明書を発行します。



■ 宿 舎

- ・ 鹿児島大学内の留学生用の宿舎
国際交流会館 (郡元キャンパスから徒歩20分)
 単身室 122室 4,700~25,000/月
 夫婦室 7室 9,500~11,900/月
 家族室 4室 14,200/月
 ※光熱水費が別に必要です。
 ※部屋の割り当てについては希望に添えない場合があります。
- ・ 過去3年間の日研生の宿舎入居状況 (各年度10月現在)

年度	人数	宿舎入居状況
2016年度	2名	国際交流会館へ入居
2015年度	4名	国際交流会館へ入居
2014年度	4名	国際交流会館へ入居



■ 修了生へのフォローアップ

日研生が帰国した後も、プログラム実施委員が必要に応じてメール送受信を行っています。また、鹿児島大学 Newsletter を送付します。

[修了生の進路(例)]

- ・ 日本や母国の大学院へ進学
- ・ 日本に再来日して就職
- ・ 母国で日本関連企業に就職

■ 問合せ先

(担当部署)

鹿児島大学研究国際部国際事業課
 住所：〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-30
 TEL: +81-99-285-3015 (直通)
 FAX: +81-99-285-7328
 E-mail: ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学グローバルセンターホームページ
 URL: <http://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/>

鹿児島大学ホームページ
 URL: <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>





Kagoshima University (Kagoshima)



At the southern tip of Kyushu island, join our fundamental program for future Japanese Studies.

■ University Overview

① Characteristics and outline of the University

1) Characteristics and history

Kagoshima University is a national university, consisting of nine faculties, ten graduate schools and Education & Research Institutions such as Global Initiative Center and Research Center for the Pacific Islands.

Established in 1949 with four faculties of Liberal Arts, Education, Agriculture and Fisheries, it developed to with the foundation of faculties of Medicine, Engineering, Dentistry, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Graduate schools, etc. Literary studies are conducted in the Faculty of Law, Economics, and Humanities and the Faculty of Education in which there are professors of many different research fields. Please refer to the URL page of each faculty for details.

Welcome to Kagoshima!!



2) Number of Students and Staffs

Undergraduate Students (International Students)	9,025 (119)
Graduate Students (International Students)	1,516 (175)
Teaching Staff	1,055
Administration Staff	1,487

② International Exchange

Among 9,025 undergraduate students, 119 students are international students, and 175 students out of 1,516 graduate students. Among these students, some returned to the university as a research student or a graduate student and received Master's degree.

Past Nationality: U.S.A, Indonesia, Australia, Singapore, Korea, China, Germany, Vietnam, Poland, Mongol, Russia, Ukraine, Latvia, Spain, Kirghiz, Costa Rica and Turkey etc.

Field of Studies: Japanese Linguistics, Japanese History, Japanese Literature, Politics, Sociolinguistics, Japanese Culture, etc.

③ The number of trainee students in the past three years

	International students	Trainee students
2016 FY	294	2
2015FY	282	4
2014 FY	277	4

④ Kagoshima City

Kagoshima City has a population of about 600,000 and has a long history of international exchange and trade, such as Francis Xavier's arrival in 1549. Students were sent to Britain in 1865 to learn, even though the government had banned foreign travel in that period.

Kagoshima City with a view of Mt. Sakurajima has sister city relationships with Naples, Perth, Changsha, Miami.

The climate of Kagoshima is mild and comfortable throughout the year, guaranteeing a pleasant environment for student life.



■ Outline of Program

① Purpose of the Program

The main purpose is to improve Japanese language ability. The secondary goal is acquiring general knowledge about Japan and its culture.

② Characteristics of the Program

- This program is intended for the students
 - who want to improve their Japanese language abilities (listening, speaking, reading and writing).
 - who want to conduct comprehensive studies covering Japanese culture, literature, society and intercultural communication.
 - who plan to develop their interest in regional culture and history of Kagoshima as a research theme.
 - who want to be guided for data collecting and thesis writing based on a specific theme for their graduation paper.

2) This program provides assistance to the students according to their language ability.

Furthermore, after learning about the history, geography and culture of the Kagoshima region, students have the opportunity to visit various places and carry out cultural exchange with local people, thus acquiring a deeper understanding of Japan and Kagoshima.

③ Number of Trainee Students to be accepted:
up to 6 (Embassy Recommendation 3,
University Recommendation 3)

④ Qualification

(a) Candidates should be a senior or higher grade student of overseas universities majoring in Japanese culture, literature or society.

(b) Candidates should have N 3 or higher level in Japanese language proficiency test.

⑤ Goals and Objectives

The main objective is passing a JLPT level at least a grade higher than the one possessed at the time of arrival in Japan. Participating in the poster session (held in Japanese) as well as writing a final report are also among the goals of this program.

⑥ Length of the Program

October 1, 2017 to August 31, 2018
Graduation Ceremony will be held in August .

⑦ Outline of the Subjects
(Semester, Content, Credit, Hours.)

In principle, the lectures are provided for 15 weeks in each semester.

Students will either enter **Japanese Training Course** or **The Japanese Language & Culture Research Course**. The choice of which course to enter will be made after taking a placement test as well as consultations with the Global Initiative Center’s teachers.

Japanese Training Course

Study of Japanese language and culture within the Global Initiative Center

Subjects	Classes	Credits	Time
Japanese Lang.	6	10 CP	300hrs
Cultural Studies	2	4 CP	60hrs
Final Report Poster Session	2	4 CP	120hrs
Electives	2 +	2 CP +	60hrs +
Activities	1	N/A	60hrs
Requirements for Completion	13 +	20 CP +	600hrs +

Japanese Language & Culture Research Course

Global Initiative Center Japanese language classes, specialized subjects within other departments and culture classes within the General Education Department.

Subjects	Classes	Credits	Time
Japanese Lang.	2	2 CP	60hrs
Cultural Studies	3	6 CP	90hrs
Final Report Poster Session	2	4 CP	120hrs
Electives Specialized Subjects	6 +	12 +	180hrs +
Activities	1	N/A	60hrs
Requirements for Completion	14	24 +	510hrs +

1) Required Subjects

The following outlines the subjects in the Japanese language and cultural studies courses. Students must first sit a placement, all classes are conducted in Japanese.

Global Initiative Center

Speaking: Conversation and partner activities

Reading: Grammar, vocabulary and reading skills

Writing: Foundation skills and report writing.

Plus emails and writing letters using polite speech.

Cultural Studies

Introduction to Japanese culture. Cultural understanding

General Education

Japanese Language: Levels 1 – 4

(Academic Japanese necessary for University life)

Cultural Studies: Current Japan A, B

Definition of culture, manners and customs, Kagoshima history, periods in time, cross-cultural survival, study abroad, geography, education, politics, traditions and folk tales, contemporary literature, religion and human relations.

Specialized Subjects

Students can take subjects relating to their own major or field of study/research in the relevant department. Subjects will be chosen after consultation with their academic advisor.

2) Outside Activities and Local Exchange Events.

Practical Course in Intercultural Studies (2CP 30hrs)
‘Learn About Kagoshima with Japanese Students’ is the theme of this course, as both foreign and Japanese students form study groups to research and present about Kagoshima. (a weekly class with one field trip)

Local Activities (no CP)

Students participate in local international exchange events and produce a report on their experiences.



Yakushima cross-cultural seminar (no CP)

After learning about the nature and region of the World Natural Heritage island of Yakushima, a 3-day visit is organized. It is also an opportunity to interact with Yakushima residents and junior high school students.

- Students can also take electives in other departments relating to their major.

⑧ Yearly Activities

- Oct.: Autumn Orientation
- Nov.: School Festival, International Night
Cross Cultural Seminar in Yakushima.
- Feb.: 2 night trip to Kyoto
- Apr.: Spring Orientation
- Aug.: Poster Session,

⑨ Supervision

1) Professors responsible for the program

Name (Title)	Faculty	Major field
Prof Reiko Wada	Global Initiative Center	Japanese Language
AP Hikaru Umezaki	Faculty of Education	Japanese Linguistics Historical Studies of Japanese
AP Sachiko Nakajima	Faculty of Education	Japanese Language, Intercultural Communication
INST Yukiko Ichishima	Global Initiative Center	Japanese Language

2) Supervisor

A supervisor from the Faculty of Education and the Faculty of Law, Economics and Humanities will be selected in accordance with each student's research field, and will give regular study guidance

⑩ Completion requirements and the issue of certificate

Final report and poster presentation. We will issue a certificate of completion and grade report if requested. Credits will be acknowledged based on the results of grading. The transfer of credits to be decided by the home university.



■ Accommodation

- International Residence Hall (of Kagoshima University)
It takes 20 minutes to the main campus on foot.
- 122 Single rooms 122 (Monthly rent: 4,700 ~ 25,000yen)
- 7 Couple rooms 7 (Monthly rent: 9,500 ~ 11,900yen)
- 4 Family rooms (Monthly rent: 14,200yen)
- * Energy and utility bills will be charged separately.
- * Request on room assignment may not be accommodated.

• Accommodation for Japanese Studies Students

Year	Number of Students	Accommodation
2016	2	International Residence Hall
2015	4	International Residence Hall
2014	4	International Residence Hall



■ Follow-up for graduates

- Even after the students have returned to their home countries, the Program committee will remain in touch and maintain communication when necessary. The Kagoshima University Newsletter will be sent as well.
- A Graduate's Career Choice (examples)
 - Enrolment in a graduate school in Japan or their home country
 - Return to Japan for employment
 - Employment in Japan-related businesses in their home country

■ Reference to

International Cooperation Division
Kagoshima University
1-21-30, Korimoto, Kagoshima,
890-0065, Japan
Tel: 099-285-3015
Fax: 099-285-7328
E-mail: ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

Website Address

Kagoshima University :
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/en/>
Global Initiative Center :
<http://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/>





琉球大学 (沖縄県)



青い空・青い海, 色彩豊かな自然に囲まれた学習環境

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

琉球大学は沖縄が米軍統治下にあった1950年に創設、1972年の日本への施政権返還に伴って国立大学となりました。日本唯一の亜熱帯島嶼地域という特性を活かし、熱帯地域の海洋、島の自然と文化、言語等の研究・調査が盛んな大学です。総合大学で、以下の7学部、8研究科があります。

学部	大学院
法学学部	人文社会科学研究科
観光産業科学部	観光科学研究科
教育学部	教育学研究科
理学部	理工学研究科
工学部	
農学部	農学研究科
医学部	医学研究科
	保健学研究科
	法務研究科

広大なキャンパス内には池や農学部付属の農場などもあり自然が身近に感じられます。

2) 教員・学生数 (2016年5月現在)

教育研究職員数：855名
学部学生数：7,281名
大学院生数：903名



② 国際交流の実績 (2016年3月31日現在)

国際交流協定締結大学・機関数：79大学・機関(32ヶ国・地域)

③ 過去3年間の受入れ留学生数 (2016年5月現在) 及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数286人(44ヶ国・地域)
日本語・日本文化研修留学生3人(3ヶ国)
2015年：留学生数279人(43ヶ国・地域)
日本語・日本文化研修留学生8人(7ヶ国)
2014年：留学生数268人(42ヶ国・地域)
日本語・日本文化研修留学生7人(7ヶ国)

④ 地域の特徴

日本の最も南に位置する沖縄は、1429年から1879年までの約450年の間、琉球王国という一つの国でした。また、第二次世界大戦後は1972年まではアメリカ軍の施政権下に置かれました。このように、日本本土と異なる歴史的背景を持つ沖縄は、歌や踊りなどの芸能、言語、食文化をはじめさまざまな文化が息づいている地域です。また、温暖な気候と美しい自然に恵まれ、国内有数

のリゾート地となっています。空手の発祥地としても有名です。そんな沖縄で学べば、「日本」全体を一つの文化圏ととらえる型にはまった視点からではなく、多角的に日本をとらえることができるようになるでしょう。

ぜひ沖縄の文化に触れてみてください。



■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行う。

② コースの特色

- 1) 社会や文化の「比較」に重点を置いた研修を行う中で、日本の社会や文化全般と沖縄独特の地域の社会や文化について理解を深めることができます。
- 2) 研究に必要な日本語の高度な運用力、正確な読解力と文章構成力の養成を行い、日本語学や日本の社会、文化の研究手法や知識を身につけることができます。
- 3) 専門の教員に指導を受けつつ、興味のある分野について知識を深めることができます。同時に、様々な関連科目も学べます。
- 4) 地域の教育機関や文化施設への見学、文化行事への参加など、様々なアプローチで日本および沖縄を学ぶことが可能です。
- 5) 日本人学生と積極的な交流も図り、授業だけでなく大学生活の中で日本を学ぶことができます。



③ 受入定員
14名（大使館推薦6名, 大学推薦8名）

④ 受講希望者の資格, 条件等
日本国以外の大学の学部在籍（主に3年次以上）している者。また日本語・日本文化に関する分野を主専攻にしている者。日本語力は日本語能力試験N2以上の能力があることが望ましい。

⑤ 達成目標
1) 日本語母語話者の大学生並みの文章が書け, 口頭発表ができるようになること。
2) 日本語を用いて日本語や日本文化に関する研究ができる能力を身につける。

⑥ 研修期間
2017年10月1日～
2018年8月31日
修了式は8月を予定
(2016年は9月2日)



⑦ 研修科目の概要
授業は原則として, 前期・後期各16週開講する予定。1学期につき, 235.5時間(157コマ)以上履修しなければならない。

1) 必須科目

授業科目名	内 容
基礎演習Ⅰ・Ⅱ	図書館の利用法, 資料の検索方法を学び, 研究レポートを作成する。また研究発表のプレゼンテーション技能の養成を行う。
日本文化Ⅰ・Ⅱ	教員が一方向的に講義するのではなく, 受講生が自発的に日本文化について調べたりして学ぶことを目標とする。

授業科目名	内 容
日本語文章表現 (1学期のみ)	文章構成, パラグラフ分析, 要約文, レポートの書き方など高度な作文力の養成をし, さらに資料を提示しながら行う発表の仕方を学ぶ。

※選択必修科目（各学期2科目履修しなければなりません）

授業科目名	内 容
日本語演習Ⅰ・Ⅱ	実際の日本語の現象を注意深く観察し, 日本語学の基礎知識の習得を目指す。
琉球文化特別研究Ⅰ・Ⅱ	琉球舞踊や琉球方言など, 代表的な沖縄文化の講義と体験を通して沖縄とは, 沖縄人とは, 沖縄文化とは何かを考える。
国際事情Ⅰ・Ⅱ	主に20世紀後半の世界の出来事を振り返り, これらが現在の状況とどう結びついているのか, 学び・考える。
ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ	ビジネス場面において必要な日本語を学び, ビジネスマナーについて知る。

2) 見学, 地域交流等の参加型科目

授業科目名	内 容
沖縄事情Ⅰ・Ⅱ	沖縄の社会と文化
日本事情Ⅰ・Ⅱ	日本の社会と文化



【見学】

本プログラムの学生には, 近畿又は金沢方面への研修旅行や沖縄県内の社会見学の機会を年間4～5回提供しています。さらに, 伝統文化理解の一助として, 組踊の鑑賞会, 和室での茶道体験もしています。地域の日本人との交流の一環として週末ホームステイ, ホームビジットの機会も設けています。

日本人との交流の機会も数多くあります。

主な見学先：首里城, 平和祈念公園・資料館, 新聞社, 沖縄県議会議会棟, 牧志公設市場, 酒工場, テレビ局, 埋蔵文化財センター, 県立博物館

【インターンシップ】

希望すれば, 担当アドバイザーと調整のうえ, 長期休暇期間中に県内の企業でインターンシップをすることができます。

【地域交流】

学内でのスピーチ大会, 沖縄県主催の外国人による日本語弁論大会, 全国の弁論大会などに積極的に参加すること, 留学生まつり, 高校訪問などの機会を通して国際交流をはかっています。

3) その他の講義, 選択科目等

本学では, 以下のような科目も開講されており, 日研生も受講可能です。

【日本語教育プログラム】

授業科目名	内 容
日本語ⅢA・ⅣA	聴解・語彙
日本語ⅢB・ⅣB	読解・文法
日本語ⅢC・ⅣC	作文・発表



【琉大特色科目】

※相談のうえ、以下の日本人向け提供科目も受講可能。

授業科目名	内 容
三線入門	三線に関する基礎知識を学ぶ。
うちなーぐちあしび	うちなーぐち(沖縄語)に関する基礎知識を学び、文型練習を通して話したりしながら、沖縄語に親しむ。
琉球の自然と人	奄美・沖縄の「亜熱帯」「サンゴ礁」「島」に焦点を当てて、自然と人のローカルな関わりについて考える。

(他多数)

⑧ 年間行事

- 10月 オリエンテーション
首里城・玉陵等見学
- 11月 沖縄地域留学生交流会 (パーティー)
組踊鑑賞会
- 12月 書道体験、新聞社見学
- 1月 泡盛工場見学、
学内日本語弁論大会
- 2月 沖縄県日本語弁論大会
- 3月 茶道体験
- 4月 研究レポート中間発表
- 5月 放送局見学
- 6月 平和学習、
戦跡および平和祈念
公園見学
- 7月 留学生祭り
- 8月 レポートの完成、
研究発表、修了式



⑨ 指導体制

研修生は法文学部に所属し、下記の指導教員がつき、学業、生活両面にわたって必要に応じて個別に指導にあたります。下記の教員以外にも留学生センターと法文学部の適切な専門分野の教員にも研究指導に関して協力をお願いしています。また、日本人学生がチューターとして、一人ずつ付き、学習や生活のサポートをします。

【プログラム実施委員】

- 金城尚美 国際教育センター 教授(日本語教育・教育工学)
knao @ ll.u-ryukyu.ac.jp
- 金城克哉 法文学部 教授(言語学・日本語教育)
kinkats @ ll.u-ryukyu.ac.jp
- 渡真利聖子 国際教育センター 講師(日本語学・日本語教育)
seikot @ lab.u-ryukyu.ac.jp
- 新城直樹 国際教育センター 講師(日本語学・日本語教育)
arashiro @ lab.u-ryukyu.ac.jp

⑩ コースの修了要件

所定の課程(年間471時間以上)の研修を終え、研究レポートもしくはレポートを提出し、指導教員がその成果を認めた者。

【単位認定・単位互換等】

受講した科目については単位を出します。研修期間内に履修した科目については、成績証明書と履修内容等を記した文書・シラバスを出します。



■ 宿 舎

- 【室内設備】 ベッド、机、椅子、ロッカー
- 【共同設備】 Wi-Fiアクセスポイント、
シャワー室、洗濯室、
ラウンジ、売店、自動販売機



- キャンパス内の学生寮(日本人学生と共用)に入寮します。
- 沖縄は、物価が安く生活しやすいです。



【留学生宿舎、民間アパートの費用(月額)】

		寄宿料	維持費	光熱費
学生寮	一般寮	¥4,300	¥4,400	使用実績額
	混住棟	¥4,700	¥8,400	
	新混住棟	¥15,000	¥4,000	
民間アパート		¥35,000程度		



■ 修了生へのフォローアップ

- ①日本語・日本文化研修留学修了生の主な進路
 - 1) 就職: 日系企業(日本国内または母国)、
母国での通訳やガイド、翻訳者、JETプログラムの
国際交流員・外国語教師、大学の教員・研究員、
日本でのタレント活動
 - 2) 進学: 琉球大学または日本国内の他大学の
大学院(研究留学生(国費)として)
- ②フォローアップの実績
 - 1) Facebook等で連絡を取りあっています。
 - 2) ホームページで留学生の活動が見られます。

■ 問合せ先

琉球大学学生部国際教育支援室
住所: 〒903-0213沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL: +81-98-895-8103(直通)
FAX: +81-98-895-8102
E-mail: koshogak@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

- 琉球大学公式HP: <http://www.u-ryukyu.ac.jp/>
- 琉球大学国際教育センターHP: <http://isu.u-ryukyu.ac.jp/>
- 日研生HP: <http://isu.u-ryukyu.ac.jp/future-students/nikkensei/>



University of the Ryukyus (Okinawa)



If you would like to have distinctive experiences, this is the right place for you !

Studying in Okinawa surely gives you unique perspectives on Japan and Japanese culture.

■ Introduction

1. University of the Ryukyus

The University of the Ryukyus was founded in 1950 under the U.S. Administration. The university acquired a status as a national institution upon the reversion of Okinawa to Japan in 1972. The university is comprised of the Faculties of Law and Letters, Tourism Sciences and Industrial Management, Education, Science, Medicine, Engineering and Agriculture. In addition to the undergraduate programs, all the faculties have postgraduate programs. Locating in the subtropical region enables the various and fruitful studies on the surrounding ocean, nature, culture, and languages. In the vast campus, there are a pond and farm field and students can enjoy natural atmosphere around the year.

Faculty members: 855
Undergraduate students: 7,281
Graduate students: 903



2. International Exchange (as of March., 2016)

Number of inter-university agreement: 79
(32 countries and one area)

3. Number of international students (as of May., 2016) and students of Japanese Studies Program

2016: International Student 286 (44countries and area)
Students of JSS 3 (3 countries)

2015: International Student 279 (43countries and area)
Students of JSS 8 (7 countries)

2014: International Student 268 (42countries and area)
Students of JSS 7 (7 countries)



4. Characteristics of Okinawa

Okinawa Prefecture is located in east of Asia, at the southwest terminus of the great arc of the Japanese archipelago. Japan's only island Prefecture, Okinawa used to be the Ryukyu Kingdom, which cultivated relations and interactions with other countries. Geographically destined to be a corner-stone of international exchange, Okinawa has been and will continue to be a Prefecture open to the world.

■ Course description

1. Purpose of the course

Improve Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture



2. Characteristics of the course

This program is offered to achieve the following three goals: a) to train students to have a higher-level command of Japanese, which enables them to study Japan, b) to educate them to acquire techniques and knowledge of Japan study, and c) to help them to gain a deep insight into Japanese culture in general and Okinawan local culture.

We offer students to study with other international students with various background, which leads the students of this program to discover similarities and differences of Japan and other cultures. Besides, those courses such as Linguistics, Teaching Japanese as a second language, Japanese linguistics, Dialectology (Okinawan dialects), Japanese literature, Okinawan literature, History (Japanese and Okinawan), Cultural Anthropology, Folklore are offered. Students can take these courses with a permission from their supervisors.

Students are required to study their own field(s) of interest in Japan (or Okinawa); the results are presented orally and in written form. In the presentation session, students of this program are to discuss their own topics with Japanese students. Their studies presented in written form are compiled in a book, named "Study Reports", and the copies are published and distributed to other universities.

3. Number of students accepted

Total: 14
(Embassy Recommendation : 6,
University Recommendation : 8)



4. Qualifications and conditions of applicants

Those wishing to enrol in this course must be 3rd year undergraduate students or above enrolled in a university outside of Japan and must meet the following criteria.

- (a) It is preferred that the applicant should have passed the Japanese Proficiency Test Level 2 or have equivalent ability.
- (b) The applicant should be majoring in Japanese Studies with a good academic standing.

5. Course outline

There are compulsory courses and elective courses. These courses, Japanese language program of General Education and courses aimed at regular Japanese

students of the department of International Languages and Cultures in the Faculty of Law and Letters will also be available for international students. The elective courses are not limited to those listed below.



6. Period of the course:

Oct. 1. 2017 – Aug. 31. 2018

(Fall semester Oct. 1, 2017~Mar. 31, 2018)

Spring semester Apr. 1, 2018~Aug. 31, 2018)

7. Subject outline

In principle, classes usually run for 16 weeks during both fall and spring semesters. For each semester, the students have to study 235.5 hours (157 class periods).

1) Compulsory courses

Subject title	Description
Basic Seminar I, II	Learning report writing and presentation.
Japanese culture I, II	Experiencing Okinawan and Japanese culture through pottery, dyeing, and textile. Also visiting historical sites in Okinawa.
Japanese sentence structures and expressions (only 1 semester)	Development of composition writing and sentence structure skills including Questionnaire making, report compilation and presentation on a specific topic.

Elective courses

* Students are required to take at least two subjects from below in each semester.

Subject title	Description
Japanese grammar seminar I, II	This course will introduce a number of grammatical issues of Japanese. Students will be required to observe real data and find regularities through integrating their previous knowledge on Japanese.
Special study of Ryukyuan Culture I, II	This course will introduce various (controversial) issues on Okinawa, such as culture and people in Okinawa through an experience of Ryukyu dancing and lectures about Ryukyu dialect.
International Affairs I, II	Reviewing the various events which occurred in the last fifty years of the 20th century, we will consider how these events are connected to the present states of the world.
Business Japanese I, II	Learning manners and Japanese used in business situations

2) Field trips and exchange with the local community

Subject title	Description
Okinawan Culture I, II	Okinawan Society & Culture
Japanese Culture I, II	Japanese Society & Culture



Local research trips to museums, historical sites, and old battlefields will also be taken, and once each year students will participate in a study trip farther afield (expenses inclusive).

Additionally, an international students get-together, local festivals, the university festival, and social exchanges within Okinawa will also be held. For those who would like to stay with/ visit a Japanese family for weekends, we will help to find a host family.

Students who would like to apply for internship could have an opportunity to work at companies located in Okinawa. Also, advice will be given to those who wish to have a job in Okinawa.

Study tours: Shurijo Castle & Tamaudun, Peace Memorial Park & Museum, Newspaper Company, Okinawa prefectural Police HQ, Makishi Public Market, Awamori Company, Television Broadcasting Company, Okinawa Archaeological Center, Okinawa Prefectural Museum

3) Other subjects (Optional) Japanese language program

Subject title	Description
Japanese IIIA/ IVA	Listening & Vocabulary
Japanese IIIB/ IVB	Reading & Grammar
Japanese IIIC/ IVC	Writing & Presentation



Special subjects of UOR

*There are more subjects available.

Subject title	Description
Introduction of Sanshin	Learning how to play the Okinawan traditional musical instrument (sanshin).
Introduction of Okinawan language	Learning basic knowledge about Okinawan language and practice basic sentence patterns through conversation.
Nature and people in Ryukyu	Through the key words such as "tropical", "coral reef", and "islands", discussion will be held focusing on nature and people

8. Study tour, events and so on

- Oct.** Orientation, Field trip to *Shurijo* Castle & Tamaudun
- Nov.** Party for international students in Okinawa
Appreciation of *Kumiodori*,
- Dec.** Calligraphy experience, Visit a newspaper company
- Jan.** Visit a *Awamori* company, Speech contest of UOR
- Feb.** Okinawa prefectural Speech contest
- Mar.** Tea ceremony
- Apr.** Mid-term presentation
- May** Study tour of Broadcasting company
- Jun.** Peace study Field trip to old battlefields & Peace Memorial Park
- Jul.** International Student Festival
- Aug.** Paper submission, Final presentation, Closing ceremony



9. System of instruction

Besides the below three instructors, five instructors of International Student Center (Japanese language and language education major) and other instructors of Faculty of Law and Letters can be the students' advisors. If needed, individual instruction will be given over and above regular classes. Additionally research plans, surveys, and research will be conducted under the supervision of your instructor. Individual studies should be presented orally and in written form.

Program Coordinators

Naomi Kinjo

Professor of Global Education Center
Major: Teaching Japanese as a second language
knao@ll.u-ryukyu.ac.jp

Katsuya Kinjo

Professor of Faculty of Law and Letters
Major: Linguistics
kinkats@ll.u-ryukyu.ac.jp

Seiko Tomari

Assistant Professor of Global Education Center
Major: Japanese Linguistics
seikot@lab.u-ryukyu.ac.jp

Naoki Arashiro

Assistant Professor of Global Education Center
Major: Japanese Linguistics
arashiro@lab.u-ryukyu.ac.jp



10. Guidance system

After completion of the designated classes (471 hours or more throughout the year), also those who write academic report or equivalent level report(s) will be issued with an academic transcript and a certificate of completion.

Credit acknowledgement and transfer

Acknowledgement of credits is at the discretion of the students' home university.

■ Housing

The students of this program are usually assigned rooms in the dormitory with Japanese students. A bed, a desk, a chair, and a locker are installed in each room.



They share a shower room, a laundry, a lounge, a dormitory shop, and a vending machine.

【Cost of accommodation (per month)】

	Type of accommodations	Room rent	Water&Gas Charges	Electric Charges
dormitory	"Ippan-to"	¥4,300	¥4,400	According to quantity Consumed
	"Konju-to"	¥4,700	¥8,400	
	"Shin konju-to"	¥15,000	¥4,000	
Private apartment house		Approx. ¥35,000		



■ Follow-up for graduates

1. Those who finished our program are now...

Working at Japanese corporations (abroad), graduate students at University of the Ryukyus or other Japanese universities, employed as a member of JET program, working as translators

2. Follow-up activities:

- 1) Each of the students keep in touch with each other via SNS (e.g. Facebook)
- 2) The web site of the university has the record of the past students' activities

■ Contact

Global Education Support Office, Student Affairs Division, University of the Ryukyus
Address: 1 Senbaru, Nishihara, Okinawa 903-0213
Tel: +81-98-895-8103
Fax: +81-98-895-8102
E-mail: koshogak@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

University of the Ryukyus web site: <http://www.u-ryukyu.ac.jp/>
Global Education Center web site: <http://isu.u-ryukyu.ac.jp/?lang=en>
(available both in Japanese and English)